

ボーリング柱状図

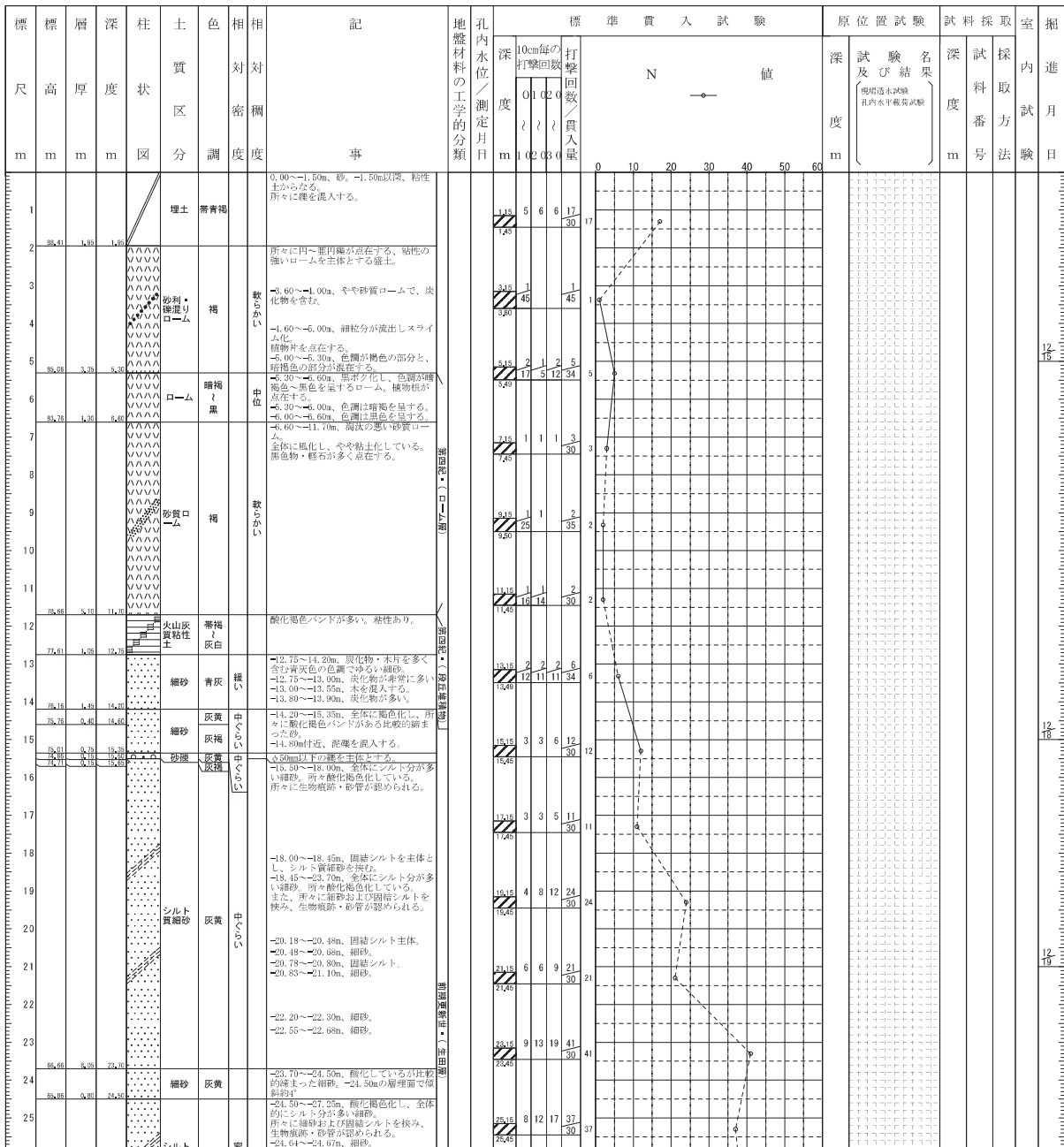
調査名

事業・工事名

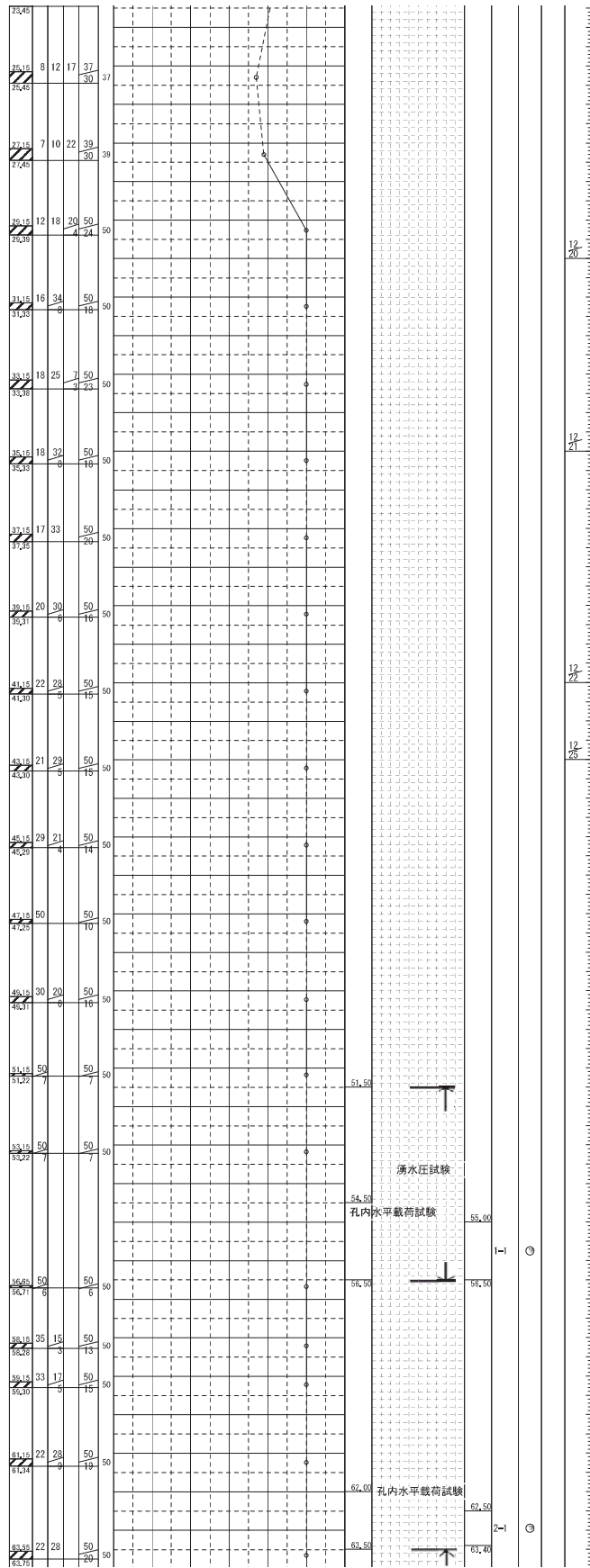
ボーリングNo.

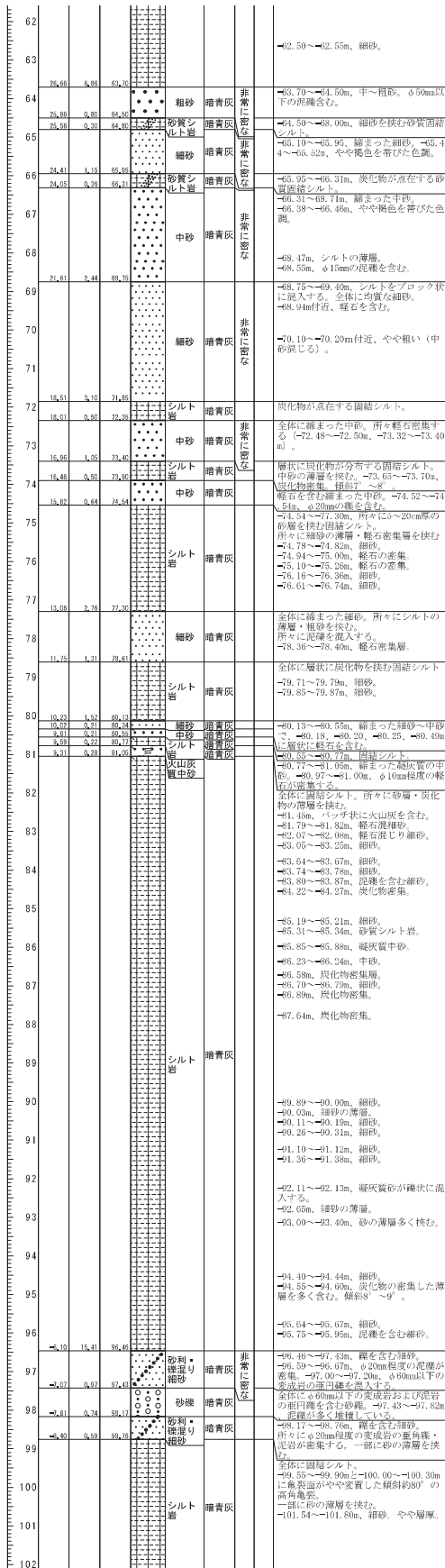
シートNo.

Header information table including borehole name, location, date, and personnel details.

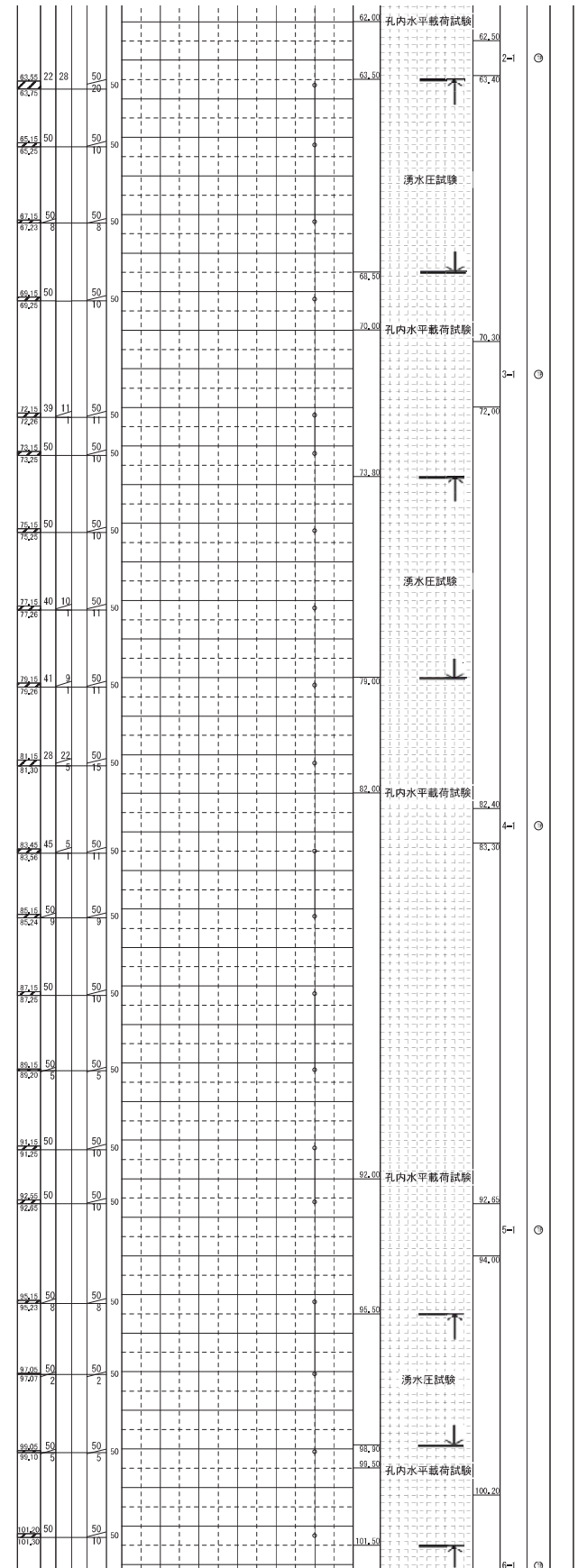


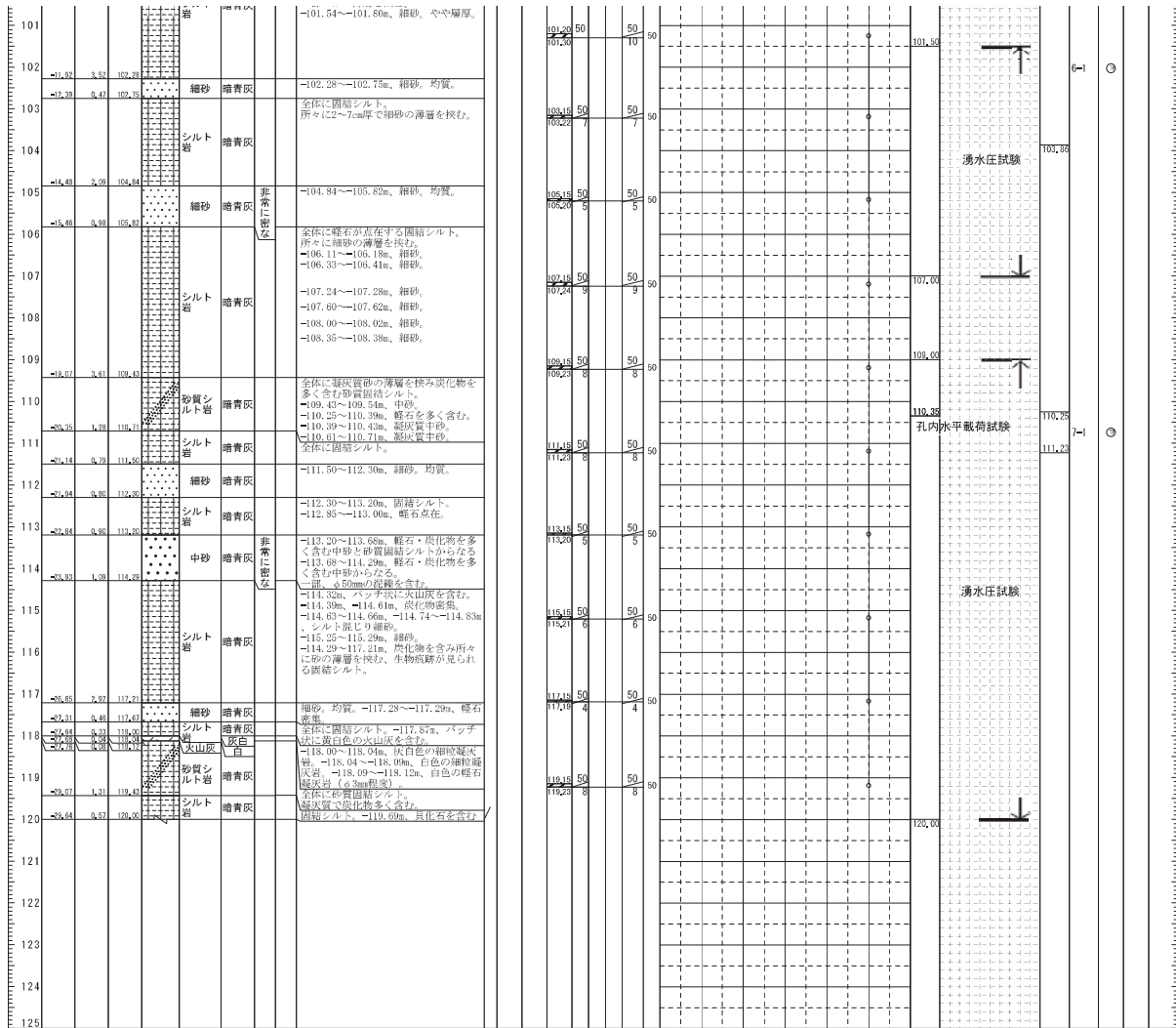
深度 (m)	試料番号	試料名	地質	備考
24.70~24.50		細砂	灰黄	-23.70~24.50m、酸化しているが比較的純まった細砂。-24.50mの層理面で傾斜約6°
24.50~27.25		シルト質細砂	灰黄	密な
27.25~31.10		シルト質細砂	暗青灰	密な
31.10~33.00		砂質シルト岩	暗青灰	
33.00~33.80		細砂	暗青灰	
33.80~34.80		砂質シルト岩	暗青灰	
34.80~35.50		細砂	暗青灰	
35.50~36.70		砂質シルト岩	暗青灰	
36.70~37.12		細砂	暗青灰	
37.12~37.25		細砂	暗青灰	
37.25~37.50		細砂	暗青灰	
37.50~38.05		細砂	暗青灰	
38.05~38.35		細砂	暗青灰	
38.35~38.55		細砂	暗青灰	
38.55~39.04		細砂	暗青灰	
39.04~39.66		細砂	暗青灰	
39.66~40.19		細砂	暗青灰	
40.19~40.58		細砂	暗青灰	
40.58~40.79		細砂	暗青灰	
40.79~41.81		細砂	暗青灰	
41.81~42.08		細砂	暗青灰	
42.08~44.02		細砂	暗青灰	
44.02~44.90		細砂	暗青灰	
44.90~45.42		細砂	暗青灰	
45.42~45.70		細砂	暗青灰	
45.70~45.95		細砂	暗青灰	
45.95~46.26		細砂	暗青灰	
46.26~46.92		細砂	暗青灰	
46.92~47.00		細砂	暗青灰	
47.00~48.07		細砂	暗青灰	
48.07~48.08		細砂	暗青灰	
48.08~48.30		シルト	暗青灰	
48.30~48.40		細砂	暗青灰	
48.40~48.54		細砂	暗青灰	
48.54~48.72		細砂	暗青灰	
48.72~50.18		細砂	暗青灰	
50.18~51.00		細砂	暗青灰	
51.00~51.83		シルト岩	暗青灰	固結シルトが大部分を占める。炭化物が点在する。
51.83~52.50		細砂	暗青灰	
52.50~53.00		シルト岩	暗青灰	
53.00~53.50		細砂	暗青灰	
53.50~54.00		細砂	暗青灰	
54.00~55.50		砂質シルト岩	暗青灰	非常に密な
55.50~56.50		砂質シルト岩	暗青灰	非常に密な
56.50~57.33		砂質シルト岩	暗青灰	非常に密な
57.33~58.51		シルト岩	暗青灰	
58.51~59.56		シルト岩	暗青灰	
59.56~60.00		シルト岩	暗青灰	
60.00~62.00		シルト岩	暗青灰	
62.00~63.70		シルト岩	暗青灰	





普通層番号・川番号





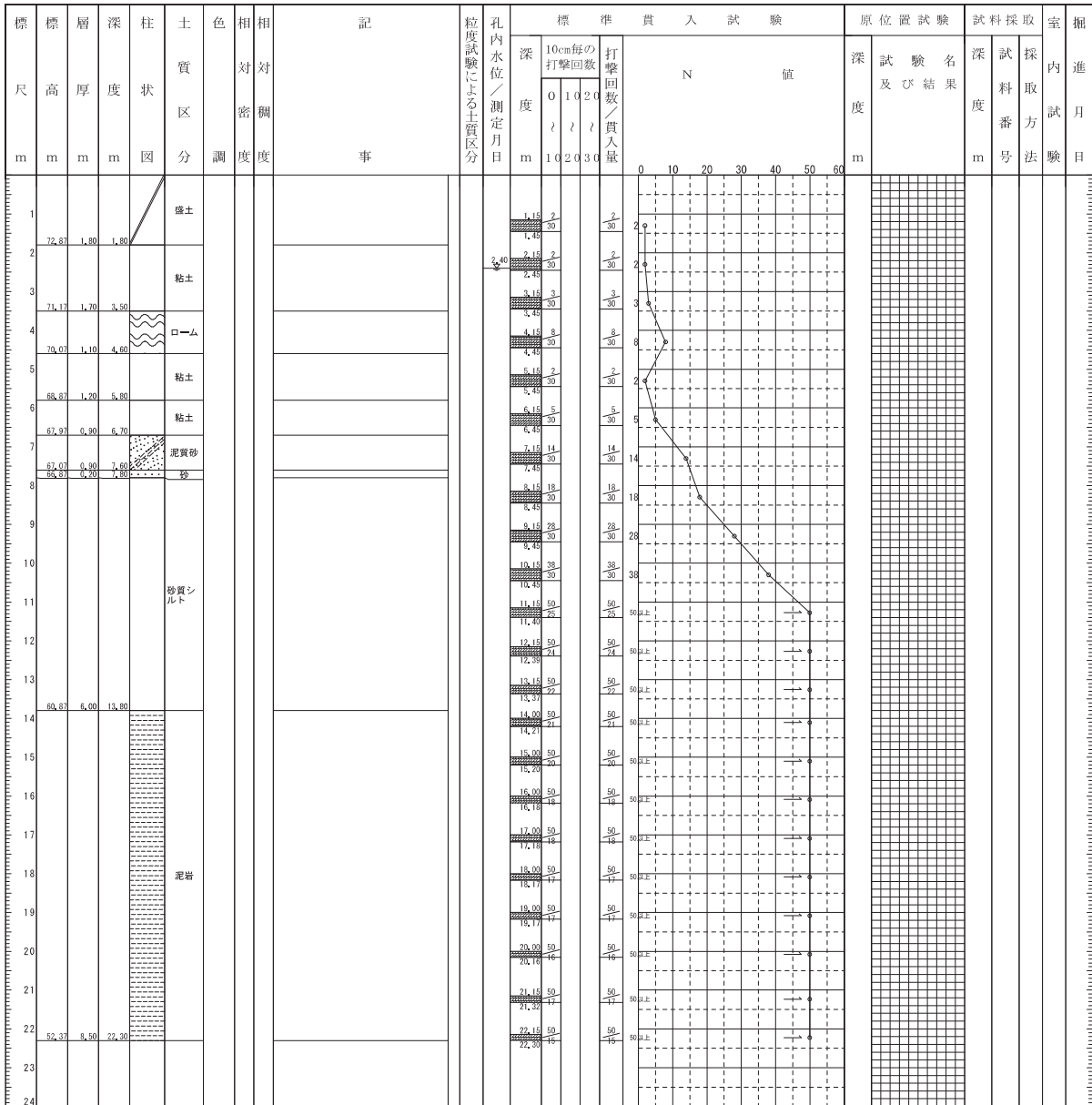
ボーリング柱状図

調査名

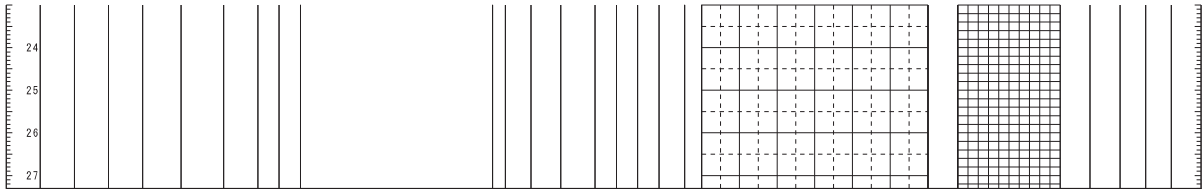
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	主任技師	現場代理人	コ監定者	ボーリング責任者
孔口標高 TP 74.67m	角 180° 上下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 0° 水平 0°	使用機種 試錐機 エンジン
総掘進長 22.30m	ハンマ 落下用具		ポンプ	



(参考55-1)



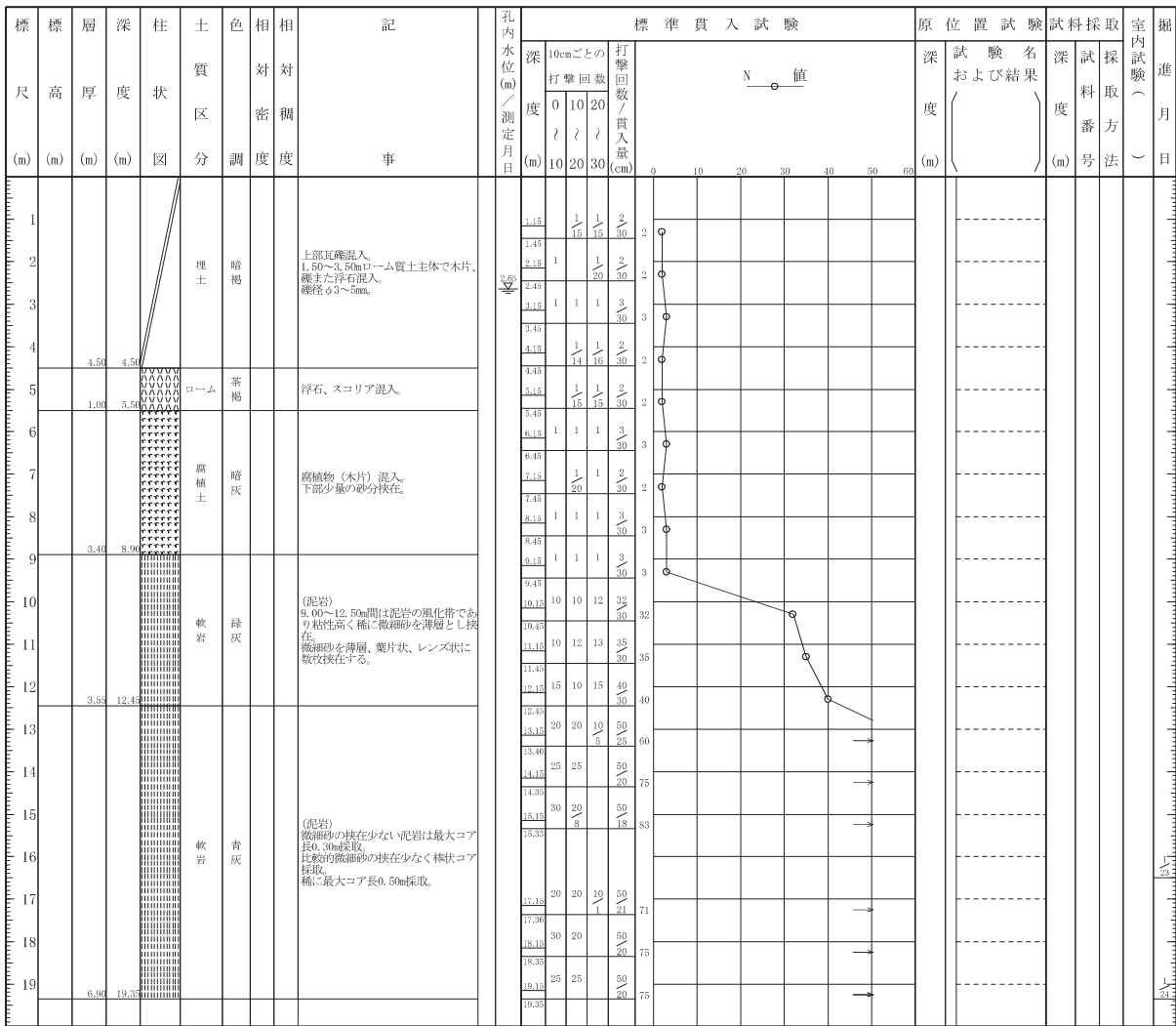
ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	77.40m*	角	コア鑑定者	ハンマー
総掘進長	19.35m	度	エンジン	ポンプ



*孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考55-2)

ボーリング柱状図

調査名

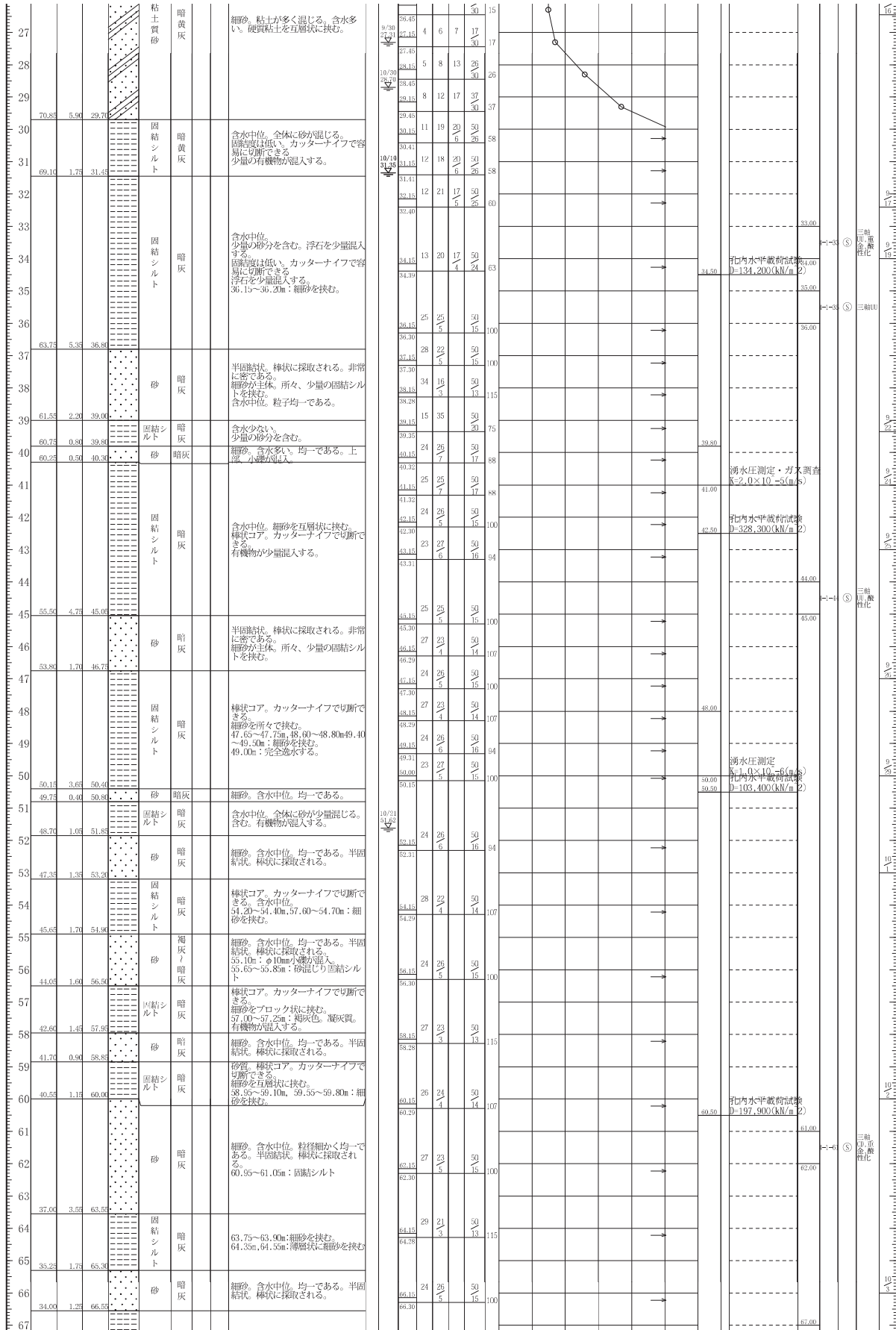
ボーリングNo

事業・工事名

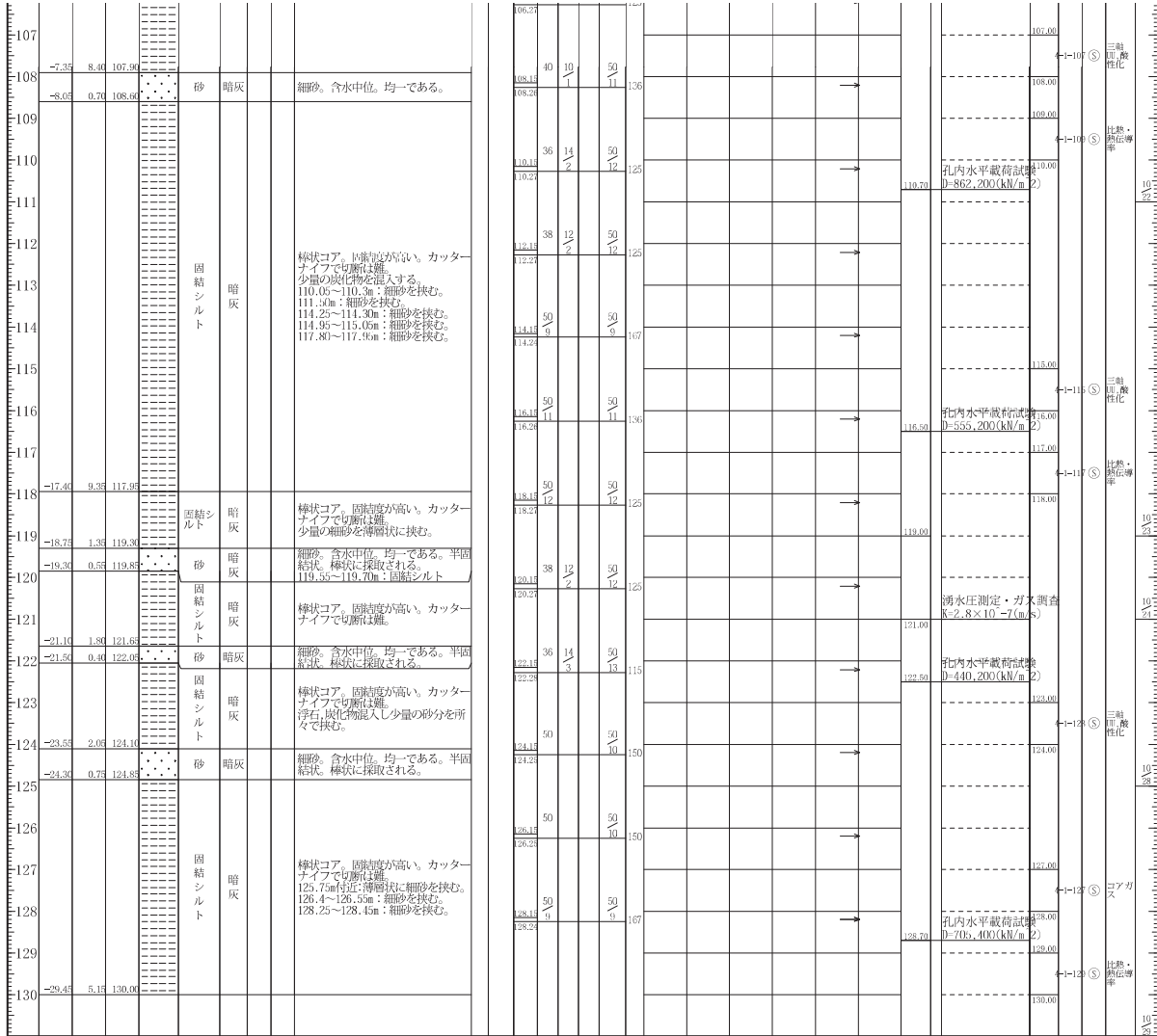
シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯
発注機関				調査期間	東経
調査業者名	主任技師			現場人	ボーリング責任者
孔口標高	100.55m	角	180°	コ	ハンマー
総掘進長	130.00m	度	0°	鑑定者	落下用具
		方	北 0°	使用機種	ポンプ
		向	270° 西 0° 北 90° 東 180° 南	エンジン	
		地盤勾配	鉛直 90°		

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	標準貫入試験				原位置試験	採取試料番号	室内試験	掘進月日
									深さ (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	値				
98.05	2.50	2.50		盛土	暗褐			砂石主体、全体にローム質の盛土。小礫、木根が混入する。	2.15	1	2	4				
									2.45	1	2	4				
									3.15	2	3	6				
									3.45	1	2	4				
									4.15	1	2	4				
									4.45	1	2	4				
									5.15	1	2	4				
									5.45	1	2	4				
									6.15	1	2	4				
									6.45	1	2	4				
				ローム	暗黄褐			含水中位、全体に粒状である。8.50m：浮石がブロック状に混入。	9.15	1	2	4				
									9.45	1	2	4				
									10.15	1	2	4				
									10.45	1	2	4				
									11.15	1	2	4				
									11.47	1	2	4				
				粘土質ローム	暗黄褐			含水中位、全体に細粒である。粘性強い。	12.15	0	1	2				
									12.55	0	1	2				
				腐灰質土	暗黄			含水多い。粘土強い。	13.57	0	1	2				
				腐灰質土	暗黄			含水多い。φ5~40mm粗角礫が混入。	14.15	2	3	7				
									14.45	2	3	7				
				砂質腐灰質粘土	暗黄灰			含水や粘が多い。全体に砂質土を互層状に挟む。砂が多く混じる。18.95~19.20m：砂を挟む。	17.15	3	4	10				
									17.45	3	3	9				
									18.15	3	3	9				
									18.45	2	3	8				
									19.15	2	3	8				
									19.45	2	3	7				
									20.15	2	3	7				
				粘土混じり砂	暗黄灰			細砂。含水多い。所々、硬質粘土で挟む。23.00~23.20m：硬質粘土を挟む。	20.45	4	6	18				
									21.15	4	6	18				
									21.45	3	4	11				
									22.45	3	4	11				
									23.15	6	7	24				
									23.45	6	7	24				
				粘土質	暗黄灰			細砂。粘土が多く混じる。含水多い。硬質粘土を互層状に挟む。	25.15	3	4	15				
									25.45	3	4	15				
									26.15	3	5	15				
									26.45	3	5	15				
									27.15	4	6	17				







ボーリング柱状図

調査名

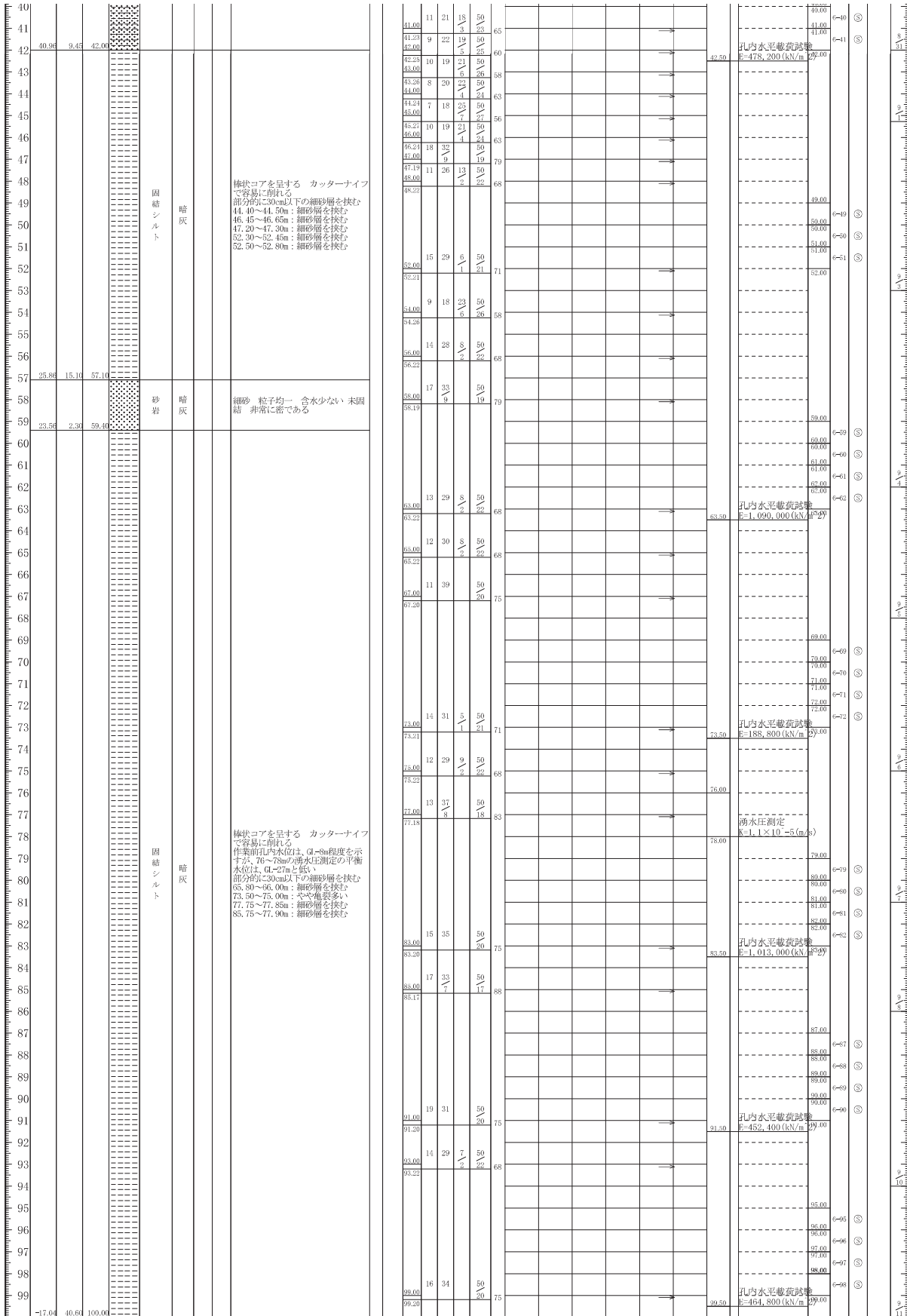
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	T.P.= +82.96m	角	180° 上 90° 下	ハンマー 落下用具
総掘進長	100.00m	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	ポンプ
		地盤勾配	鉛直 0°	エンジン

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対調密度	相対稠度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験	試験名	採取番号	室内試験	掘進月日
									深 (m)	0	10	20					
1				盛土	暗茶褐色			硬混じりローム φ50mmの角礫が混じる 含水少 粘性大	1.13	3	3	2	8				
2	80.5	2.45	2.45						1.45	2	1	2	5				
3				ローム	茶褐色			φ2~3mm礫が混じる	2.45	1	1	2	1	3.30	6-3	⑩	
4	78.8	1.70	4.15						4.15	2	2	2	6				
5				凝灰質粘土	淡黄褐色			不均質 粘性強 含水中位 6.5m: φ30mm以下の内礫が混じる	4.45	2	2	4	5				
6	76.26	2.55	6.70						4.13	2	2	4	5				
7	75.5	0.75	7.45						6.45	4	4	7	13				
8				砂	淡茶灰			細砂 含水少	7.45	2	3	6	11				
9	74.16	1.35	8.80						4.13	2	3	6	11				
10				砂	淡黄褐色			シルト混じり細砂 含水少	8.45	6	15	23	41				
11									10.15	8	18	24	39				
12									10.55	7	13	20	40				
13									11.42	7	13	20	40				
14				固結シルト	暗黄灰			100cm程度の層厚で砂・固結シルトの互層をなす 互層割合をなす 17.8mまでは黄褐色を呈する(部分的に暗灰色) 孔壁は、崩壊なく安定	12.48	7	10	17	34				
15				砂岩互層	暗黄灰				13.45	13	29	8	50				
16									14.13	7	7	11	25				
17									15.57	6	11	15	32				
18									16.45	7	11	15	32				
19									17.45	9	21	20	50				
20	62.96	10.00	20.00						18.15	16	21	13	50				
21				固結シルト	暗灰			樫状コアを呈する カッターナイフで容易に削れる	19.38	18	25	7	50				
22									21.00								
23	59.96	3.00	23.00						22.23								
24																	
25									25.00	12	20	15	50				
26									25.29	11	22	14	50				
27				砂岩	暗黄灰			細砂 粒子均一 含水少ない、未固結 非常に密である 28.00~28.50m: 暗黄灰色を呈する 27.60~28.80m: 固結シルト層を挟む 28.75~28.85m: 固結シルト層を挟む 28.30~28.40m: 固結シルト層を挟む 29.40~30.00m: 固結シルト層を挟む	26.23	18	28	4	50				
28									27.51	16	24	10	50				
29									28.23	11	18	21	50				
30									28.60	10	27	13	50				
31									29.23	18	32	3	50				
32									31.00	16	28	6	50				
33	50.4	9.55	32.55						32.23	9	15	26	50				
34									33.77	7	18	25	50				
35									34.60	8	19	23	50				
36				固結シルト	暗灰			50cm程度の層厚で砂・固結シルトの互層をなす 固結シルト層が優勢 固結シルトは、樫状コアを呈する カッターナイフで容易に削れる 砂岩は未固結、非常に密である	34.28	10	28	13	51				
37									35.23	16	12	22	50				
38									37.26								
39																	
40																	
41									41.60	11	21	15	50				
									41.93								



(参考57-1)

参考57-1

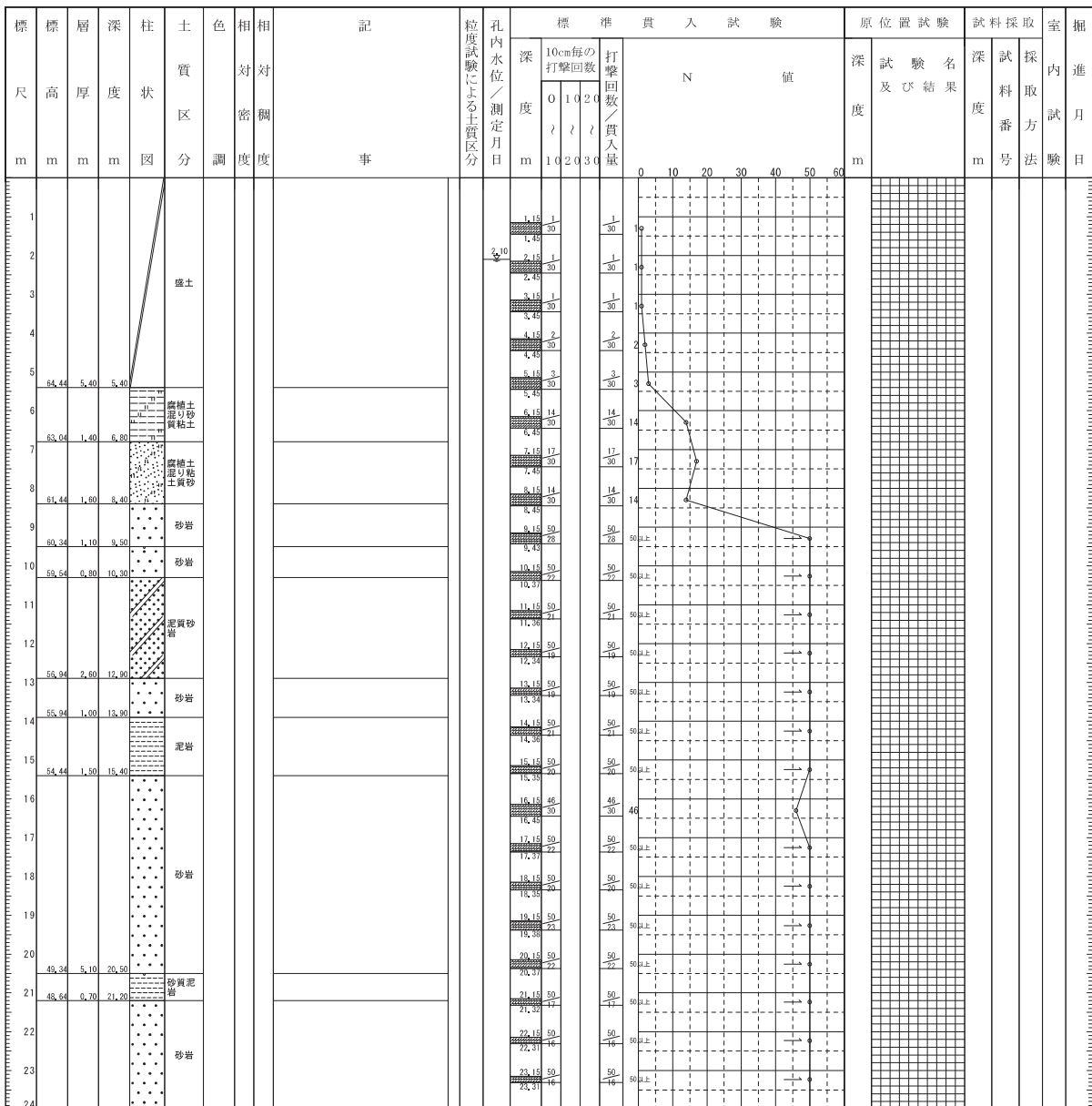
ボーリング柱状図

調査名

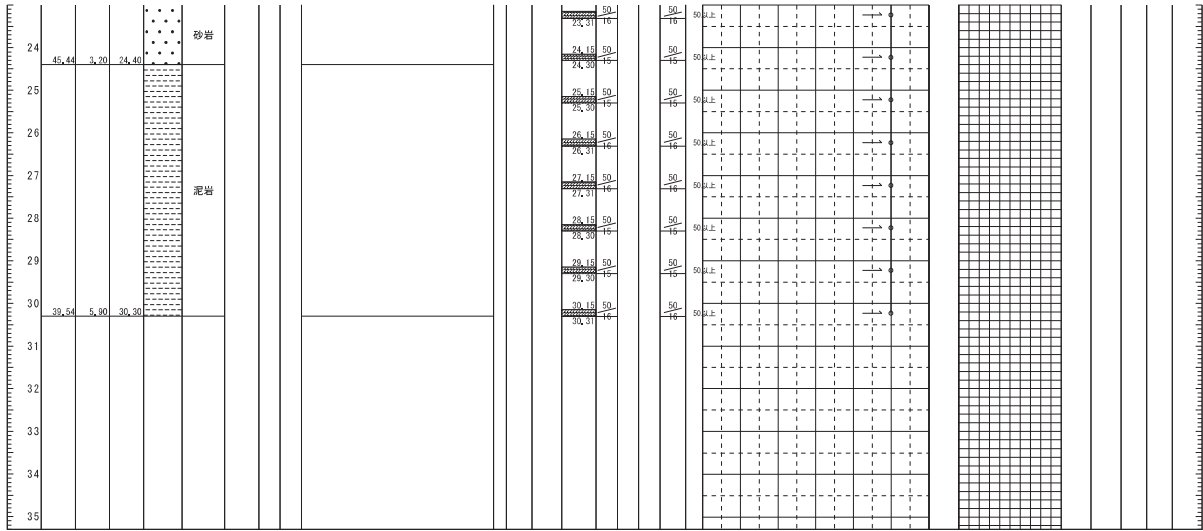
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師	現代場代理人	コ監定者	ボーリング責任者
孔口標高 TP 69.84m	角 180° 上下 90° 度	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180° 向	地盤勾配 鉛直 0° 水平 90°	使用機種 ハンマ ポンプ
総掘進長 30.30m				エンジン



(参考57-1)



ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯					
発注機関	調査期間			東経						
調査業者名	主任技師		現場代理人	ボーリング責任者						
孔口標高	57.10m*	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	試験機	ハンマー 落下用具
総掘進長	20.00m	度		向				エンジン		ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深さ (m)	試験名 および結果	試料採取 深さ (m)	採取 番号	室内試験 方法	掘進 月日	
									深さ (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20
		0.40	0.40	盛土	暗灰		主に砕石による盛土。													
		0.75	1.15	硬粘土質ローム	暗茶褐	軟らかい	小礫混入して粘性がある。													
		0.55	1.70	細砂	黄灰	緩い	(細粒砂) 含水量少なく少量の粘性がある。													
		1.45	3.15	粘土質シルト	暗茶灰	非常に軟らかい	全体的に含水量が多い粘性の強いシルト。													
				軟岩	暗青灰	固結した	(細粒砂状泥岩) 3.83~3.94, 4.03~4.15, 5.00~5.02, 細砂。 5.81~5.84, 5.92~6.01, 6.22~6.25, 細砂。 6.27~6.63, 6.74~6.78, 6.82~8.83, 細砂。 9.34~9.38, 細砂。 9.60~9.66, 粗砂。 9.92~9.95, 細砂。 10.17~10.36, 中砂バミス混入。 10.40, 小礫混入。 10.45~10.59, 細砂。 10.64~10.68, 中砂バミス混入。 10.91~10.92, 11.95~11.98, 中砂。 12.28~13.34, 13.54~13.75, 13.87~13.90, 砂岩バミス混入。 15.40~15.45, 15.70~16.05, 16.50~16.60, 中砂。 16.78~16.87, 粗砂バミス混入。 16.94~17.00, 中砂バミス混入。													
								2.08												
								1.45												
								2.15												
								2.53												
								3.15												
								3.44												
								4.84												
								4.90												
								5.60												
								5.72												
								6.50												
								6.63												
								7.35												
								7.62												
								8.70												
								8.87												
								9.50												
								9.63												
								10.45												
								10.63												
								11.15												
								11.30												
								12.05												
								12.19												
								12.83												
								13.00												
								13.73												
								13.94												
								14.50												
								14.58												
								15.40												
								15.57												
								17.00												
								17.09												
								18.50												
								18.61												

*孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考57-2)

ボーリング柱状図

調 査 名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

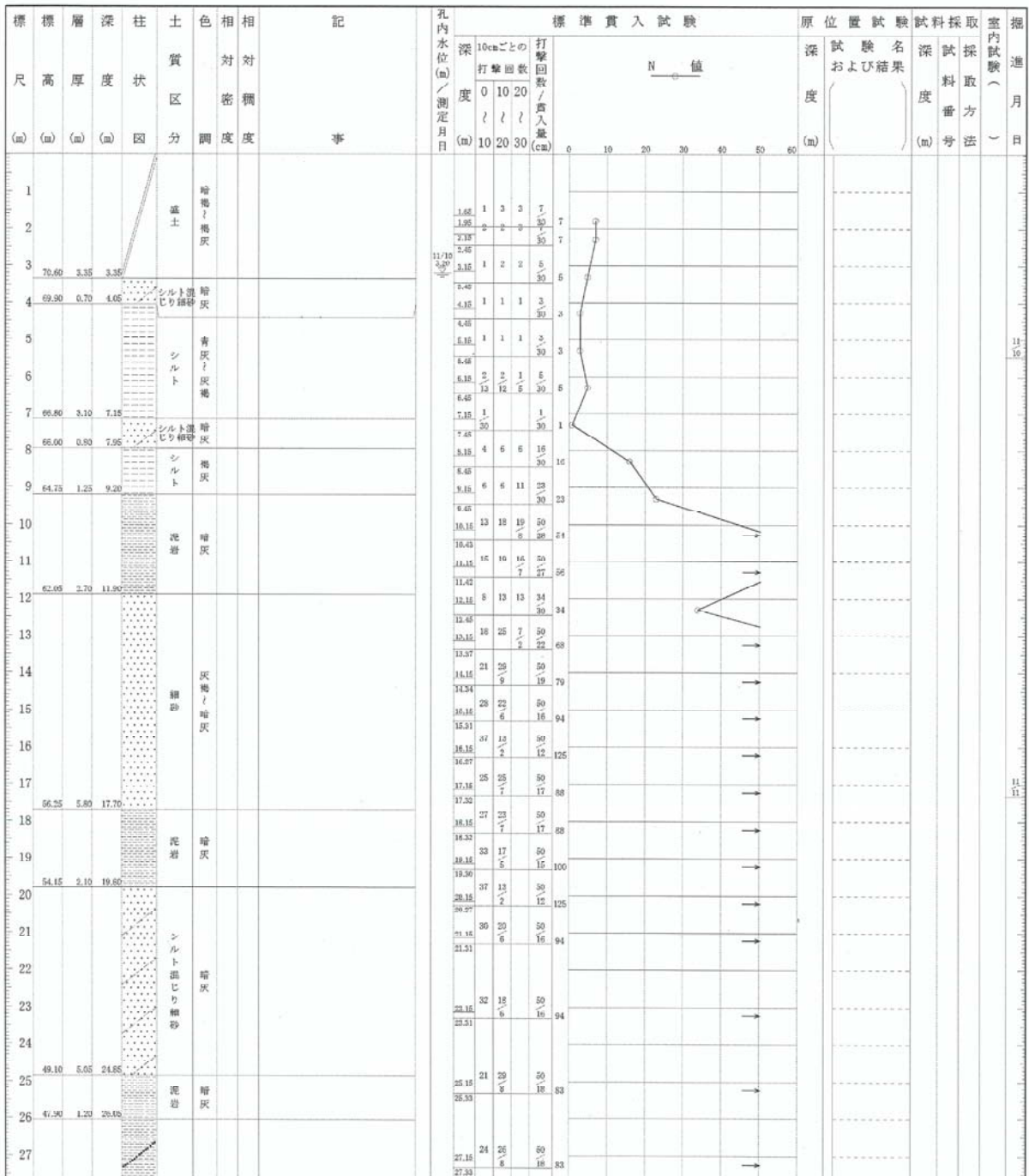
ボーリング名	調査位置	北 緯
発注機関	調査期間	東 経
調査業者名	主任技師	現代 場 人
孔口標高	方 向	コ ン ー ン
総掘進長	地盤勾配	ハンマー 落下用具
	使用機種	ポン プ
	エンジン	

標 尺 (m)	層 高 厚 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	標準貫入試験							原 位置 試験 深 度 (m)	試 験 名 試 お よ び 結 果	試 料 採 取 深 度 (m)	採 取 方 法	室 内 試 験 ()	掘 進 月 日
							深 度 (m)	10cmごとの 打 撃 回 数 / 貫 入 量 (cm)				深 度 (m)	試 験 名 試 お よ び 結 果						
								0	10	20	30								
	64.30	0.50	0.50	粘性土	褐灰	上部草根混入。粘性強い、含水多い。	1.63	1	1	3									
1	62.70	1.60	2.10	シルト シルト質細砂	暗灰	粘土。粘性中位、含水分中位。 風化泥岩層が混在。 1.90~2.10m : 軟らかい。	2.15	20	15	35									
2	60.90	1.80	3.90	シルト	灰褐色	粘性中位、含水中位。 有機物が若干混入する。	3.45	1	5	8									
3	60.30	0.60	4.50	砂質シルト	暗灰	径φ10~30mm硬質固形礫多い。最大径約60mm	4.45	21	5	13									
4	59.20	1.00	5.50	固結シルト	暗灰	極状コア。カッターナイフで切断できる。	5.38	23	27	43									
5	58.20	1.00	6.50	砂	暗灰	細砂。半固結状。極状に採取される。非常に密である。	6.15	23	27	43									
6							8.00	19	31	50									
7							8.18	7	43	50									
8							10.00	21	29	50									
9							10.20	19	31	50									
10						極状コア。カッターナイフで切断できる。 所々、5~10cm程度の粗砂を挟む。 5.50~6.00 : 粗砂 10.10~10.40 : 細砂	11.10	19	31	50									
11							11.28	20	30	50									
12							12.10	21	29	50									
13							13.10	14	27	43									
14							13.28	16	34	50									
15	49.90	8.30	14.90	砂	暗灰	細砂。半固結状。極状に採取される。非常に密である。	14.20	24	26	50									
16	48.50	1.40	16.30				14.10	26	28	50									
17							17.29	26	28	50									
18							18.10	38	12	38									
19							19.10	12	38	50									
20							20.00	14	36	50									
21							21.00	14	36	50									
22							21.19	15	35	50									
23							22.00	22	28	50									
24						極状コア。カッターナイフで切断できる。 含水中位。所々、細砂を挟む。 26.0m付近は、やや黄褐色を帯びる。 18.55~18.90m : 細砂を挟む。 20.30~20.60m : 細砂を挟む。 22.00~22.20m : 細砂を挟む。 23.15~23.50m : 細砂を挟む。 24.00~24.51m : 細砂を挟む。 23.15~23.30m : 細砂を挟む。 27.00~27.28m : 細砂を挟む。 28.70~28.76m : 細砂を挟む。 32.30~32.50m : 細砂を挟む。	23.17	22	28	50									
25							24.00	16	34	50									
26							24.15	11	26	12									
27							25.20	23	27	50									
28							26.00	7	7	17									
29							27.17	14	36	50									
30							28.00	13	37	50									
31							28.19	13	37	50									
32							30.00	12	38	50									
33							30.10	12	38	50									
34							30.60	21	29	50									
35	29.90	18.60	34.90	砂	暗灰	細砂。半固結状。極状に採取される。非常に密である。	31.00	13	28	9									
36							31.18	15	35	50									
37	27.80	2.10	37.00				32.22	15	35	50									
38							33.00	13	37	50									
39							33.19	13	37	50									
40							34.00	21	29	50									
							34.20	14	36	50									
							35.00	14	31	5									
							35.16	15	35	50									
							36.00	13	37	50									
							37.20	13	37	50									
							38.00	15	35	50									
							38.19	15	35	50									
							39.00	22	28	50									
							39.18	22	28	50									
							40.00	24	26	16									
	24.10	3.70	40.70				40.16	24	26	16									

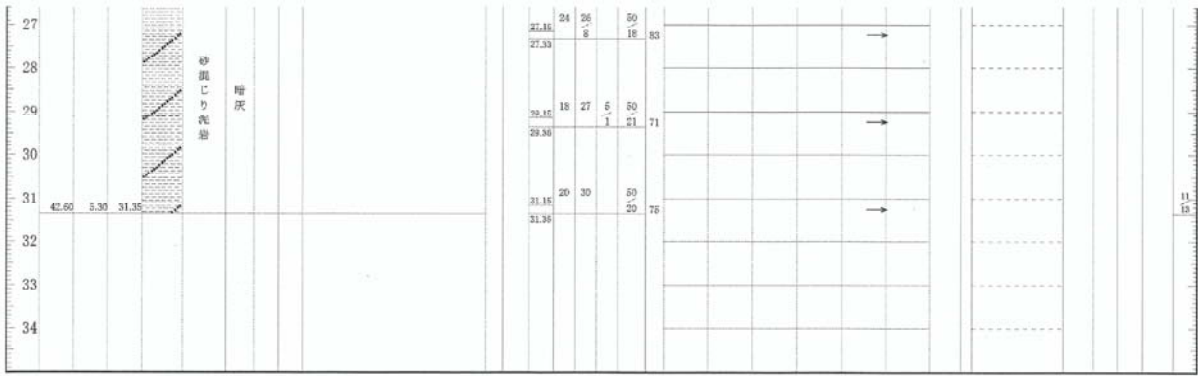
深度 (m)	層名	地質記号	説明	試験結果 (kN/m ²)	試験種別
40	シルト		39.45~39.60m: 細砂を挟む。		
41	砂	暗灰	細砂。半固結状。極度に採取される。非常に密である。		
42					
43					
44					
45					
46				46.30	孔内水平載荷試験 D=1,306,000(kN/m ²)
47					
48				48.00	熱伝導率試験
49				49.00	
50				50.00	物理特性(比重)
51				51.00	
52				52.00	コアガス
53				53.21	
54				54.00	
55	固結シルト	暗灰	棒状コア。カッターナイフで切断できる。含水比場所。細砂を挟む。 55.30~55.80m: 細砂を挟む。 56.30~57.00m: 細砂を挟む。 58.10~58.30m: 細砂を挟む。 60.10~60.40m: 細砂を挟む。 63.20~63.85m: 細砂を挟む。 69.10~69.30m: 細砂を挟む。	55.50	孔内水平載荷試験 D=516,100(kN/m ²)
56				56.00	
57				56.18	
58				58.00	熱伝導率試験
59				58.17	
60				59.00	物理特性(比重)
61				60.00	
62				61.00	コアガス
63				62.00	
64				64.00	
65				64.19	孔内水平載荷試験 D=233,600(kN/m ²)
66				66.00	
67				66.17	湧水圧試験・方木調査 R=2.3×10 ⁻³ (m/s)
68				67.00	
69				68.00	コアガス
70				69.00	
71	砂	暗灰	細砂。棒状コア。半固結状。やや固結度が高い。非常に締まっている。	70.50	孔内水平載荷試験 D=405,800(kN/m ²)
72				72.00	
73				72.12	
74	固結シルト	暗灰	棒状コア。固結度が高い。カッターナイフで切断は難。	74.00	
75				74.17	湧水圧試験 R=3.4×10 ⁻⁵ (m/s)
76				75.00	
77				76.10	熱伝導率試験
78				78.00	
79				78.10	孔内水平載荷試験 D=259,400(kN/m ²)
80				80.00	
81				80.09	
82				82.00	
83				82.09	
84				84.00	
85				84.09	

ボーリング柱状図

調査名		ボーリングNo	
事業・工事名		シートNo	
ボーリング名	調査位置	北緯	
発注機関	調査期間	東経	
調査業者名	主任技師	現代場人	ボーリング責任者
電話	角	コア	ハンマー
孔口標高	方	確定者	落下用具
総掘進長	地盤勾配	ポンプ	
TP +73.946m	方位	試験機	
31.35m	鉛直	エンジン	



(参考58-1)



ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置		北緯
発注機関	調査期間		東経
調査業者名	主任技師	現代場代理人	コ定者
ボーリング責任者	試験機		ハンマ
孔口標高 TP 58.70m	角 180° 上下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	鉛直 0° 水平 90°
総掘進長 17.20m	度	向	エンジン
			ポンプ

標尺	層高	厚度	深	柱状図	土質区分	色	相對密	相對稠度	記	事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験			N 値	原位置試験		試料採取	室内試験	掘進月日
												深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量		深	試験名及び結果			
1					砂質粘土						0.95	1.15 1.45	4 30	4 30						
2	55.30	2.40	2.40		粘土質砂							2.15 2.45	4 30	4 30						
3	55.20	1.10	3.50		隙埋り砂質粘土							3.15 3.45	1 30	1 30						
4	54.00	1.20	4.70		砂質粘土							4.15 4.45	1 30	1 30						
5					砂質粘土							5.15 5.45	1 30	1 30						
6	52.20	1.80	6.50		砂質粘土							6.15 6.45	4 30	4 30						
7					砂質粘土							7.15 7.45	2 30	2 30						
8					砂質粘土							8.15 8.45	3 30	3 30						
9					砂質粘土							9.15 9.45	2 30	2 30						
10	48.80	3.40	9.90		粘土質砂							10.15 10.45	6 30	6 30						
11	48.20	0.60	10.50		粘土							11.15 11.45	4 30	4 30						
12	47.30	0.90	11.40		粘土							12.15 12.45	50 30	50 30						
13					砂質泥岩							13.15 13.45	50 18	50 18						
14					砂質泥岩							14.15 14.45	50 16	50 16						
15					砂質泥岩							15.15 15.45	50 15	50 15						
16					砂質泥岩							16.15 16.45	50 15	50 15						
17	41.50	5.80	17.20		砂質泥岩							17.15 17.45	50 16	50 16						
18					砂質泥岩							17.35								

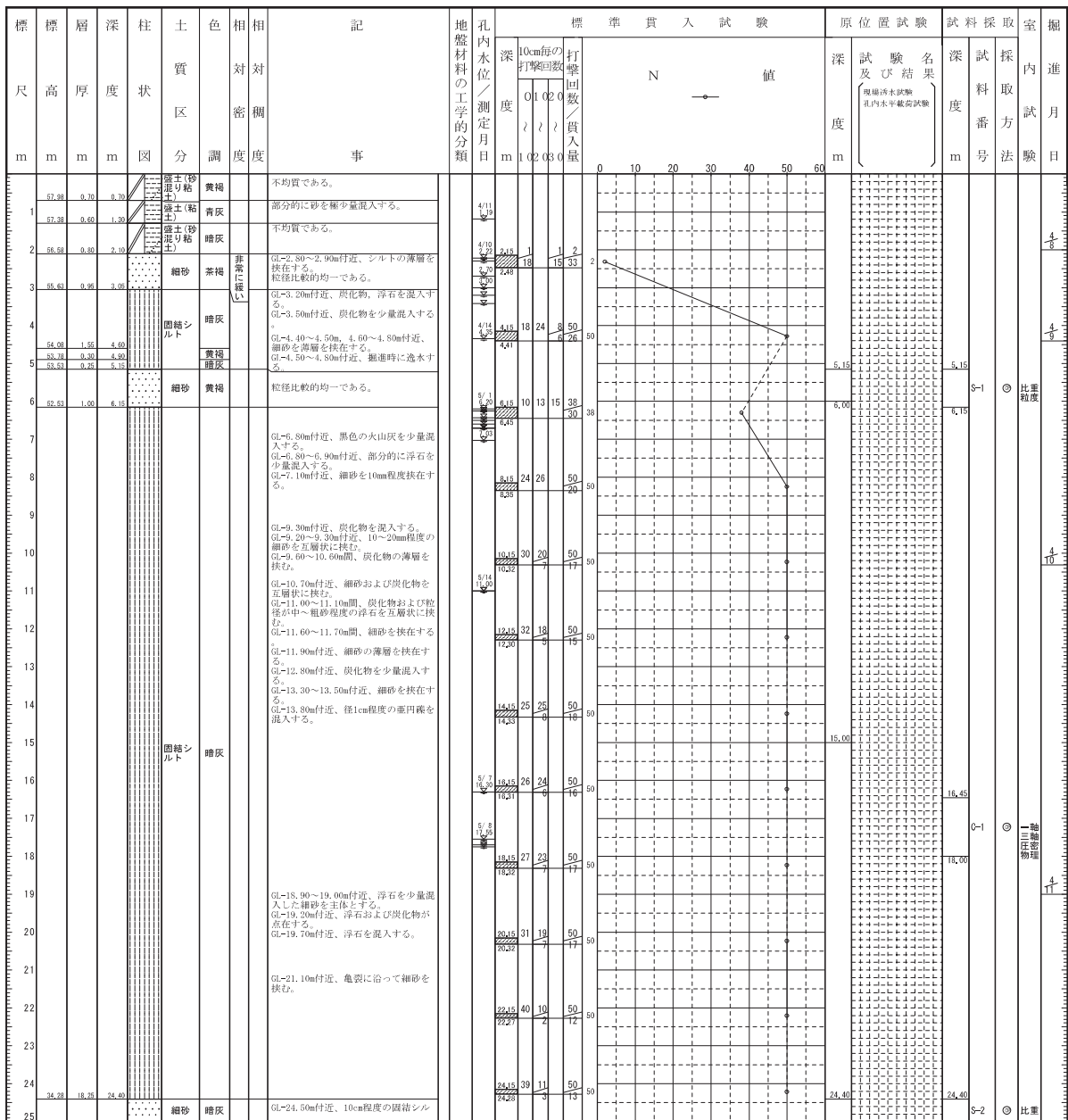
(参考58-2)

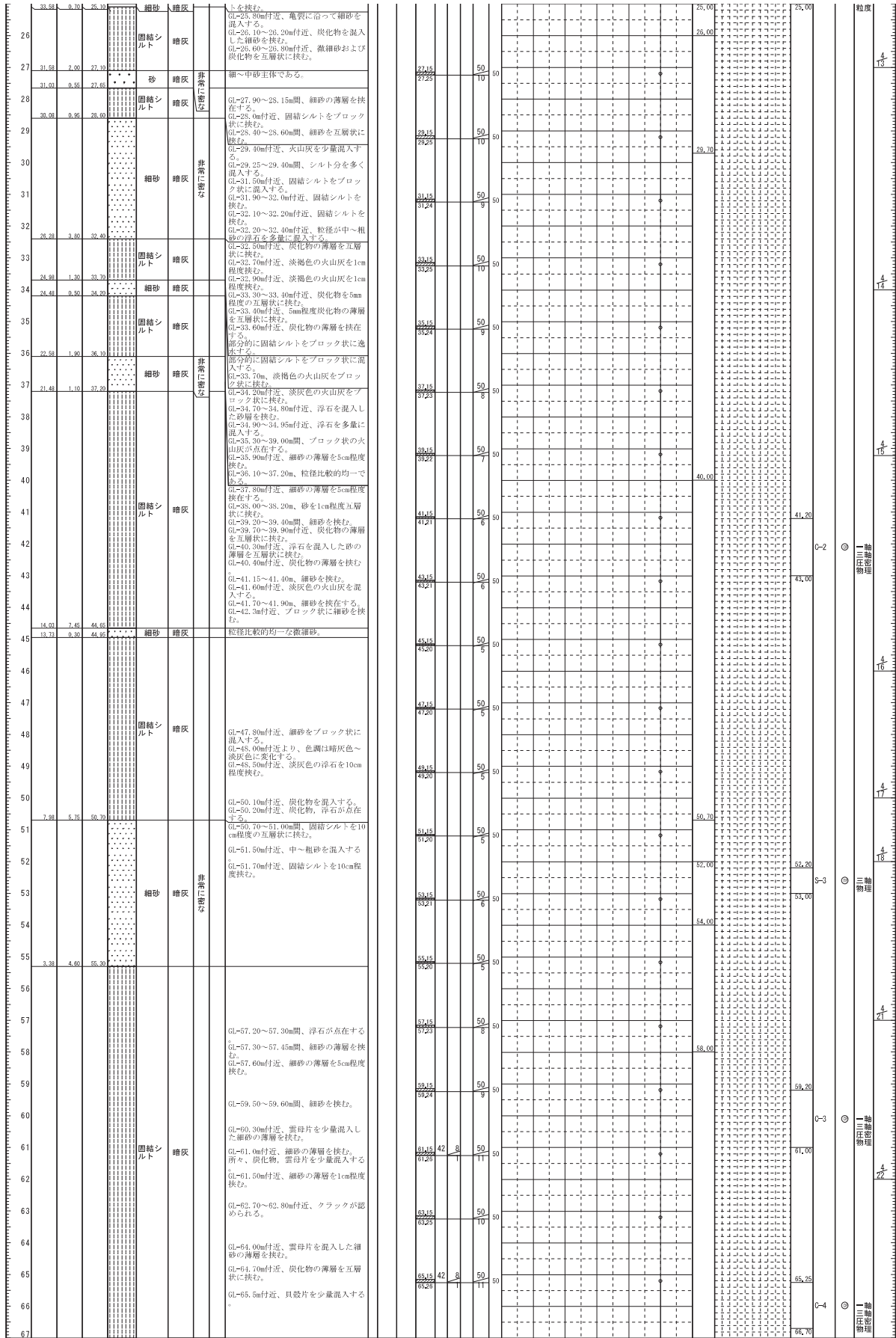
ボーリング柱状図

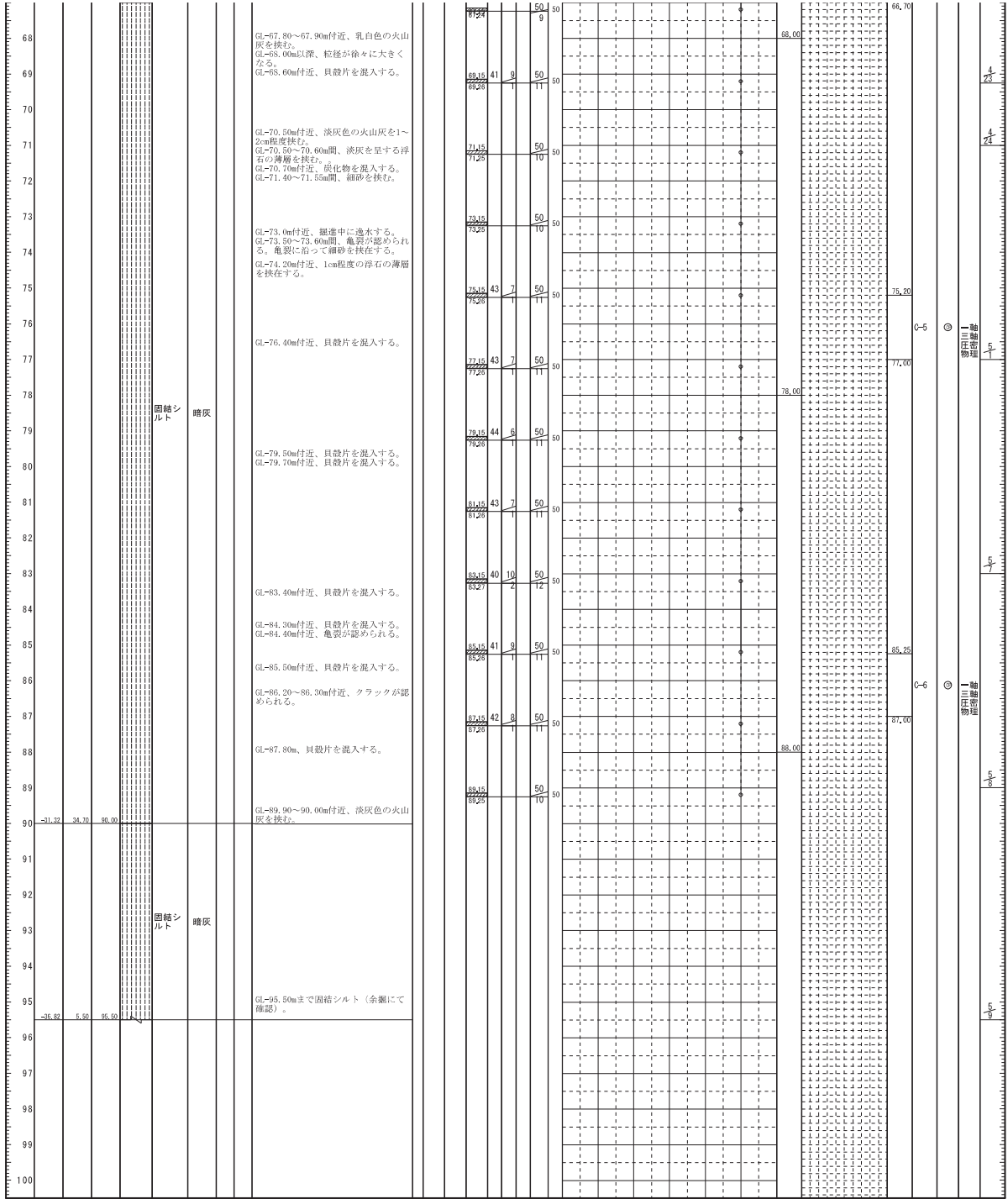
調査名
事業・工事名

ボーリングNo.
シートNo.

Table with 4 rows: 1.ボーリング名, 調査位置, 北緯; 2.発注機関, 調査期間, 東経; 3.調査業者名, 主任技師, 現場代理人, コアアサ, ボーリング責任者; 4.孔口標高, 角, 方, 地盤勾配, 使用機種, エンジン, ハンマー, ボンプ







(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20
3.70

3.20-3.70は試料採取深度(m)

3. 原位置試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓗ 瓦斯シンジンプス検層
- Ⓖ キャリハ-検層
- Ⓖ 密度検層
- Ⓖ 温度検層
- Ⓖ ルジオン試験
- Ⓖ 現場透水試験
- Ⓖ 孔内水平載荷試験

(JR-59)

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯	
発注機関	調査期間				東経	
調査業者名	主任技師				現代	ア
孔口標高	51.40m*	角	180°	方	北 0°	地盤勾配
総掘進長	28.19m	度	0°	向	西 270°	鉛直 90°
					使用機種	ハンマー
					エンジン	ポンプ
					コ	ア
					鑑定者	ボーリング
						責任者

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記	標準貫入試験					原位置試験	試験名	採取深度 (m)	採取番号	室内試験方法	掘進月日		
											深	0	10	20	30								
		0.70	0.70		埋土	暗褐色				1.0mまで試験を実施。上部10.5cm存在主体のものである。以ては標準貫入する砂質土。	2.15	39	11	50	125								
					軟岩	暗灰				(シルト岩) 上部部砂を不規則に挟在する。全体に1-30cm位の棒状コアになる。4m付近には有機物点存在する。6-7m間では細砂を薄層に挟み所がある。1-2cm程度。7.58-7.65m, 7.90-7.97m, 8.50-8.65m, 細砂挟在する。	2.27	60		50	150								
											3.13	50		50	10								
											3.33	50		50	10								
											3.33	50		50	10								
											4.15	34	15	50	14	107							
											4.30	50		50	8	188							
											5.15	50		50	9	167							
											6.24	50		50	8	188							
											7.15	50		50	8	188							
											8.25	8.95				9.15	50		50	188			
		0.35	9.30		細砂	暗灰				種子均一である。雲母片混入する。シルトを不規則に挟在する。非常に密である。	9.20	50		50	300								
					軟岩	暗灰				(シルト岩) 有機物所を点状に挟在する。12-13m間ではヘアークラック多くコアに亀裂が入る。1-20-30cm位の棒状コア採取できる。	10.15	50		50	250								
											10.30	50		50	6	188							
											11.15	50		50	6	250							
											11.25	50		50	6	188							
											12.15	50		50	6	250							
											12.23	50		50	6	188							
											13.12	50		50	6	375							
											13.23	50		50	6	300							
											14.13	50		50	6	167							
											14.33	50		50	6	211							
					15.12	50		50	4	250													
		6.10	15.40		細砂	暗灰				閉鎖砂混入する。シルト岩を所々挟在する。15.50-16.25m, 16.37-16.47m, 18.30-18.60m, シルト岩の挟在部に。全体に種子均一である。浮石を薄層に挟在する。含水多い。非常に密である。下部シルト岩との互層部挟在。	15.19	50		50	300								
					軟岩	暗灰				(シルト岩) 全体に有機物所を混じる。また局部的に砂分を含有する。所々挟在。1-20cm位のコアになる。コアはヘアークラックが入り亀裂部が多い。21.3-21.33m, 21.65-21.68m, 22.5-22.51m, 22.8-22.7m, 23.40-23.58m, 細砂の挟在部。	16.20	50		50	167								
											17.12	50		50	9	211							
											17.23	50		50	7	250							
											18.12	50		50	7	300							
											18.23	50		50	6	375							
											19.12	50		50	6	300							
											19.21	50		50	6	214							
											19.21	50		50	7	214							
											20.12	50		50	5	300							
											21.12	50		50	5	300							
					21.30	50		50	4	375													
					22.12	50		50	4	300													
					22.19	50		50	5	300													
					23.12	50		50	5	250													
					23.30	50		50	6	250													
					24.12	50		50	6	250													
					24.23	50		50	4	250													
					25.12	50		50	4	250													
					25.21	50		50	7	214													
					26.12	50		50	7	300													
		6.70	26.63		細砂	暗灰				26.90-26.92m, シルト質採取。	26.22	50		50									
		0.30	26.93		軟	暗				(シルト岩) 全体に亀裂が多い。	27.20	50		50									

(参考59-1)

27	0.30	26.92	細砂	腐灰	26.90~26.92m、シルト質粘土。	50 5	50 6	300											
28	1.24	28.18	軟岩	暗灰	(シルト岩) 全体に亀裂が多い。 コア長は15cm位になる。非常に硬い。	50 4	50 4	375											

※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(JR-60)

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	46.50m*	角	180° 上 90° 下	方
総掘進長	29.00m	度	0°	向
			北 0° 東 90° 南 180° 西	地盤勾配
			鉛直 90°	使用機種
				エンジン
				ハンマー 落下用具
				ポンプ

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 番号	掘進 月日		
										深さ (m)	10cmごとの 打撃回数	10	20								
0.24	0.24			埋土	暗灰色			(砂子)		12	21	17	50								
2.40										38	12	2	50								
3.27										43	7	1	50								
4.35										10	19	2	50								
5.41										31	19	5	50								
6.36								(シルト岩) 0.5~2m付近は、クラック非常に多くクラック面は粗化帯ひび。硬層上部にて混入する。雲母片混入し、一部若干の砂を含む。 5.7~6.85m、砂質土。 10~25cm厚の塊状コアになる。腐植物部分が混入する。 10.8~10.94、12~12.1m、砂質土。 1.5m付近にて2~5cm程度の細砂レンス状及び塊状にて混入。 13.5~13.85m、砂質土。		20	20	6	50								
7.31										43	7	1	50								
8.31										37	15	2	50								
8.26										31	19	5	50								
9.27										32	18	4	50								
10.30										29	22	6	50								
11.15										33	17	3	50								
12.31										32	18	4	50								
13.28										33	17	3	50								
14.13										24	26	8	50								
15.13	11.65	14.85		砂	乳灰			(浮石砂) 含水量中位。		36	14	2	50								
16.13	1.30	16.35		軟岩	暗灰			(シルト岩) 浮石、砂レンで状若干混入する。		27	13	3	50								
17.06	0.66	16.95		細砂	暗灰			含水量多量であり浮石を混入する。		30	20/3	30/13	50								
18.13										40	19	2	50								
19.28								(シルト岩) 17.4~17.85m、砂質土。浮石少量混入する。 18.1~18.3m、細砂。浮石混入する。若干の砂を所々に混入する。 19~21mであり、少量の腐植物を混入する。		38	12	3	50								
20.13										41	9	1	50								
21.13	4.75	21.75								38	12	2	50								
22.13	1.00	22.75		細砂	暗灰			含水量中位。浮石砂を混入する。粒子均一である。		36	14	3	50								
23.03	0.24	23.03		軟岩	暗灰			(シルト岩) 23.25~23.5mシルト岩。細砂不均一であり、浮石を混入する。含水量多い。		39	12	2	50								
24.03	0.85	23.88		細砂	暗灰					40	10	2	50								
25.13										29	25	3	50								
26.13								(シルト岩) 均一なシルト岩層であり、10~20cm程度の塊状コアとなる。腐植物に起因したクラックがあり一部浮石を混入している。		39	11	2	50								
27.13										44	6	1	50								

(参考60-1)

27					4	25			男々に状況にクランクがあり一部路名を誤入している。	27.43	14	6	50							
28	5.21	29.04								27.28	1	11	11	136						

※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置		北緯
発注機関	調査期間		東経
調査業者名	主任技師	現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	44.70m*	角	コア鑑定者
総掘進長	17.21m	度	ハンマー落下用具
		ポンプ	
		使用機種	試錐機
		エンジン	

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試験採取番号	室内試験 (月日)	掘進
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値					
1	0.70	0.70			埋土	黄褐色			砂、ガラで成る。粘土、ガラで成る。	10.15	4	2	5	50					
2					赤褐色				(浮石、腐植質粘土) 浮石、スコリア、腐植物混入。粘粒含量多量。	10.15	7	14	19	49					
3	2.20	2.50	3.20		硬質粘土	黄褐色			(硬質) スコリア、腐植物混入。若干砂分を含む。	10.15	18	23	9	59					
4					砂質軟岩	暗灰色			(砂質シルト岩) 雲母片、浮石、少量の腐植物混入。全粒に砂分多量。	10.15	13	20	17	59					
5										10.15	16	23	11	59					
6										10.15	16	23	11	59					
7										10.15	15	24	11	59					
8										10.15	18	27	5	59					
9										10.15	14	26	10	59					
10										10.15	13	24	13	59					
11										10.15	15	24	11	59					
12	8.20	11.50			細砂	暗灰色			常水中位。	11.20	11	23	16	59					
13	0.10	12.00			砂質軟岩	暗灰色			(砂質シルト岩) 雲母片、浮石、腐植物混入。12.15~12.30砂分多量。	12.30	23	27	9	59					
14	0.60	13.10			細砂	暗灰色			雲母片混入。粒子均一。	13.20	22	28	59						
15										14.00	21	26	59						
16										14.20	24	28	59						
17	3.70	17.20			砂質軟岩	暗灰色			(砂質シルト岩) 11.3~11.5m、11.7~11.85m、15.9~16.05m、細砂。	15.00	26	24	59						
										16.20	26	25	59						
										17.20	26	25	59						

※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考60-2)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo	
---------	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置					北緯	
発注機関						東経	
調査業者名	主任技師					現代場	ボーリング責任者
孔口標高	60.41m	角	180°	方	北	コ	ア
総掘進長	98.00m	度	上 90°	向	270°	鑑	定
		度	下 0°	向	180°	者	
						ハンマー	
						落下用具	
						ポンプ	
						使用機種	
						エンジン	

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状 (m)	上質 (m)	相対 密度	相対 稠度	相対 稠度	相対 稠度	相対 稠度	相対 稠度	相対 稠度	相対 稠度	相対 稠度	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	試料採取 番号	室内試験 (月)	掘進 日					
													深 度 (m)	打撃回数 0 10 20	打撃回数 30 40 50	貫入量 (cm)											
1													1.15	4	7	4	15										
2													1.95	3	3	3	9										
3													2.45	3	3	3	9										
4													3.15	2	3	3	8										
5													3.45	2	6	15	23										
6													4.15	2	6	15	23										
7													4.45	2	6	15	23										
8													5.15	16	24	10	50										
9													5.85	16	24	10	50										
10													6.37	21	29	9	50										
11													7.15	21	29	9	50										
12													7.37	18	32	9	50										
13													9.37	18	32	9	50										
14													10.15	19	26	5	50										
15													10.36	19	25	6	50										
16													11.37	19	25	6	50										
17													12.15	18	25	7	50										
18													13.36	21	29	9	50										
19													13.15	21	29	9	50										
20													13.33	21	29	9	50										
21													14.15	25	25	8	50										
22													15.15	21	24	5	50										
23													15.37	22	25	8	50										
24													16.15	22	25	8	50										
25													16.33	16	16	23	50										
26													17.15	11	16	23	50										
27													17.45	16	23	11	50										
28													18.10	16	23	11	50										
29													18.33	21	29	8	50										
30													19.23	22	28	8	50										
31													20.15	22	28	8	50										
32													20.23	22	28	8	50										
33													21.15	12	20	18	50										
34													22.15	14	16	18	50										
35													23.15	14	16	18	50										
36													23.33	16	20	14	50										
37													24.05	16	20	14	50										
38													24.30	17	21	12	50										
39													25.15	24	26	7	50										
40													25.30	24	26	7	50										
41													26.17	13	25	12	50										
42													27.05	13	25	12	50										
43													27.20	13	25	12	50										

深度 (m)	層名	土質	特徴	試験結果	試験項目	試験結果	試験項目	試験結果	試験項目	試験結果	試験項目	試験結果	試験項目	試験結果	試験項目	試験結果	試験項目	試験結果	試験項目	試験結果	
68.00	同定シルト	細砂	固結した	68.00	68.20	32	18	50	15	100											
69.00	同定シルト	細砂	固結した	69.00	69.20	17	33	50	20	75											
70.00	同定シルト	細砂	固結した	70.00	70.20	16	26	50	20	88											
71.00	同定シルト	細砂	固結した	71.00	71.20	20	30	50	18	83											
72.00	同定シルト	細砂	固結した	72.00	72.20	19	31	50	20	75											
73.00	同定シルト	細砂	固結した	73.00	73.20	17	30	50	21	71											
74.00	同定シルト	細砂	固結した	74.00	74.20	50		50	10	150											
75.00	同定シルト	細砂	固結した	75.00	75.20	19	31	50	18	83											
76.00	同定シルト	細砂	固結した	76.00	76.20	19	31	50	18	83											
77.00	同定シルト	細砂	固結した	77.00	77.20	19	31	50	18	83											
78.00	同定シルト	細砂	固結した	78.00	78.20	19	31	50	18	83											
79.00	同定シルト	細砂	固結した	79.00	79.20	50		50	10	150											
80.00	同定シルト	細砂	固結した	80.00	80.20	19	31	50	18	83											
81.00	同定シルト	細砂	固結した	81.00	81.20	19	31	50	18	83											
82.00	同定シルト	細砂	固結した	82.00	82.20	19	31	50	18	83											
83.00	同定シルト	細砂	固結した	83.00	83.20	19	31	50	18	83											
84.00	同定シルト	細砂	固結した	84.00	84.20	19	31	50	18	83											
85.00	同定シルト	細砂	固結した	85.00	85.20	19	31	50	18	83											
86.00	同定シルト	細砂	固結した	86.00	86.20	19	31	50	18	83											
87.00	同定シルト	細砂	固結した	87.00	87.20	19	31	50	18	83											
88.00	同定シルト	細砂	固結した	88.00	88.20	19	31	50	18	83											
89.00	同定シルト	細砂	固結した	89.00	89.20	15	29	50	21	71											
90.00	同定シルト	細砂	固結した	90.00	90.20	15	26	50	23	65											
91.00	同定シルト	細砂	固結した	91.00	91.20	15	26	50	23	65											
92.00	同定シルト	細砂	固結した	92.00	92.20	15	26	50	23	65											
93.00	同定シルト	細砂	固結した	93.00	93.20	15	26	50	23	65											
94.00	同定シルト	細砂	固結した	94.00	94.20	15	26	50	23	65											
95.00	同定シルト	細砂	固結した	95.00	95.20	15	26	50	23	65											
96.00	同定シルト	細砂	固結した	96.00	96.20	15	26	50	23	65											
97.00	同定シルト	細砂	固結した	97.00	97.20	15	26	50	23	65											
98.00	同定シルト	細砂	固結した	98.00	98.20	15	26	50	23	65											
99.00	同定シルト	細砂	固結した	99.00	99.20	15	26	50	23	65											

(JR-61)

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	電話	主任技師	現場代理人	口ア 鑑定者
ボーリング 責任者	ハンマー 落下用具		ポンプ	
孔口標高 TP 62.84m	角 上 下 度	方 向	地盤 勾配	使用 機種
総掘進長 9.20m	度	向	鉛直 90	エンジン

標尺 m	層厚 m	柱状 図	土質 区分	色相 対調 度	相対 稠度	記 事	粒度試験による土質区分	孔内水位 測定月日	標準貫入試験			N 値	原位置試験 深 度 m	試験名 及び結果	試料採取 深 度 m	採取 番号	室内 進 月 日
									深 度 m	10cm毎の 打撃回数	打撃 回数 / 貫入量						
1									1.00	7	4	5	15				
2			埋土	暗灰褐					1.30	3	2	2	7				
3									2.00	3	2	2	7				
4	58.84	4.00							2.30	2	3	3	8				
5			団粒シルト	暗灰					3.00	2	3	3	8				
6									4.00	22	28	4	50				
7									4.15	23	27	4	50				
8									5.00	23	27	4	50				
9	53.64	5.20							6.00	22	21	7	50				
10									6.25	22	21	7	50				
11									7.00	23	27	4	50				
12									7.20	23	27	4	50				
13									8.00	27	21	2	50				
14									8.21	27	21	2	50				
15									9.00	21	29	5	50				
									9.20	21	29	5	50				

(参考61-1)

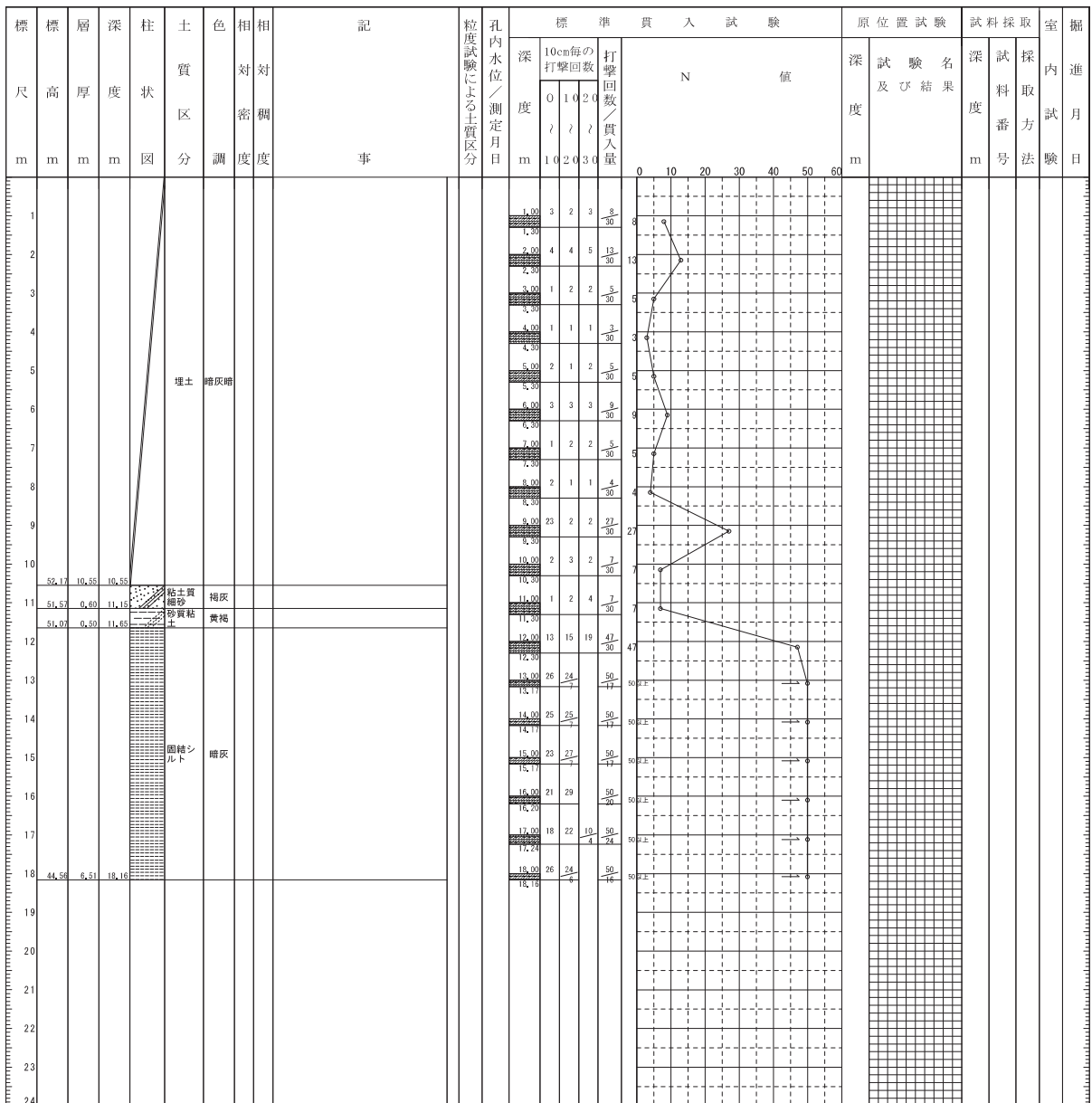
ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	電話	主任技師	現場代理人	口鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 62.72m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 水平0° 鉛直90°	使用試験機 エンジン
総掘進長	18.16m	ハンマー 落下用具		ポンプ	



(参考61-2)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	TP +60.729m	角	180° 上 0° 下	方
総掘進長	20.35m	度	0°	向
			北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配
			鉛直 0° 水平 90°	使用機種
				エンジン
				ハンマー 落下用具 ポンプ

標尺 (m)	層高 (m)	厚度 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N値	原位置試験 試験名 および結果	試料採取 深 (m) 試料番号	室内試験 採取方法 ()	掘進 月日
									深 (m)	10cmごとの 打撃回数	10	20					
1	59.43	1.30	1.30	盛土 (硬質土)	褐灰		砂礫状をなし粒径は40mm以下 細粒分の混入は少ない		2.13	2	3	3	8				
2									2.43								
3							ボソボソした団粒状を呈する降下火山灰層であり比較的均質である		3.13	2	2	1	4				
4									3.48								
5									4.13	1	2	1	3				
6					褐 / 灰褐 / 暗褐	ローム	7.5m付近、7.70~8.50m間にφ1mm以下の軽石粒を多く点在する		4.46								
7									5.13	2	1	3	6				
8									5.43								
9									6.13	1	1	2	2				
10							10.4m付近~57m間にφ2mm以下の軽石粒が集中する		6.13	2	1	3	6				
11							10m付近以降は灰褐色となる		6.43								
12							11m付近は粘土化が進んでいる		6.43								
13	48.13	11.30	12.60	砂礫	暗褐灰		12.1m以深では暗褐色となり水中堆積火山灰層である		7.43	1	2	2	5				
14	47.63	0.50	13.10	細砂	暗灰		隙率は2~20mm程度で隙間は中位 面円礫を主とし基質は細粒分混じり砂よりなる		7.43	1	2	2	5				
15	46.08	1.55	11.63				全体に比較的均質である		8.13	1	2	2	5				
16							13.65~14.00m間は泥質である		8.47	3	3	3	9				
17									9.13	3	3	3	9				
18									9.43								
19									10.13	2	1	2	5				
20									10.43	2	1	2	5				
									10.43	2	1	2	5				
									11.13	1	1	1	2				
									11.43								
									12.13	2	1	3	6				
									12.47	11	24	15	50				
									13.13	11	24	15	50				
									13.41								
									14.13	2	4	6	12				
									14.48								
									15.13	14	18	18	50				
									15.42								
									16.13	16	24	10	50				
									16.39								
									17.13	15	30	5	50				
									17.37								
									18.13	15	25	10	50				
									18.38								
									19.13	17	23	10	50				
									19.37								
									20.13	15	35	5	50				
									20.35								

(JR-62)

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	電話	主任技師	現場代理人	口鑑定者
ボーリング責任者	ハンマー落下用具		ポンプ	
孔口標高	TP 38.34m	角	180° 上 90° 下 0°	方
総掘進長	12.23m	度	0°	向
地盤勾配	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	使用機種	エンジン	試験機

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	事	孔内水位/測定日	標準貫入試験			原位置試験	試料採取	室内試験	掘進日									
												深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量													
m	m	m	m									度	0	10	20	30	40	50	60	m							
1	35.94	1.40	1.40		盛土(ローム状粘土)							1.15	2														
2	36.54	0.40	1.80		盛土(細砂)							1.41	1														
3					砂質シルト							2.40	1														
4	34.54	2.00	3.80		砂							3.15	1														
5	34.29	0.30	4.10		砂質シルト							3.49	1														
6	33.64	0.60	4.70		細砂							4.15	1														
7	31.54	2.10	6.80		泥岩							4.91	1														
8												5.15	26														
9												6.15	27														
10												6.45	30														
11												7.15	50														
12	26.11	5.43	12.23									8.15	50														
13												8.24	50														
14												8.91	50														
15												9.15	50														
16												8.29	50														
17												10.15	50														
18												10.29	50														
												11.15	50														
												11.24	50														
												12.15	50														
												12.26	50														

(参考62-1)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

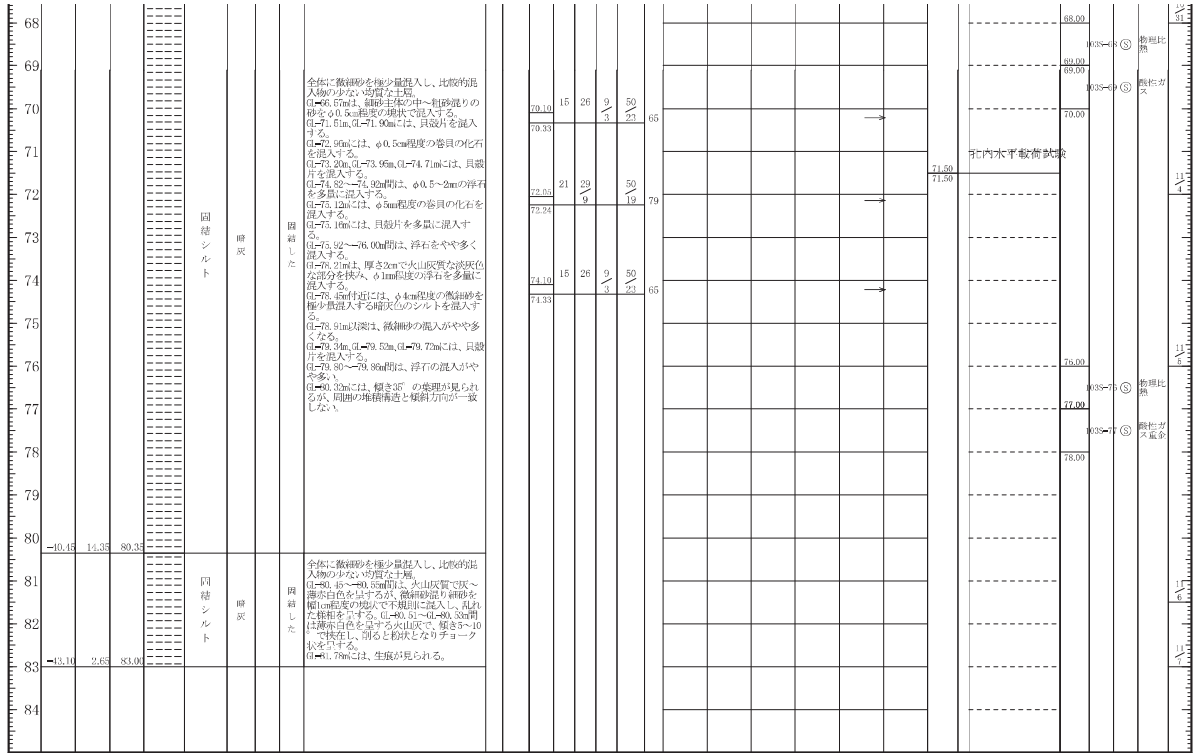
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯
発注機関	調査期間										東経
調査業者名	主任技師										現代場
孔口標高	39.90m	角	180°	方	北0°	地盤勾配	使用機種	試験機	ハンマー	ポンプ	ボーリング責任者
総掘進長	33.00m	度	上90°	向	西270°	鉛直	エンジン				
		度	下0°		東90°	0°					

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進
										深 (m)	打撃回数	貫入量 (cm)	N値				
1				黄泥					細砂	1.15	2	5	4	11			
2				黄泥					細砂	1.95	4	8	3	15			
3				黄泥					細砂	2.45	2	1	3	6			
4				黄泥					細砂	3.15	2	1	3	6			
5				黄泥					細砂	3.45							
6	34.08	5.82	5.82	黄泥					細砂	4.15	1	1	1	3			
7				黄泥					細砂	4.45							
8				黄泥					細砂	5.15	1	1	1	3			
9				黄泥					細砂	5.45							
10	30.38	3.73	9.5	黄泥					細砂	5.85	17	20	13	50			
11	29.95	0.41	9.9	黄泥					細砂	8.15							
12				黄泥					細砂	8.41							
13				黄泥					細砂	11.15	15	20	15	50			
14				黄泥					細砂	11.40							
15	27.26	2.63	12.6	黄泥					粗砂	12.63	11	18	21	50			
16	27.08	0.20	12.8	黄泥					粗砂	13.10							
17				黄泥					粗砂	13.30	22	28	7	50			
18				黄泥					粗砂	14.10	20	26	4	50			
19				黄泥					粗砂	14.31							
20	24.37	2.63	15.3	黄泥					粗砂	15.10	13	24	13	50			
21				黄泥					粗砂	15.30							
22				黄泥					粗砂	16.15	12	10	17	39			
23				黄泥					粗砂	16.45							
24				黄泥					粗砂	17.03	11	26	13	50			
25				黄泥					粗砂	17.30							
26				黄泥					粗砂	18.13	10	12	16	38			
27				黄泥					粗砂	18.45							
28				黄泥					粗砂	19.13	11	11	16	38			
29	19.27	5.10	20.4	黄泥					粗砂	19.45							
30				黄泥					粗砂	20.13	11	14	16	41			
31				黄泥					粗砂	20.48							
32				黄泥					粗砂	21.10	19	31	9	50			
33	18.22	1.05	21.48	黄泥					粗砂	21.29							
34				黄泥					粗砂	22.13	13	25	12	50			
35				黄泥					粗砂	23.10							
36				黄泥					粗砂	23.15	40	10	9	50			
37				黄泥					粗砂	23.27							
38				黄泥					粗砂	24.13	8	14	28	50			
39	15.06	3.22	24.9	黄泥					粗砂	24.41							
40				黄泥					粗砂	24.91							
41				黄泥					粗砂	25.30	13	30	7	50			
42				黄泥					粗砂	25.52							
43				黄泥					粗砂	26.05	17	26	7	50			
44				黄泥					粗砂	26.38							
45				黄泥					粗砂	27.05	19	24	7	50			
46				黄泥					粗砂	27.28							

層番号	層名	種類	施工	備考	高さ	質量	厚さ	密度	その他	試験	試験結果
27											
28											
29	固結シルト	砂	時灰	固結した	4.28	10.24	35.6				
30	固結シルト	砂	時灰	固結した	1.00	0.33	35.32				
31	固結シルト	砂	時灰	固結した	3.47	0.63	36.4				
32	固結シルト	砂	時灰	固結した	3.68	1.11	39.24				
33	固結シルト	砂	時灰	固結した							
34	固結シルト	砂	時灰	固結した							
35	固結シルト	砂	時灰	固結した							
36	固結シルト	砂	時灰	固結した							
37	固結シルト	砂	時灰	固結した							
38	固結シルト	砂	時灰	固結した							
39	固結シルト	砂	時灰	固結した	0.89	2.20	39.11				
40	固結シルト	砂	時灰	固結した	0.43	0.23	39.45				
41	固結シルト	砂	時灰	固結した	-0.10	0.53	40.00				
42	固結シルト	砂	時灰	固結した	-1.15	1.33	41.35				
43	固結シルト	砂	時灰	固結した	-0.03	0.47	41.82				
44	固結シルト	砂	時灰	固結した							
45	固結シルト	砂	時灰	固結した	-1.81	2.89	44.71				
46	固結シルト	砂	時灰	固結した	-5.74	0.93	45.65				
47	固結シルト	砂	時灰	固結した							
48	固結シルト	砂	時灰	固結した							
49	固結シルト	砂	時灰	固結した							
50	固結シルト	砂	時灰	固結した							
51	固結シルト	砂	時灰	固結した							
52	固結シルト	砂	時灰	固結した	-2.10	6.34	52.00				
53	固結シルト	砂	時灰	固結した	-13.32	1.22	53.22				
54	固結シルト	砂	時灰	固結した							
55	固結シルト	砂	時灰	固結した							
56	固結シルト	砂	時灰	固結した							
57	固結シルト	砂	時灰	固結した							
58	固結シルト	砂	時灰	固結した							
59	固結シルト	砂	時灰	固結した							
60	固結シルト	砂	時灰	固結した							
61	固結シルト	砂	時灰	固結した							
62	固結シルト	砂	時灰	固結した							
63	固結シルト	砂	時灰	固結した							
64	固結シルト	砂	時灰	固結した							
65	固結シルト	砂	時灰	固結した							
66	固結シルト	砂	時灰	固結した	-26.10	12.78	66.00				
67	固結シルト	砂	時灰	固結した							
68	固結シルト	砂	時灰	固結した							



(JR-63)

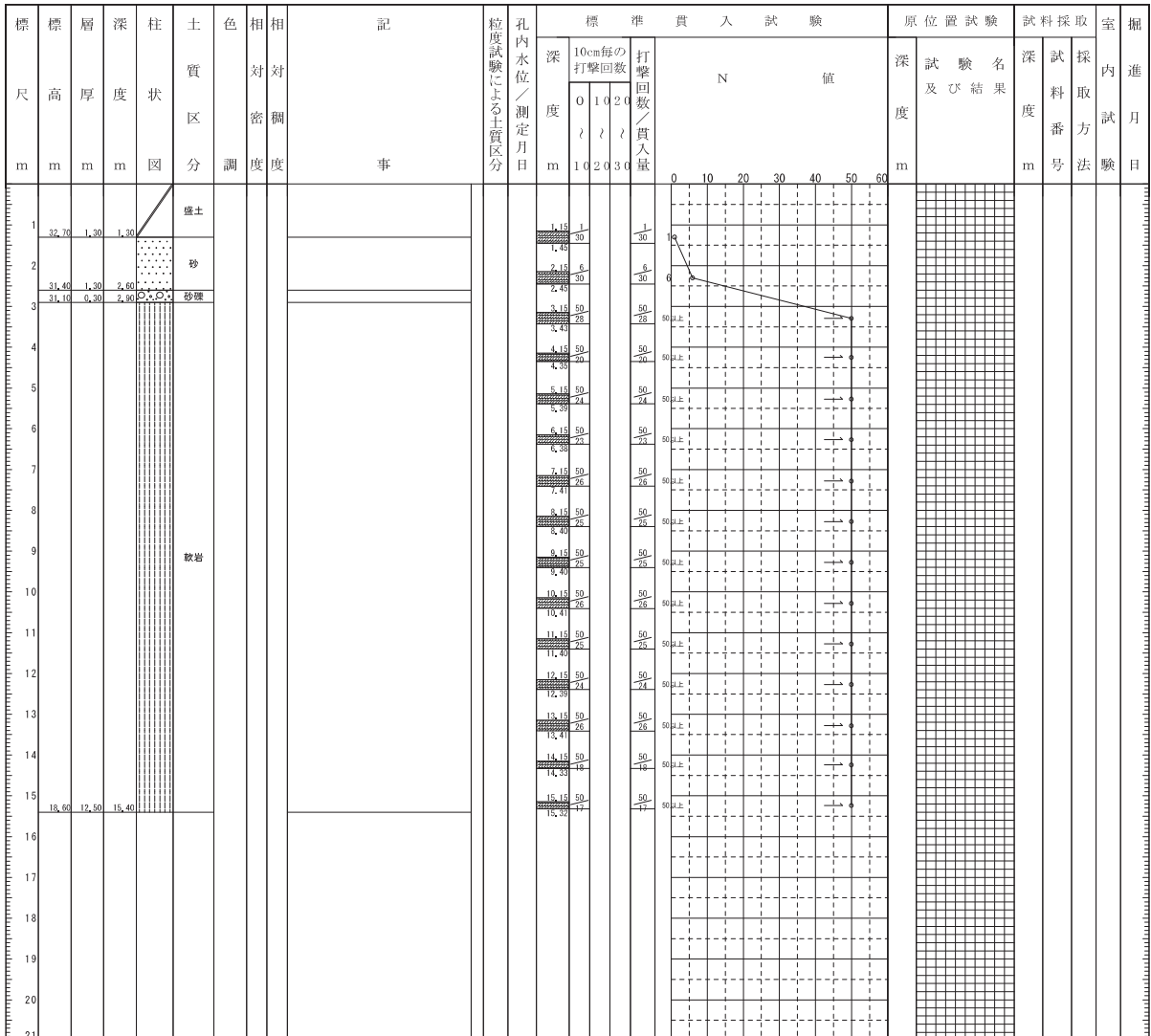
ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師	現代場代理人	コ監定者	ボーリング責任者	
孔口標高 TP 34.00m 総掘進長 15.40m	角 180° 上下 90° 度 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 0° 水平 90°	使用機種 試錐機 エンジン	ハンマ 落下用具 ポンプ



(参考63-1)

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	主任技師	現場代理人	コピ定者	ボーリング責任者
孔口標高 TP 35.90m	角 180° 上下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 0° 水平 90°	使用機種 試験錐機 エンジン
総掘進長 10.30m	ハンマ落下用具		ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状 図	土質 区分	色 調	相対 密度	相対 稠度	記 事	粒度試験による土質区分	孔内水位 測定月日	標準貫入試験			N 値	原位置試験		試料採取 番号	採取 方法	室内 試験	掘進 月日
												深 度 m	10cm毎の 打撃回数 0 1 2 3 4	打撃回数 / 貫入量 30 40 50 60		深 度 m	試験名 及び結果				
35.70	0.20	0.20			表土							1.15	3	30	3						
					腐植土 流り粘							1.45	2	30	2						
33.20	2.50	2.70			硬凝り シルト 質砂							2.15	2	30	2						
												2.45	5	30	5						
32.10	1.10	3.80										3.15	5	30	5						
												3.45	5	30	5						
					泥岩							4.15	50	29	50						
												4.44	50	29	50						
												5.15	50	20	50						
												5.45	50	16	50						
												6.15	50	16	50						
												6.33	50	16	50						
												7.15	50	20	50						
												7.55	50	20	50						
												8.15	50	16	50						
												8.34	50	16	50						
												8.45	50	16	50						
												9.33	50	16	50						
25.60	6.50	10.30										10.15	50	16	50						
												10.31	50	16	50						

(参考63-2)

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNo															
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 _____

シートNo _____

ボーリング名	_____											調査位置		北緯		東経	
発注機関	_____											調査期間		_____		_____	
調査業者名	電話	_____		主任技師				現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者					
孔口標高	38.30m*	角			方	北0° 東90° 西270° 南180°		地盤勾配	鉛直90°		使用機種	試錐機	ハンマー	落下用具			
総掘進長	11.30m	度	_____		向	_____		_____	_____		_____	_____	_____	_____			

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対調	相対稠密度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試験番号	採取方法	室内試験 (月日)	掘進	
												深 (m)	10cmごとの打撃回数	0	10	20							30
1	1.10	1.10		盛土	茶褐色				(ローム)														
2	1.24	2.30		盛土	黄褐色				(粘土質シルト) 上部20~30cm位は暗灰色で腐植物混入し、また酸化する。含水量多い。以て全体的に酸化し砂分を混じる。														
3	0.61	2.90		盛土	暗褐色				(砂質粘土) 粘着性強い。腐植物少量混じる。														
4	1.00	3.90		盛土	暗褐色				(砂質シルト) 全体的に腐植物少量混じる。														
5	0.30	4.20		砂礫	暗褐色				φ5~60mm位の卵田礫。														
6	2.85	7.05		砂質軟岩	暗緑色				(砂質土丹) 腐植物・浮石を混じる。所々、砂分多く含む。鋭角に亀裂入る。														
7	0.45	7.50		細砂	暗緑色	非常に密			砂粒径均一で、微細砂状。若干固結している。含水量少ない。														
8				砂質軟岩	暗緑色				(砂質土丹) 所々砂分多く含む。全体的に、腐植物・浮石少量混じる。亀裂若干、認められる。														
9				砂質軟岩	暗緑色				(砂質土丹) 所々砂分多く含む。全体的に、腐植物・浮石少量混じる。亀裂若干、認められる。														
10				砂質軟岩	暗緑色				(砂質土丹) 所々砂分多く含む。全体的に、腐植物・浮石少量混じる。亀裂若干、認められる。														
11				砂質軟岩	暗緑色				(砂質土丹) 所々砂分多く含む。全体的に、腐植物・浮石少量混じる。亀裂若干、認められる。														

※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図 (電子国土Web) より取得した値を表示しています。

(参考63-3)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo										
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

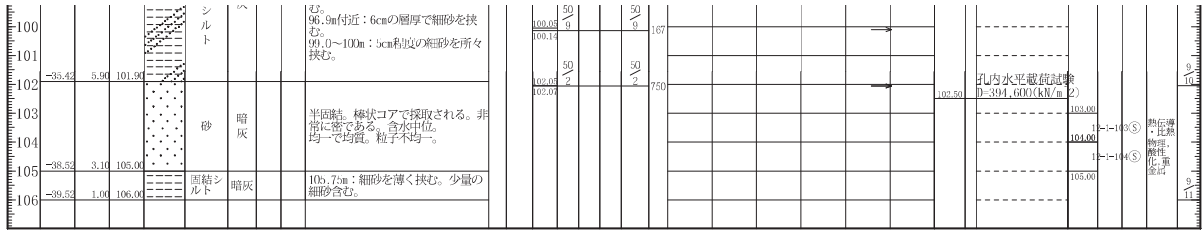
シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師			現代場	ボーリング責任者
孔口標高	66.48m	角	180° 上 90°	方	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°
総掘進長	106.00m	度	0°	向	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°
				地盤勾配	鉛直 0°
				使用機種	エンジン
				現代場	コア鑑定者
				ハンマー	落下用具
				ポンプ	

標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名	試験結果	採取番号	室内試験	掘進月日	
									深さ (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20
64.88	1.60		埋土	暗黄灰			0.0~0.4m: アスファルト、碎石、ガラ混じり細砂 0.4~1.15m: ガラ混じり砂質粘土 1.15~1.60m: 凝結シリコン		3.15	30	1	1	1	1						
61.48	3.40		ローム	暗褐			含水中位 炭化物及び浮石多く混入する。 4m以下均一となる。	7.29 13.14	3.45	15	1	1	1	1						
59.78	1.70		砂質粘土	暗黄灰			凝結質粘土。粒状に多く混る。 細砂が多く混じる。	7.29 13.14	6.45	10	13	12	30							
								7.29 13.14	7.45	10	13	12	30							
								7.29 13.14	9.15	23	27	30	30							
								7.29 13.14	10.15	16	26	8	4	50						
								7.29 13.14	10.39	20	26	4	1	50						
								7.29 13.14	12.15	20	26	4	1	50						
								7.29 13.14	12.36	16	24	10	20							
								7.29 13.14	14.15	13	22	15	6	50						
								7.29 13.14	14.41	16	24	10	20							
								7.29 13.14	15.15	16	22	12	30							
								7.29 13.14	16.15	16	22	12	30							
								7.29 13.14	16.41	13	18	19	6	50						
								7.29 13.14	17.15	13	18	19	6	50						
								7.29 13.14	17.41	10	15	25	9	50						
								7.29 13.14	18.15	10	15	25	9	50						
								7.29 13.14	18.41	12	38	9	20							
								7.29 13.14	19.15	18	30	8	18							
								7.29 13.14	20.15	36	36	14	20							
								7.29 13.14	21.15	50	50	13	30							
								7.29 13.14	21.28	50	6	6	6							
								7.29 13.14	22.15	50	6	6	6							
								7.29 13.14	23.15	50	6	6	6							
								7.29 13.14	24.15	50	3	3	8							
								7.29 13.14	24.29	50	1	1	1							
								7.29 13.14	25.15	50	1	1	1							
								7.29 13.14	26.34	32	18	3	30							
								7.29 13.14	26.05	30	20	30	13							
								7.29 13.14	26.18	30	20	30	13							
								7.29 13.14	27.05	4	1	1	1							
								7.29 13.14	27.19	50	30	30	10							
								7.29 13.14	28.05	44	6	1	1							
								7.29 13.14	29.05	44	6	1	1							
								7.29 13.14	29.16	50	30	30	10							
								7.29 13.14	30.05	34	16	5	13							
								7.29 13.14	30.15	34	16	5	13							
								7.29 13.14	31.15	31	19	5	15							
								7.29 13.14	31.28	21	29	5	20							
								7.29 13.14	32.05	21	29	5	20							
								7.29 13.14	33.15	27	23	5	30							
								7.29 13.14	34.05	19	8	5	15							
								7.29 13.14	34.20	19	8	5	15							
								7.29 13.14	35.05	38	12	3	30							
								7.29 13.14	36.23	38	12	3	30							
								7.29 13.14	36.05	3	3	3	13							
								7.29 13.14	36.18	50	3	3	8							
								7.29 13.14	37.05	41	9	2	20							
								7.29 13.14	38.15	20	2	2	12							
								7.29 13.14	39.05	20	2	2	12							
								7.29 13.14	39.14	42	8	1	11							
								7.29 13.14	40.05	38	12	1	11							
								7.29 13.14	40.18	38	12	1	11							

	15.48	13.20	51.06																
40																			
41																			
42																			
43																			
44																			
45																			
46																			
47																			
48																			
49																			
50																			
51	14.78	0.70	51.76																
52																			
53																			
54																			
55																			
56																			
57																			
58																			
59																			
60																			
61																			
62																			
63																			
64																			
65																			
66																			
67																			
68																			
69																			
70																			
71																			
72																			
73																			
74																			
75																			
76																			
77																			
78																			
79																			
80																			
81																			
82																			
83																			
84																			
85																			
86																			
87																			
88																			
89																			
90	-23.52	38.30	90.00																
91																			
92																			
93																			
94																			
95																			
96	-29.52	6.00	96.00																
97																			
98																			
99																			
100																			

(JR-64)



(JR-64)

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	電話	主任技師	現代理人	場人
電話			コ	ア
コ	継	定	者	ボーリング責任者
ハンマ	ー	落	下	用
具	ポンプ			
使用機種	エンジン			
試錐機				
知	水	平	0°	
知	知	90°		
方	北	0°	東	
方	西	180°	南	
角	180°	上	下	90°
度	0°			
TP	59.50m			
総掘進長	8.31m			

標尺	標高	層厚	深	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	事	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験		原位置試験	試料採取	室内	掘進
													深	打撃回数/貫入量				
m	m	m	m									m	10cm毎の打撃回数	N	深	度	探	進
													0	値	度	号	方	日
1	38.00	1.50	1.50		盛土							1.15	5					
												1.45	30					
2	36.80	1.20	2.70		土丹							2.15	50					
												2.38	71					
3					細砂							3.15	50					
												3.34	16					
4	35.00	1.80	4.50									4.15	50					
												4.37	17					
5												5.00	50					
												5.15	30					
												5.35	50					
6					土丹							6.15	50					
												6.41	26					
7												7.15	50					
												7.37	27					
8	31.19	3.81	8.31									8.15	50					
												8.31	16					
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		

(参考64-1)

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNo																		
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 _____

シートNo _____

ボーリング名	調査位置										北緯							
発注機関	調査期間										東経							
調査業者名	主任技師					現場代理人					コア鑑定者		ボーリング責任者					
孔口標高	TP	+42.645m		角	180°	上	90°	方	北	0°	東	90°	地盤勾配	鉛直	90°	使用機種	ハンマー落下用具	
総掘進長	12.00m		度	0°	下	0°	向	西	270°	南	180°	東	90°	北	0°	エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相對密度	相對稠度	記号	事件	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進月日	
											深 (m)	0	10	20							30
1	42.35	0.30	0.30	アスファルト	黒灰					9/29 29											
2				埋土 (雑質土)	暗灰				砂礫状をなし、礫径は2~30mm程度で礫量は中位、木片等の人工物を点在する。3.80m付近はシルト塊のみ。	3.13	6	4	2	12							
3										3.45											
4	38.65	3.70	4.00	細砂	暗灰				4.4m付近は泥質部を主とする、処々泥質部を不規則に介在する。	4.13	10	15	20	45							
5										4.45						4.60	川崎	②	物理		
6	36.75	1.90	3.50						φ3mm以下の軽石粒を点在する。	5.13	10	11	13	34							
7										5.45											
8				固結シルト	暗灰				7.78~8.8m間に有機物をレンズ状に2枚はさまむ。 8.60~7.6m間は細砂薄層のはさまみ。上下端は鮮明で傾斜10°。 9.44~5.9m間には有機物薄層~レンズが集中し、軽石粒も混入する。 9.68m付近に軽石粒が集中する。 9.8m付近には有機物のヒゲ状レンズが集中する。	6.13	10	15	25	59							
9										6.43											
10										7.13	14	18	15	59							
11	30.65	6.14	12.00						11.3m付近~6.5m間は細砂のはさまみ、下端は鮮明で凹凸を伴う。	7.41											
										8.13	18	20	12	59							
										8.39											
										9.13	12	18	20	59							
										9.44											
										10.13	18	18	14	59							
										11.13	10	25	15	59							
										11.40											

(JR-65)

ボーリング柱状図

調査名

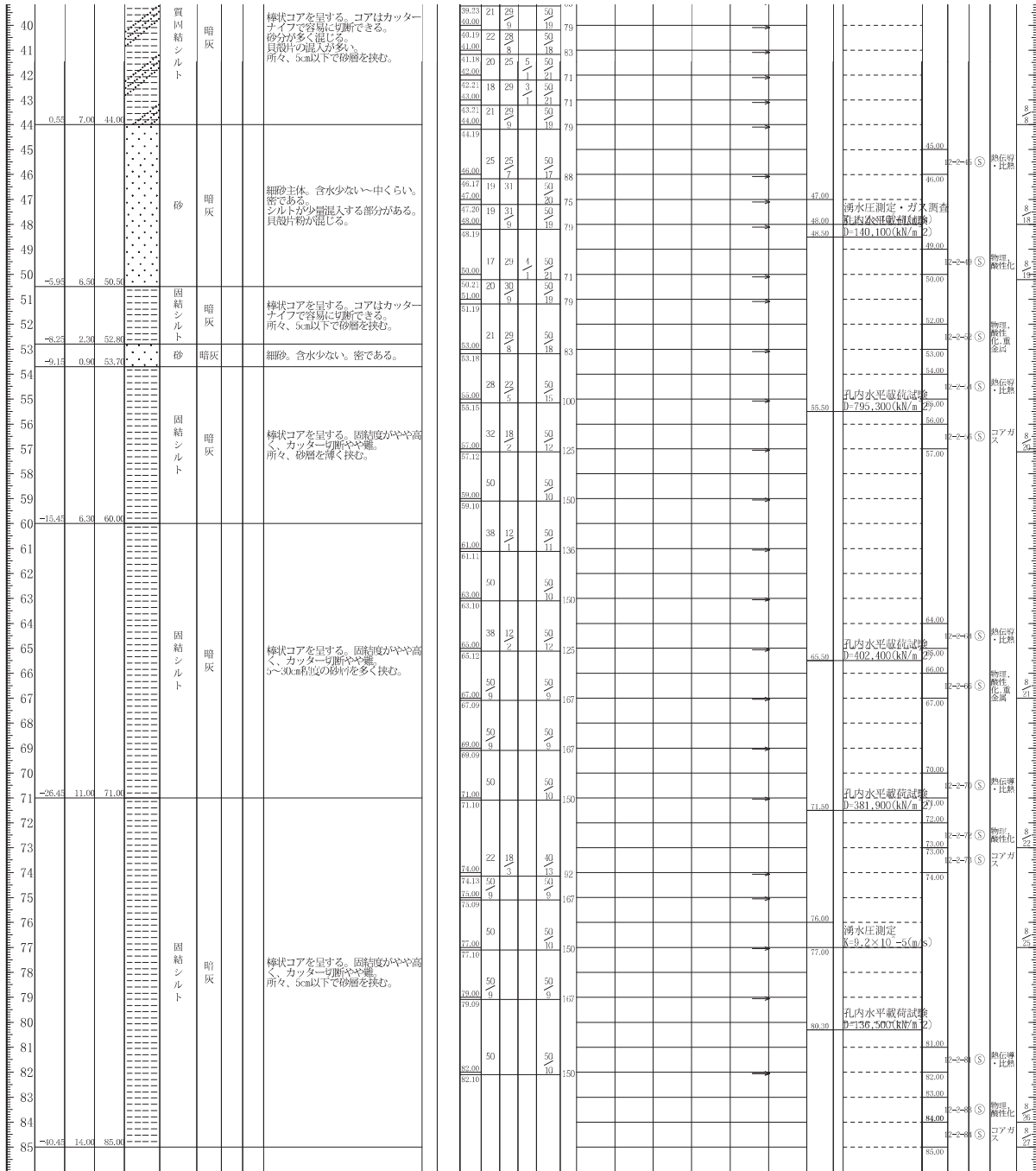
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯						
発注機関	調査期間			東経						
調査業者名	主任技師			ボーリング責任者						
孔口標高	44.55m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	コアア 鑑定者	ハンマー 落下用具
総掘進長	85.00m	度	0°	向				エンジン		ポンプ

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	採取 深 (m)	採取 番号	室内試験 採取方法	掘進 月日
										深 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値						
1					盛土	褐灰			シルト混じり細砂。含水中位。	1.63 1.95	1	1	3						
2	42.10	2.45	2.4		砂質シルト 混じり 細砂	褐灰			粘性部強く含水中位。	2.48 3.15	1	3	3						
3	41.65	0.45	2.94		砂質シルト 混じり 細砂	褐灰			細砂。シルトが少量混入する。 3.4~3.7m: 0.5~1.0mm部が 多く混入する。	3.43 4.12	17	25	8						
4	40.85	0.80	3.7		固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	4.37 5.12	13	18	19						
5					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	5.42 6.18	20	24	6						
6	37.18	3.67	7.3		固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	7.18 7.37	20	24	6						
7					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	8.15 9.12	18	24	8						
8					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	9.38 10.15	17	23	10						
9					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	10.38 11.15	16	23	11						
10					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	11.38 12.15	21	29	9						
11					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	12.37 13.15	18	24	8						
12					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	13.37 14.15	17	23	10						
13					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	14.38 15.15	18	25	7						
14					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	15.37 16.15	19	25	6						
15					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	16.37 17.15	17	24	9						
16					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	17.37 18.15	19	26	5						
17					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	18.38 19.15	20	30	7						
18					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	19.38 20.15	27	33	7						
19					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	20.32 21.15	25	25	7						
20					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	21.32 22.15	28	22	5						
21					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	22.30 23.15	28	22	4						
22	22.55	14.63	22.0		固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	23.29 24.15	26	21	4						
23					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	24.29 25.15	18	26	6						
24					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	25.23 26.00	19	31	7						
25					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	26.20 27.00	17	29	4						
26					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	27.21 28.00	17	33	7						
27					固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	28.20 29.00	18	25	7						
28	16.55	6.00	28.0		砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	29.22 30.00	15	25	10						
29					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	30.23 31.00	14	23	12						
30					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	31.23 32.00	16	28	6						
31					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	32.22 33.00	18	28	4						
32					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	33.21 34.00	19	29	2						
33					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	34.21 35.00	20	30	1						
34					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	35.20 36.00	21	29	6						
35					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	36.20 37.00	18	32	7						
36	7.55	9.00	37.0		砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	37.20 38.00	14	22	14						
37					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	38.20 39.00	15	21	14						
38					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	39.23 40.00	21	29	4						
39					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。	40.19 41.00	22	28	2						
40					砂質固結シルト	暗茶			棒状コアを呈する。コアはカッター ナイフで容易に切断できる。 7.00~7.2m: 細砂挟む。										



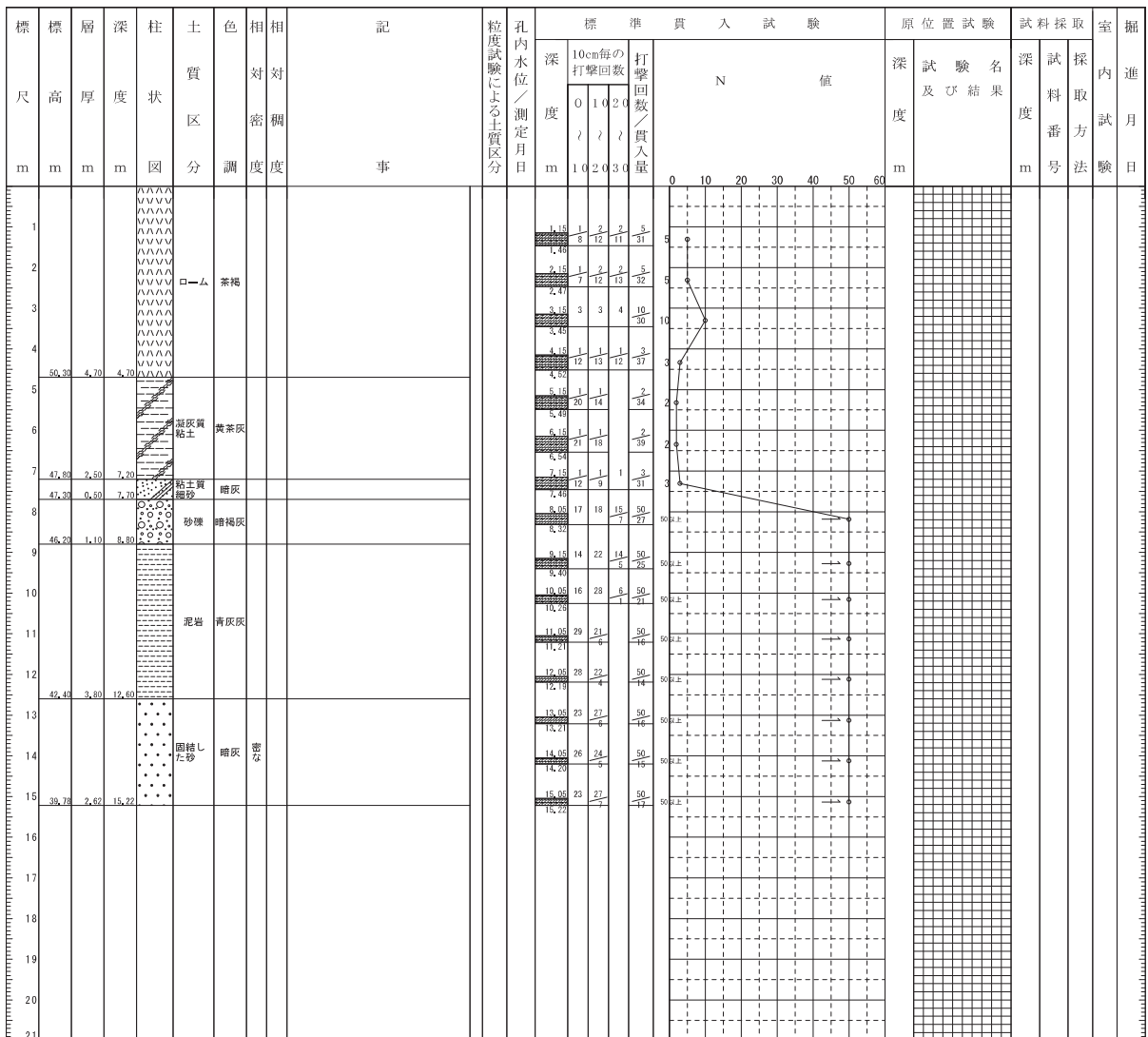
ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	電話	主任技師	現場代理人	口鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 55.00m	角 180° 上 下 0°	方 北 0° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°	使用機種 エンジン
総掘進長	15.22m	ハンマー落下用具		ポンプ	



(参考66-1)

調査名

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯
発注機関	調査期間										東経
調査業者名	主任技師					現場代理人	コ	ア	ボーリング責任者		
孔口標高	72.34m	角度			方向			地盤勾配	使用機種	試験機	
総掘進長	25.14m								ポンプ	エンジン	

標尺 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色	相対稠度	記号	孔内水位 (m)	標準貫入試験				原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進月日
								10cmごとの打撃回数	N 値							
0	72.34		表土	暗褐色	軟弱	最層混入 軽微		0	10	20	30					
1	71.84		ローム	茶褐色	硬弱	浮石混入 部分的に浮石多量混入 2.9m付近より固結状		1.15	01/20/2	02/12/05		1.00				
2	71.45							2.15				1.70				
3	70.47							3.15	01/20/2	02/05/33						
4	69.45		ローム	茶褐色	硬弱	50%コアになる		4.15	03/04/04	11						
5	67.14							4.45	03/04/04	11						
6	66.34		凝灰質粘土	暗褐色	硬弱	浮石混入、酸化された有機物混入 砂岩片層状に混入 含水中位 10.8mより粘性やや強くなる		5.15	08/12/23	43						
7	65.45							6.15	02/05/05	12						
8	64.45							7.15	04/03/04	11						
9	63.45							8.15	05/06/06	17						
10	62.45							9.15	03/03/04	10						
11	61.45							10.15	02/04/03	09						
12	60.45							11.15	04/06/06	16						
13	59.44		粘土質細砂	暗褐色	硬弱	含水中〜大でゆるい 浮石点在、火山灰質粘土含む		12.15	01/20/2	02/05/33						
14	58.44							13.15	01/20/2	01/03/33						
15	57.44		粘土	青灰色	硬弱	凝灰質、浮石混入		14.15	03/04/06	13						
16	56.44		細砂	灰	硬弱	砂とクロスラミナ		15.15	05/07/06	18						
17	55.44		泥岩	灰	硬弱	50〜60%コアになる 固結度やや弱い軟岩状 砂質混入 部分的に密集する 浮石、有機物点在 砂質均一無層理		16.15	17/09/14	50/25						
18	54.44							17.15	24/26/8	50/18						
19	53.44							18.15	4/19/17	650/24						
20	52.44							19.15	15/21/13	450/23						
21	51.44							20.15	15/20/15	450/24						
22	50.44							21.15	16/22/12	550/25						
23	49.44							22.15	16/19/15	750/23						
24	48.44							23.15	23/27	50/24						
25	47.44							24.15	50/8	50/9						
26	46.44							25.14								

(参考66-2)

調査名

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者
ボーリング者	使用機種			ポンプ	
孔口標高	63.60m	角度	180°上 90° 0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南0°
総掘進長	24.30m	地盤勾配	鉛直90°	使用機種	エンジン

標尺 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対稠度	記号	孔内水位 (m)	標準貫入試験			原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進月日
								10mごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
0			有機質粘土	黒灰	軟らかい	上位層懸濁入 含水中位	1.15	01/181/2	02							
1	01.80		ローム	茶褐	中性	浮石混入 含水中位 粘性小	1.45	01	02	02	05					
2	03.60						2.45	02	03	03	08					
3	05.40						3.45	02	03	03	08					
4	07.20						4.45	03	03	02	08					
5	09.00		凝灰質粘土	黒灰	中性	浮石多く混入 含水やや多い 6.5~6.75小礫挟む	4.45	03	03	02	08					
6	10.80						5.45	02	03	02	07					
7	12.60		粘土質細砂	青灰	中性	浮石、有機物混入	6.45	01	02	02	05					
8	14.40		細砂	黒灰	中性		7.45	04	05	06	15					
9	16.20						8.45	11	17	20	48					
10	18.00					8m粘土若干含む 9m小礫挟む 若干粗粒砂混入 浮石混入 11m粘土若干混る 13m粘土挟む 有機物若干含む 含水中位	8.45	13	23	34	450/24					
11	19.80						9.39	14	26	50/20						
12	21.60						10.15	10	14	16	40					
13	23.40						11.15	10	11	15	36					
14	25.20						12.45	08	09	14	31					
15	27.00						13.45	09	14	17	40					
16	28.80						14.45	14	18	18	50					
17	30.60						15.45	12	18	18	48					
18	32.40						16.15	11	11	20	45					
19	34.20						17.15	11	11	20	45					
20	36.00						18.15	12	16	19	47					
21	37.80		粘土混り細砂	暗褐	中性	有機物混入 含水中位 23m付近より浮石混入	18.45	12	19	19	550/28					
22	39.60						19.4	13	18	19	550/28					
23	41.40						20.43	13	18	19	550/28					
24	43.20						21.15	18	32/8	50/16						
25	45.00						21.31	16	34/7	50/17						
	46.80						22.15	19	31/8	50/16						
	48.60						23.31	20	30/5	50/15						
	50.40						24.30									

(参考66-3)

調査名

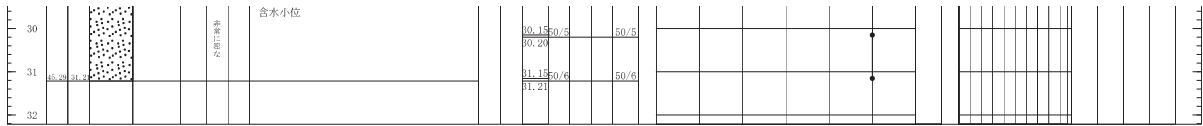
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	76.50m	角度	コ	ア
総掘進長	31.21m	方向	ポンプ	
使用機種		エンジン		

標尺 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対稠度	記事	孔内水位 (m)	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 (掘進月日)
								10cmごとの 打撃回数	N 値							
0			表土	黒灰		草根混入										
1	0.50		ローム	茶褐		有機物混入 若干浮石混入 含水中位、粘性小 4m付近浮石多量混入 含水中位、粘性中 8m付近より色調変化(褐灰)										
2	1.50															
3	2.50															
4	3.50															
5	4.50															
6	5.50															
7	6.50															
8	7.50															
9	8.50															
10	9.50															
11	10.50															
12	11.50															
13	12.50															
14	13.50															
15	14.50															
16	15.50															
17	16.50															
18	17.50															
19	18.50															
20	19.50															
21	20.50															
22	21.50															
23	22.50															
24	23.50															
25	24.50															
26	25.50															
27	26.50															
28	27.50															
29	28.50															
30	29.50															

(参考66-4)



ボーリング柱状図

調査名

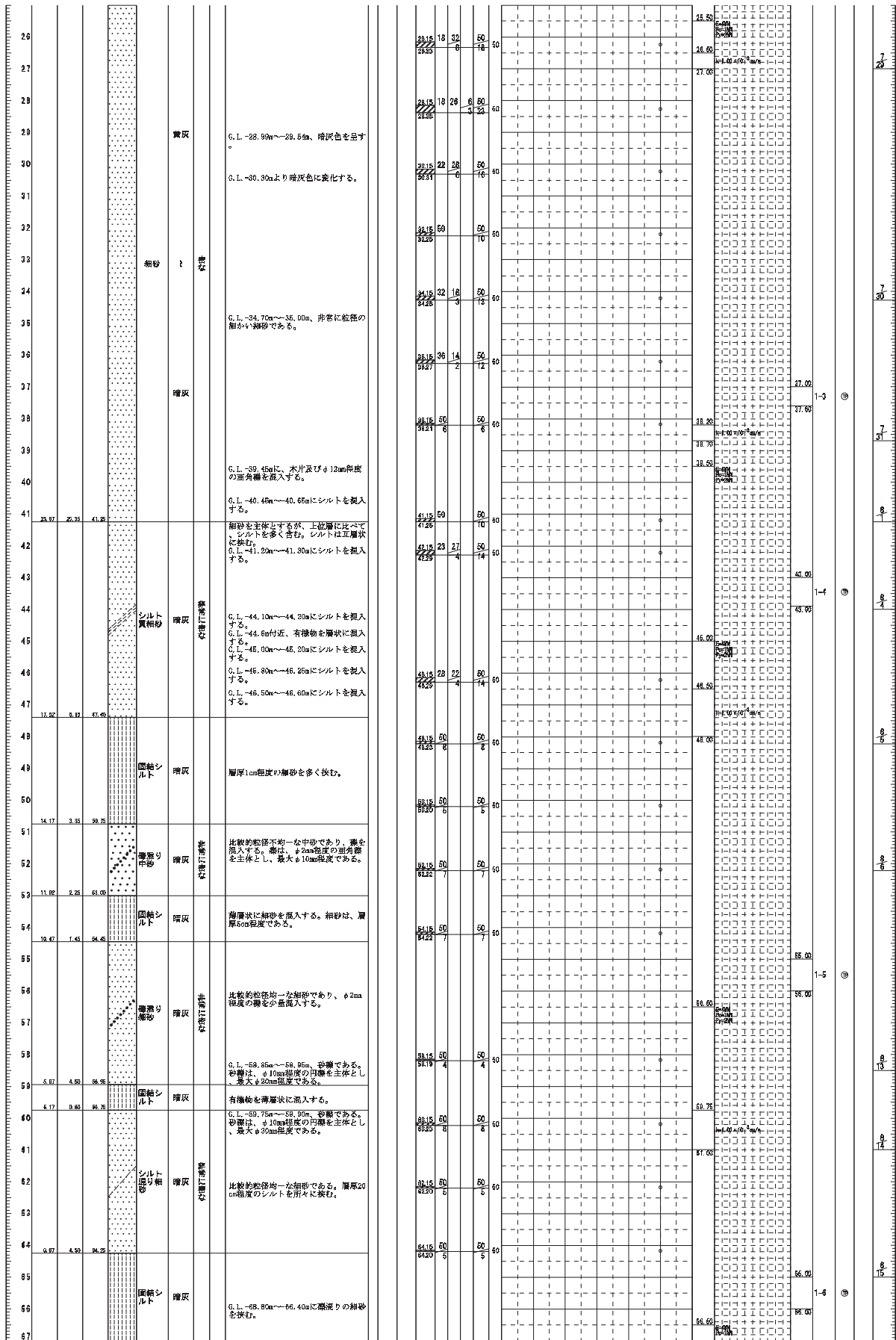
事業・工事名

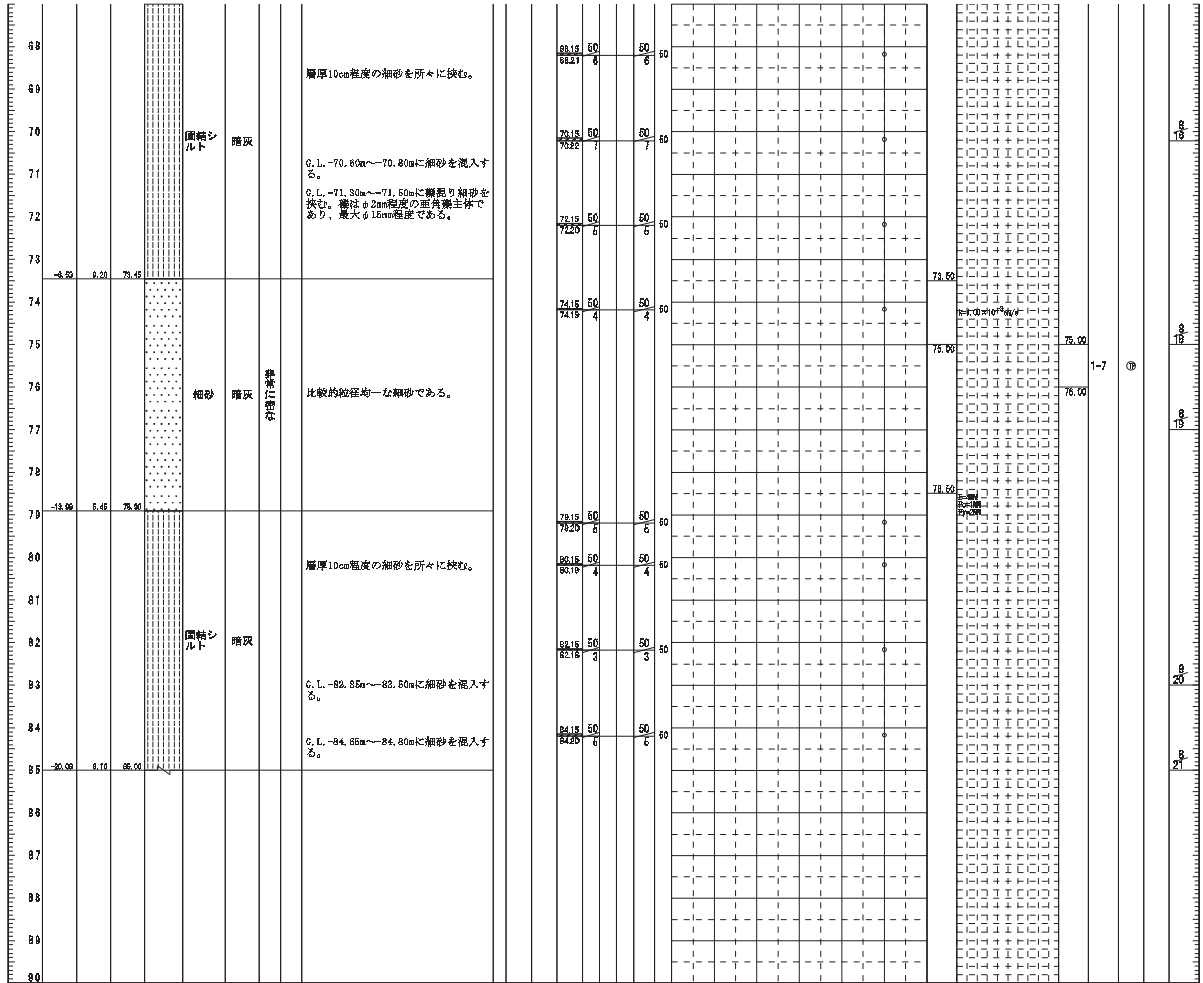
ボーリング№

シート№

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	電話	主任技師	現場代理人	コピ定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 64.92m	角 上 下 度	方 向	地盤勾配	使用機種
総掘進長	86.00m	ハンマー 落下用具		ポンプ	

標尺	層厚	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	地盤材料の工学的分類	標準貫入試験		原位置試験	試験名及び結果 深さ 試験番号 採取方法	掘進月日
									深さ	打撃回数/貫入量			
1								不均質な粘性土である。粘着力が強い。	2.15	1 1 2			
2									2.50	1 1 18			
3									4.15	0 0 30			
4									4.45	0 0 30			
6									6.15	3 3 3 3 3 30			7/28
7									6.45	3 3 3 3 3 30			
8									8.15	1 2 3			
9									8.41	20 12 32			
10								G.L.-9.40mにプラスチック片を混入する。	10.15	1 1 2			
11									10.51	21 15 36			
12								有機質粘土	12.15	1 1 3			
13								有機質粘土 黒茶褐色	12.41	12 32			
14								比較的粒径均一な細砂である。	14.15	4 6 8 17			
15									14.45	11 31			
16								G.L.-15.80m 有機物を混入 比較的粒径均一な細砂であり、所ワシ ルトを層状に混入する。 G.L.-16.90m~16.10mにシルトを混入 する。 G.L.-16.30m~16.40mにシルトを混入 する。 G.L.-16.45m~16.55mにシルトを混入 する。 G.L.-17.25m~17.50mにシルトを混入 する。 G.L.-18.45m~18.55mにシルトを混入 する。 G.L.-18.55m~20.00mは、有機質細砂 。粒径は4mm程度の五角礫を主体とし 、最大φ8mmである。	16.15	6 8 11 25			
17									16.45	30 30			
18									18.15	7 9 7 22			7/24
19									18.45	30 30			
20									18.75	7 9 7 22			
21								G.L.-20.90m~20.50mにシルトをブ ロック状に混入する。	20.15	13 17 20 50			
22									20.44	9 28 50			
23													7/28
24													
25													





(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアパックによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- ⑦ 電気検層
- ⑧ P波速度検層
- ⑨ S波速度検層
- ⑩ スペックトログ
- ⑪ キャリハ-検層
- ⑫ 密度検層
- ⑬ 温度検層
- ⑭ ルジオン試験
- ⑮ 現場透水試験
- ⑯ 孔内水圧荷試験

(JR-67)

ボーリング柱状図

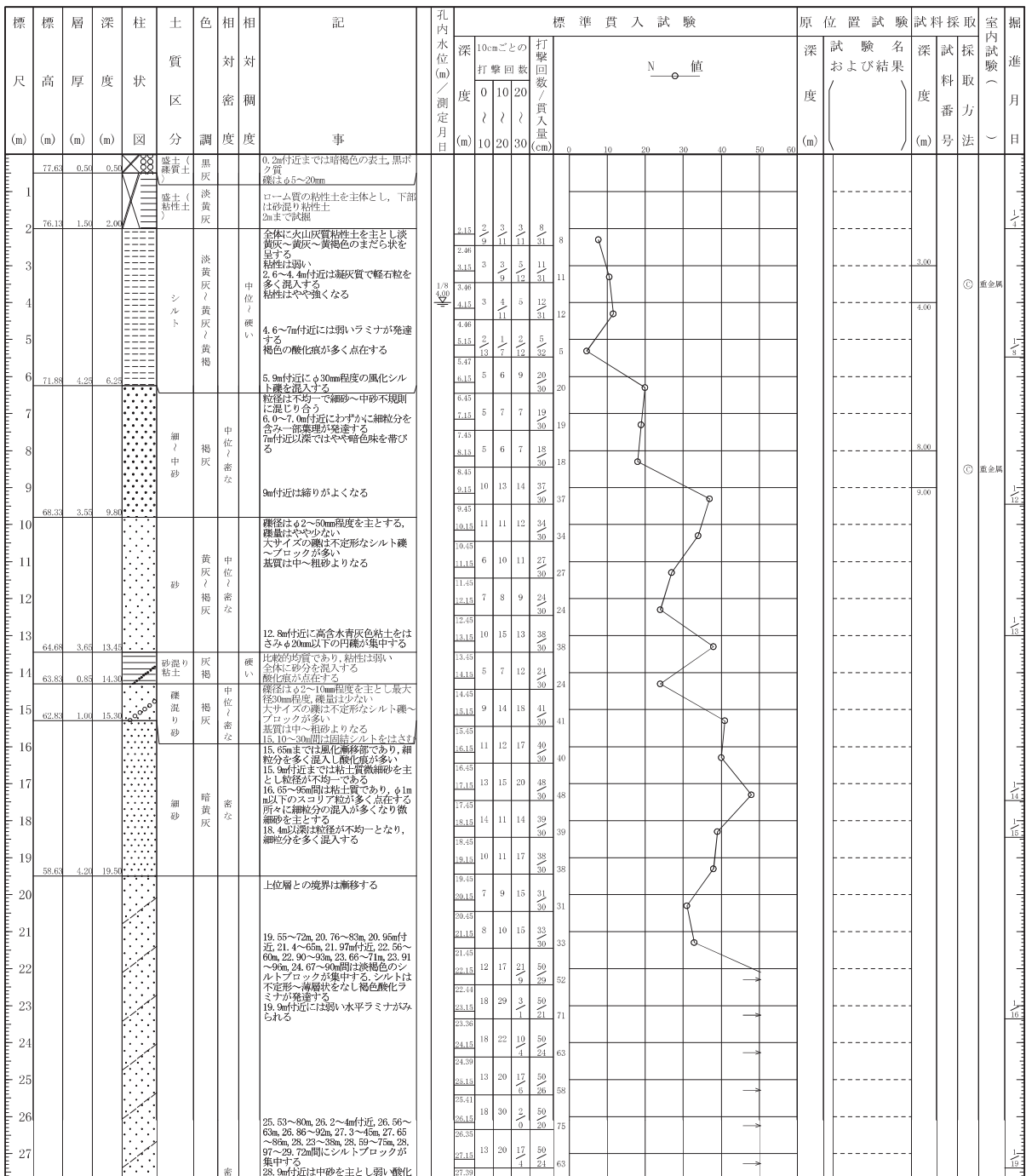
調査名

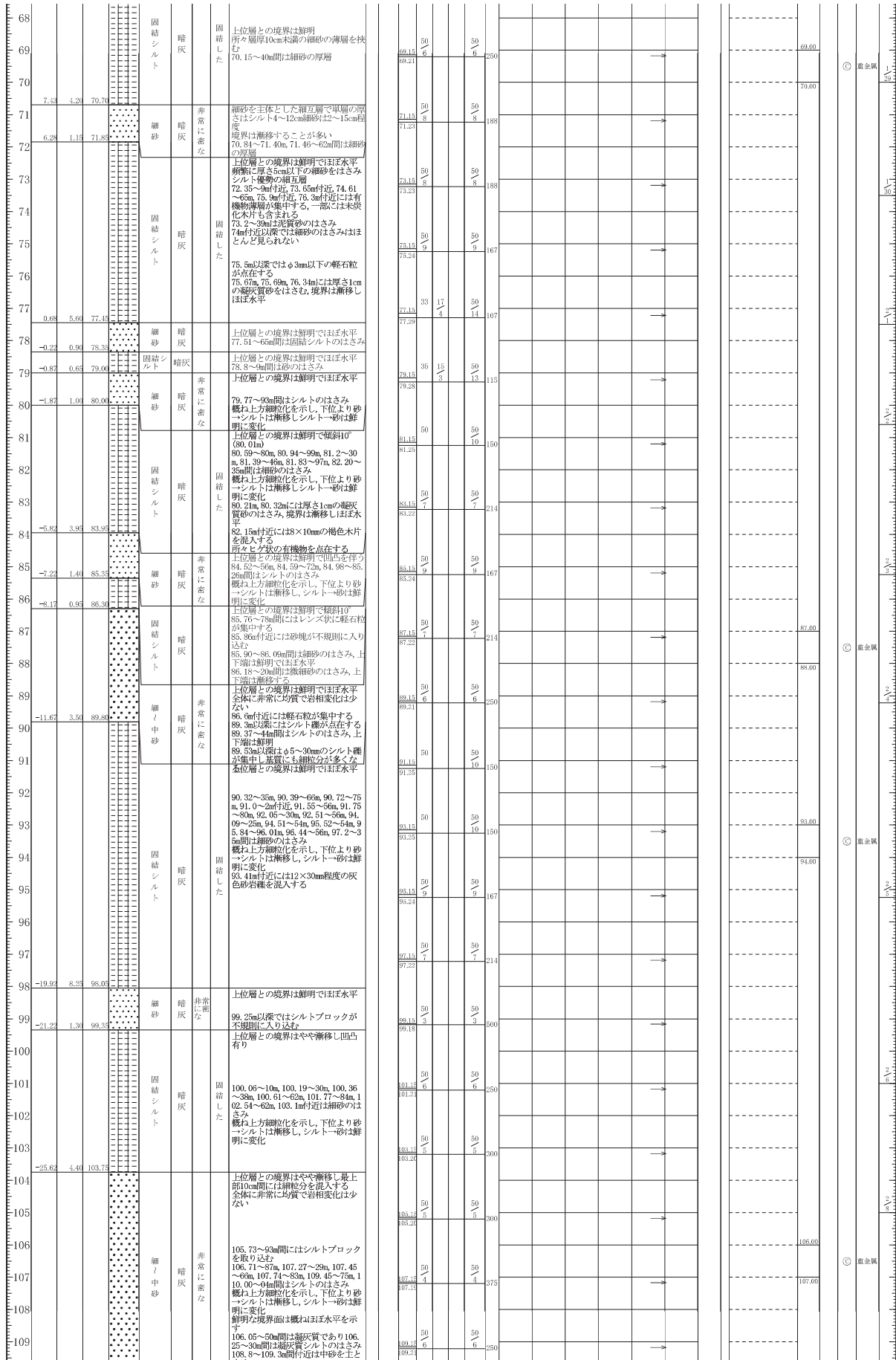
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	ボーリング責任者	
孔口標高	+78.127m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	150.00m	度	鉛直	使用機種	ハンマー 落下用具 ポンプ
				エンジン	





(JR-68)

ボーリング柱状図

調査名

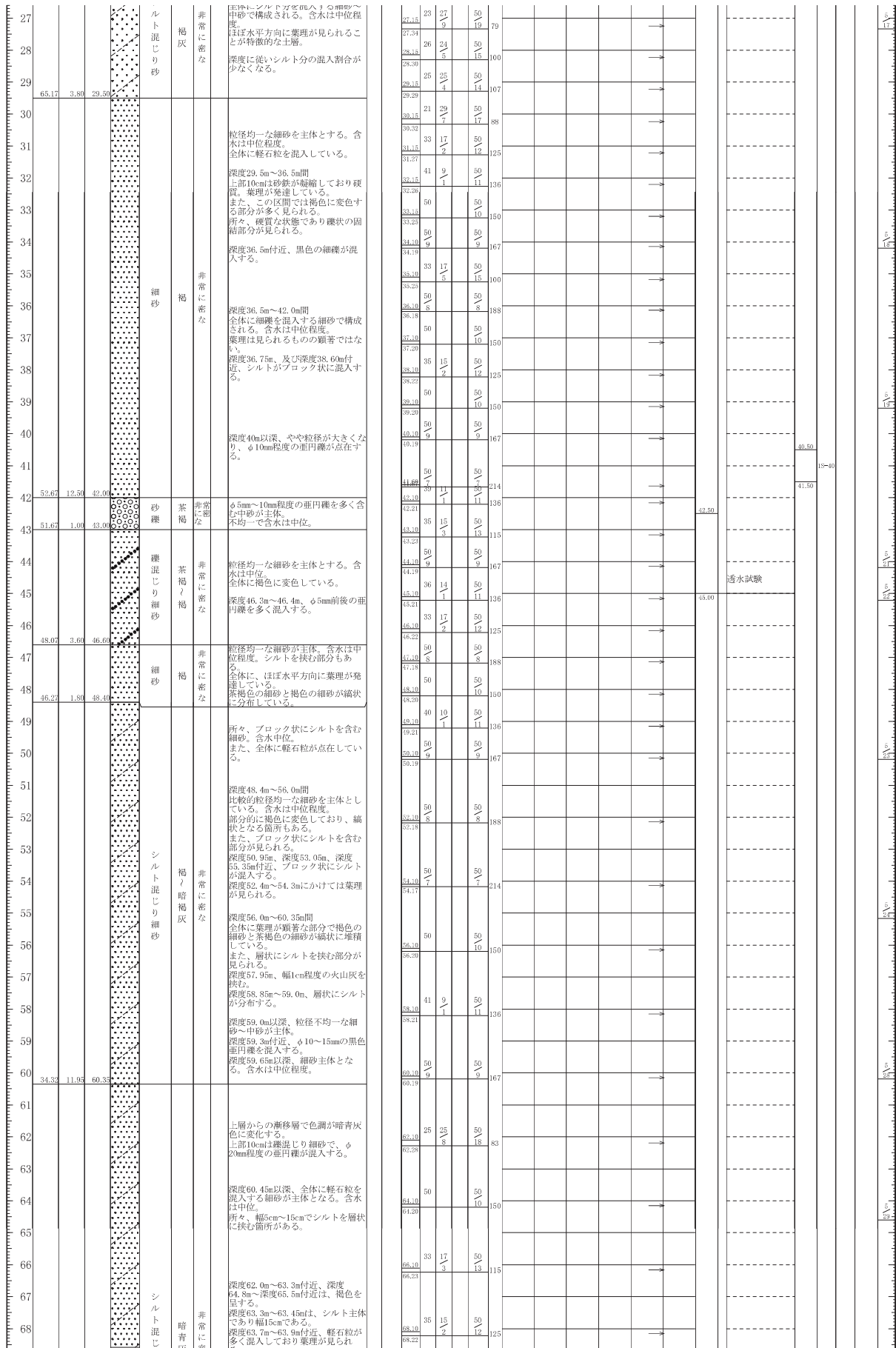
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

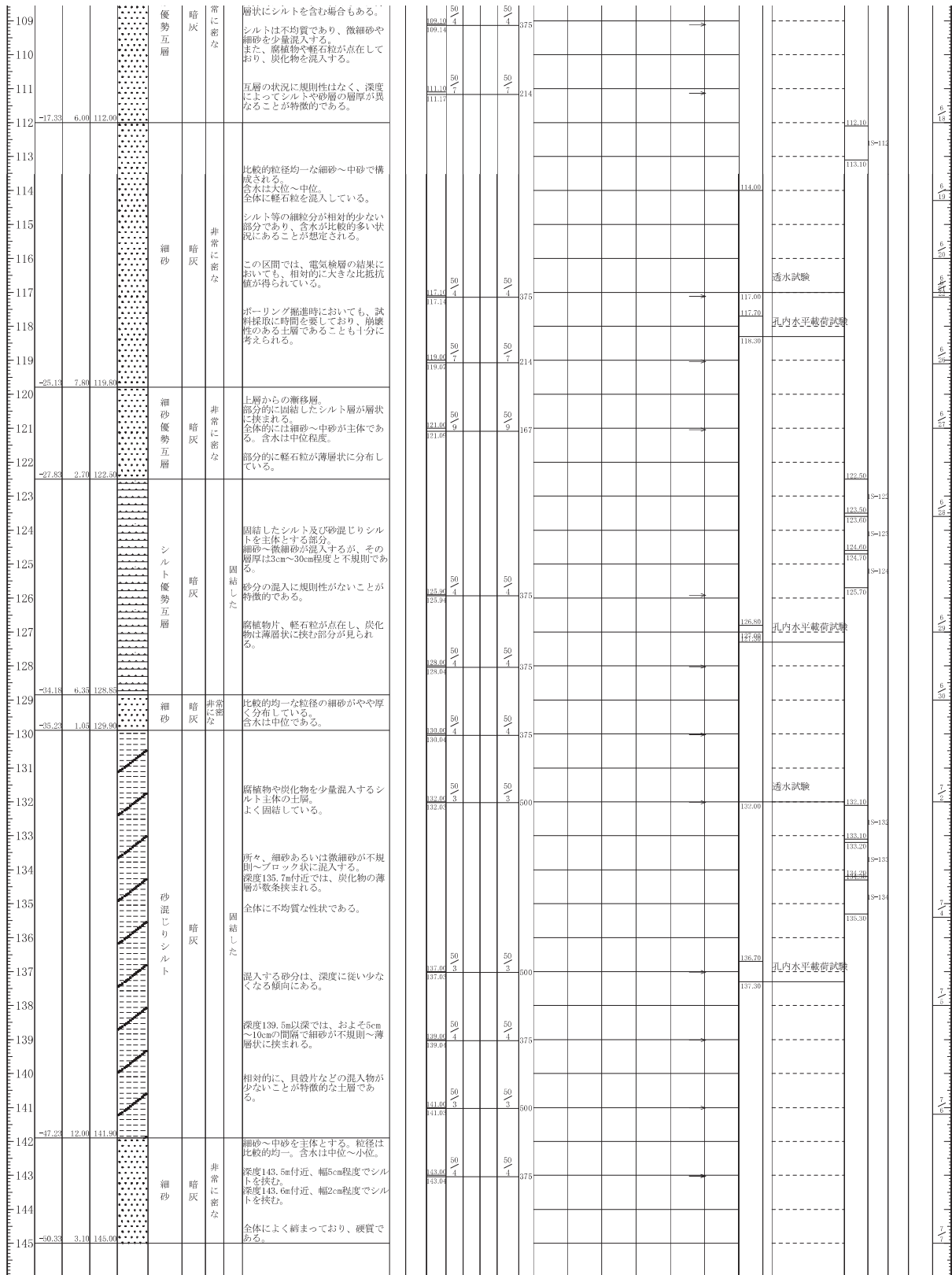
シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師		現代場人	ボーリング責任者
孔口標高	94.67m	角	コア鑑定者	ハンマー
総掘進長	145.00m	度	使用機種	ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記述	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進	
								深	10cmごとの	打撃回数	貫入量					
94.4	0.23	0.23		表土	暗褐色		ローム主体で植物根を多く混入する。	1.15	1	1	3					
				ローム	茶褐色	中位	粘土化が著しいローム。上部は、植物根を混入する。スコリアが見られ、空隙が大きい。	1.45	1	1	4					
				ローム	茶褐色	中位	全体に粘性大位で含水中位程度を示す。	2.15	1	2	4					
				ローム	茶褐色	中位	深度3.8m付近、粘土化した軽石を混入する。褐色を呈する。	3.45	1	1	4					
90.02	4.40	4.6		火山灰質粘性土	淡褐色	中位	上部10cmは軽石主体である。	3.49	1	2	5					
				火山灰質粘性土	淡褐色	中位	全体的には、粘土化した軽石と火山灰質粘性土が互層状に堆積している。粘性・含水ともに中位程度を示す。	4.15	1	2	5					
86.77	3.23	7.90		凝灰質砂	褐色	緩い	軽石粒を多く含む細砂～中砂。不均一で含水は中位である。	4.45	2	2	6					
85.87	0.90	8.80		凝灰質シルト	褐色	緩い	細粒の軽石粒を全体に混入するシルト。粘性・含水中位。部分的にシルトを挟んでいる。	4.45	2	2	6					
				凝灰質シルト	褐色	緩い	下部では細砂を混入する。また、雲母片が多く見られる。	7.45	2	2	7					
				凝灰質シルト	褐色	緩い	細粒の軽石粒を多く含む細砂～中砂。不均一で含水は中位である。	8.15	2	2	7					
				凝灰質シルト	褐色	緩い	細粒の軽石粒を多く含む細砂～中砂。不均一で含水は中位である。	9.45	3	3	9					
				凝灰質シルト	褐色	緩い	細粒の軽石粒を多く含む細砂～中砂。不均一で含水は中位である。	9.45	3	3	9					
				凝灰質シルト	褐色	緩い	細粒の軽石粒を多く含む細砂～中砂。不均一で含水は中位である。	10.15	3	3	10					
				凝灰質シルト	褐色	緩い	細粒の軽石粒を多く含む細砂～中砂。不均一で含水は中位である。	10.45	3	4	10					
				凝灰質シルト	褐色	緩い	細粒の軽石粒を多く含む細砂～中砂。不均一で含水は中位である。	11.15	3	4	11					
				凝灰質シルト	褐色	緩い	細粒の軽石粒を多く含む細砂～中砂。不均一で含水は中位である。	11.45	3	4	11					
82.27	3.60	12.40		砂混じり粘土	暗褐色	硬い	全体に、細砂及び軽石粒を不規則に混入する粘土。固結している。また、炭化物が存在している。	12.15	4	4	13					
				砂混じり粘土	暗褐色	硬い	深度16.6m以深、軽石粒の混入量が多くなる。	13.45	7	8	24					
				砂混じり粘土	暗褐色	硬い	深度16.6m以深、軽石粒の混入量が多くなる。	13.45	7	8	24					
				砂混じり粘土	暗褐色	硬い	深度16.6m以深、軽石粒の混入量が多くなる。	14.15	10	10	32					
				砂混じり粘土	暗褐色	硬い	深度16.6m以深、軽石粒の混入量が多くなる。	14.45	10	10	32					
				砂混じり粘土	暗褐色	硬い	深度16.6m以深、軽石粒の混入量が多くなる。	15.65	10	11	33					
				砂混じり粘土	暗褐色	硬い	深度16.6m以深、軽石粒の混入量が多くなる。	15.95	11	11	34					
				砂混じり粘土	暗褐色	硬い	深度16.6m以深、軽石粒の混入量が多くなる。	16.15	11	11	34					
				砂混じり粘土	暗褐色	硬い	深度16.6m以深、軽石粒の混入量が多くなる。	16.45	11	11	34					
				砂混じり粘土	暗褐色	硬い	深度16.6m以深、軽石粒の混入量が多くなる。	17.15	9	10	29					
				砂混じり粘土	暗褐色	硬い	深度16.6m以深、軽石粒の混入量が多くなる。	17.45	9	10	29					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	18.15	25	25	50					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	18.45	25	25	50					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	19.34	23	27	50					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	20.04	19	19	45					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	21.13	19	21	45					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	21.40	19	21	45					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	22.13	7	20	23	50				
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	22.43	7	20	23	50				
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	23.49	33	17	50					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	24.00	21	4	14					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	24.13	21	4	14					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	24.30	21	4	14					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	24.30	21	4	14					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	25.15	17	18	15	50				
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	25.37	17	18	15	50				
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	26.41	24	26	50					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	26.30	24	26	50					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	27.15	23	27	50					
				シルト混じり細砂	暗褐色	非常に密な	シルト分を不規則に混入する細砂～中砂。不均一。含水は小～中位。軽石粒が多く混入している。	27.34	23	27	50					



68				ト混じり細砂	暗青灰	非常に密な	<p>であり幅15cmである。</p> <p>深度63.7m~63.9m付近、軽石粒が多く混入しており集理が見られる。</p> <p>深度65m付近からφ2mm~10mm程度の垂円礫が点在する。</p> <p>深度67.4m~67.6m、細礫が多く混入する。</p> <p>全体に、シルトの上下で砂分の粒径が異なる場合が多く、層相が一定しないことが特徴的である。砂分は、細砂~微細砂が主体。</p> <p>下部ではシルトの混入割合がやや多くなる傾向にある。</p>	<p>68.14 68.22</p> <p>15 2</p> <p>50 9</p> <p>50 9</p> <p>127</p> <p>70.19</p> <p>23.88 24.21</p> <p>50 4</p> <p>9 1</p> <p>50 9</p> <p>50 9</p> <p>188 136</p> <p>74.70</p>	<p>70.50</p> <p>71.50</p> <p>71.60</p> <p>72.60</p> <p>72.70</p> <p>73.70</p>	<p>15-70</p> <p>15-71</p> <p>15-72</p>	<p>孔内水平載荷試験</p> <p>透水試験</p> <p>孔内水平載荷試験</p>					
69																
70																
71																
72																
73																
74																
75																
76	18.47	15.83	76.20													
77																
78																
79																
80																
81																
82																
83																
84																
85																
86																
87																
88																
89																
90																
91																
92																
93																
94																
95																
96																
97																
98																
99																
100																
101																
102																
103																
104																
105																
106	-11.33	29.80	106.00													
107																
108																
109																



ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

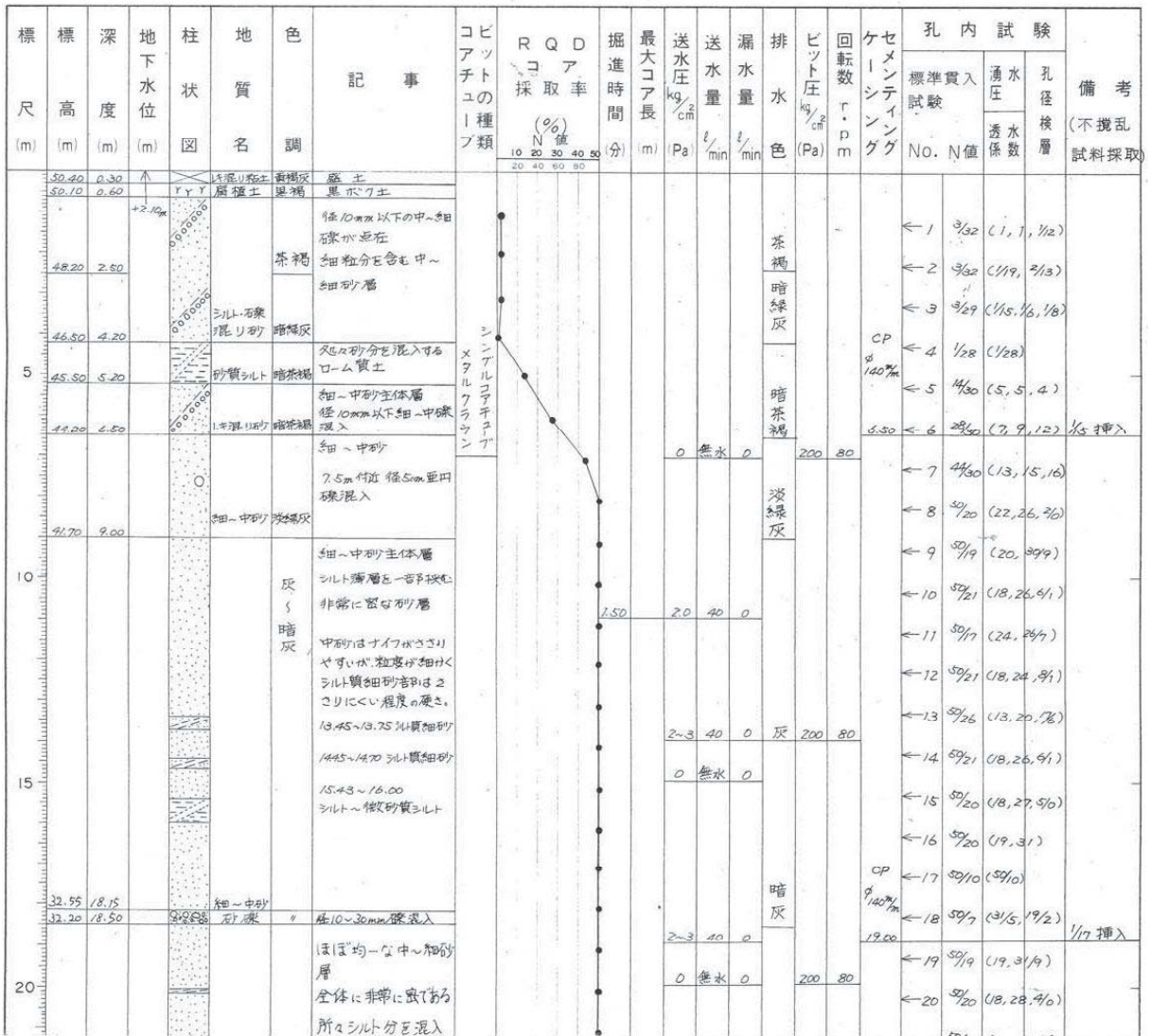
ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	TP +45.956m	角 180°上 90°下 0°	方 北 0° 東 90° 西 180° 南	地盤勾配 鉛直 水平 0°
総掘進長	11.44m	使用機種		ハンマー落下用具
				エンジン
				ポンプ

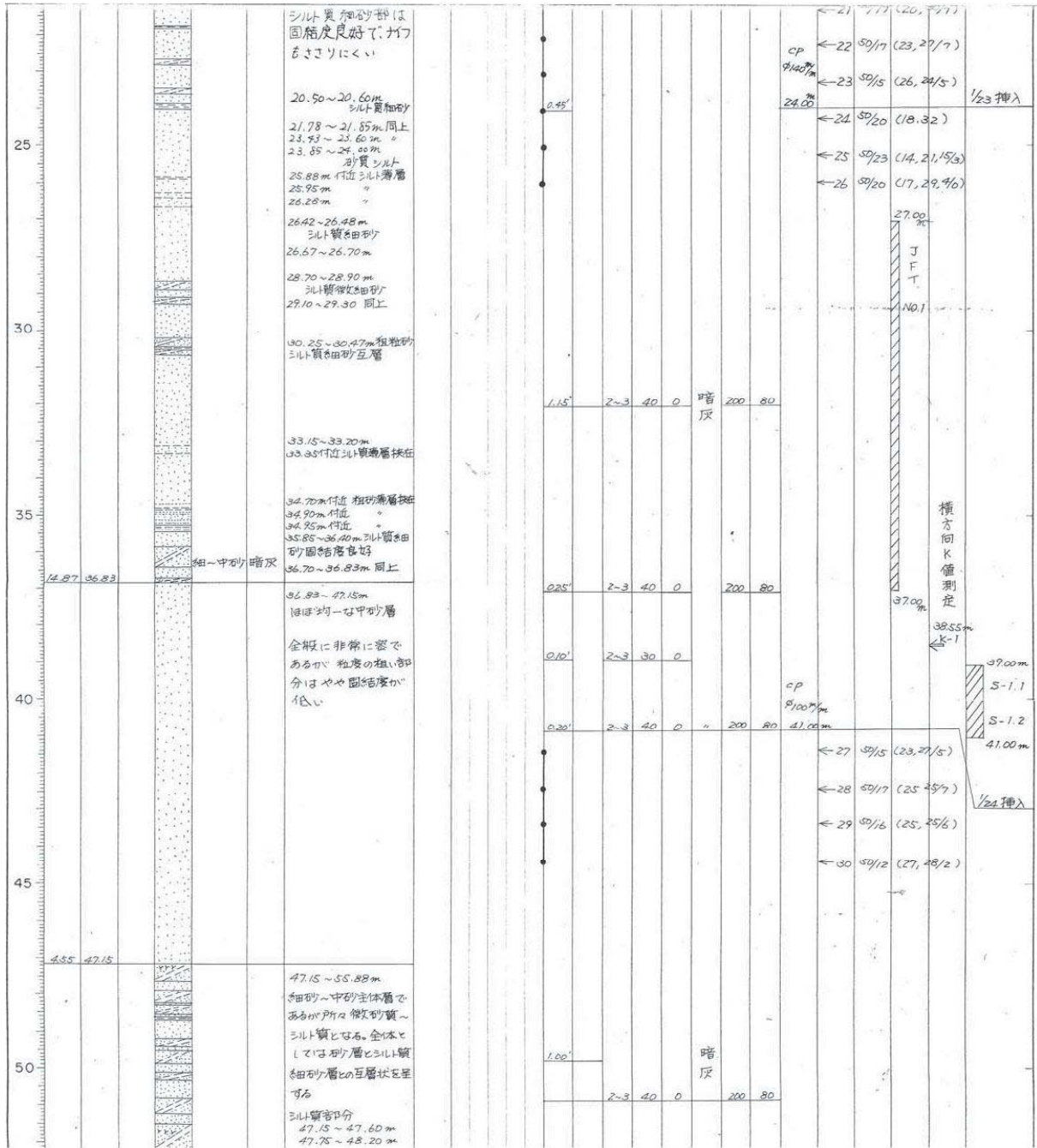
標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 深 (m)	試験名	試験結果	試料採取 深 (m)	採取番号	室内試験 ()	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの 打撃回数	10	20								
44.81	1.15	1.15		暗灰			0.03mまではアスファルト 以下は砂礫状をなし 礫径は2~30m 程度礫量は中位	97.9.30	0	1	1	1	1							
43.96	0.85	2.00		暗灰			礫混じり細砂を主とする 礫径は2~40m程度		2.15	0	1	1	1							
42.96	1.00	3.00		暗灰			砂礫状をなす 礫径は2~10mm程度		2.60	0	1	1	1							
41.36	1.60	4.60		暗灰			礫混り粘土を主とする 3.7m付近に木片を混入する 4.0m付近以下は再び砂礫状をなす 礫径は2~10mm程度		3.15	0	1	1	1							
39.16	1.90	6.50		暗灰			深さ5.0m付近までは風化を受け褐色をなす 4.85m付近はシルト質で弱いラミナが発達する 全体に弱く風化している		3.45	0	1	1	1							
38.21	1.25	7.75		暗灰			上位層との境界は鮮明 礫径は2~20mm程度を主とし礫量は中位 基質は中~粗砂で密である		3.45	0	1	1	1							
34.53	3.69	11.44		暗灰			上位層との境界は鮮明 8.45~55m, 9.0m付近はシルトのはきみ 上下端は鮮明で有機物を伴い弱いラミナあり傾斜 8.65~85m間には1mm以下の軽石~ガラス粒が集中し弱い水平ラミナを伴う 10.95~11.00m間はシルトのはきみ 上下端は鮮明		3.45	0	1	1	1							

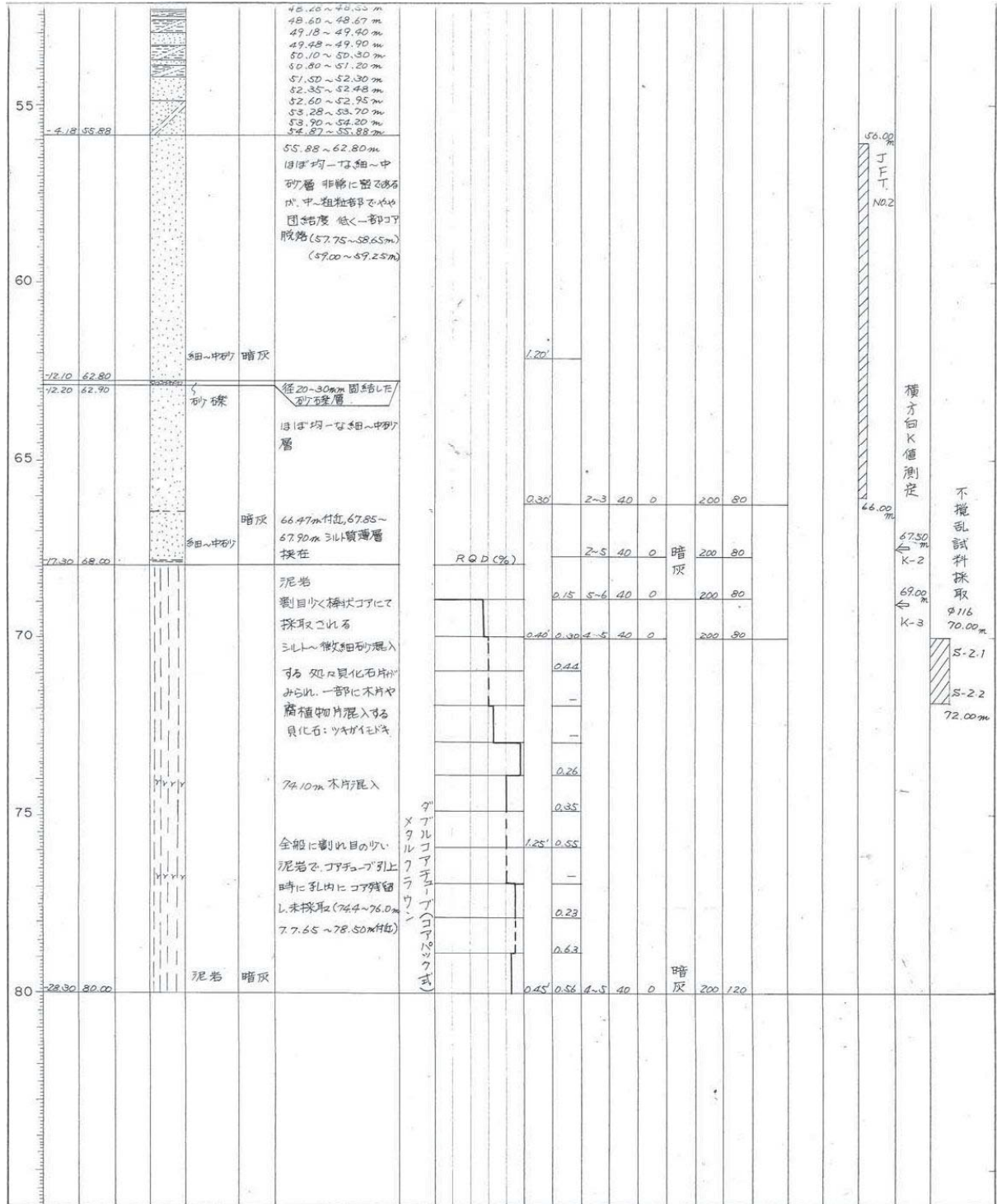
(JR-70)

岩盤ボーリング実績図

工事件名		発注者	
ボーリングNo. //		位置	
着手年月日 平成 年 月 日		使用機械	
主任技術者		特記事項	
孔口標高 50.70m	孔 mm	コア判定者	
方向・角度 鉛直	mm	専門技術者	
総掘進長 80.00m	mm	m ~ m	







(JR-71)

(参考71-1)

参考71-1

ボーリング番号

調査時期:

表示座標 ※1

孔口標高 ※2 : T.P. +58.66 m

孔内水位:

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状 図	土質 区分	色 調	標準貫入試験			
						開始 深度 m	打撃 回数	貫入 量 cm	N値 —○—
1	1.10	1.40	有機質ローム	有機質ローム	黒褐	1.15	3	30	
2						2.15	6	30	
3			ローム	茶褐	3.15	4	30		
4	2.70	4.10			4.15	3	30		
5			凝灰質粘土	凝灰質粘土	褐	5.15	3	35	
6	1.90	6.00				6.15	10	30	
7	0.75	6.75	凝灰質粘土	凝灰質粘土	黄褐 灰褐	7.15	2	30	
	0.50	7.25				8.15	3	30	
8			粘土	粘土	暗茶	9.15	13	30	
9	1.85	9.10				10.15	50	25	
	0.40	9.50	細砂	細砂	暗灰~暗緑灰~暗 黄灰	11.15	50	21	
	0.40	9.90				12.15	50	25	
10			細砂	細砂	暗灰~暗緑灰~暗 黄灰	13.15	50	24	
11						14.15	50	22	
12						15.15	50	19	
13									
14									
15	5.44	15.34							
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									

※1 表示座標は、調査地点のおおよその位置を示しています。
 ※2 孔口標高は、国土地理院発行の数値地図5mメッシュ（標高）より取得した値を表示しています。

(参考71-1)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo											
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師	現代場代理人	コアア者	ボーリング責任者
孔口標高	角	方	地盤勾配	使用試錐機
総掘進長	度	向	鉛直 水平 90°	ハンマー落下用具 ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密実度	相對稠度	記述	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進月日
											深	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量	値	度						
1					埋土 (緩溜り粘性土)	灰褐色			瓦礫等を含む緩溜り粘土を主とする。礫径は80mm以下。色調は暗褐色とまだら状をなす。	8/21 2.15	3	4	3	19/30							
2	52.13	2.90	2.90		シルト 細り細砂	緑灰			比較的均質である。下部にφ10mm以下の礫を混入する。	2.45											
3	51.23	0.90	3.80		有機質シルト	黒褐色			全体に有機質な色調をなし軽い。腐々の有機物や植物片は目立たない。6.50~6.00間にφ10mm以下の礫が点状存在する。	2.45	1	4	1	1/45							
4					砂礫	褐色			礫径は2~30mm程度を主とし礫量は中位。土質は中~粗砂よりなる。	2.60	1	1	1	3/30							
5					黄灰褐色				10~30cm間層で厚さ5~20mm程度の軽石主体部をはさむ。傾斜5~10°。全体に弱いラミナがみられる。7.85~9.90間は赤褐色の酸化層。	2.60	1	1	1	3/30							
6	48.13	3.10	6.90		凝灰質砂				10.45~9.00間は細砂~シルトよりなり上方細砂化する。	2.60	1	1	1	3/30							
7	47.33	0.80	7.70						10.60~7.5m、10.85~11.65m、11.80~12.00m間は軽石層が主体。最大層厚180mm。ほぼ水平。	2.60	1	1	1	3/30							
8					黄灰褐色				11.65m付近、12.6m付近にφ10mm以下の礫が集中する。	2.60	1	1	1	3/30							
9									12.65~7.5m間はシルトが不定形線状に入り混じる。	2.60	1	1	1	3/30							
10									12.80~14m付近は軽石層が主体。ラミナを伴い。傾斜10°	2.60	1	1	1	3/30							
11									4.75~9.00間は軽石層が主体。ラミナを伴い。ほぼ水平。	2.60	1	1	1	3/30							
12					黄灰褐色 / 暗灰				上位層との境界は漸移する。	2.60	1	1	1	3/30							
13					細砂				比較的均質である。	2.60	1	1	1	3/30							
14	40.13	7.20	14.90						16m付近までは黄灰褐色を主とする。16.7m付近にφ20mmの硬質礫を混入する。	2.60	1	1	1	3/30							
15									16.7m付近にφ20mmの硬質礫を混入する。	2.60	1	1	1	3/30							
16					暗灰				上位層との境界は漸移する。	2.60	1	1	1	3/30							
17									比較的均質である。	2.60	1	1	1	3/30							
18	37.13	3.00	17.90		細中砂				19.80~20.00m間にφ25mm以下の円~亜円礫が集中する。	2.60	1	1	1	3/30							
19										2.60	1	1	1	3/30							
20	34.13	2.40	20.30							2.60	1	1	1	3/30							

(JR-72)

ボーリング柱状図

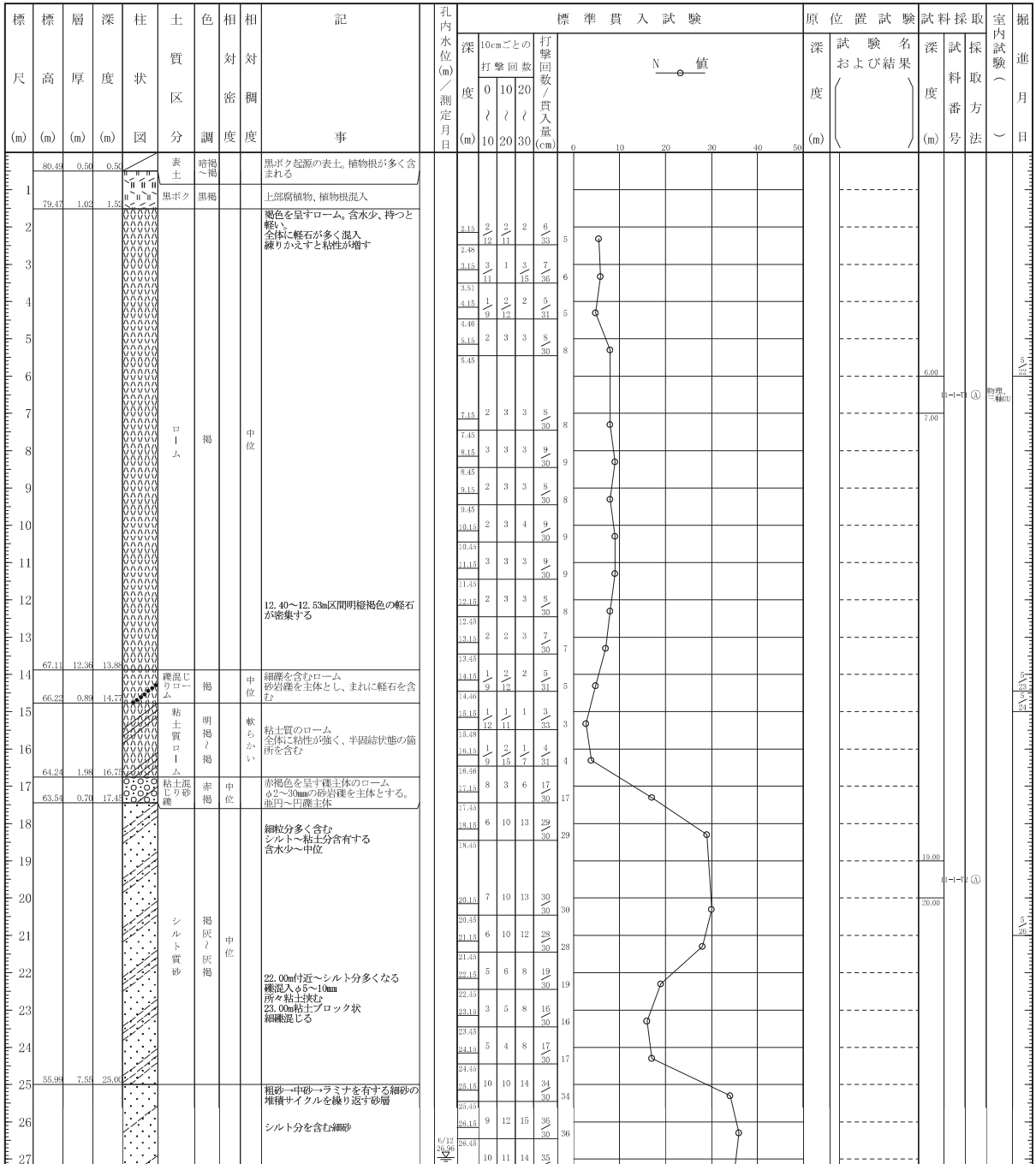
調査名

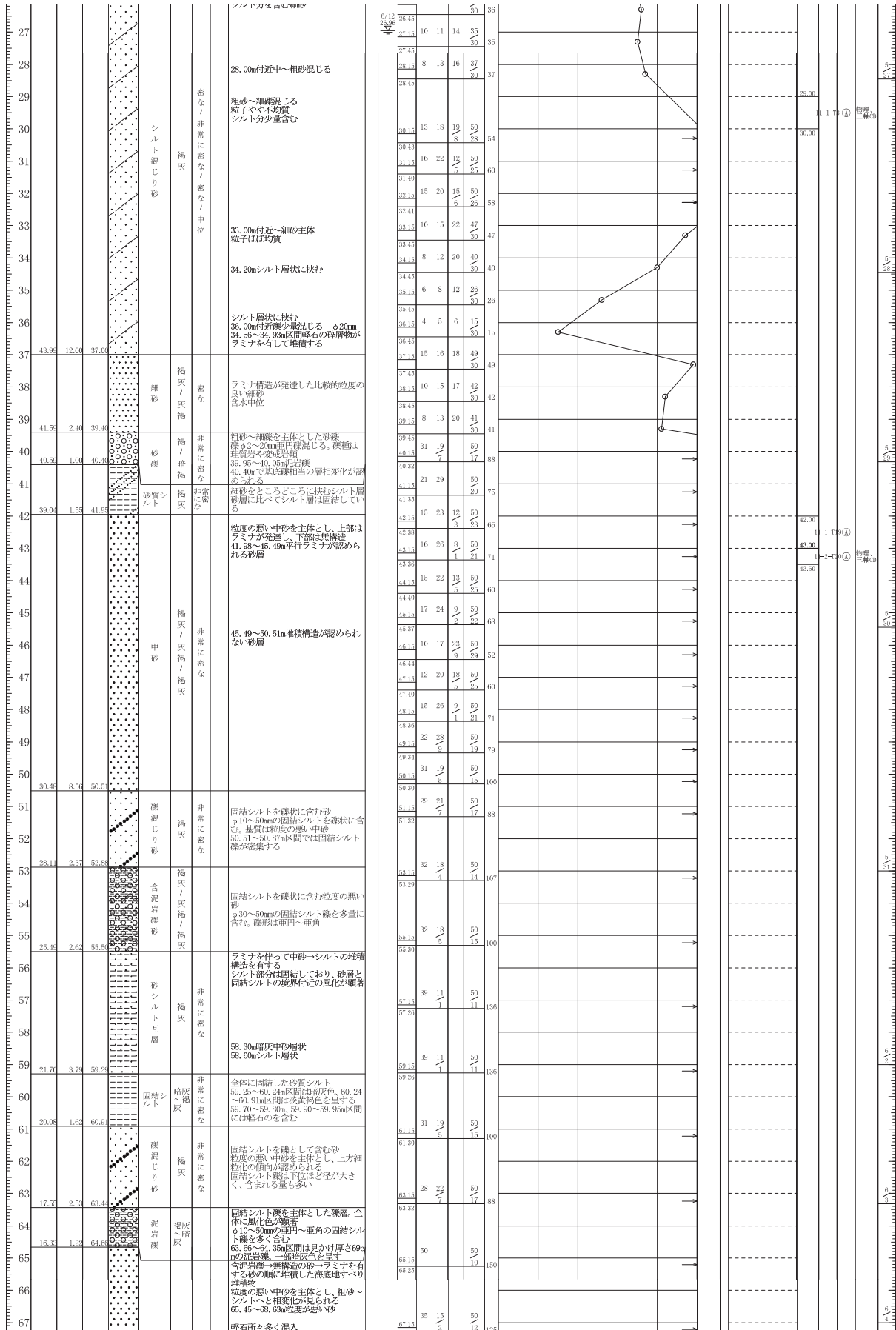
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

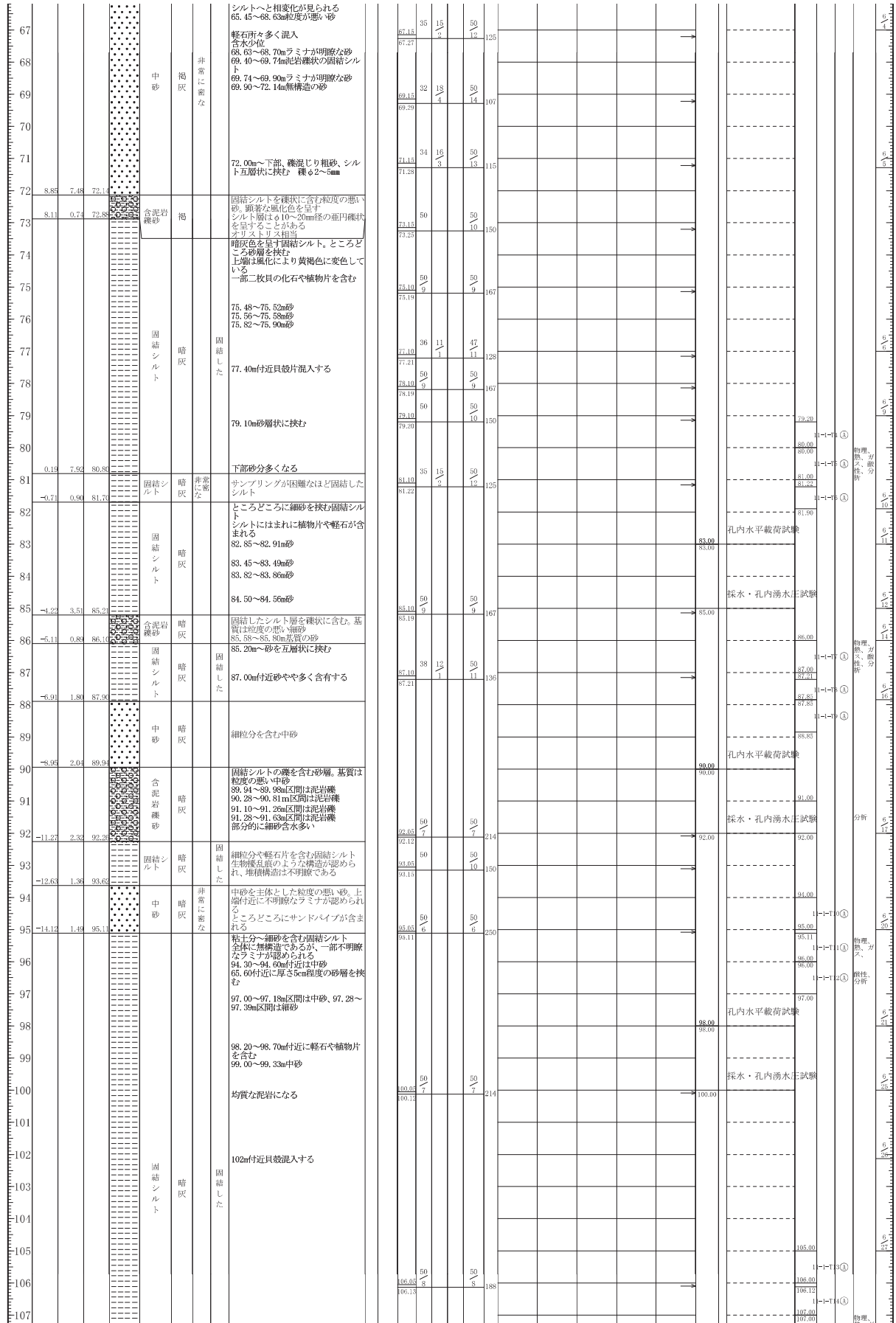
事業・工事名

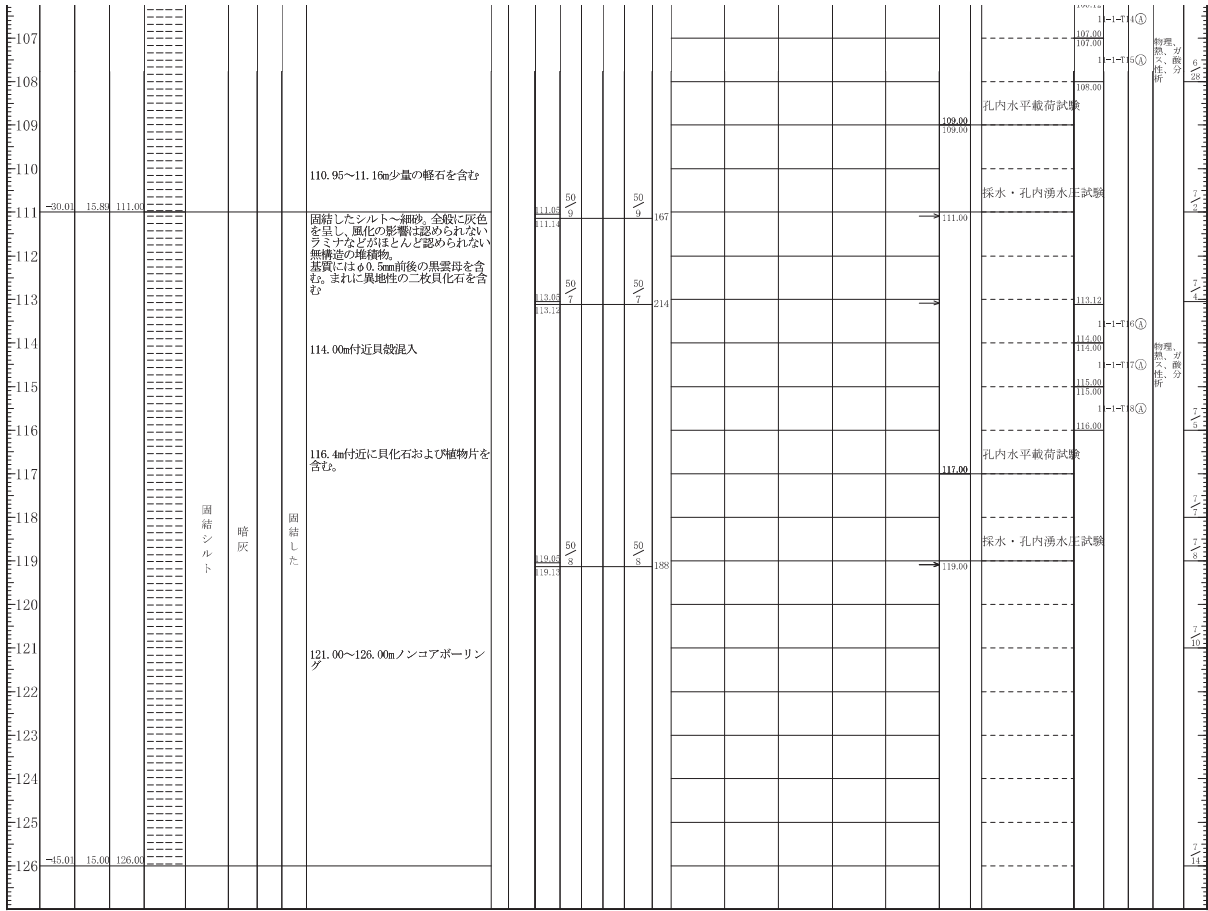
シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師			現代場 コ ア 鑑定者
ボーリング責任者	使用機 試錐機			ハンマー 落下用具
孔口標高	TP +80.986m	角	180° 上 90° 0° 下	方 北 0° 東 90° 西 270° 南 180°
総掘進長	126.00m	度	鉛直 0° 水平 0°	地盤勾配
エンジン	ポンプ			









ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo																			
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

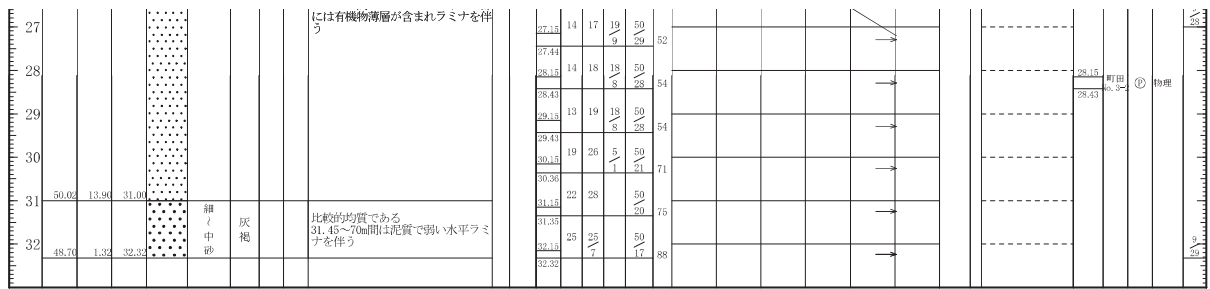
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置												北緯		
発注機関													調査期間	東経	
調査業者名	主任技師												現代場	ボーリング責任者	
孔口標高	TP +81.021m	角	180°	上	90°	方	北 0°	東 90°	西 270°	南 180°	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	ハンマー落下用具	
総掘進長	32.32m	度	0°	下	0°	向			コ	ア	定	者	ポンプ		

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進	
									深	10cmごとの	打撃回数	貫入量					
80.83	0.20	0.20		表土(ローム)	褐色			ローム質粘土よりなり植物根を混入する	深	度	10	20	30				
78.42	2.40	2.60		ローム	褐色			ボソボソして団粒状を呈する。2.60mまでは褐色だが以下では黒褐色に変化する	9/26	2.15	2	2	5				
								水中堆積降下火山灰層であり上部を中心に半固結状を呈する。ダム状の団粒構造が残されている	9/27	2.45	5	6	7	18			
								6.84~98m間は軽石層のはさみ 62mm以下の軽石が集中する		3.43	5	6	7	18			
								8.50m以深では粘土化が著しい		4.13	7	7	8	22			
								12m以深では暗褐色となる。13.5m以深ではφ2~10mmの礫を混入する。14m以深では暗緑褐色となり強い還元色である		4.45	7	7	8	22			
								全体に細粒分を多く混入し15.5m以深では特に多くなる		5.15	6	8	10	24			
								礫径φ2~100mm程度を主とし礫量は多い。基質は泥質~砂質であり硬質な火山灰礫が目立つ。全体に比較的均質で土相変化が少ない		5.45	6	8	10	24			
								19.4~8m付近には弱い黒色ラミナが発達し傾斜φ~10° 泥質部と思われる		6.13	4	8	10	22			
								21.61~62m間は暗灰色シルトのはさみ。上下端は鮮明ではぼ水平。21.75m付近、21.85~94m、22.83~23.1m付近、23.83~91m、24.85~90m間には軽石層が集中し互層状となりラミナを伴う。24.50~76m間にはシルトブロックが不規則に混在する		6.40	2	3	2	7			
								25.20~75m、29.80~30.00m間には特に軽石が多く集中し弱いラミナを伴う。25.93~95m、28.78~84m、28.98~29.00m、29.43~46m、30.75~78m、30.95~31.00m間はシルトのはさみ。一部には有機物層が含まれラミナを伴う		7.15	1	2	2	5			
										7.45	1	2	2	5			
										8.45	1	2	2	5			
										9.15	3	2	2	7			
										9.45							
										10.15	1	1	1	3			
										10.45	1	2	2	5			
										11.15	1	2	2	5			
										11.45	1	2	2	5			
										12.15	1	2	2	5			
										12.45	1	2	1	4			
										13.15	1	2	1	4			
										13.45	3	3	4	19			
										14.15	3	3	4	19			
										14.45	3	4	4	11			
										15.15	3	4	4	11			
										15.45	3	3	3	9			
										16.15	3	3	3	9			
										16.45	8	9	12	29			
										17.15	11	15	16	42			
										17.45	17	19	14	50			
										18.15	17	19	14	50			
										18.45	15	17	18	50			
										19.15	15	17	18	50			
										19.45	15	17	18	50			
										20.15	15	17	18	50			
										20.44	15	19	15	59			
										21.14	15	19	15	59			
										21.43	13	17	20	50			
										22.13	12	15	16	43			
										22.43	12	15	16	43			
										23.13	16	19	15	59			
										23.43	16	19	15	59			
										24.13	18	20	12	50			
										24.43	18	20	12	50			
										25.13	10	11	15	36			
										25.40	14	17	19	50			
										26.10	14	17	19	50			
										26.45							
										27.15							
										27.44							

(JR-74)



ボーリング柱状図

調査名

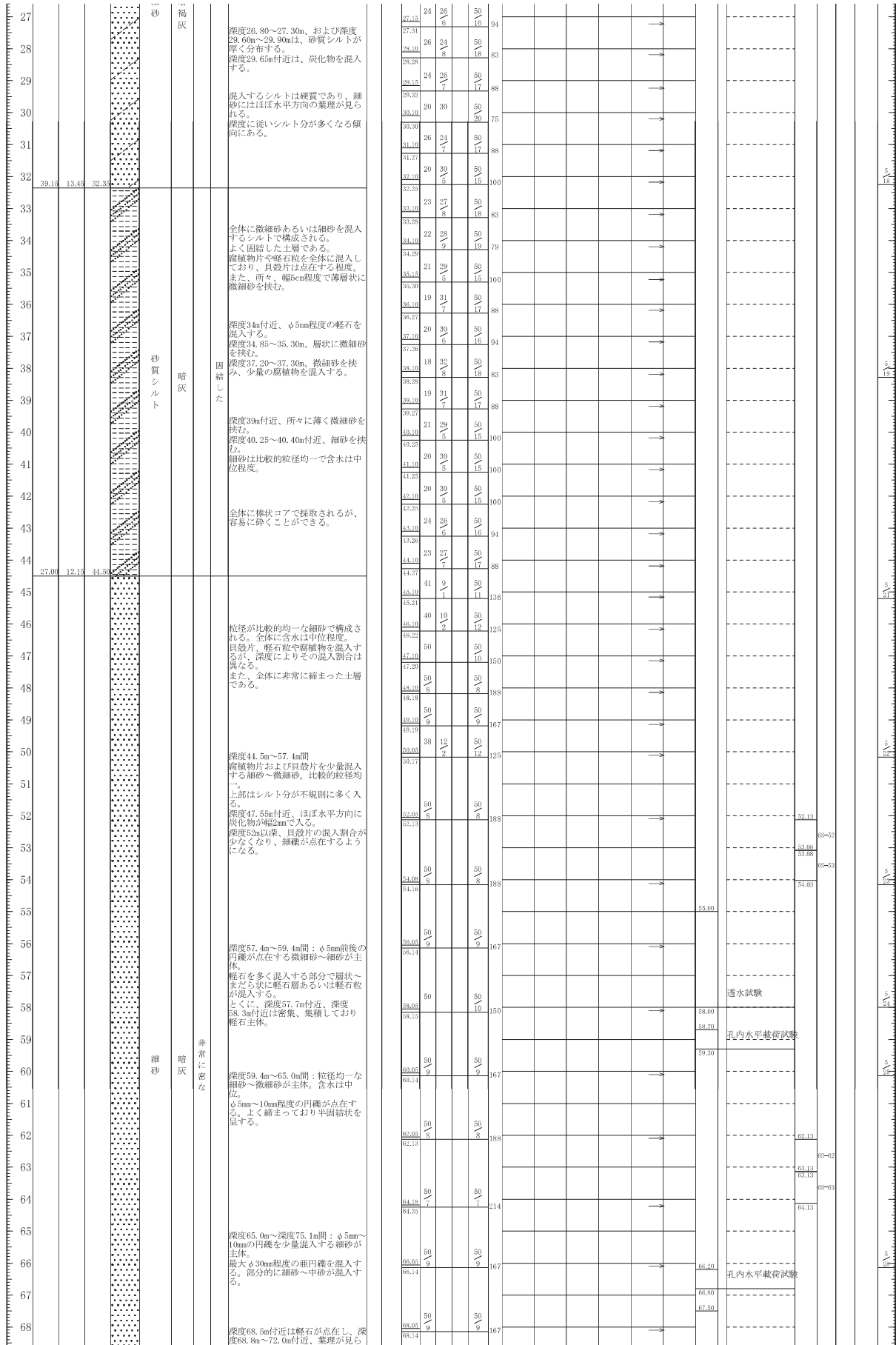
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

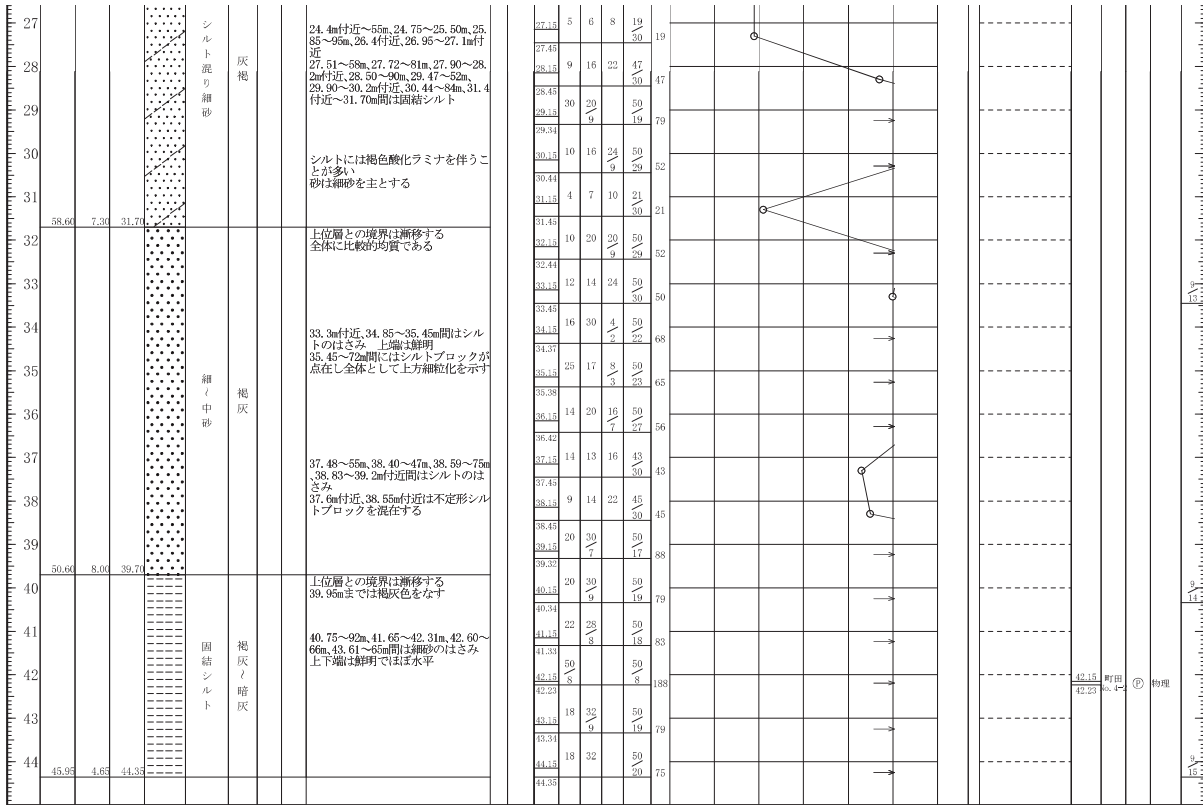
ボーリング名	調査位置			北緯					
発注機関	調査期間			東経					
調査業者名	主任技師			ボーリング責任者					
孔口標高	71.495m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	ハンマー 落下用具
総掘進長	105.00m	度	0°	向	0°			エンジン	ポンプ

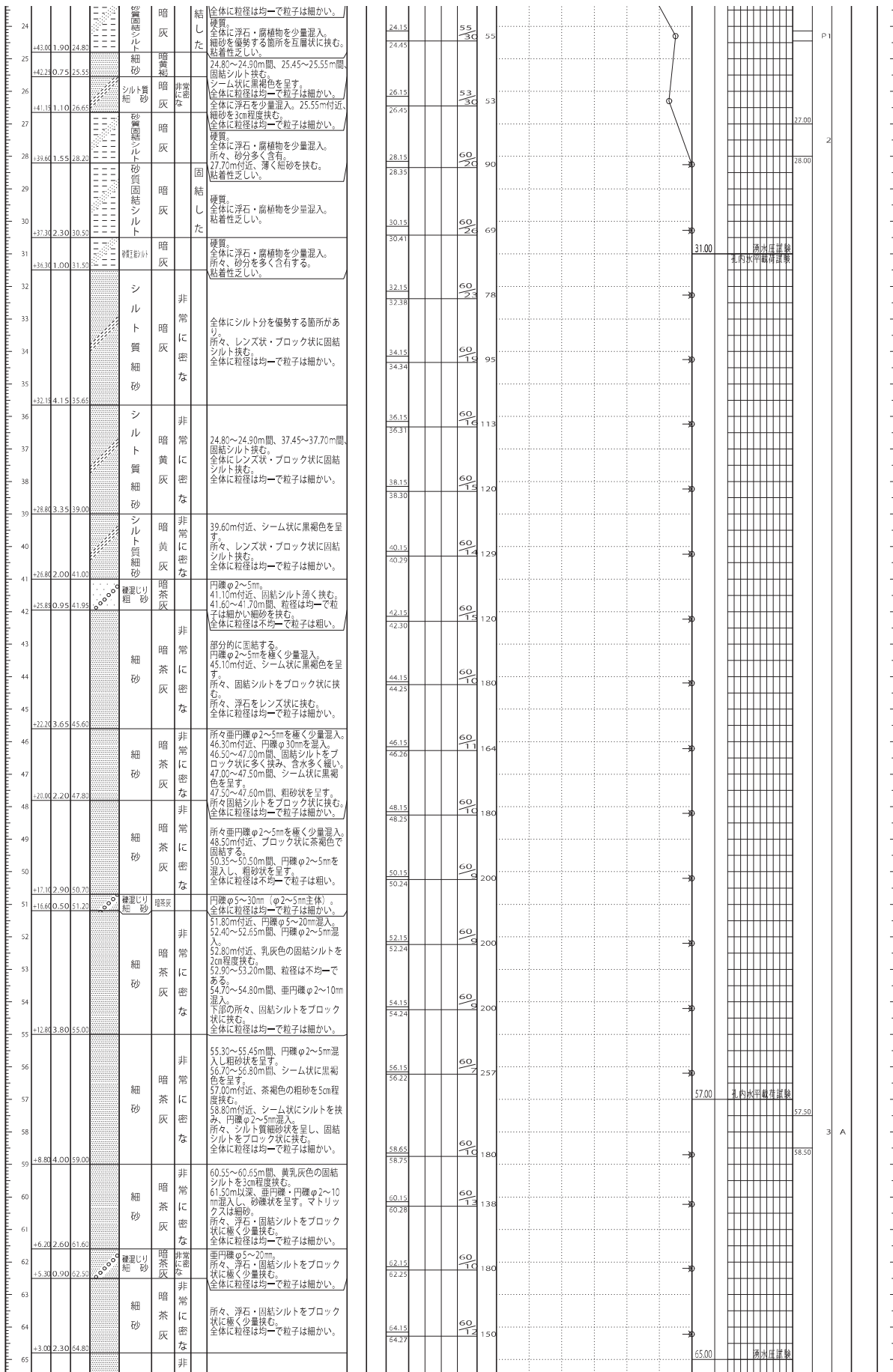
標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 (m)	採取 番号	室内試験 ()	掘進 月日	
											深 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値							
1					盛土・ローム質土	暗茶褐			ローム質土を主体とする盛土層。全体に粘性大のローム質土主体である。 φ2~30mmの亜角礫または角礫を所々に混入する。 深度4.40~4.55m、黄褐色の中砂を挟む。 深度4.55~4.73mに黒ボクを混入する。	6.30	1.15	2	2	2	6						
2					旧表土	黒褐			中位黒ボク主体の土層。	6.30	1.45	1	2	2	5						
3					ローム	茶褐			全体にスコリアや腐植物を少量混入する火山灰質粘性土で構成される。粘性は中位~大位で、コアを割ると空隙が確認できる。 深度7.0m付近より粘性が大きくなる。 深度8.60m付近は、幅7cmの粘土化した軽石層を挟む。	6.30	2.45	1	2	2	5						
4					火山灰質粘性土	黄褐 / 黄茶褐			上層と比べて粘土分を多く含む土層。全体に不均質である。 中位 深度9m付近は不規則に黄灰色の粘土を混入する。 深度10m付近、少量の微細砂を混入する。	6.30	3.45	1	1	1	3						
5					砂質シルト	茶褐 / 黒灰			凝灰質で砂分を多く含むシルト。深度11.5m、12.3m付近、微細砂を混入する。 中位	6.30	4.45	1	2	2	5						
6					雑混じり細砂	灰褐			φ2mm~3mm程度の細礫を混入する細砂。粘土分を少量混入、含水中位。 深度13m付近、最大φ30mmの円礫が点在。所々、固結状に採取される。	6.30	5.45	2	2	2	6						
7					シルト質細砂	灰褐 / 褐灰			全体にシルト分を混入する細砂。含水は中位。 部分的に砂質シルト状を呈する箇所もある。 上部は、固結した砂や粘土が不規則に挟まれる。 深度16.0m~18.0m付近、黄灰色の砂質シルトをブロック状に挟む。 深度18.60m付近はやが硬質。薬理が見られる。	6.30	6.45	1	2	2	5						
8					シルト混じり細砂	黄褐 / 暗青灰 / 暗褐灰			シルト分を混入する細砂が主体。粒径は比較的一で含水は中位程度。 深度18.9m~25.0m間 粒径均一で含水中位な細砂を主体とするが、黄褐色のシルトがブロック状に入る。また、薬理が見られる。 深度23.80m付近より、色調が暗青灰色に変化する。	6.30	7.45	1	2	2	5						
9									深度25.0m~32.35m間 混入するシルトの割合が多くなり、互層状に挟まれるようになる。 挟まれるシルトは不均質であり微細砂~細砂を混入する。	6.30	8.45	1	1	1	3						
10									深度26.80~27.30m、および深度	6.30	9.45	1	1	1	3						



(JR-75)

(JR-76)





(JR-77)

63				細砂	暗茶灰	非常に密な	所々、浮石・固結シルトをブロック状に極く少量挟む。全体に粒径は均一で粒子は細かい。	64.15 64.27	60 12	150					
64															
65															
66				細砂	暗黄灰	非常に密な	65.70m付近、浮石をシーム状に挟む。67.00m付近、浮石少量混入。全体に浮石・固結シルトをブロック状に極く少量挟む。全体に粒径は均一で粒子は細かい。	66.15 66.25	60 10	180					
67															
68															
69				細砂	暗灰	非常に密な	69.30m付近、垂円礫φ20mm混入。所々、固結シルトをブロック状に少量挟む。全体に粒径は均一で粒子は細かい。	68.15 68.29	60 14	125					
70															
71															
72				細砂	暗灰	非常に密な	71.70m付近、浮石をシーム状に挟む。72.00m付近、浮石少量混入。全体に浮石・固結シルトをブロック状に極く少量挟む。全体に粒径は均一で粒子は細かい。	70.15 70.32	60 12	106					
73															
74															
75				砂質固結シルト	暗灰	固結した	硬質。73.60~73.90m間、73.95~74.20m間、74.53~74.63m間、74.75~74.90m間、75.25~75.40m間、75.45~75.65m間、シルト質細砂を挟む。全体に浮石少量混入。粘着性乏しい。	72.65 72.78	60 14	138					
76				砂質シルト	暗灰	固結した	硬質。75.75~75.80m間、シルト質細砂を挟む。76.15m以深よりシルト質細砂を2~3cm程度の厚みで互層状に挟む。全体に浮石少量混入。粘着性乏しい。	74.15 74.32	60 12	106					
77				固結シルト	暗灰	固結した	硬質。全体にシルト質細砂を互層状に挟む。全体に浮石少量混入。粘着性乏しい。								
78				砂質シルト	暗灰	固結した	硬質。黒褐色の腐植物をシーム状に挟む。78.70m付近、浮石多量混入。粘着性乏しい。	78.15 78.28	60 13	138					
79															
80				細砂	暗灰	非常に密な	全体に所々浮石混入。80.50m付近、浮石多量混入。全体に粒径は均一で粒子は細かい。	79.15 79.27	60 12	150					
81															
82															
83				砂礫	暗灰		円礫φ5~30mm(注体φ10~20mm)。マトリックスは細砂。	80.15 80.26	60 11	164					
84															
85				細砂	暗灰	非常に密な	全体に所々浮石をシーム状に挟む。84.70~84.80m間、固結シルト挟む。85.70~85.90m間、砂質シルト挟む。所々、円礫φ5~10mm混入。全体に粒径は均一で粒子は細かい。	82.15 82.25	60 10	180					
86															
87															
88				細砂	暗灰	非常に密な	全体に所々浮石・固結シルトをシーム状に挟む。所々、円礫φ5~10mm混入。全体に粒径は均一で粒子は細かい。	84.15 84.25	60 10	180					
89															
90															
91															
92				砂質土			【P S検層に伴う予掘り区間】	86.15 86.26	60 11	164					
93															
94															
95															
96															
97								88.15 88.27	60 12	150					
98								90.15 90.28	60 13	138					
99															
100															

(JR-77)

(JR-78)

(JR-79)



ボーリング柱状図

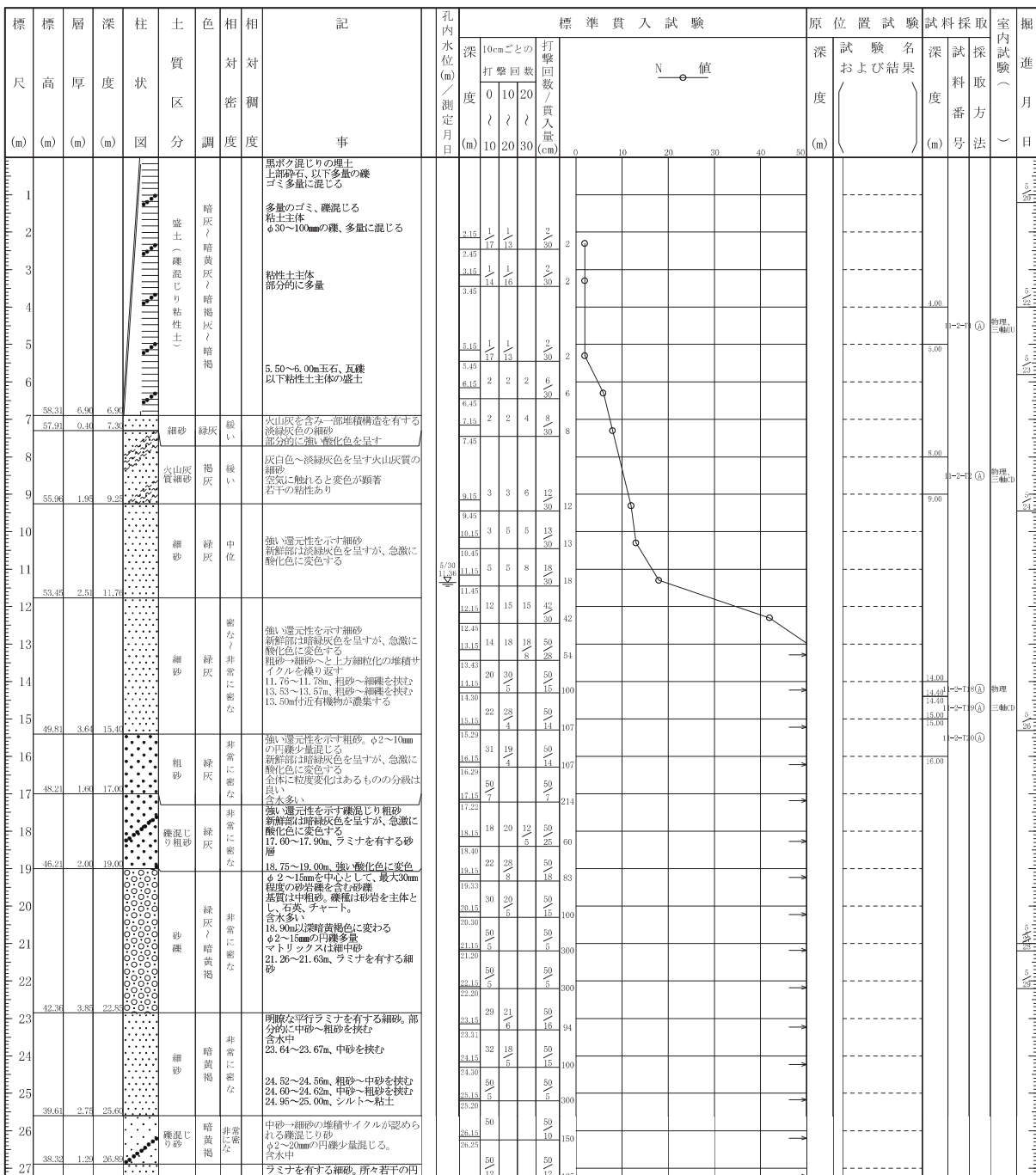
調査名

ボーリングNo

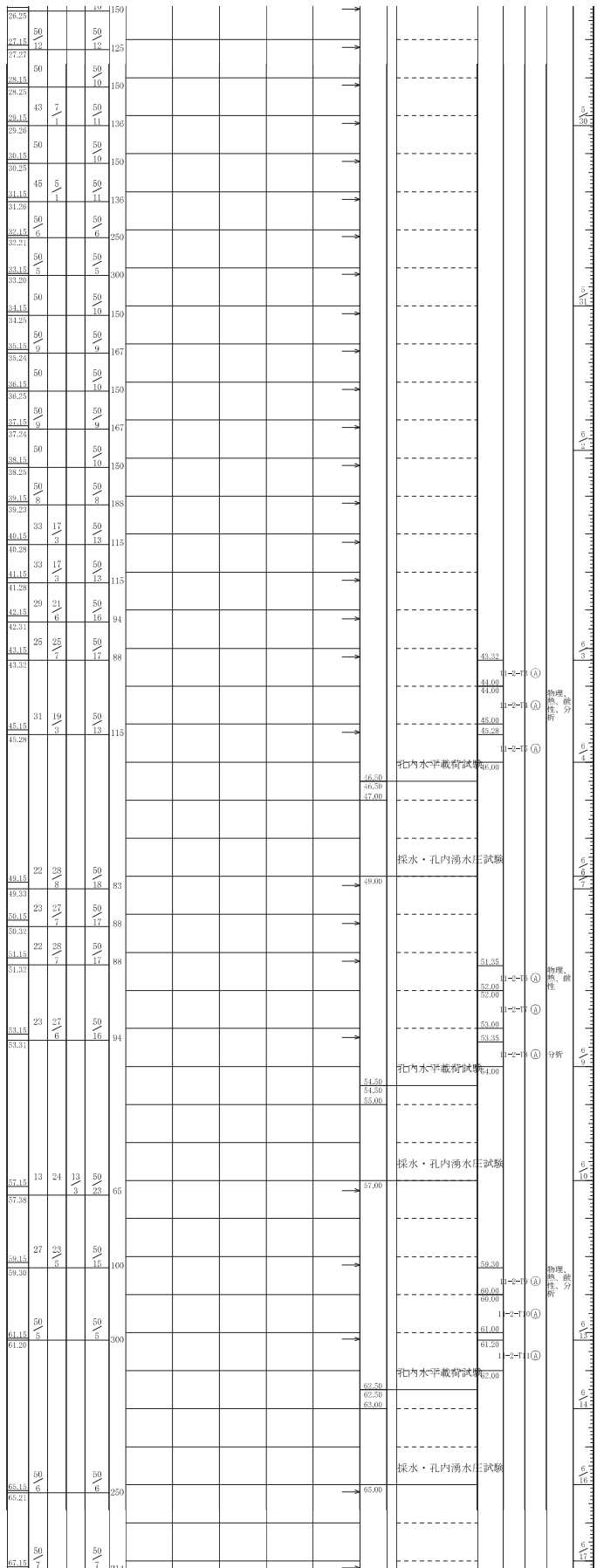
事業・工事名

シートNo

Header information table including borehole name, location, date, and personnel details.



層番号	層名	土質	状態	説明
27	泡灰	非常に密な	泡灰	φ2~20mmの円礫少量混じる。含水中
28	細砂	非常に密な	暗黄泡	ラミナを有する細砂。所々若干の円礫混じる。含水中
29	泡灰	非常に密な	暗黄泡	
30	細砂	非常に密な	暗黄泡	
31	泡灰	非常に密な	暗黄泡	30.48m付近に厚さ1cm程度の火山灰層を含む
32	砂礫	非常に密な	暗黄泡	31.50~31.60m砂礫を挟む。31.90m~砂礫に変わる
33	砂礫	非常に密な	暗黄泡	φ2~40mmの円礫主体
34	砂礫	非常に密な	暗黄泡	φ5~15mm程度の円礫を含む細砂
35	砂質土	非常に密な	暗黄泡	φ0.5~45mmの円礫~面円礫を多量に含む砂礫。礫層は砂礫を主体とし、石英やチャートを含む。基質は細砂~中砂。φ2cm以上の礫層は砂岩が多い
36	砂質土	非常に密な	暗黄泡	φ1cm程度の礫を少量含む粒度の悪い細砂。礫層は砂岩が主体で、円礫~面円礫
37	砂質土	非常に密な	暗黄泡	
38	砂質土	非常に密な	暗黄泡	φ2~40mmの円礫~面円礫を多く含む中砂~粗砂。礫層は砂岩を主体とし、石英やチャートを含む。含水中
39	砂質土	非常に密な	暗黄泡	
40	砂質土	非常に密な	暗黄泡	堆積構造が不明瞭な砂。粒度の悪い細砂~中砂に、軽石の砕屑物が含まれる
41	砂質土	非常に密な	暗黄泡	
42	砂質土	非常に密な	暗黄泡	ラミナを有する粒度の悪い砂。φ2~40mmの砂岩円礫少量混じる。41.57~41.74m、軽石を主体とした礫混じり層
43	砂質土	非常に密な	暗黄泡	ラミナを有する細砂~中砂。やや風化色を帯びる
44	砂質土	非常に密な	暗黄泡	
45	中砂	非常に密な	暗黄泡	堆積構造が不明瞭な砂。砂岩礫~軽石を少量含む
46	中砂	非常に密な	暗黄泡	
47	中砂	非常に密な	暗黄泡	
48	中砂	非常に密な	暗黄泡	
49	砂質土	非常に密な	暗黄泡	堆積構造が不明瞭な暗灰色の中砂
50	砂質土	非常に密な	暗黄泡	
51	砂質土	非常に密な	暗黄泡	
52	砂質土	非常に密な	暗黄泡	
53	砂質土	非常に密な	暗黄泡	軽石と固結シルト礫からなる砂礫
54	砂質土	非常に密な	暗黄泡	堆積構造が不明瞭な粒度の悪い細砂
55	砂質土	非常に密な	暗黄泡	軽石を多量に含みラミナをなす砂層
56	砂質土	非常に密な	暗黄泡	55.50~56.00m少量の火山灰混入。56.40~56.50m固結粘土を挟む
57	砂質土	非常に密な	暗黄泡	固結シルト層を確状に含む。暗灰色~黄灰色を呈する固結シルトを主体とし、ところどころに砂層を挟む
58	砂質土	非常に密な	暗黄泡	57.68~57.72m、粒度の悪い砂。57.85~57.98m、粒度の悪い砂。58.00~58.13m、粒度の悪い砂。58.16~58.24m、不明瞭なラミナを有する砂。58.28~58.32m、粒度の悪い砂
59	砂質土	非常に密な	暗黄泡	
60	砂質土	非常に密な	暗黄泡	明瞭なラミナを有する砂。細粒~中粒の砂が繰り返して堆積している。含水中
61	砂質土	非常に密な	暗黄泡	
62	シルト砂互層	非常に密な	暗黄泡	固結シルトと細砂の互層。一部ラミナを有するが、やや堆積構造が乱された状態を呈す
63	固結シルト	非常に密な	暗黄泡	砂層を挟む固結シルト。砂層が薄い
64	細砂	非常に密な	暗黄泡	62.84~63.00mは風化色を呈す。礫の可能性もある。ラミナを有する細砂。風化の強い部分と弱い部分が確状を呈す
65	固結シルト	非常に密な	暗黄泡	堆積構造を有する固結シルト層。砂層で灰色を呈する固結シルト上位・下位の砂層との接触部で風化により褐色している。63.52~63.74m、風化により灰白~淡褐色を呈す。64.00~64.05m間には軽石層を挟む。64.19~64.26m、風化により灰白~



(JR-80)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯	
発注機関	調査期間										東経	
調査業者名	主任技師					現場代理人					ボーリング責任者	
孔口標高	TP	角	180°	方	北	0°	地盤勾配	鉛直	水平	0°	使用機種	ハンマー落下用具
総掘進長	15.25m	度	上	90°	西	270°	東	90°	南	180°	エンジン	ポンプ

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験				N値	位置試験	試験名	採取番号	採取方法	室内試験	掘進月日		
											深 (m)	0	10	20								30	
1	66.88	1.70	1.70		埋土 (質粘性土)	暗褐色			0.07mまでアスファルト。0.15mまで採石。以降はローム質粘土を主とする。	8.1	2.25	2	3	3	3								
2										8.1	2.53	2	2	2	2								
3										8.1	3.13	2	2	2	2								
4										8.1	3.48	6	6	6	18								
5					ローム	褐色			ボソボソして閉鎖状を呈する。比較的均質で土相変化は少ない。下部はやや粘土化している。	8.1	4.15	6	6	6	18								
6										8.1	4.45	2	2	2	4								
7										8.1	5.15	2	2	2	4								
8	60.16	6.70	8.40		シルト質細砂	褐色			全体に細粒分を多く混入する。比較的均質で土相変化は少ない。	8.1	5.45	2	2	2	4								
9										8.1	6.15	2	2	2	4								
10	58.68	1.50	9.90							8.1	6.45	2	2	2	4								
11									10.75mまでは赤褐色に強く酸化される。12.50~65m間はシルトのはきみ。上下端は鮮明ではほぼ水平。褐色酸化水平面がみられる。13.40~48、13.60~65m間はシルトのはきみ。13.65~75m間には赤褐色酸化ラミナが発達する。ほぼ水平。14.45~15.00m間は中~粗砂を主とし一部に厚さ20~30cmのシルトをはさまむ。ほぼ水平。	8.1	7.15	2	2	2	3	7							
12										8.1	7.45	3	4	5	15								
13					細砂	褐色				8.1	8.15	6	12	15	33								
14										8.1	8.45	14	20	16	50								
15	53.31	5.35	15.25							8.1	9.15	14	20	16	50								
										8.1	10.13	20	20	16	50								
										8.1	10.44	16	24	10	50								
										8.1	11.13	20	30	9	50								
										8.1	11.40	22	28	50	50								
										8.1	12.13	20	30	9	50								
										8.1	13.34	35	15	5	50								
										8.1	14.13	50			50								
										8.1	14.30				10								
										8.1	15.13												
										8.1	15.25												

(JR-81)

ボーリング柱状図

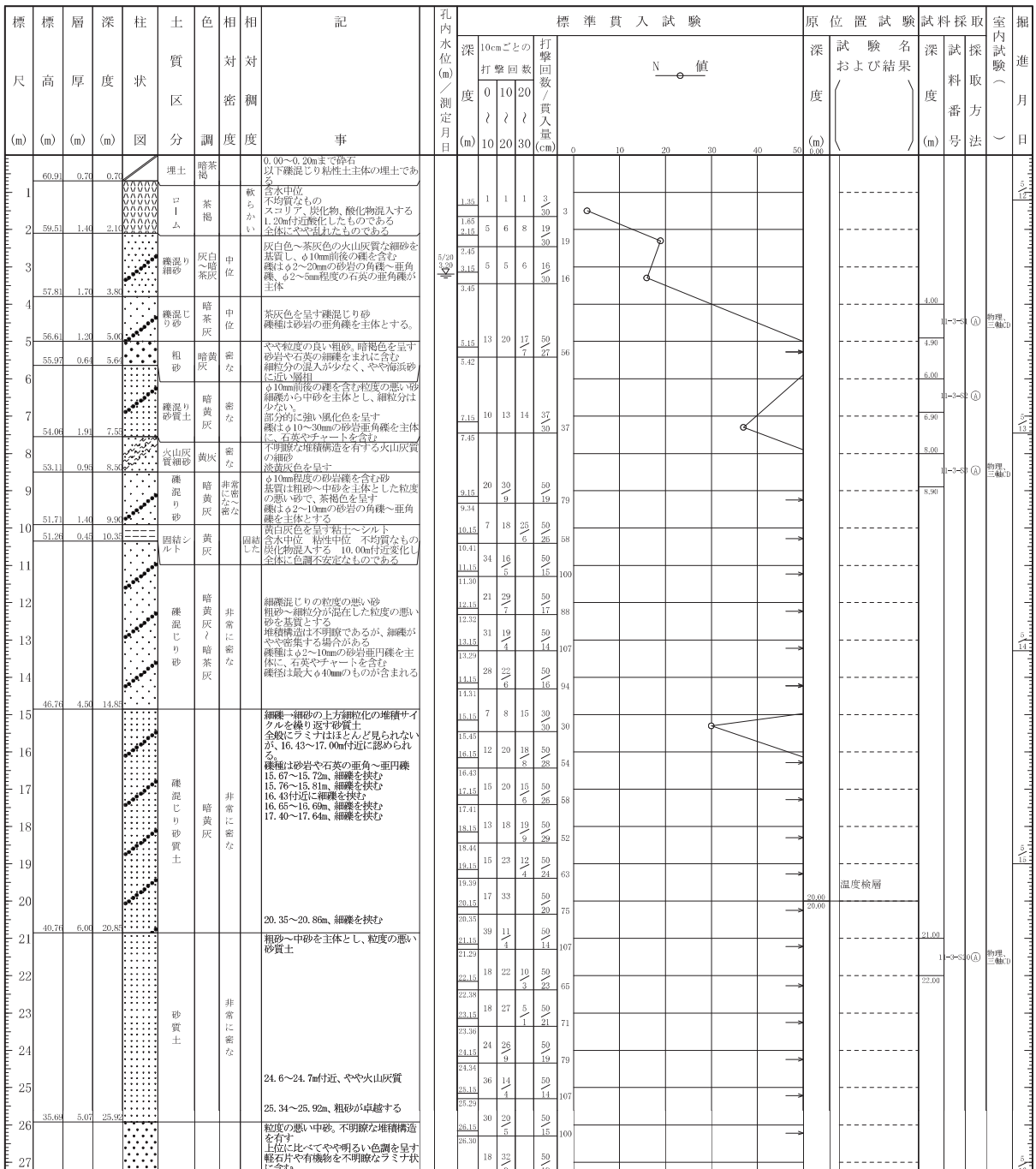
調査名

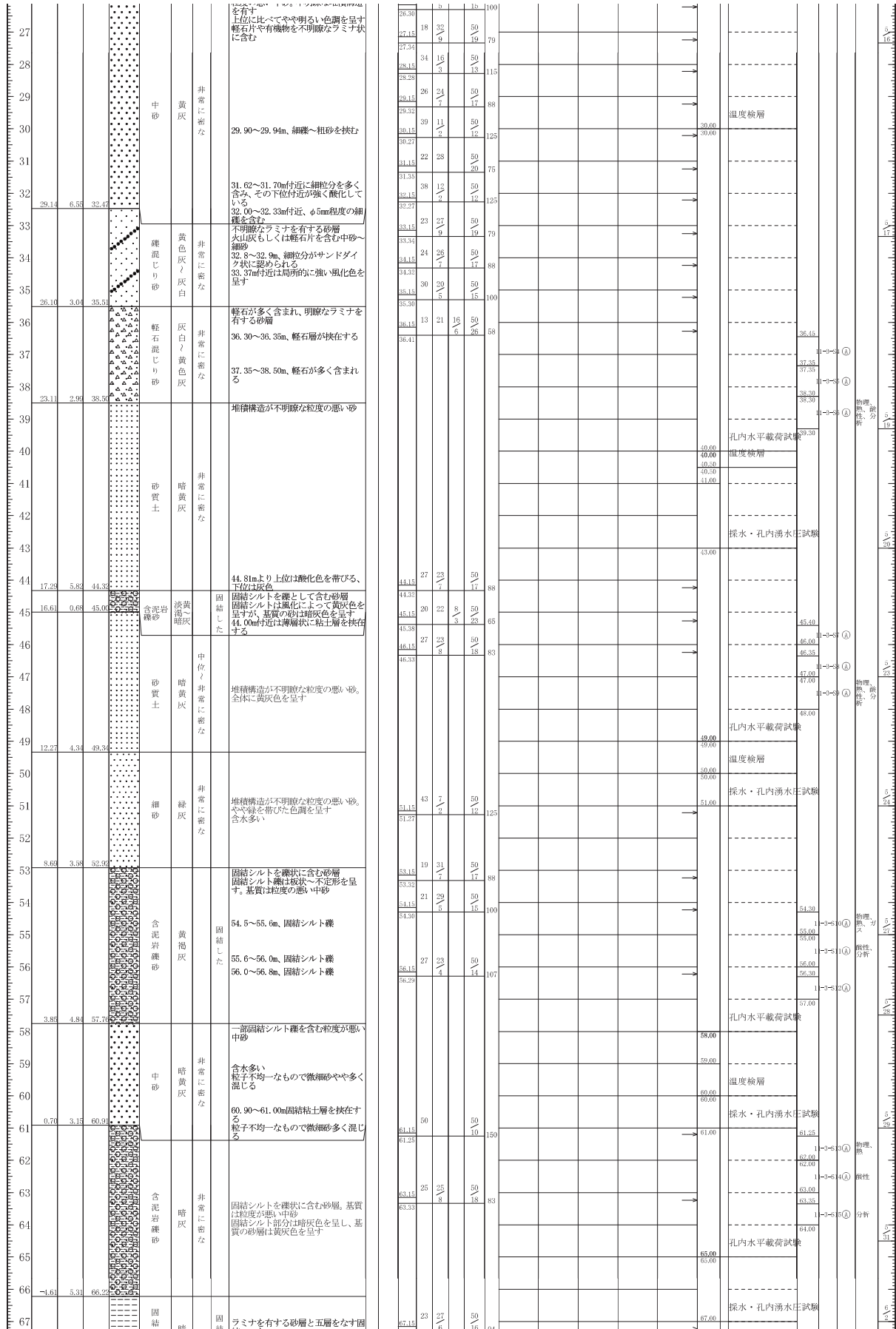
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

Header information table including borehole name, location, date, and personnel details.





(JR-82)

67				固結シルト	暗灰	固結した	ラミナを有する砂層と互層をなす固結シルト 軽石、植物混入する 66.39~66.47m、ラミナが明瞭な火山灰層	67.13	23	27	59	94				67.00	採水・孔内湧水試験				
68	-6.9	2.3	68.5					67.31	45	5	50	136									
69				中砂	暗黄灰	非常に密な	不明瞭な堆積構造を有する粒度の悪い中砂。風化の影響で褐色を呈す	68.13													
70	-8.06	1.15	69.7	固結シルト	暗灰	固結した	青灰色の固結シルト、サンプリング試料として認められる	69.25	50		50	150									
71				細砂	暗黄灰	非常に密な	酸化色を帯びる粒度の悪い中砂。堆積構造は不明瞭 シルト~細砂を多く含む	69.15													
72								69.25													
73	-11.68	2.95	73.3	細砂	暗灰	非常に密な	粒度の悪い中砂。灰色を呈す 含水多く、軽石、雲母片混入する	71.23	50	8	50	188									
74	-12.34	0.65	73.9																		
75				含泥岩礫砂	暗灰	固結した	固結シルトを構成を含む砂層 軽石、植物混入する 73.95~74.95m、固結シルト礫 75.37~75.47m、75.50~75.71m、有機物を含む固結シルト礫 柱状コア一採取される(L=5~10cm) 75.81~75.85m、固結シルト礫 75.99~76.06m、76.17~76.43m、76.58~76.74m、76.90~77.22m固結シルト礫	75.13	50	6	50	250									
76								76.23													
77	-15.59	3.25	77.2					77.13	50	7	50	214									
78								77.22													
79				含泥岩礫砂	暗灰		固結シルトと砂が交互に分布する 77.22~82.00m間率縮り														
80																					
81																					
82	-20.38	4.8	82.0																		

(JR-82)

ボーリング番号

調査時期:

表示座標 ※1

孔口標高 : T.P. +56.00 m

孔内水位:

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	標準貫入試験			N値 —○—
						開始深度 m	打撃回数	貫入量 cm	
1	1.35	1.35		表土		1.15	2	30	
2	1.45	2.80		シルト	黒茶褐	2.15	2	30	
3			細砂	黄灰	3.15	32	30		
4					4.15	50	30		
5					5.15	50	30		
6					6.15	50	30		
7					7.15	50	30		
8					8.15	50	30		
9					9.15	50	30		
10	7.44	10.24			10.15	50	30		
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									

※1 表示座標は、調査地点のおおよその位置を示しています。

(参考82-1)

ボーリング柱状図

調査名

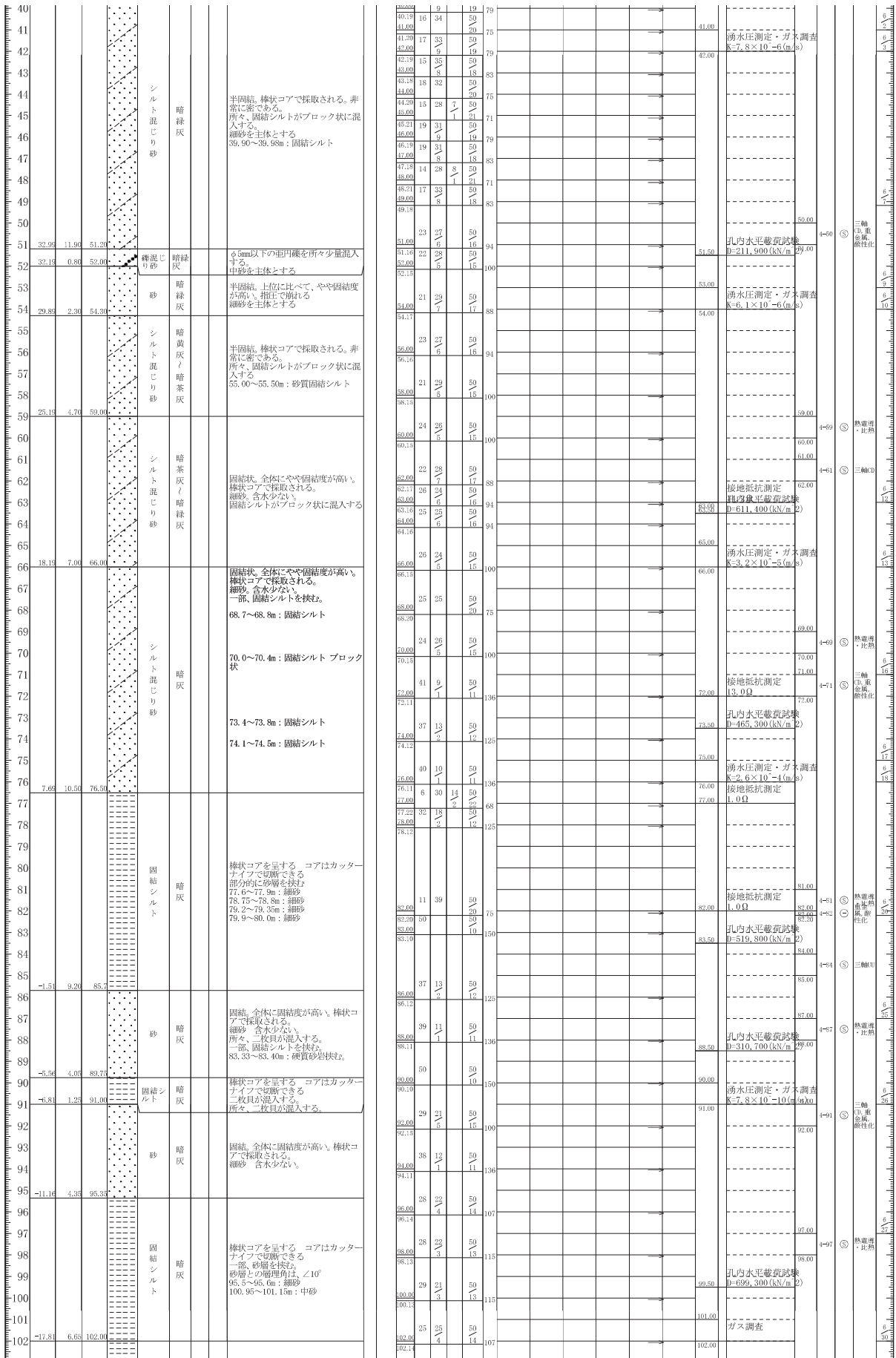
ボーリングNo

事業・工事名

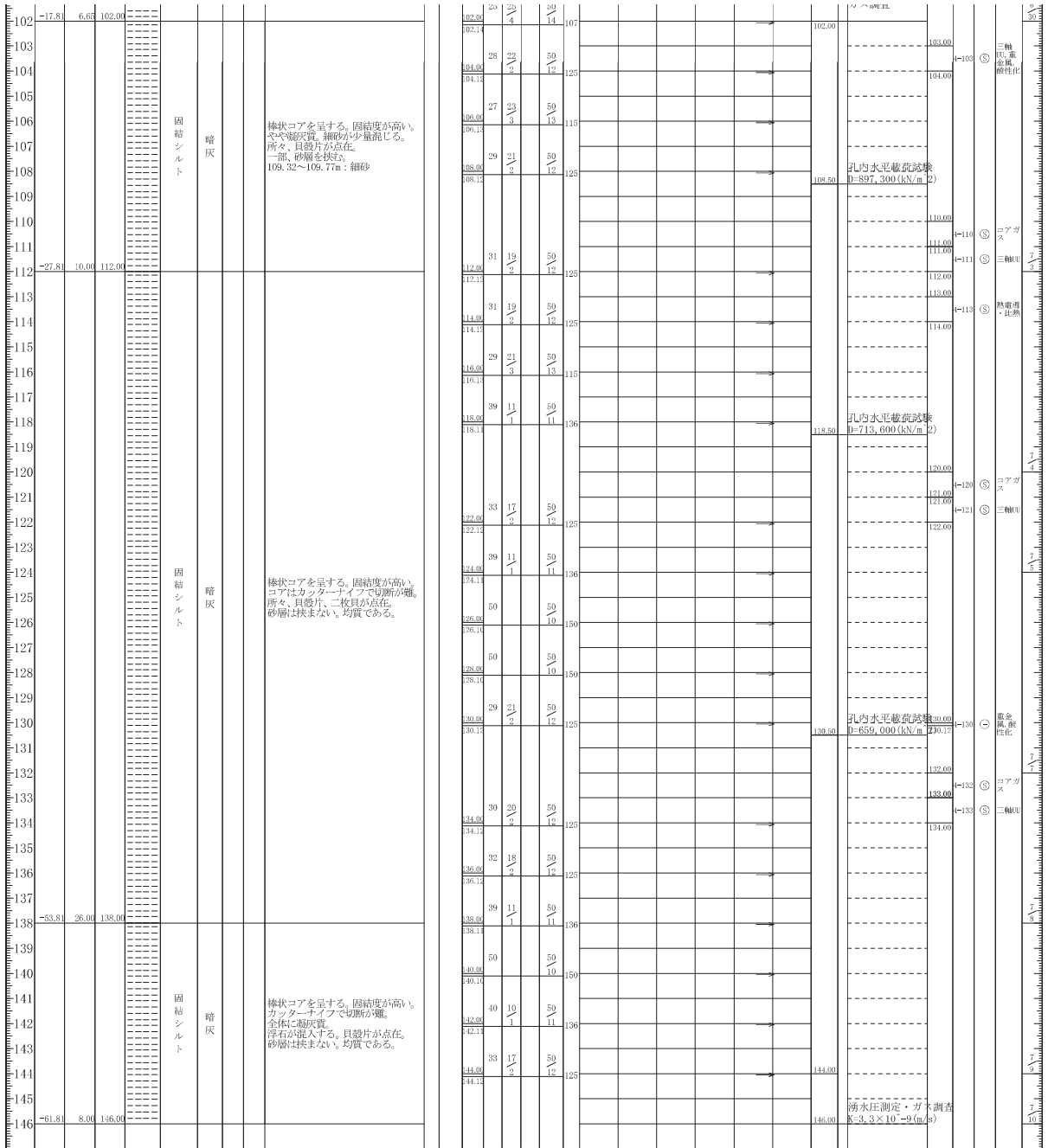
シートNo

Header information table including boring name, location, date, and personnel details.

Main data table with columns for depth, soil type, test results, and groundwater level. Includes a graph of groundwater level and soil test data points.



(JR-83)



(JR-83)

ボーリング柱状図

調査名

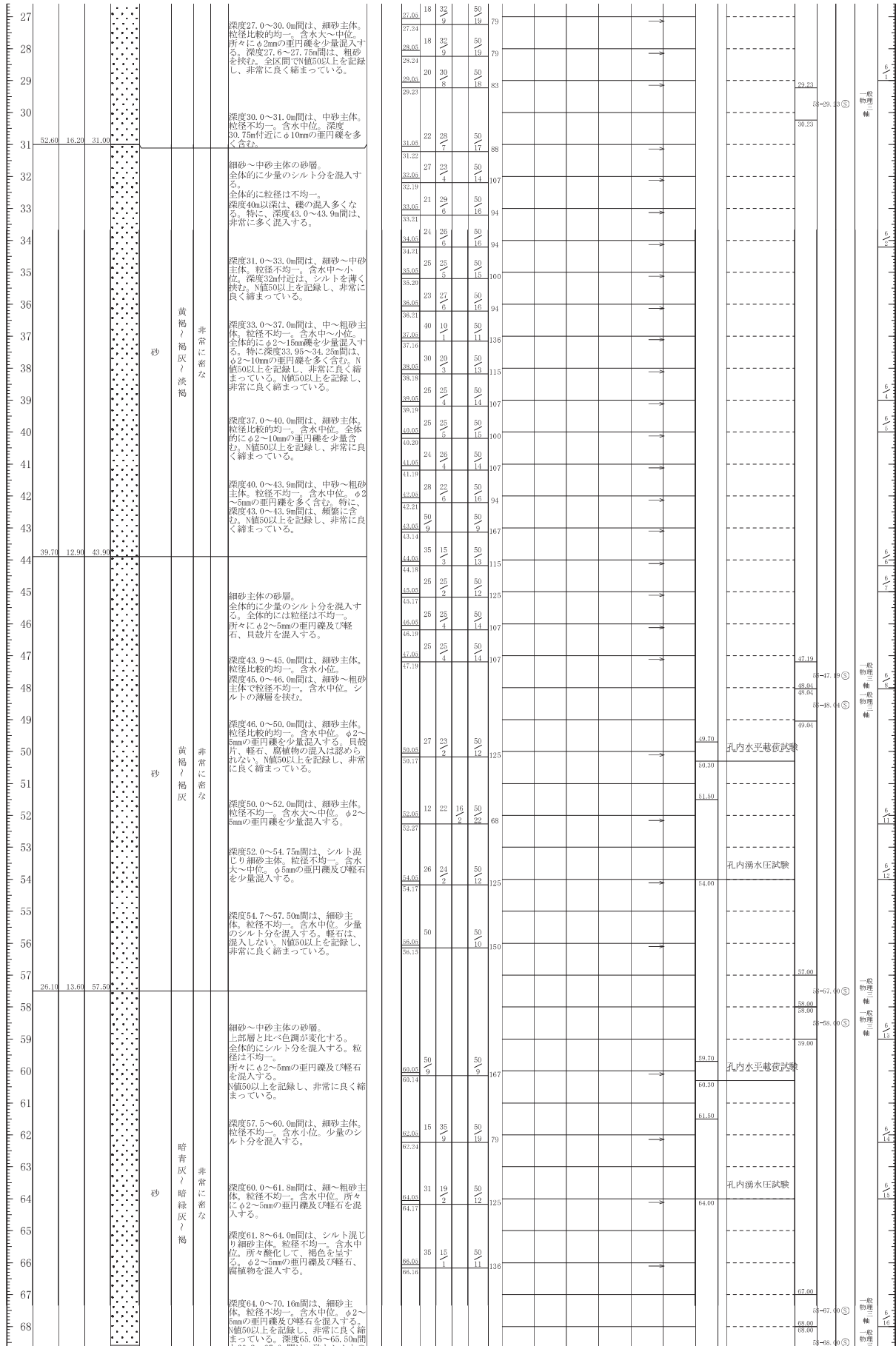
ボーリングNo.														
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置											北緯	
発注機関	調査期間											東経	
調査業者名	主任技師											現代場人	ボーリング責任者
孔口標高	83.60m	角	180°	方	北0°	地盤勾配	水平0°	使用機種	試験機	ハンマー	落下用具		
総掘進長	100.00m	度	0°	向	270°	鉛直	90°	エンジン		ポンプ			

標尺	層高	厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	相対	相対	相対	相対	相対	標準貫入試験					原位置試験	試験名	採取	採取	室内	掘進		
														深	10cmごとの	打撃回数	貫入量	深							深	深
82.90	0.70	0.70	82.90	表土・粘りシルト	黒褐色	軟弱	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	1.15	1	1	2									
79.93	2.93	3.63	79.93	粘土質シルト	黒褐色	軟弱	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	1.47	1	1	2									
78.40	1.33	5.00	78.40	粘土質シルト	黄褐色	軟弱	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	3.50	7	6	9	22								
76.60	2.00	7.00	76.60	シルト	暗青灰	非常に硬い	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	3.45	6	7	11	24								
76.00	0.60	7.60	76.00	シルト質砂	暗青灰	非常に硬い	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	3.40	20	30	50	75								
74.40	1.60	9.20	74.40	粘土質シルト	暗青灰	非常に硬い	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	3.30	20	30	50	75								
72.70	1.70	10.90	72.70	砂	暗青灰	非常に硬い	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	11.15	15	35	50	75								
71.60	1.10	12.00	71.60	粘土質シルト	暗青灰	非常に硬い	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	11.35	26	24	5	50								
70.30	1.30	13.30	70.30	シルト混じり砂	暗青灰	非常に硬い	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	13.30	21	29	50	75								
68.80	1.50	14.80	68.80	砂混じりシルト	暗青灰	非常に硬い	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	粘り	14.10	4	4	14	107								
														15.10	42	8	1	50								
														16.40	21	29	7	50								
														16.27	36	14	50	136								
														17.10	25	25	5	50								
														18.00	20	30	9	15	100							
														18.30	20	30	9	19	79							
														19.00	25	25	7	50								
														20.05	20	30	50	88								
														20.05	20	30	50	75								
														21.00	17	33	50	75								
														22.10	26	24	7	50								
														22.35	20	30	8	50								
														23.10	20	30	8	18	83							
														24.10	13	17	20	50	24.50	現場透水試験						
														24.38	25	21	6	26	58							
														25.05	20	30	7	50								
														25.31	18	32	9	50								
														26.03	27	05	19	79								
														26.23												
														27.05												
														27.24												



深度 (m)	層名	土質	説明	試験結果
68	シルト優勢層	暗灰	シルトと砂の互層であるが、全体的にはシルトの優勢な層である。シルトは固結した状態で採取され非常に硬質。砂は、細砂主体、含水中位。粒径は比較的均一。全体的に軽石が混入し、腐植物を頻りに含む。 N値50以上を記録し、非常に良く締まっている。深度65.05~65.50m間と69.3~69.0m間は、砂とシルトの互層状で採取される。深度69.0~69.1m間に、シルトを挟む。	68.00
69				69.00
70				70.00
71	シルト優勢層	暗灰	シルトと砂の互層であるが、全体的にはシルトの優勢な層である。シルトは固結した状態で採取され非常に硬質。砂は、細砂主体、含水中位。粒径は比較的均一。全体的に軽石が混入し、腐植物を頻りに含む。 深度70.16~70.45m間は、シルト。深度70.45~70.65m間は、細砂。深度70.65~71.60m間は、シルト。深度71.6~71.9m間は、細砂。深度71.9~72.0m間は、シルト。深度72.0~72.2m間は、細砂。深度72.2~72.5m間は、シルト。深度72.50~72.55m間は、細砂。深度72.55~72.70m間は、シルト。深度72.7~72.8m間は、細砂。深度72.8~74.0m間は、シルト。	70.00
72				70.16
73				70.45
74				70.65
75				71.60
76				71.90
77				72.00
78				72.20
79	砂	暗灰	細砂主体の砂層。 全体的に少量のシルト分を混入する。粒径は不均一。含水中位。 N値50以上を記録し、非常に良く締まっている。 深度75.0~75.3m、75.45~75.65m間に、砂質シルトを挟む。 貝殻片、軽石、腐植物の混入は認められない。	75.00
80				75.30
81				75.45
82				75.65
83				77.00
84				77.40
85				77.50
86				77.55
87	砂	暗灰	細砂主体の砂層。 粒径やや不均一。含水中位。 全体的に少量のシルト分、貝殻片、腐植物を混入する。 深度78.2~81.35m間は、細砂主体。粒径やや不均一。含水中位。 孔壁の崩壊性が認められる緩い区間であるが、N値は50以上を記録する。 貝殻片、腐植物を混入する。 深度81.35~84.80m間は、細砂~粗砂主体。 粒径不均一。含水中位。 全体的に貝殻片、腐植物を点々と混入するが、深度82.9~84.2m間は、非常に多く混入する。深度84.0~84.2m間に、10mm大の貝殻片が混入する。 N値50以上を記録し、非常に良く締まっている。	79.00
88				80.00
89				80.16
90				80.70
91				81.30
92				81.35
93				84.80
94				84.80
95	砂質シルト優勢層	暗灰	砂質シルトと砂の互層であるが、全体的には砂質シルトの優勢な層である。シルトは固結した状態で採取され非常に硬質。砂は、細~中砂主体。粒径不均一。含水中位。 全体的に軽石、腐植物、貝殻片を点々と混入する。 深度84.8~84.9m間は、砂質シルト。深度84.90~85.15m間は、細~中砂。深度85.15~86.2m間は、シルト。深度86.20~86.25m間は、細砂。深度86.25~86.35m間は、シルト。深度86.35~86.45m間は、細砂。深度86.45~86.50m間は、シルト。深度86.50~86.55m間は、細砂。深度86.55~86.60m間は、シルト。深度86.60~86.65m間は、細砂。深度86.65~90.00m間は、シルト。	87.00
96				88.00
97				88.00
98				88.00
99				89.00
100				89.00
101				90.00
102				90.00
103	砂質シルト	暗灰	所々に薄く砂を挟む、砂質シルト層。 固結状で採取され、非常に硬質。全体的に軽石、腐植物、貝殻片を頻りに混入する。 全体的に含水中位。 全地点でN値50以上を記録する。 深度90.00~92.21m間は、砂質シルト。全体的に粘土分、腐植物、軽石を少量混入する。 深度90.22~90.27m間に細砂を挟む他、全体的に10mm以下で薄く砂を挟む。 深度92.21~92.35m間は、シルト混じり中砂。結性、含水中位。 深度92.35~100.00m間は、砂質シルト。結性小位。 深度93.35~93.65m間に、含水中位の比較的均一な細砂を挟む。 深度94.00~94.25m間に、軽石が多く混入する。 深度94.95~95.00m間に、含水中位の比較的均一な細砂を挟む。 深度95.00m以深は、砂を挟まなくなる。 深度98.00~98.10m間に、貝殻片が多く混入する。	90.00
104				91.30
105				92.50
106				95.00
107				96.10
108				96.10
109				96.10
110				96.10

(JR-84)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP +72.890m	角	180°上 90°下 0°	ハンマー落下用具
総掘進長	19.37m	方	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	ポンプ
		地盤勾配	鉛直 90°	エンジン

標尺 (m)	層高 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名	試験番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	10	20	30						
1	71.5	1.35	1.35	黒ボク	暗褐		土壌化したローム層		0	10	20	30							
2							ボソボソして団塊状を呈する比較的均質である		2.15	2	2	6							
3									2.45										
4									3.15	1	1	2							
5									3.45	2	3	7							
6							5.0m付近で深では半固結状を示す		4.15	7	10	12							
7									4.45	5	6	9							
8									5.15	5	6	9							
9									5.45	1	1	3							
10	62.88	2.50	10.00	凝灰質粘土	褐灰 / 暗褐灰		全体に細かい軽石粒が含まれる。シグ状のスコリアが点在する。7.7~8.0m間には暗褐色土塊の点在し、8.95m以深ではラミナをなす。9.0m以深は暗褐色をなす。9.60m付近には約6mmの軽石塊を混入する。		7.15	1	1	2							
11	62.38	0.50	10.50	砂礫	緑灰		層厚は2~30mm程度を主とし、粒量は中粒。性質は中粒よりなる。土中に10mm以下の礫を混入する。上半部は強い還元色を示すのに対し、下半部は強く酸化されている。細下部に暗色帯がありラミナを伴う傾向。		7.45	1	1	3							
12	60.99	1.40	11.90	中砂	緑灰~暗褐		全体に土相変化が少なく均質である。		8.15	1	1	3							
13									8.45	1	1	3							
14							13.55mに固結シルトをはさまる。厚さ2cm。		8.15	1	1	3							
15									8.45	1	1	3							
16									8.15	1	1	3							
17	55.49	5.50	17.40	細砂	褐灰		16.56~60m間はシルトブロック。上下端は鮮明で凹凸あり。		8.45	1	1	3							
18									9.15	1	1	3							
19	53.52	1.97	19.37	細砂	褐灰		上位層との境界は漸移する。17.75mまではφ4mm以下の礫が点在する。以降は比較的均質である。		9.45	1	1	3							

(JR-85)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯	
発注機関	調査期間										東経	
調査業者名	主任技師										現場代理人	
孔口標高	TP +72.030m	角	180° 上 0° 下	90°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	エンジン	ハンマー 落下用具	ボーリング 責任者
総掘進長	25.45m											ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 試験名 および結果	試料採取 採取方法 番号	室内試験 採取方法 ()	掘進 月日	
									深 (m)	0	10	20					
1			埋土 (雑混り粘性土)				雑混り粘土状をなす 2.0mまではφ60mm以下の礫を多く混入する ガラや砂岩片も混入する 軟質シルトへ砂塊も多く混入する 下位へ向かって礫等の混入物は少なくなる	10.3 10.3	2.15	1	1	3/30					
2									2.45								
3									3.15	1	1	3/30					
4									3.45								
5							5.2~6.2m間には有機物が多く混入する 5.7~8.5m間にはφ10mm以下の礫が多く点在する		4.15	1	2	1/30					
6									4.45								
7							7.55~7.5m間にはφ10mm以下の礫が集中する		5.15	1	2	4/30					
8	64.28	7.75	7.75						4.15	1	1	3/30					
9							9.55mまでは褐色をなす 一部は強く酸化を受ける 以深は比較的均質である 全体に細粒分を混入する		7.45	1	1	3/30					
10									7.75	1	1	3/30					
11	61.08	3.20	10.95						7.45	4	7	19/30					
12									8.15	4	7	17/30					
13									8.45	4	6	7/30					
14							細粒分の混入程度は少なくなる 全体に比較的均質である		10.15	6	7	8/30					
15									10.45	6	7	8/30					
16									11.15	4	4	5/30					
17	54.33	6.75	17.70						11.45	6	6	7/30					
18							全体に比較的均質である 17.75~82m, 18.60~71m, 18.90~93m 間はシルトのはさまみ 上下端は漸移する		12.15	5	6	8/30					
19									12.45	5	6	8/30					
20									13.15	7	8	12/30					
21							21.82m付近に10×30mmの固結シルト礫あり		13.45	10	14	18/30					
22							22.55~80m間には褐色の酸化ラミナが6~7枚発達する 23.00~1m付近はシルトのはさまみ 以深は凝灰質で軽石粒を多く混入する		14.15	12	14	21/30					
23	48.48	5.85	23.55						14.45	12	14	21/30					
24							23.90~24.1m付近, 24.40~80m間は 細中砂のはさまみ 上端は漸移し下端は鮮明でほぼ水平		15.15	10	14	18/30					
25	46.58	1.90	25.45						15.45	12	15	23/30					
									16.15	11	18	21/30					
									16.45	13	21	16/30					
									17.15	14	16	20/30					
									17.45	12	21	17/30					
									18.15	10	14	26/30					
									18.45	6	6	12/30					
									19.15	5	18	22/30					
									19.45	20	20	10/30					
									20.15	11	18	21/30					
									20.40	11	18	21/30					
									21.15	11	18	21/30					
									21.44	13	21	16/30					
									22.15	14	16	20/30					
									22.42	14	16	20/30					
									23.15	12	21	17/30					
									23.45	12	21	17/30					
									24.15	10	14	26/30					
									24.40	10	14	26/30					
									25.15	10	14	26/30					
									25.45	10	14	26/30					

(JR-86)

ボーリング柱状図

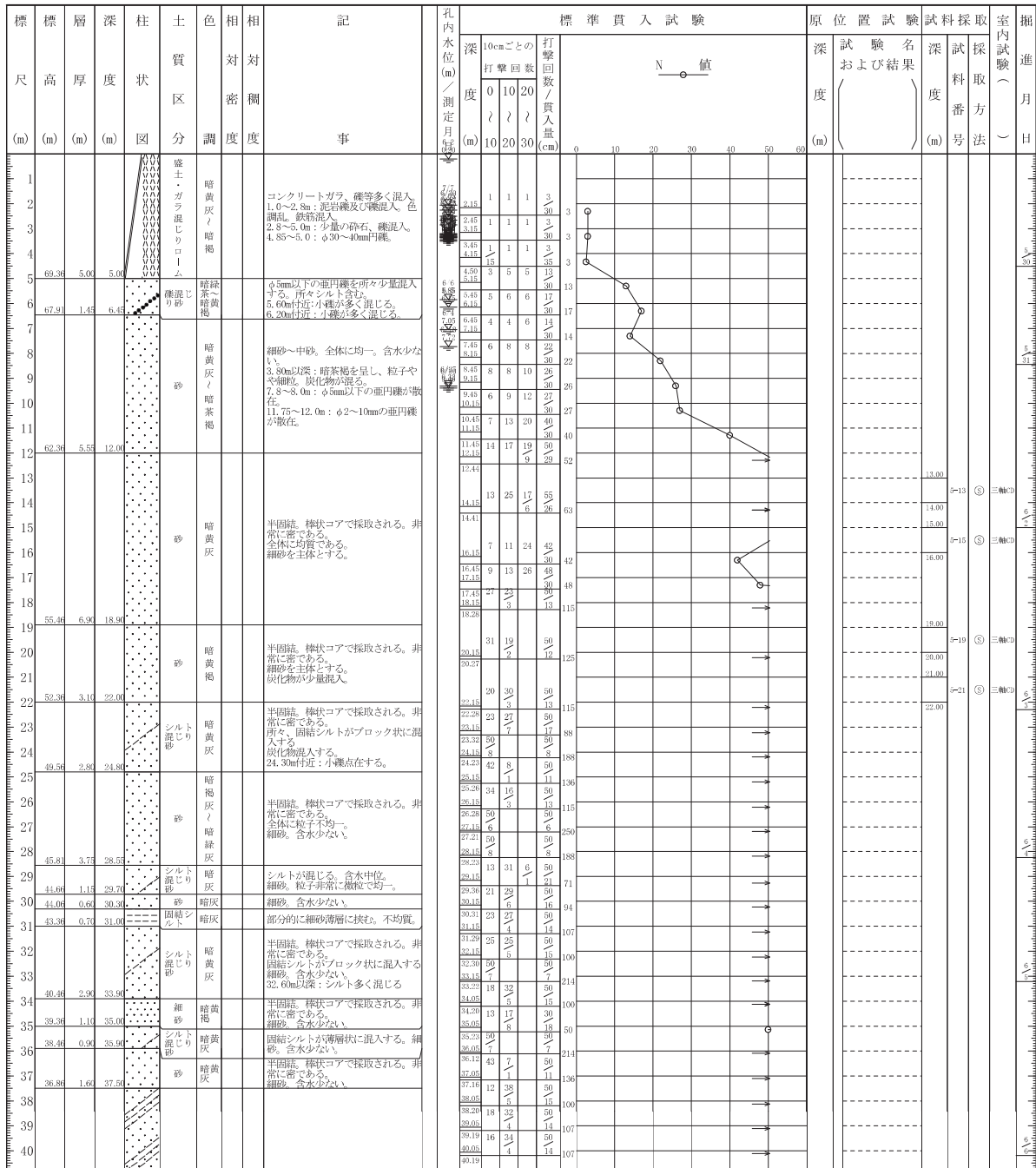
調査名

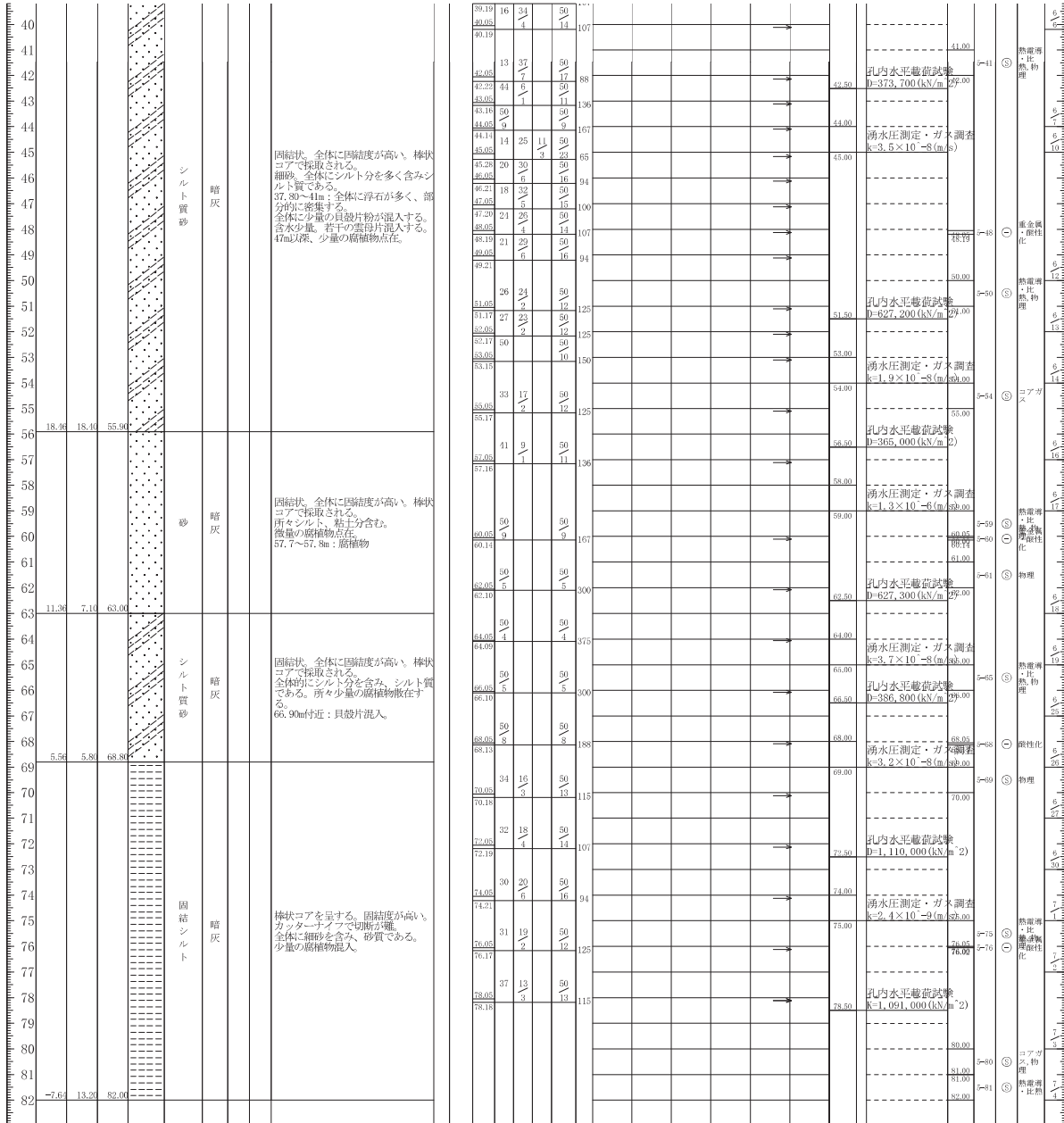
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師			ボーリング責任者
孔口標高	74.36m	角	180° 上 90° 下	現代場人 コアア 鑑定者
総掘進長	82.00m	度	0°	ハンマー 落下用具
		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	ポンプ
		地盤勾配	鉛直 90°	使用機種
		方向	水平 0°	試験機
				エンジン





ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

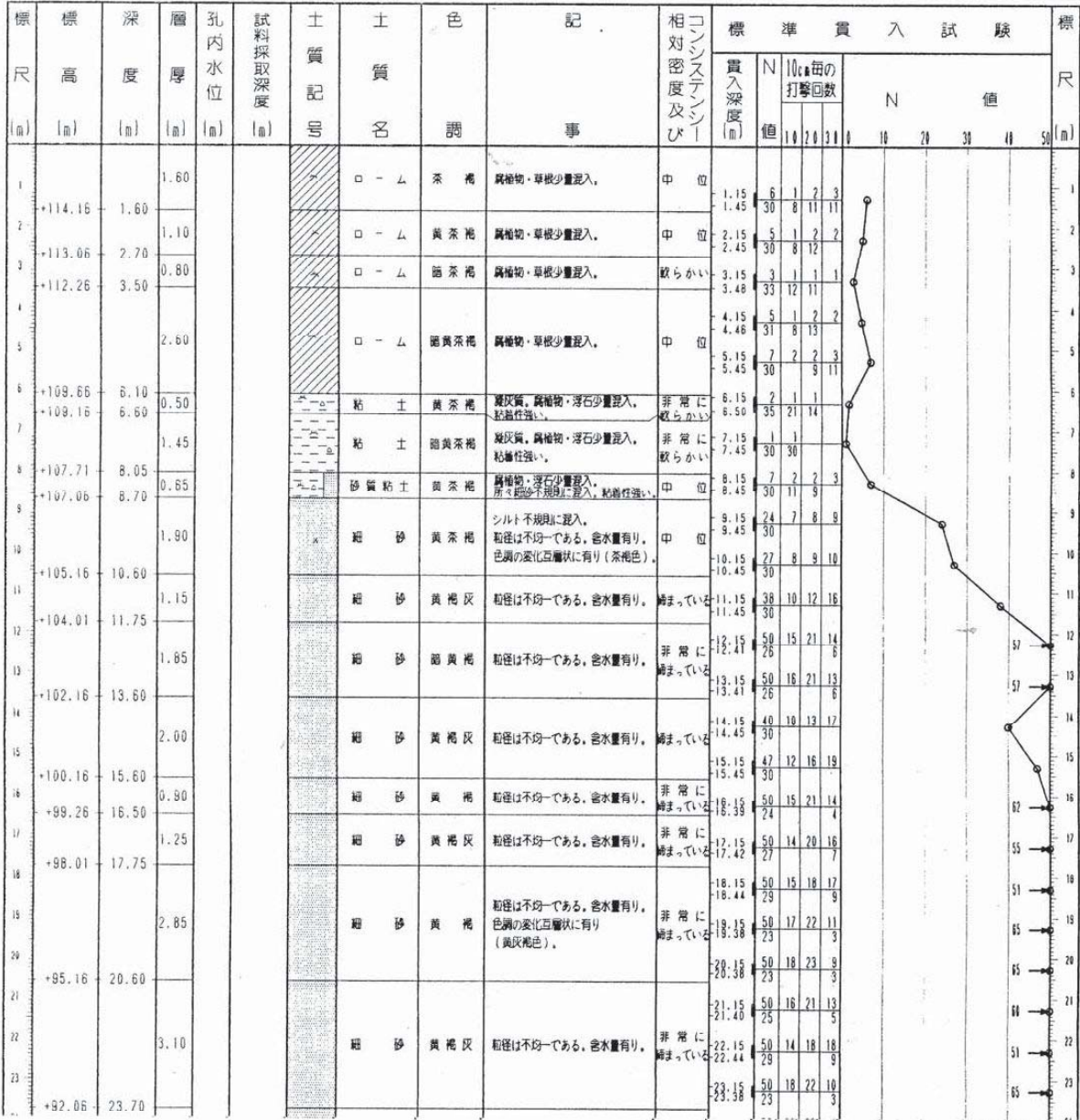
ボーリング名	調査位置										北緯
発注機関	調査期間										東経
調査業者名	主任技師					現場代理人					ボーリング責任者
孔口標高	TP	角	180°	方	北	0°	地盤勾配	鉛直	使用機種	ハンマー	落下用具
総掘進長	14.26m	度	上	270°	西	90°	東	水平	エンジン	ポンプ	

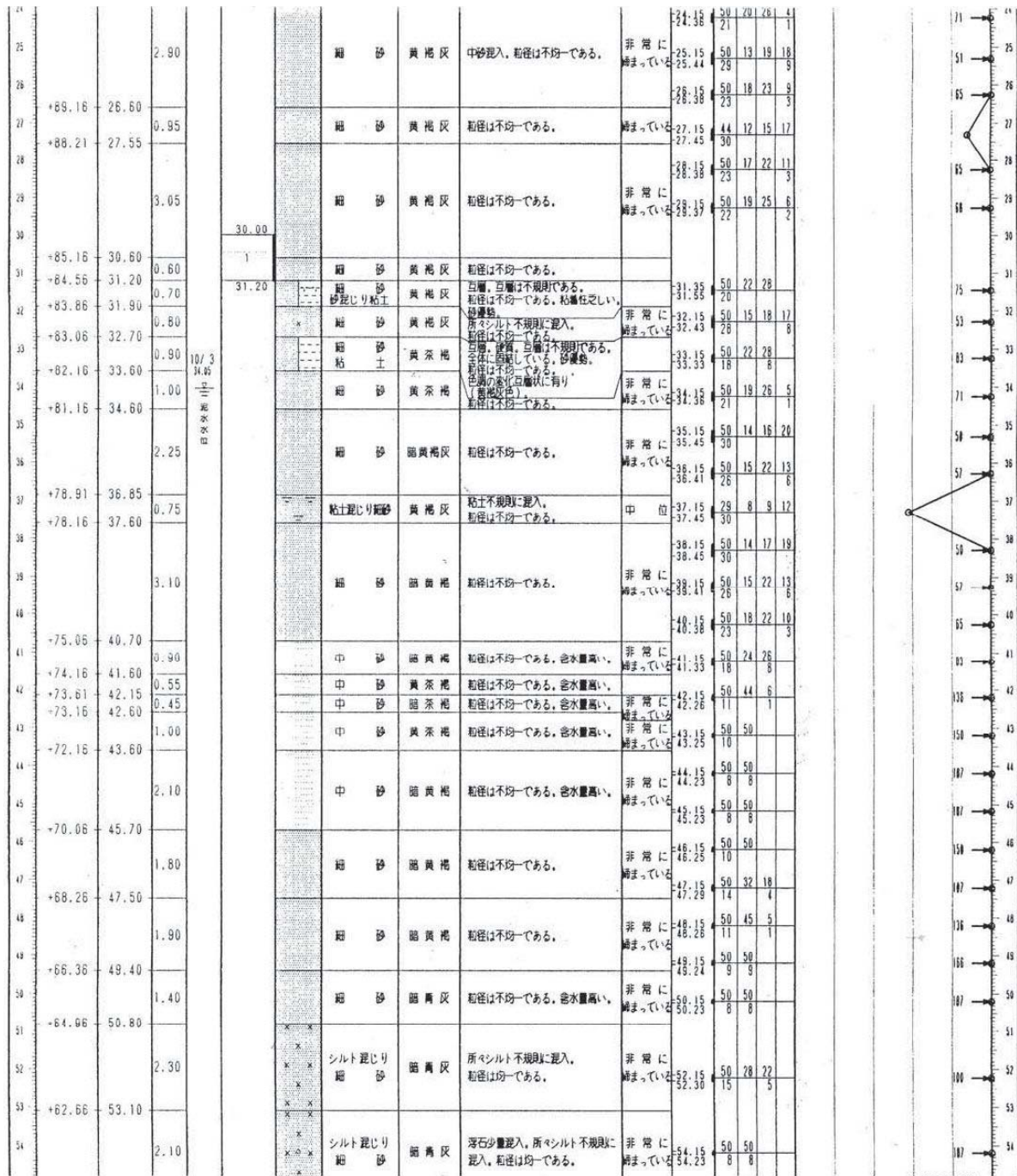
標尺 (m)	層高 (m)	厚度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	相対稠密度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験名	試験結果	採取番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日	
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	0	10	20							30
1				埋土 (確流り粘性土)	暗褐色			0.09mまでアスファルト、2.00m付近までは瓦礫等を含む硬泥り粘土を主とする。人工物を多く混入する。粒径は80mm以下。以下も確流り粘土層であり粒径は20mm以下。一部は色調が暗灰色とまだら状を示す。	8/23	2.15	2	1	2	8							
2				砂質シルト	暗褐色			全体に砂分を混入する。最下部に20mm以下の垂直層が集中する。	2.45	3.15	2	1	1	4							
3				細砂	暗灰色			比較的均質であり半固結状を呈し弱い水平ミナを伴う。7.50~9.00m間はシルト塊を不規則に混入し泥質である。有機物薄層を3枚はきき。8.00付近~8.80m間是不定形固結シルト塊を多数混入する。11.30m付近までは灰褐色を示す。下部には20mm以下の固結シルト塊が点在する。13.60mに白色貝殻片を混入する。	3.53	4.15	1	1	2	2							
4	70.61	4.30	4.30						4.55	5.15	1	1	1	2	2						
5				細砂	暗灰色			5.45	6.15	6	5	8	19								
6	68.71	1.90	6.20					6.45	7.15	8	10	14	32								
7				細砂	暗灰色			7.45	8.15	13	12	17	42								
8								8.45	9.15	16	23	11	59								
9				細砂	暗灰色			9.38	10.12	26	24	5	50								
10								10.30	11.15	21	26	3	50								
11				細砂	暗灰色			11.30	12.12	34	16	3	50								
12								12.28	13.12	28	22	5	50								
13				細砂	暗灰色			13.30	14.12	38	12	1	50								
14	60.65	8.06	14.20					14.20													

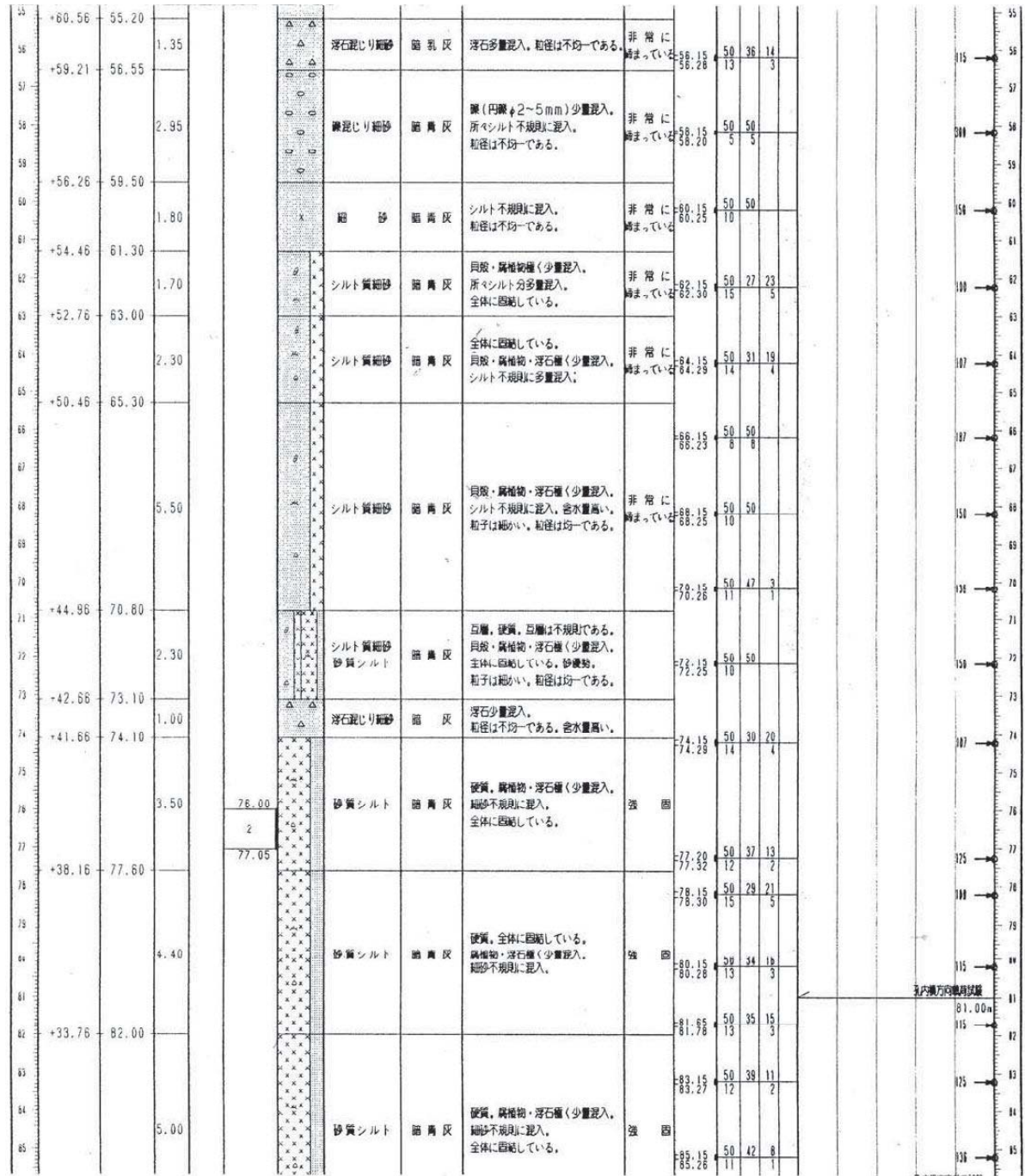
(JR-88)

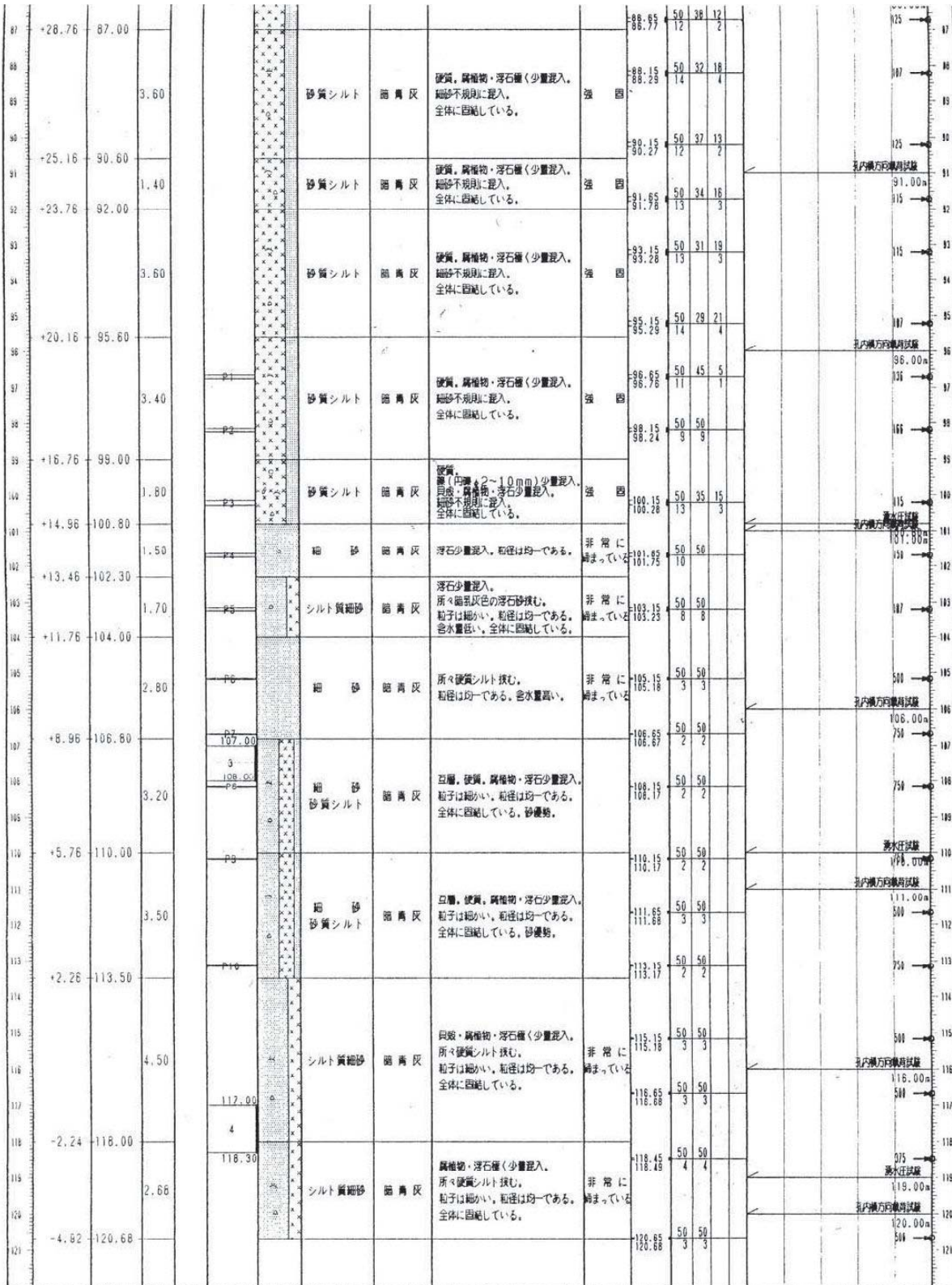
土質柱状図

調査名				備考
ボーリング番号				
所在地				
調査年月日				
孔口標高	+115.76 m	基準	T.P.	
ボーリング工法				
実施者	責任者			









ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名											調査位置	北緯						
発注機関											調査期間	東経						
調査業者名											主任技師	現場代理人	コア審定者	ボーリング責任者				
孔口標高	TP +120.387m		角	180°	上	90°	方	北 0°	東 90°	西 270°	南 180°	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	ハンマー落下用具			
総掘進長	20.38m		度	0°	下	0°	向				鉛直	水平 0°	機種	ポンプ				

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相對密度	相對稠度	記	標準貫入試験					原位置試験	試験名	採取深度 (m)	採取番号	室内試験	掘進月日		
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	10	20	30							値	
1	119.98	0.50	0.50		埋土(ローマ)				ローマ質粘土よりなる。植物根を混入する。下位層に漸移。	9.5	2	2	2	6	30							
2										2.15	2	2	2	6	30							
3									ボソボソして団粒状を呈する。全体に均質な細粒降下火山灰よりなる。6.00m付近には10mm以下の軽石粒が集中する。6.85m以上は下位の砂塊が入り混じり漸移部をなす。	3.15	2	2	2	6	30							
4					ローマ					4.15	1	1	3	4	34							
5										5.15	2	2	1	6	5	30						
6										6.15	3	3	3	9	30							
7	113.48	6.40	6.90						比較的均質で土相変化が少なくラミナを伴わない。9.50~70m間は肌色シルト地が不規則に入り混じる。9.85~96m間にはφ5mm以下の礫が点在する。12.50m付近には褐色の酸化ラミナが発達しほぼ水平。12.80~90m間にはφ3mm以下のガラスや礫が集中する。	9.5	4	5	6	15	30							
8										7.45	4	5	6	15	30							
9					細砂					8.45	4	5	6	15	30							
10										9.45	4	5	6	15	30							
11										10.45	4	4	6	14	30							
12										11.45	4	6	7	17	30							
13										12.45	4	5	7	16	30							
14	106.38	7.10	14.00						上位層との境界は漸移する。比較的均質である。φ5mm以下の硬質円礫が点在する。	13.45	9	14	23	46	30							
15					礫混り中粗砂					14.45	14	23	13	50	22							
16										15.45	26	24	6	50	16							
17										16.45	28	22	5	50	15							
18	102.38	4.00	18.00						上位層との境界は漸移する。比較的均質である。まれにφ8mm以下の礫を混入する。	17.45	28	22	5	50	15							
19					中砂					18.45	29	21	4	50	14							
20	100.01	2.38	20.38							19.45	14	17	19	50	27							
										20.45	18	21	11	50	23							
										20.38												

(JR-90)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo										
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名		調査位置		北緯	
発注機関				東経	
調査業者名		主任技師		現代場	
電話				コ	
ア				定	
者				者	
ハンマー				ボーリング	
落下用具				責任者	
ポンプ					
エンジン					

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密實度	相對稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進月日		
											深 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20	30
130.30	0.50	0.50			黒ボク	暗褐色			土壌化したローム層														
118.95	11.35	11.85			ローム	褐色 / 褐色 / 灰			6.0m付近以降では褐色に変化する色調以外に土相変化はみられない														
118.00	0.95	12.80			粘土質細砂	暗褐色			上部は暗褐色で強い還元性を示す微細砂～細粒分を多く混入する下部は酸化を受けラミナを伴う														
115.00	3.00	15.80			硬混じり粘土	褐色 / 暗褐色 / 赤褐色			粒径は2～20mm程度であり混入程度に粗密がある														
113.10	1.90	17.70			細砂	灰褐色			15.95m付近は強く酸化を受け酸化鉄の沈着あり全体に比較的均質である														
112.80	0.30	18.00			砂礫	褐色			粒径は2～10mm程度を主とし礫量は中位 基質は中～粗砂よりなる														
109.15	3.65	21.65			中粗砂	灰褐色			全体に比較的均質である														
108.80	0.35	22.00			固結シルト	灰褐色			19.6m付近までは褐色の酸化鉄が目立つ														
108.25	0.55	22.55			細砂	灰褐色			21.3m以降では酸化鉄が目立つ														
107.80	0.45	23.00			固結シルト	灰褐色			21.45～4m付近はスコリアのほさまみ														
107.53	0.24	23.24			細砂	灰褐色			21.52mにシルトブロックが混入する														
106.25									全体に褐色酸化鉄へラミナが発達する														
106.00									23.0m以降は細～中砂のほさまみ														

(JR-91)

ボーリング柱状図

調査名

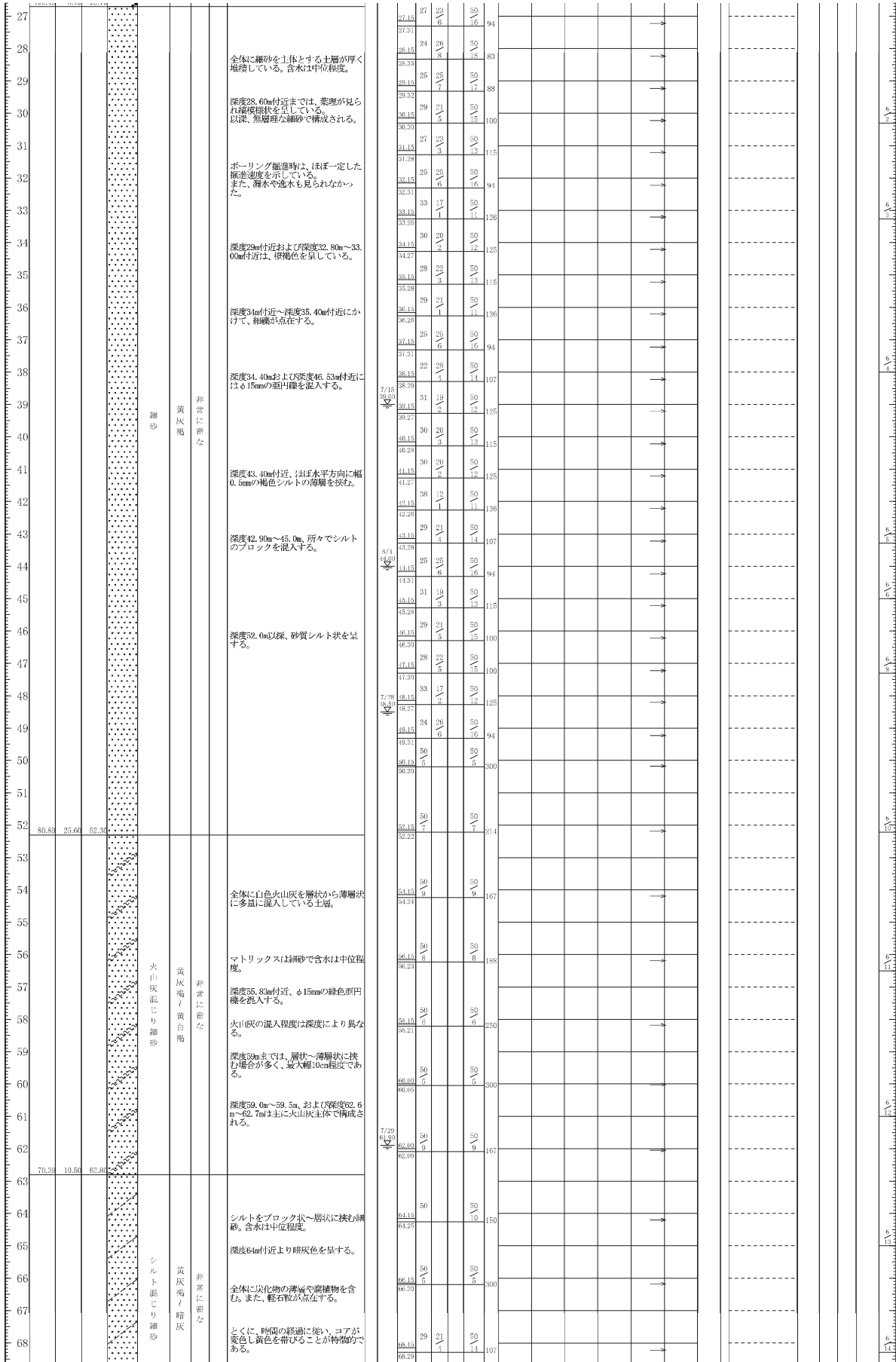
事業・工事名

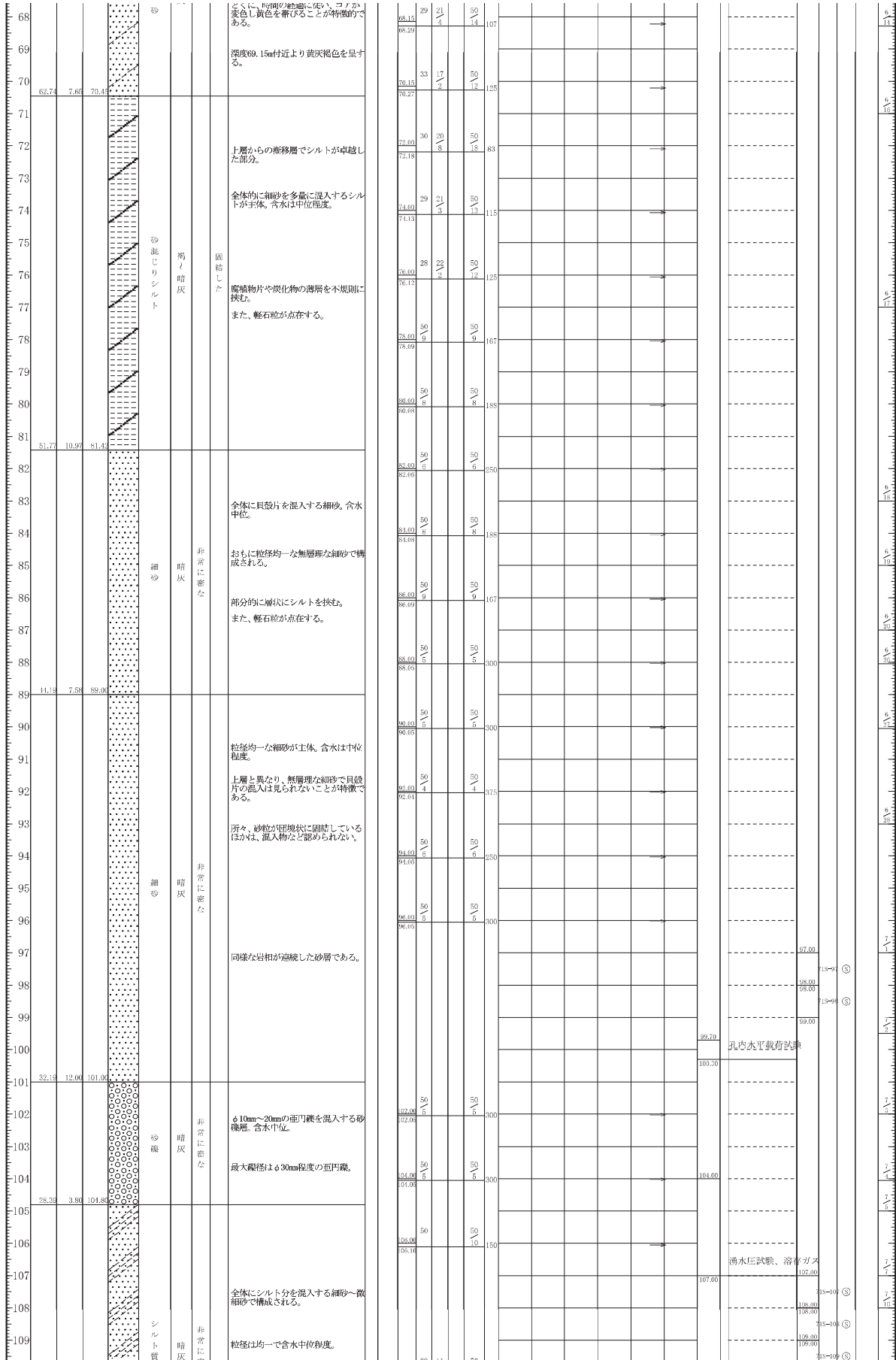
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

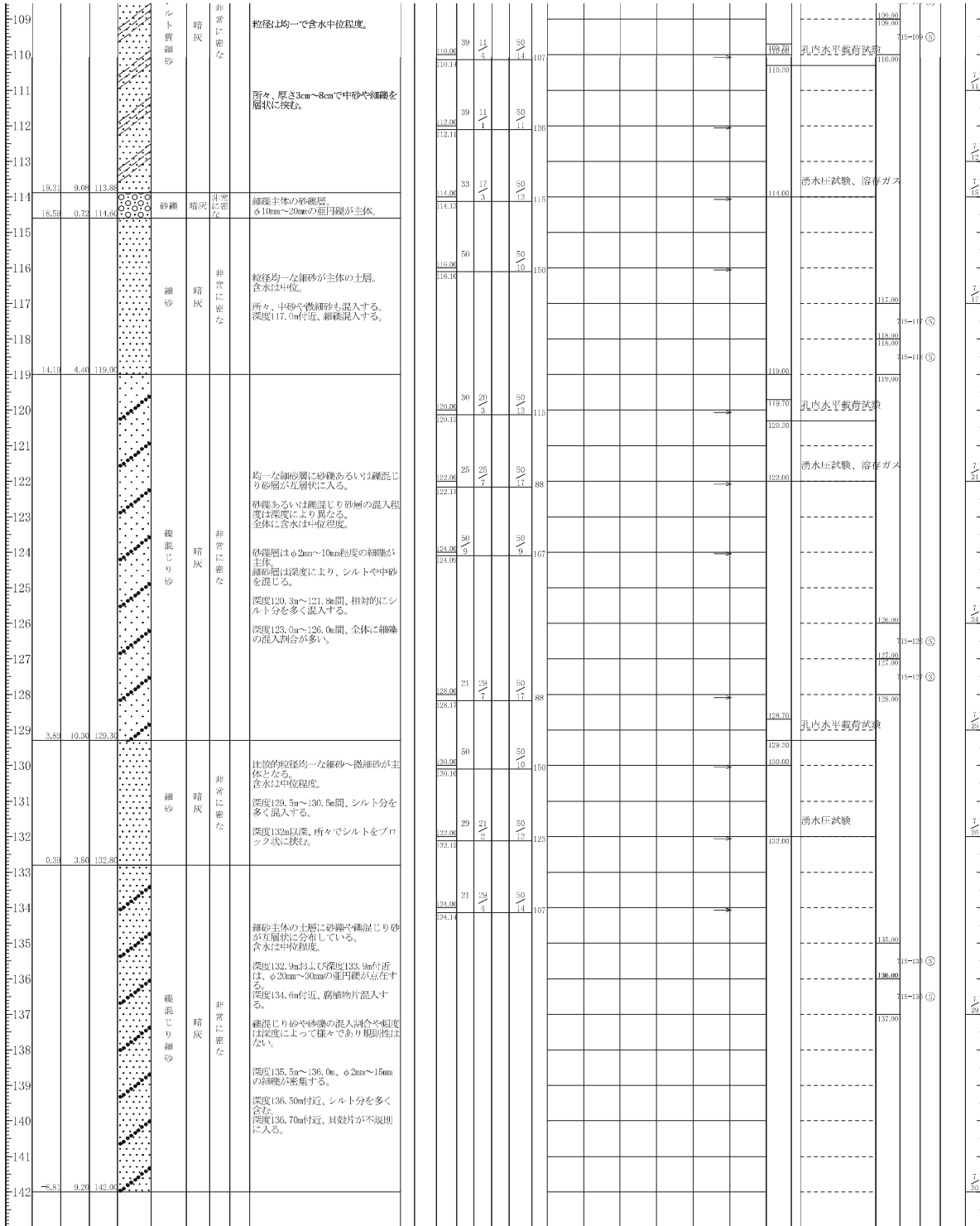
シートNo

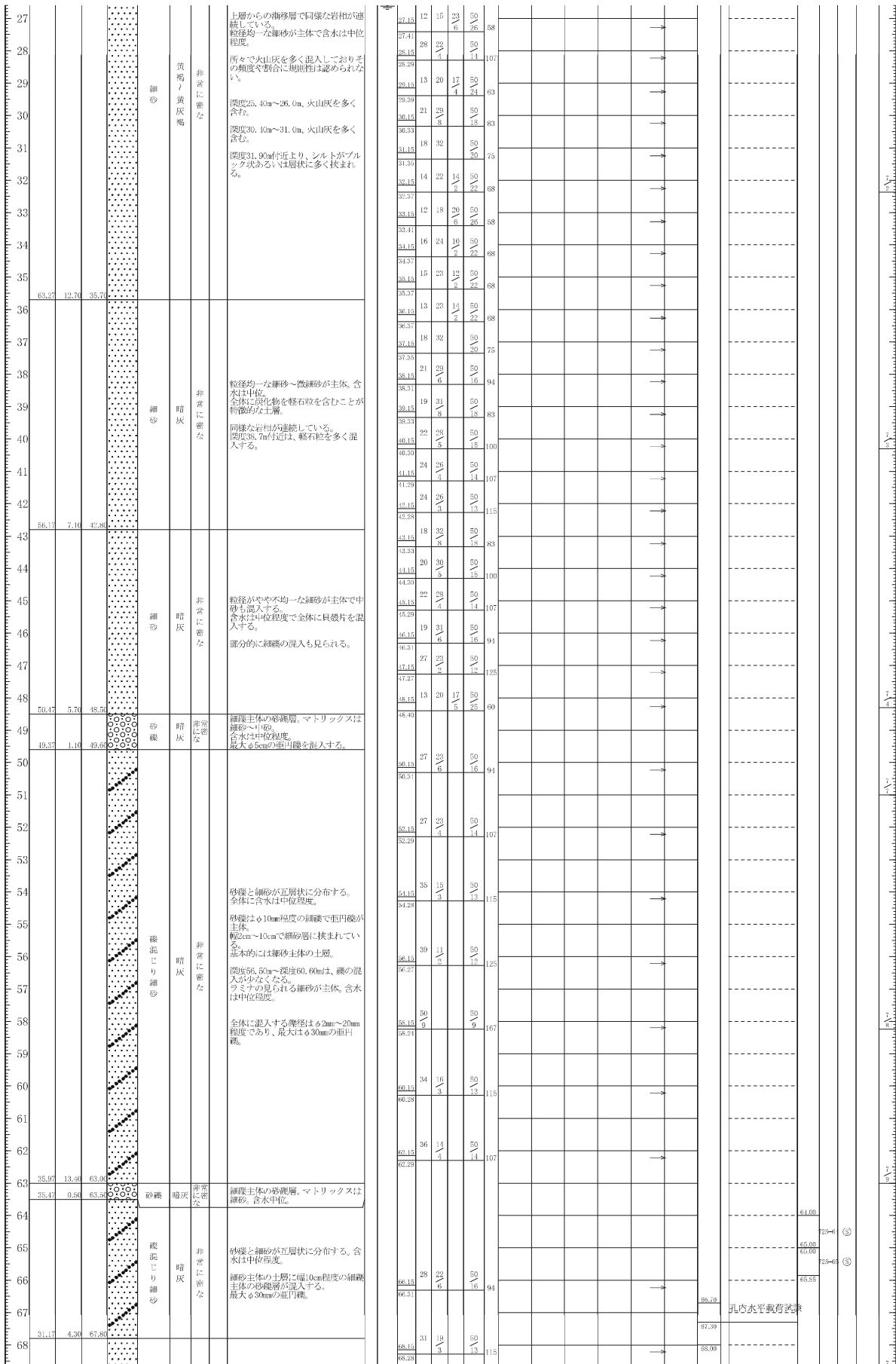
ボーリング名	調査位置										北緯		
発注機関											東経		
調査業者名	主任技師										現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	133.193m	角	180°	上	90°	方	北 0°	東 90°	地盤勾配	水平 0°	使用機種	ハンマー	
総掘進長	142.00m	度	0°	下	0°	向	北 0°	南 180°	船直	90°	エンジン	ポンプ	

標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験			原位置試験 (m)	試験名および結果	採取番号	採取方法	室内試験 (月日)
								深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)					
131.65	1.50	1.35	表土	暗褐色		全体に黒ボク主体の土層。植物根を多く混入する。	5/29	1.15	1	1	3/30				
128.94	2.75	4.32	ローム	茶褐色	軟らかい	粘性中位、含水中位のローム層。全体に植物根を混入している。	5/29	3.15	1	2	1/30			710-2	①
118.90	9.05	14.22	新土混じり細砂	灰褐色	中くらい～密な	均一な細砂～微細砂で構成される。含水小～中位程度。 全体に、幅2mm～5mm程度で薄層状に浸透する部分が水平方向に見られる。 深度4.75m付近、シルトがブロック状に入る。 深度方向に粘土分が多くなる傾向にある。 本層標準時に地下水位が確認されたが、抽満に伴い水位は低傾向にある。	6/6	6.15	4	5	15/30			715-3	⑤
113.49	5.50	19.72	砂質シルト	灰褐色	非常に軟い	全体に火山灰質で地表に近いために風化が進行している。そのため、本層は粘土分を含むものと考えられる。	6/9	14.15	5	15	20/30			715-4	③
111.55	1.90	21.62	砂質シルト	灰褐色	非常に軟い	細砂～中砂が主体であるが、深度によって構成される粒子が異なる。 含水は中位程度。全体に細砂を混入している。 全体に酸化していることが特徴的な土層である。 深度15.0m～18.5m付近は、やや粒径が細かく細砂で構成される。 深度19.65m、ブロック状にシルトを挟む。	6/9	15.15	16	21	13/5			715-5	③
106.49	5.10	26.72	砂質シルト	灰褐色	非常に軟い	細砂、礫混じり砂、及び砂礫が互層状に分布している。 深度24.80m付近、幅10cm程度火山灰を挟む。 深度25.80m付近、炭化木片混入する。	7/8	19.34	24	26	9/5			715-6	③

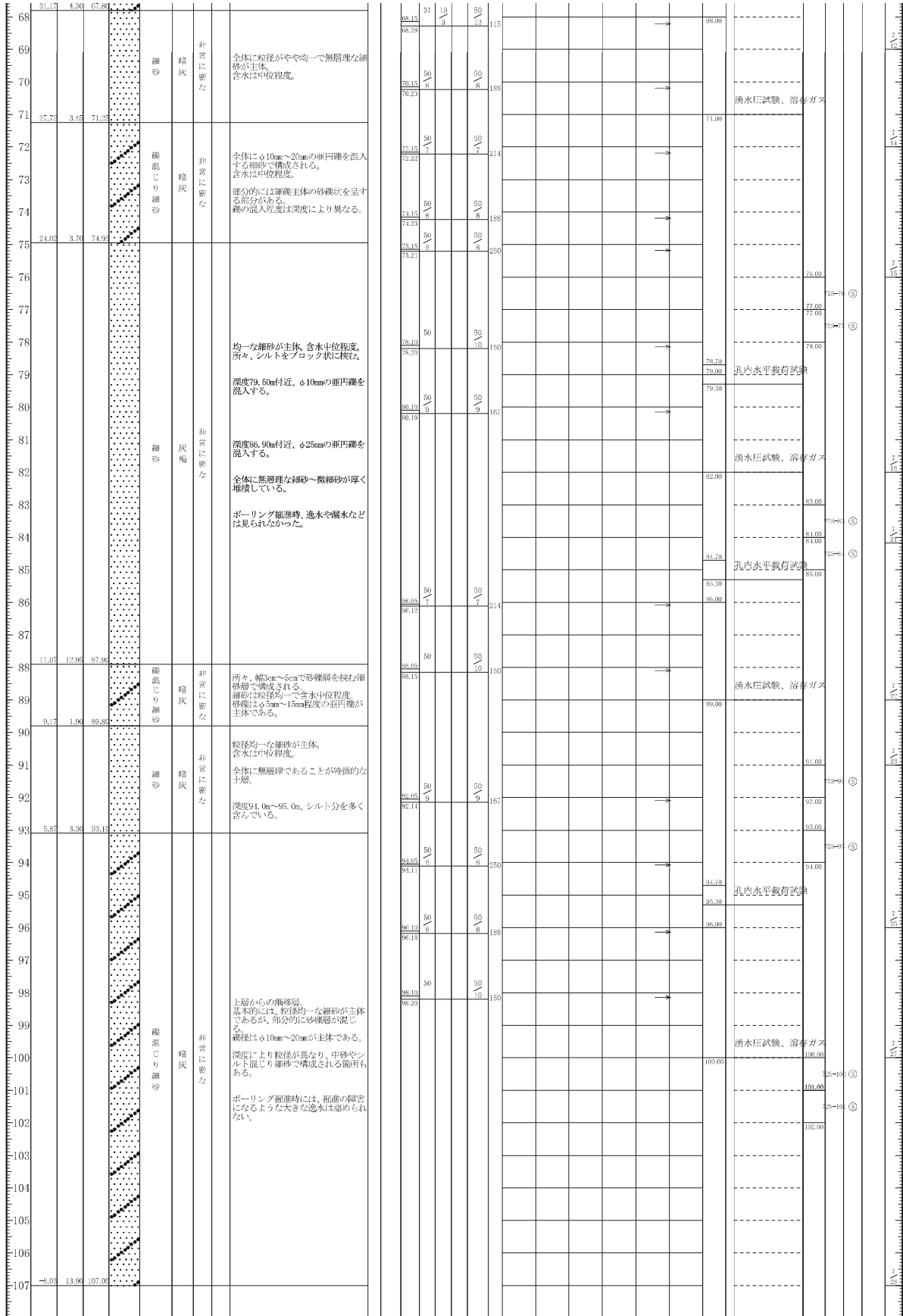








(JR-93)



(JR-93)

ボーリング柱状図

調査名

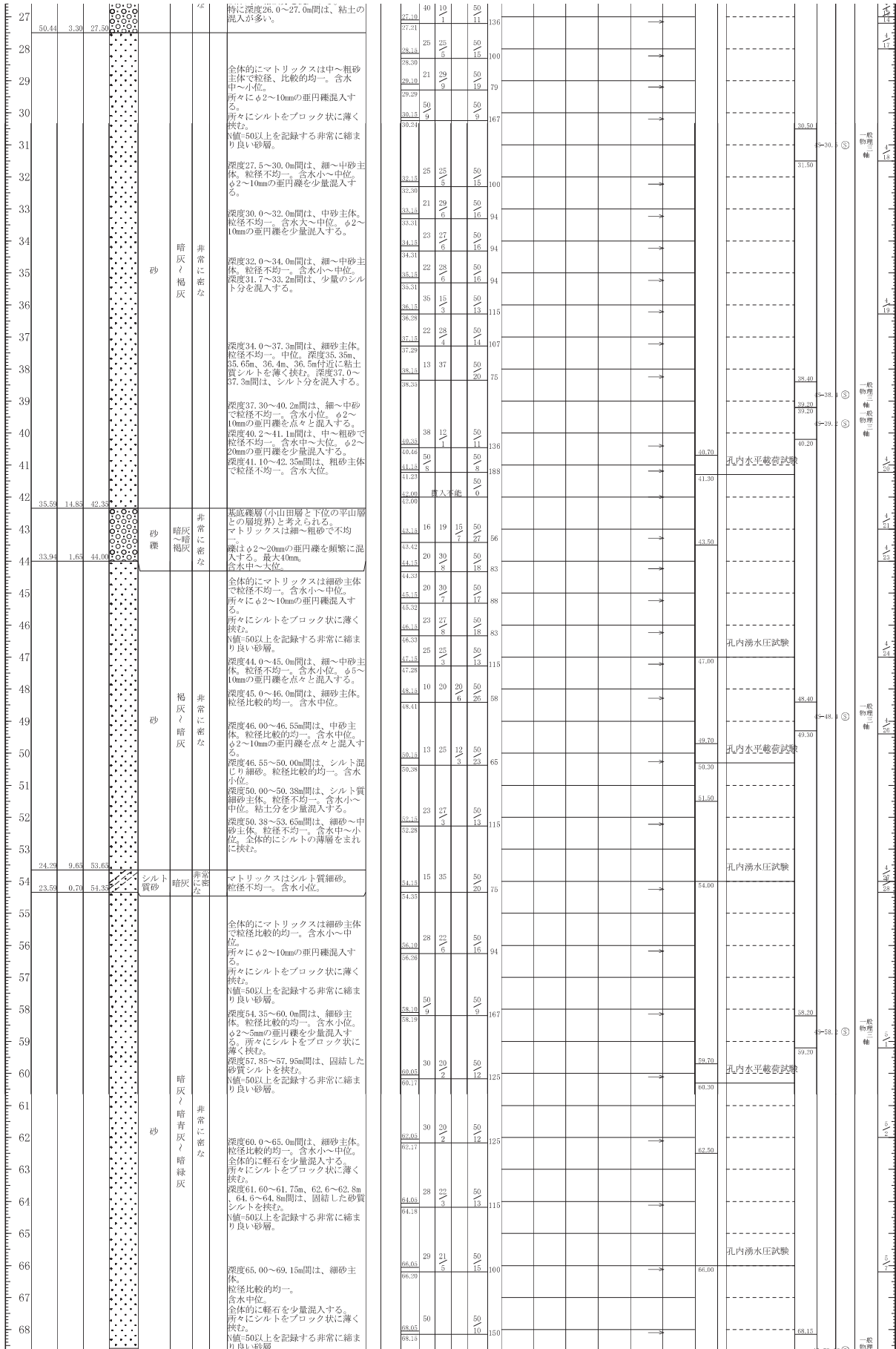
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名			調査位置				北緯	
発注機関				調査期間			東経	
調査業者名	電話()		主任技師		現場	コア	ボーリング責任者	
孔口標高	77.942m	角	方		地盤勾配	使用機種		ハンマー
総掘進長	90.00m	度	向		鉛直	エンジン		ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名	採取方法	室内試験	掘進月日						
												深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量	N値	深						度	度				
1					暗緑 / 褐					再後斜面からの産錘堆積物。粘土質。深度1.5mまで木根混入する。粘性中位。含水中位。産錘堆積物のため、N値-2程度であり軟弱な層である。		1.15	1	1	2												
2	75.64	2.30	2.30									1.45	2	2	3	7											
3										調査地の地山と思われる。マトリックスは細砂主体。全体的には、粒径比較的均一で含水大位。		2.45	2	3	2	7											
4										所々にφ2~20mmの亜円礫少量混入する。また、シルトをブロック状に薄く挟む。N値7~39を記録するが、全体的には締まりルーズである。		3.45	4	4	5	13											
5										深度2.3~4.0m間は、細砂主体。粒径比較的均一。含水小位。少量のシルト分を混入する。φ20mmの亜円礫を頻りに混入する。		4.45	4	5	7	16											
6										深度4.0~5.0m間は、シルト混じり細砂主体。粒径不均一。含水大位。深度4.8~5.0m間に、φ2~5mmの亜円礫を頻りに混入する。		5.45	5	6	7	18											
7	70.44	5.20	7.50							深度5.0~7.5m間は、細砂主体。粒径比較的均一。含水大位。φ2~3mmの亜円礫を少量混入する。また、深部5.45m付近にφ40mmの亜円礫が混入する。		6.45	9	13	17	39											
8												7.45	22	23	50												
9										上層と比べ、N値=50以上を記録する非常に締まりの良い砂層。全体的にマトリックスは細砂主体で粒径、比較的均一。含水中~大位。		8.45	14	23	11	90											
10										所々にφ2~10mmの亜円礫混入する。所々にシルトをブロック状に薄く挟む。		9.45	32	18	44												
11										深度7.5~9.0m間は、細~中砂主体。粒径不均一。含水大位。φ2~10mmの亜円礫を頻りに混入する。		10.45	33	17	50												
12												11.45	32	18	44												
13										深度9.0~11.0m間は、細砂主体。比較的均一。含水中~大位。φ2~5mmの亜円礫を不規則に混入する。		11.31	6	16	91												
14										深度11.0~11.5m間は、糝混じり細砂主体。粒径不均一。含水中~大位。φ2~5mmの亜円礫を最大10mm程度の亜円礫を頻りに含む。		12.40	27	23	50												
15										深度11.5~15.0m間は、細砂主体。粒径比較的均一。含水中位。φ2~10mmの亜円礫を少量混入する。		13.23	40	10	2	12											
16										深度15.0~15.5m間は、糝混じり砂主体。マトリックスは、中~粗砂。粒径不均一。含水大位。φ2~10mmの亜円礫を頻りに混入する。		14.27	32	18	50												
17										深度15.5~21.0m間は、細砂主体。粒径比較的均一。含水中位。φ2~5mmの亜円礫を少量混入する。		15.13	32	18	50												
18										深度19.0~19.5m間は、糝混じり砂を挟む。マトリックスは、中~粗砂。粒径不均一。含水大位。φ2~5mmの亜円礫を頻りに混入する。最大10mm。		15.38	26	24	50												
19												16.13	25	25	50												
20										深度21.3~21.6m間、22.30~22.45m間、22.65~22.75m間は、糝混じり細砂主体。		16.31	39	11	11												
21	57.04	13.40	20.90							非常に締まりの良い砂層。マトリックスは中~粗砂で粒径不均一。深はφ2~20mmの亜円礫主体で、最大30mm。含水中~大位。		17.29	36	14	50												
22										深度21.3~21.6m間、22.30~22.45m間、22.65~22.75m間は、糝混じり細砂主体。		18.38	50		10	150											
23	54.44	2.60	23.50							砂は微細砂主体で均一。含水中位。		19.15	39	11	11												
24	53.74	0.70	24.20							非常に締まりの良い砂層。マトリックスは中~粗砂。粒径不均一。深はφ2~10mmの亜円礫主体で、最大20mm。含水中~大位。全体的に粘土分を混入する。特に深度26.0~27.0m間は、粘土の混入が多い。		20.26	36	14	50												
25												21.03	1	1	11												
26												22.00	28	22	50												
27	50.44	3.30	27.50									22.38	35	15	50												
												23.23	30	20	2	12											
												24.23	36	14	1	11											
												25.19	50		8	8											
												26.19	40	10	1	11											
												27.21	40	10	1	11											



(JR-94)

深度 (m)	試料番号			土質	状態	説明	試験結果			試験種別	試験結果
	試料1	試料2	試料3				値1	値2	値3		
68						所々にシルトをブロック状に薄く挟む。 N値=50以上を記録する非常に締まり良い砂層。	50	50	150		
69	8.79	14.80	69.18	シルト	暗灰	固結した	68.03	68.18	150		68.15
70	7.74	1.03	70.20	シルト	暗灰	固結シルト状で採取される。非常に硬い。深度69.6m付近に、細砂を挟む。	20.03	20	50		69.18
71				砂	暗灰	非常に密な	70.17	70.17	125		
72				砂	暗灰	非常に密な	50	50	150		
73	5.24	2.90	72.70	シルト	暗灰	固結した	22.05	22.05	167		
74	4.54	0.70	73.40	シルト	暗灰	非常に密な	72.14	72.14	167		
75	3.79	0.73	74.18	シルト	暗灰	硬い	24.03	24.03	150		
76	2.24	1.53	75.70	シルト	暗灰	硬い	74.13	74.13	150		
77	0.94	1.30	77.00	砂	暗灰	非常に密な	35	15	50		
78	0.14	0.80	77.80	シルト	暗灰	固結した	76.21	76.21	130		
79	-1.20	1.40	79.20	砂	暗灰	非常に密な	28.03	28.03	125		
80				シルト	暗灰	固結した	78.17	78.17	125		
81	-3.10	1.90	81.10	シルト	暗灰	固結した	80.03	80.03	115		
82							80.39	80.39	115		
83							20	30	50		
84				砂	暗灰	固結した	82.03	82.03	107		
85							82.19	82.19	107		
86							37	13	50		
87							84.03	84.03	130		
88	-10.00	6.90	88.00				84.10	84.10	130		
89				シルト	暗灰	固結した	86.03	86.03	130		
90	-12.00	2.00	90.00				86.19	86.19	130		

(JR-94)

ボーリング柱状図

調査名 _____
事業・工事名 _____

ボーリングNo															
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo

ボーリング名		調査位置		北緯	
発注機関				東経	
調査業者名	電話 (_____)	主任技師		現代場代理人	コアア 鑑定者
孔口標高	TP +75.946m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南
総掘進長	10.23m	地盤勾配	鉛直 水平 0°	使用機種	試錐機 エンジン
				ハンマー 落下用具	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験名 (および結果)	試料採取深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進月日							
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10	20						30						
					埋土 (粘土 粘性土)				上部はローム質粘土を主とし、30cm以下の礫を混入する。以下も礫混り粘土状を示す。	8.99																		
	73.95	2.00	2.00		細砂	灰褐色			比較的均質で土相変化が少なくラミナを伴わない。	2.15																		
	72.05	1.90	3.90		礫混り細砂	灰褐色			比較的均質で土相変化が少なくラミナを伴わない。 φ2~20mm程度の礫が点在する。礫混りは粗密があり、(0)~(9.50m間)はほとんど礫を含まない。 8.95~9.10m付近は半固結状シルトをはさむ。 9.30m付近には有機物を糞状~ラミナ状にほさま横斜10°。 9.50m付近、9.80m付近には酸化鉄の沈着があり赤褐色を示す。	2.45																		
										4.15																		
										4.45																		
										5.15																		
										5.39																		
										6.15																		
										6.38																		
										7.13																		
										7.36																		
										8.15																		
										8.35																		
										9.15																		
										9.27																		
	65.72	6.33	10.23							10.15																		
										10.23																		

(JR-95)

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNo														
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 _____

シートNo

ボーリング名	調査位置											北緯		
発注機関	調査期間											東経		
調査業者名	電話 (_____)	主任技師	現代場人	コ	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ハンマー	ボーリング
孔口標高	TP +97.677m	角	180° 上	90°	方	北 0°	地盤	鉛直	水平	0°	使用	試錐	機	ハンマー
総掘進長	18.30m	度	0°	0°	向	北 0°	西 270°	東 90°	南 180°	鉛直	水平	0°	機	エンジン
														ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相對密度	相對稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取 番号	室内試験 方法	掘進 月日
										深 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	貫入量 (cm)							
1				埋上 (ローム質)	暗褐色			表層には植物根が多く混入する。 細粒混りローム質粘土を主とする。		2.15	1	1	1							
2	94.78	2.90	2.90							2.45	1	2	1							
3										3.15	1	1	1							
4				ローム	暗褐色			ボソボソして団粒状を呈する。 全体に比較的均質である。 4.00m付近以降では褐色に変化する。 細粒を降下火山灰層よりなる。		4.15	1	1	2							
5										4.45	1	1	2							
6										5.15	1	1	2							
7	90.78	4.00	6.90							5.50	1	1	2							
8				細砂	褐色			上部には褐色の酸化鉄が多くみられる。 8.00m付近までは細粒分を多く混入する。		6.15	1	1	2							
9										6.45	3	4	5							
10										7.15	6	6	18							
11	86.48	4.30	11.20					礫径は2~10mm程度よりなり礫量は 中位 基質は細砂よりなる。 比較的均質で土相変化が少なくラミ ナを伴わない。		8.15	6	6	18							
12										8.45	2	3	4							
13	84.68	1.80	13.00							9.15	2	3	4							
14				細砂	褐色			φ2~20mm程度の礫を混入し混入層 間に粗密がある		9.45	4	4	5							
15										10.15	4	4	5							
16										10.45	4	4	5							
17										10.80	31	19	15							
18	79.38	5.30	18.30							11.30	50	50	10							
										12.15	20	27	3							
										12.25	19	26	5							
										13.15	15	21	14							
										13.30	19	26	5							
										14.15	15	21	14							
										14.37	16	24	6							
										15.15	15	21	14							
										16.15	16	24	6							
										16.33	22	28	4							
										17.34	31	19	15							
										18.15	31	19	15							
										18.30	31	19	15							

(JR-96)

ボーリング柱状図

調査名

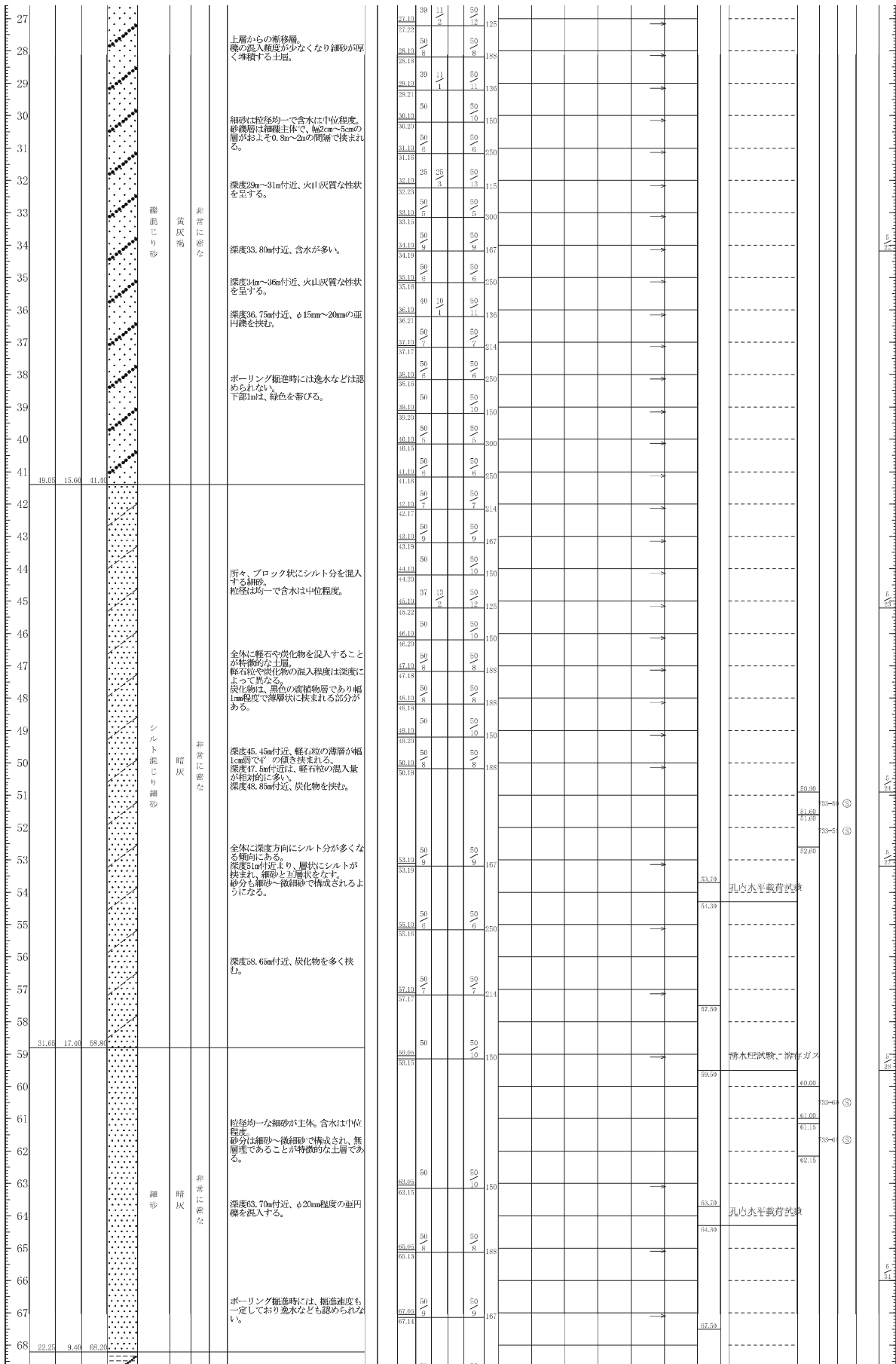
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

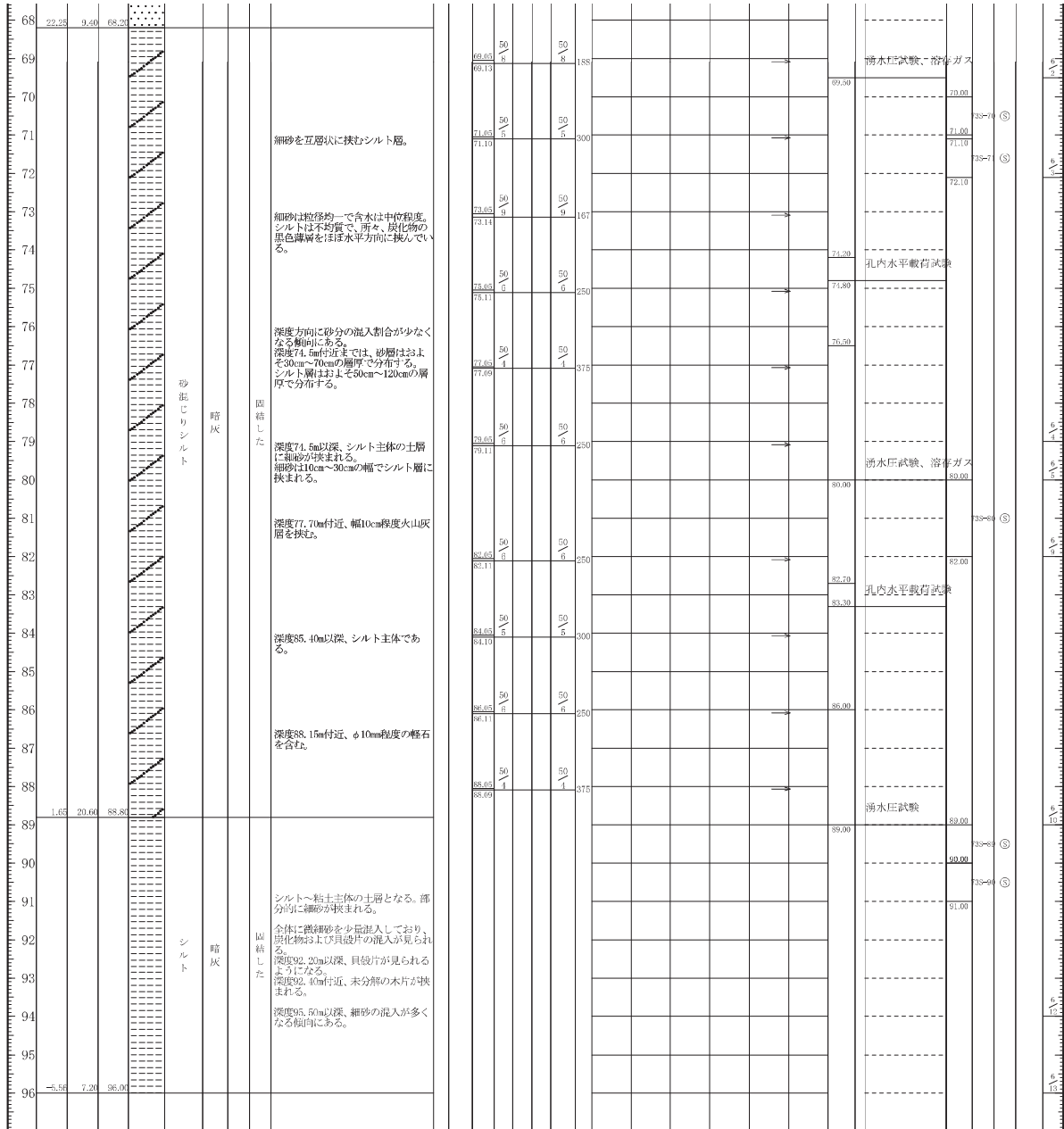
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯
発注機関	調査期間										東経
調査業者名	主任技師										現代
孔口標高	90.445m	角	180°	90°	方	北0°	90°	地盤勾配	水平40°	使用機種	ハンマー
総掘進長	96.00m	度	0°	0°	向	270°	180°	鉛直	90°	エンジン	ポンプ
										コ	ア
										鑑	定
										者	

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	標準貫入試験				原位置試験	採取	室内試験	掘進
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数	貫入量 (cm)				
89.45	1.00	1.00	1.00		表土	茶褐色	散らかる	上層20cm程度は左右混入する盛土深部0.20m程度は砂混じりシルトで構成され、草根混入する。含水は小位。	5.74	1	2	5	30				
88.55	0.90	1.90	1.90		ローム	茶褐色	散らかる	不均質で軟弱なロームで構成される。含水は小位。	5.74	2	2	3	32				
87.85	0.90	2.80	2.80		細砂	黄褐色	中くらい	粒径均一な細砂。含水は小位程度。	5.74	20	24	6	22				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	35	15	5	15				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	50	8	8	12				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	42	8	8	12				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	36	14	3	13				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	40	10	2	12				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	31	14	6	16				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	36	14	5	15				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	32	18	6	16				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	50	4	4	1				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	37	13	3	13				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	42	8	1	11				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	28	22	8	15				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	50	4	4	7				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	50	4	4	9				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	50	4	4	7				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	50	4	4	8				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	50	4	4	9				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	37	13	2	12				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	50	4	4	10				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	50	4	4	9				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	50	4	4	11				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	41	9	1	11				
					砂	黄褐色	非常に密な	粒径はφ5mm~20mm程度の亜円礫、マトリックスは細砂~中砂で構成される。含水は中位程度。	5.74	39	11	2	12				





(JR-97)

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯	
発注機関	調査期間			東経		
調査業者名	電話 ()	主任技師	現代場	コア	ボーリング	
孔口標高	TP +88.680m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	
総掘進長	12.41m	度	鉛直 90°	地盤勾配	水平 0°	
			使用機種	試錐機	ハンマー	
			エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取 番号	室内試験 方法	掘進 月日			
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20	30	
1				埋土へ混入り粘性土					硬混り粘土を主とする。 粒径は50mm以下 一部に瓦礫や荷積土を混入する。	8.5 2.9	2.15	1	3											
2											2.45	1	3											
3											2.13	1	3											
4				粘土	暗褐色				ローム質粘土よりなる。 ボソボソしている。		3.45	1	3											
5											4.15	2	6											
6				粘土質砂礫					粒径は2~60mm程度を主とし、礫量は 中位へやや多い。 基質は細粒分を多く混入する中へ粗砂。		4.45	10	12	33										
7											5.15	15	20	50										
8											5.45	20	15	50										
9									全体に強く酸化されている。 鉄分の沉着部は半固結状を呈する。 8.50~8.9m付近、11.55~75m間は顕著な鉄の沉着部で弱い水平ラミナが発達する。 8.90~9.10m付近は半固結シルトの薄層へブロック。 10.65m付近は著しく酸化を受けている。		6.40	15	23	12	50									
10				細砂	赤褐色						7.15	17	20	50										
11											7.38	13	17	20	50									
12											8.15	14	19	17	50									
13											9.43	14	18	18	50									
14											10.15	18	22	10	50									
											10.42	18	22	10	50									
											11.13	13	21	16	50									
											11.38	13	21	16	50									
											12.13	13	21	16	50									
											12.41													

(JR-98)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo

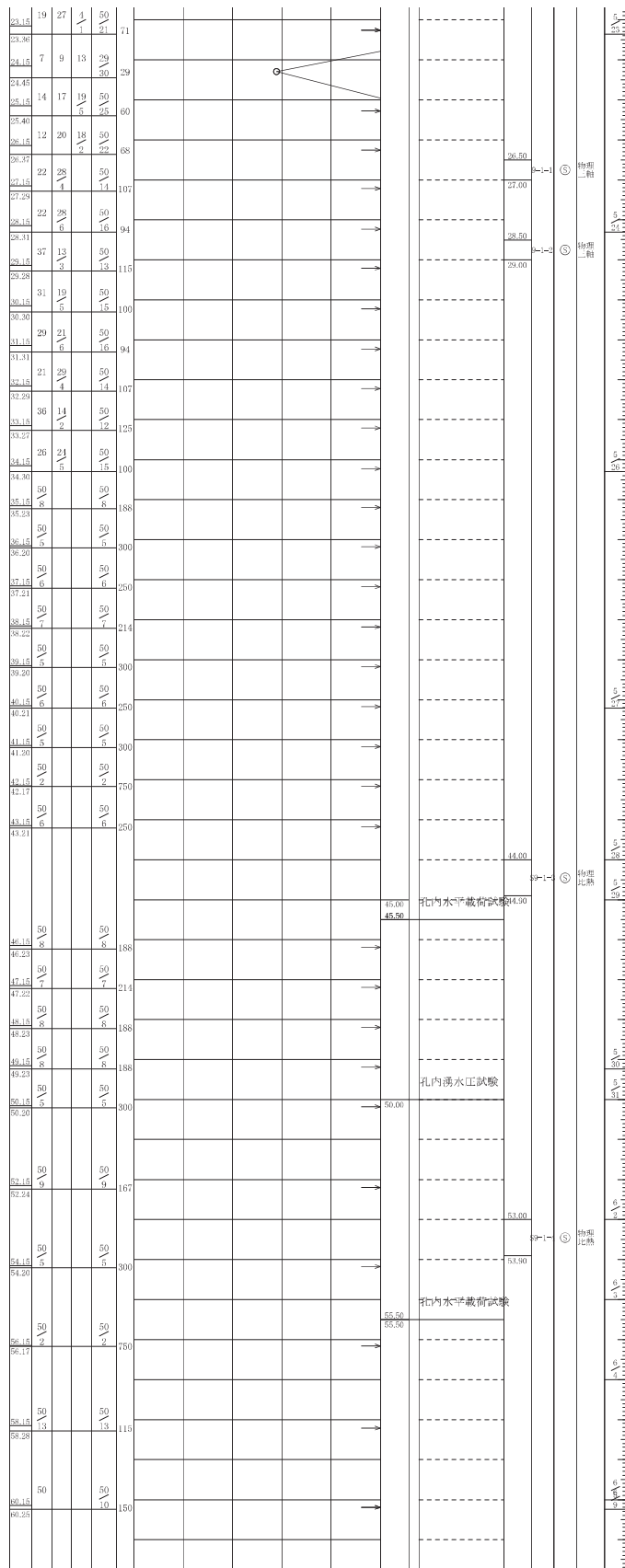
事業・工事名

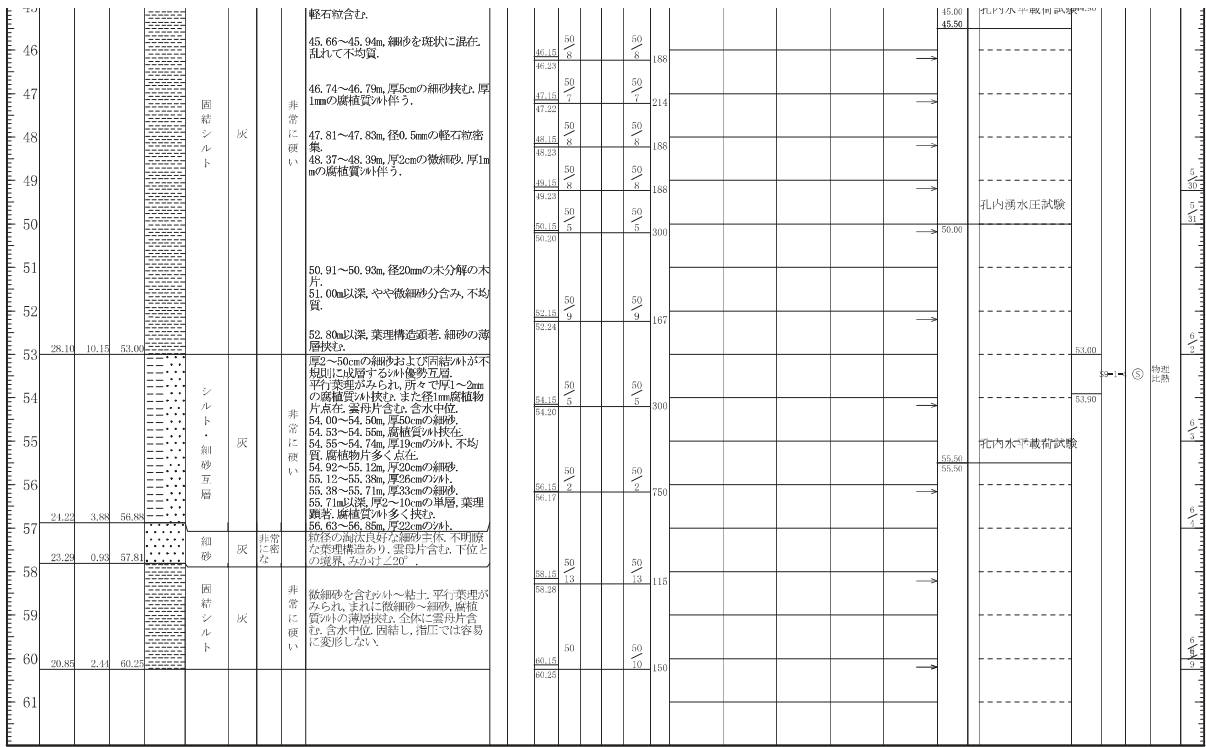
シートNo

Header information table including borehole name, location, agency, survey period, and equipment details.

Main borehole log table with columns for depth, soil type, groundwater level, and test results.

23				細粒火山灰	灰白	非常に硬い	厚5~8cmの微細砂、軽石層併う。平行葉理顕著。固結する。
24				細砂	灰白	非常に密な	淘汰のよい微細砂～細砂。不明瞭な葉理あり。厚0.5~1cmの礫層を伴う。10mmの礫状物を採り、それらがからり不均質な部分を混在するため、不均質。葉母片含む。径1mmの軽石粒、腐植物片点。
25	55.45	4.03	25.61				24.46~24.58m, 厚4cm, 粗砂含む。 24.85~24.91m, 葉母片, 厚6cm。 25.35~25.41m, 礫状物, 厚6cm。
26				シルト・微細砂互層	灰	非常に硬い	厚2~10cmのシルトと微細砂および細砂からなる不規則な小塊状互層。全体に葉母片含む。所々で厚1~2mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。細砂は所々で、それらが中に含まれ、不均質な部分を混在するため不均質。含水中位。
27							厚2~10cmのシルトと微細砂および細砂からなる不規則な小塊状互層。全体に葉母片含む。所々で厚1~2mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。細砂は所々で、それらが中に含まれ、不均質な部分を混在するため不均質。含水中位。
28							厚2~10cmのシルトと微細砂および細砂からなる不規則な小塊状互層。全体に葉母片含む。所々で厚1~2mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。細砂は所々で、それらが中に含まれ、不均質な部分を混在するため不均質。含水中位。
29	52.27	3.18	28.81	細砂	灰	非常に密な	淘汰良好で、粒径のほぼ均一な細砂。葉母片含む。葉母片は密だが、含水多く、指圧で強く押すと崩れる。
30	50.55	1.72	30.52				
31				シルト・微細砂互層	灰	非常に硬い	厚2~20cmの微細砂～細砂と腐植質が不規則に成層する小塊状互層。平行葉理構造顕著。厚1~3mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。
32							
33							31.62~31.81m, 固結, 厚19cm。 32.74~32.83m, 葉理構造顕著, 厚0.5~1mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。
34							33.45~33.49m, 針孔重円鏡, 径40mm。
35				シルト・微細砂互層	灰	非常に硬い	34.41~34.67m, 35.23~35.57m, 厚26cmおよび34cmの細砂。含水多い。
36							
37							36.66~36.91m, 厚25cmの微細砂。
38							37.74~37.96m, 厚22cmの細砂。37.91~37.95m間に厚2mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。
39							38.54~38.82m, 厚28cmの細砂。厚2~3mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。
40							38.88m以下, 厚60cm程度の木片。細砂優勢となる。
41							38.89~39.42m, 厚53cmの微細砂。 40.37~40.98m, 厚61cmの微細砂。 40.98~41.30m, 厚32cmの固結, 厚。
42							41.90~42.22m, 厚32cmの固結, 厚。 42.22~42.85m, 厚43cmの微細砂。
43	38.25	12.30	42.88				
44				固結シルト	灰	非常に硬い	固結したシルト～粘土主体。マリアンに腐植質を含む。平行葉理構造がみられ、所々に厚1~5cmの微細砂～細砂を混在。または斑状に混入。また厚1~2mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。含水中位。
45							43.50~43.51m, 腐植質片密集。 43.86~44.00m, 細砂状。腐植質片、軽石粒点を含む。
46							45.66~45.94m, 細砂を塊状に混在。乱れて不均質。
47							46.74~46.79m, 厚5cmの細砂状。厚1mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。
48							47.81~47.83m, 径0.5mmの軽石粒密集。
49							48.37~48.39m, 厚2cmの微細砂。厚1mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。
50							
51							50.91~50.93m, 径20mmの未分解の木片。
52							51.00m以下, やや微細砂分含み, 不均質。
53	28.10	10.13	53.06	シルト・微細砂互層	灰	非常に硬い	52.90m以下, 葉理構造顕著。細砂の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。
54							厚2~50cmの細砂および腐植質が不規則に成層する小塊状互層。平行葉理がみられ、所々で厚1~2mmの腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。含水中位。
55							54.00~54.50m, 厚50cmの細砂。 54.53~54.55m, 腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。
56							54.55~54.74m, 厚19cmのシルト。不均質。腐植質片多く点を含む。
57	24.22	3.88	56.88				54.92~55.12m, 厚20cmの細砂。 55.12~55.38m, 厚26cmのシルト。 55.38~55.71m, 厚33cmの細砂。 55.71m以下, 厚2~10cmの単層。葉理構造。腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。
58	23.28	0.93	57.81	細砂	灰	非常に密な	細砂の塊状。不均質。
59				固結シルト	灰	非常に硬い	微細砂を含むシルト～粘土。平行葉理がみられ、まれに微細砂～細砂。腐植質の薄層を所々に採り、径1~5mmの腐植質片点を含む。また、高角片を含む。まれに径1~2mmの軽石粒点を含む。含水中位。固結し、指圧では容易に変形しない。
60	20.85	2.44	60.25				
61							





(JR-99)

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNo											
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 _____

シートNo _____

ボーリング名	調査位置						北緯	
発注機関					調査期間	東経		
調査業者名	電話 (_____)		主任技師		現代場	コア	ボーリング責任者	
孔口標高	TP +83.197m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	
総掘進長	15.33m				使用機種	ハンマー落下用具		
						試錐機	ポンプ	
						エンジン		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠度	相対稠度	記事	標準貫入試験				原位置試験 試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取 番号	室内試験 ()	掘進 月日
										深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数 0 10 20	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値					
1	81.66	1.60	1.60		埋土 (凝り粘土)				五礫等を含む凝り粘土を主とする。 礫径は30mm以下。	8.00	0	4	1/45					
2	80.55	1.05	2.65		凝り粘土				φ30mm以下の礫を混入する。 2.00~35m間は礫の混入が少ない。	2.45	0	35	3					
3										3.15	5	7	17/30					
4										3.45	5	6	8	19/30				
5										4.15	6	8	19/30					
6										4.45	9	15	18	42/30				
7										5.15	10	14	20	41/30				
8										6.45	10	13	17	40/30				
9										7.15	10	14	19	43/30				
10										8.45	12	14	20	46/30				
11										9.15	19	31	59/30					
12										10.15	20	39	59/19					
13										11.15	22	28	7	59/17				
14										12.15	26	21	6	59/16				
15	67.87	12.68	15.33							13.15	18	32	50/20					
										14.15	21	29	8	50/18				
										15.15	21	29	8	50/18				
										15.33								

(JR-100)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo

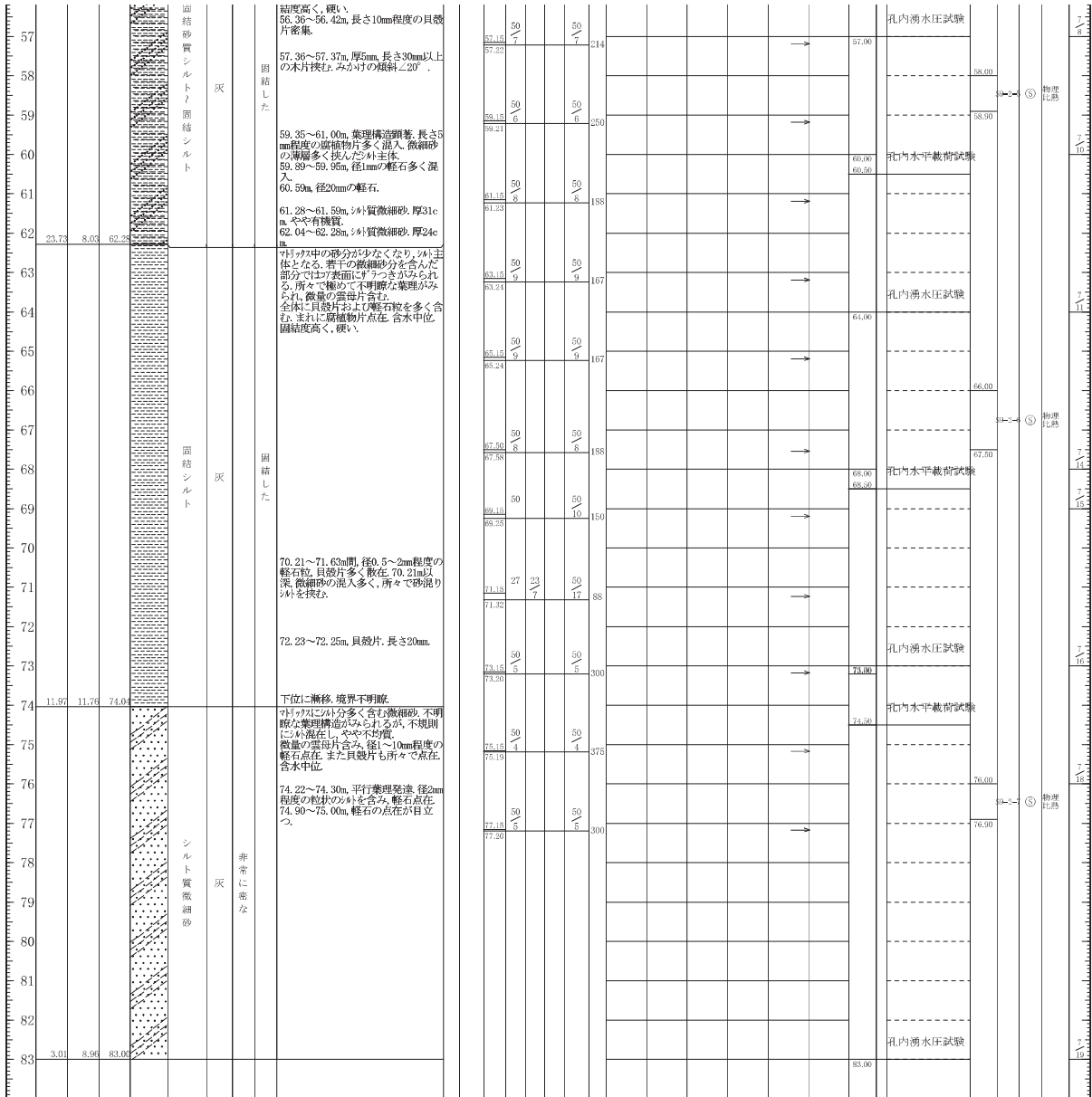
事業・工事名

シートNo

Header information table including borehole name, location, survey period, and equipment details.

Main data table with columns for depth, soil type, lithology, and penetration test results.

層番号	層名	土質記号	説明	試験結果	備考
21	暗緑灰		21. 95~21.56m, 径10mmの亜角礫伴う中砂。	50/7	非常に硬い
22	暗緑灰		22. 85m, 長さ5mm, 厚4mmの木片。	50/7	
23	暗緑灰		23. 61~23.62m, 軽石伴う細~中砂, 厚1cm。	50/7	
24	暗緑灰		23. 65~23.68m, 厚1mmの腐植質の薄層を所々に挟む。微量の雲母片を含む。含水中位。	50/7	
25	暗緑灰		23. 78~23.84m, 径1~2mmの軽石伴う細~中砂。	50/6	
26	暗緑灰		24. 36~24.58m, 厚62cmの微細砂。24. 38~26.00m, 厚17cmに微細砂混じる固結した主体。腐植物の薄層状に挟む。軽石混じる。25. 53~25.72m, 腐植物片不規則に散在。軽石混じる。26. 00~27.39m, 半層厚20~40cmとなり、厚くなる。	50/6	
27	暗緑灰		27. 47~28.00m, 微細砂混じる中砂~砂質粘土。平行葉理発達。厚0.5~1cmの微細砂~細砂および腐植物片。腐植質の薄層を所々に挟む。微量の雲母片を含む。含水中位。	50/5	非常に硬い
28	暗緑灰		28. 02~28.90m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
29	暗緑灰		28. 92~29.24m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/9	
30	暗緑灰		29. 24~29.29m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	29 21/6	
31	暗緑灰		29. 29~30.31m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
32	暗緑灰		30. 31~31.15m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
33	暗緑灰		31. 15~31.20m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
34	暗緑灰		31. 20~31.24m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
35	暗緑灰		31. 24~31.29m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
36	暗緑灰		31. 29~31.35m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
37	暗緑灰		31. 35~31.41m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
38	暗緑灰		31. 41~31.46m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
39	暗緑灰		31. 46~31.51m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
40	暗緑灰		31. 51~31.56m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
41	暗緑灰		31. 56~31.61m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
42	暗緑灰		31. 61~31.66m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
43	暗緑灰		31. 66~31.71m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
44	暗緑灰		31. 71~31.76m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
45	暗緑灰		31. 76~31.81m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
46	暗緑灰		31. 81~31.86m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
47	暗緑灰		31. 86~31.91m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
48	暗緑灰		31. 91~31.96m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
49	暗緑灰		31. 96~32.01m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
50	暗緑灰		32. 01~32.06m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
51	暗緑灰		32. 06~32.11m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
52	暗緑灰		32. 11~32.16m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
53	暗緑灰		32. 16~32.21m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
54	暗緑灰		32. 21~32.26m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
55	暗緑灰		32. 26~32.31m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
56	暗緑灰		32. 31~32.36m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	
57	暗緑灰		32. 36~32.41m, 葉理の傾斜 $\angle 5^\circ$ 。	50/5	



(JR-101)

(参考101-1)

参考101-1

ボーリング番号

調査時期:

表示座標 ※1

孔口標高 : T.P. +92.00 m

孔内水位:

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状 図	土質 区分	色 調	標準貫入試験			N値 —○—
						開始 深度 m	打撃 回数	貫入 量 cm	
1				表土		1.15	6	30	
2	2.30	2.30			2.15	6	30		
3			関東ローム	茶褐	3.15	3	30		
4	1.50	3.80		高有機質土	黒茶褐	4.15	4	30	
5	0.90	4.70		礫	茶褐	5.15	50	30	
6	0.90	5.60				6.15	50	30	
7				細砂	暗茶褐灰	7.15	50	30	
8						8.15	50	30	
9						9.15	50	30	
10	4.62	10.22				10.15	50	30	
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									

※1 表示座標は、調査地点のおおよその位置を示しています。

(参考101-1)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置					北緯	
発注機関				調査期間		東経	
調査業者名	電話 ()		主任技師		現代場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP +90.857m	角	180°上	90°	方	北 0°	地盤勾配
総掘進長	11.35m	度	0°	下	向	270°西	鉛直 90°
					使用機種	ハンマー落下用具	
					エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相	対密	対稠	記	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進	
									深	10cmごとの	打撃回数	N 値					深
1				埋土へ雑混り細砂	褐			雑混り粘土質細砂を主とする。色調は不均質でまたら状をなす。0.9m付近にはアスファルトガラが混入する。時々褐色ローム質粘土塊が多く入り混じる。4m付近以降ではφ30mm以下の礫を多く混入する。	1.15	1	2	5	5				
2				埋土へ雑混り細砂	褐				1.45	1	2	5					
3				埋土へ雑混り細砂	褐				2.15	1	2	5					
4				埋土へ雑混り細砂	褐				2.45	1	2	5					
5	86.06	4.80	4.80	シルト	褐			砂分を混入し比較的均質である。	3.15	1	2	5					
6	85.51	0.55	5.33	シルト	褐			5.55mまではやや風化を受け混質。5.55~6.9m間はシルトのはさみ。上下端は鮮明ではほぼ水平。6.9m付近までは褐色を呈する。細粒分をわずかに混入する。6.9m付近、7.40~50m、7.65~7.9m、8.3m付近、8.3m付近~50m、8.60~80m間は液状のはさみではない。一部にラミナが発達する。傾斜10°。	3.65	1	2	5					
7				細砂	褐				4.50	1	2	5					
8				細砂	褐				5.15	1	2	5					
9	81.96	3.55	8.90	細砂	褐			上位層との境界は漸移する。8.90~9.30m間は泥部と混在する。9.95m付近に酸化フスマが集中する。ほぼ水平。10.50~60m間はシルトのはさみ。	5.45	1	2	5					
10	80.26	1.70	10.60	細砂	褐				6.35	21	29	50					
11	79.51	0.75	11.35	細砂	褐				7.15	18	32	50					
				細砂	褐				7.34	12	28	10					
				細砂	褐				8.15	16	30	4					
				細砂	褐				8.38	13	18	19					
				細砂	褐				9.15	16	30	4					
				細砂	褐				9.36	13	18	19					
				細砂	褐				10.15	19	31	50					
				細砂	褐				10.42	19	31	50					
				細砂	褐				11.15	19	31	50					
				細砂	褐				11.35	19	31	50					

(JR-102)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo

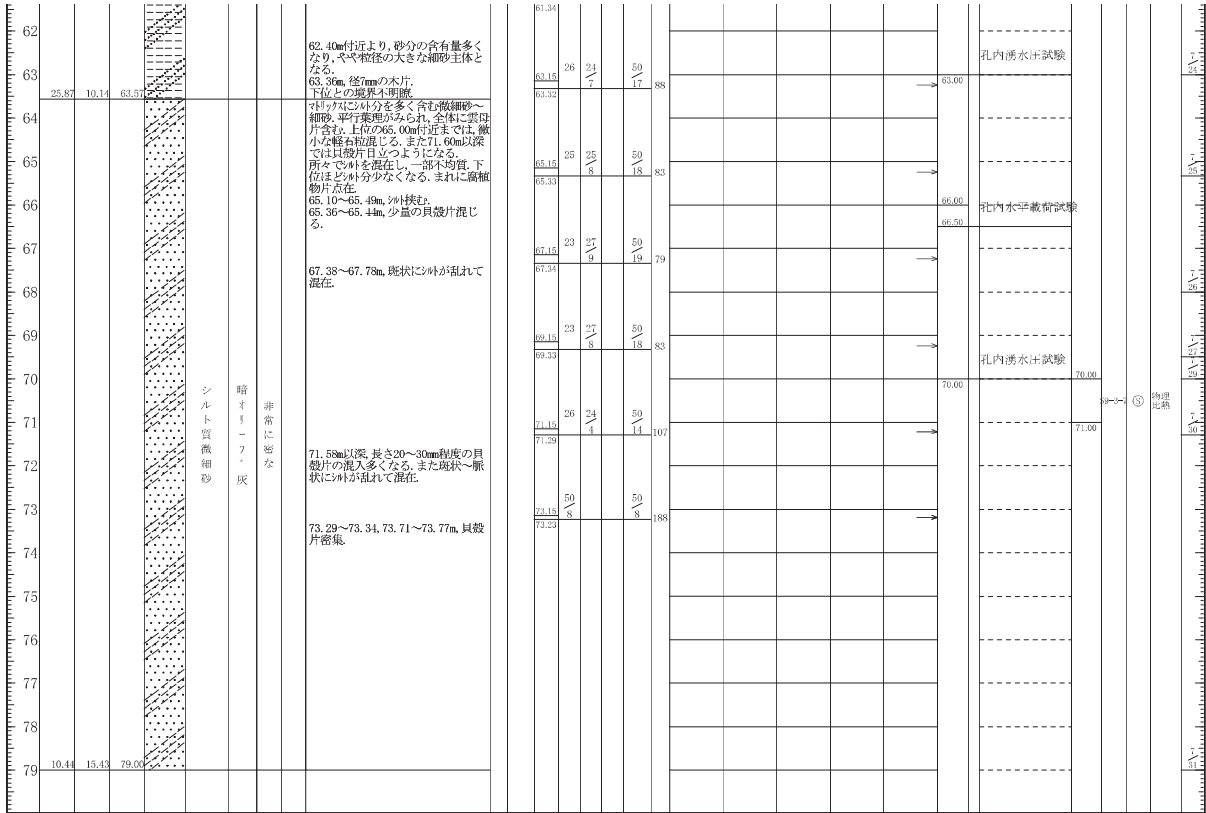
事業・工事名

シートNo

Header information table including borehole name, location, agency, survey period, and equipment details.

Main borehole log table with columns for depth, soil type, color, and test results.

層番号	層厚	層名	土質	状態	説明	試験値	試験項目			
24	65.15	1.48	24.2	細砂	灰	非常に硬い	水大位 22.80~22.90m, 径1mm程度の軽石粒 密集。 71層付近に微細砂を含む。平行葉理顕 著。所々に厚1~2cmの腐植物片。径1 ~2mmの腐植物片が点在または層状 に密集。雲母片含む。含水大位 24.30~24.53, 24.57~24.58, 24.61 ~24.67m, 細砂状。 24.78~24.81m, 厚0.5cmの腐植物片の 層。厚2cmの細砂。 25.46~25.77m, 腐植物片多く混入。 25.69~25.83m, 厚0.5~1cmの微細砂 の層層を数枚挟む。	28 22 4	50 14	107
25				固結砂質シルト	灰	非常に硬い				
26	63.09	2.06	26.38	細砂	灰	非常に硬い				
27				細砂	黄・暗緑 灰	非常に硬い				
28				細砂	黄・暗緑 灰	非常に硬い				
29				細砂	黄・暗緑 灰	非常に硬い				
30				細砂	黄・暗緑 灰	非常に硬い				
31	58.24	4.85	31.20	固結シルト	灰	非常に硬い				
32				固結シルト	灰	非常に硬い				
33				固結シルト	灰	非常に硬い				
34				固結シルト	灰	非常に硬い				
35				固結シルト	灰	非常に硬い				
36				固結シルト	灰	非常に硬い				
37				固結シルト	灰	非常に硬い				
38				固結シルト	灰	非常に硬い				
39				固結シルト	灰	非常に硬い				
40				固結シルト	灰	非常に硬い				
41	48.72	9.52	40.72	細砂	灰	非常に硬い				
42				細砂	灰	非常に硬い				
43	46.39	2.33	43.06	固結シルト	暗緑 灰	固結した				
44				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
45	44.64	1.75	44.58	細砂	灰	非常に硬い				
46	43.22	1.42	46.22	固結シルト	暗緑 灰	固結した				
47				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
48				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
49				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
50	39.58	3.64	49.57	固結シルト	暗緑 灰	固結した				
51				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
52				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
53	36.01	3.57	53.42	固結シルト	暗緑 灰	固結した				
54				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
55				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
56				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
57				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
58				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
59				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
60				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
61				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
62				固結シルト	暗緑 灰	固結した				
63				固結シルト	暗緑 灰	固結した				



(JR-103)

ボーリング柱状図

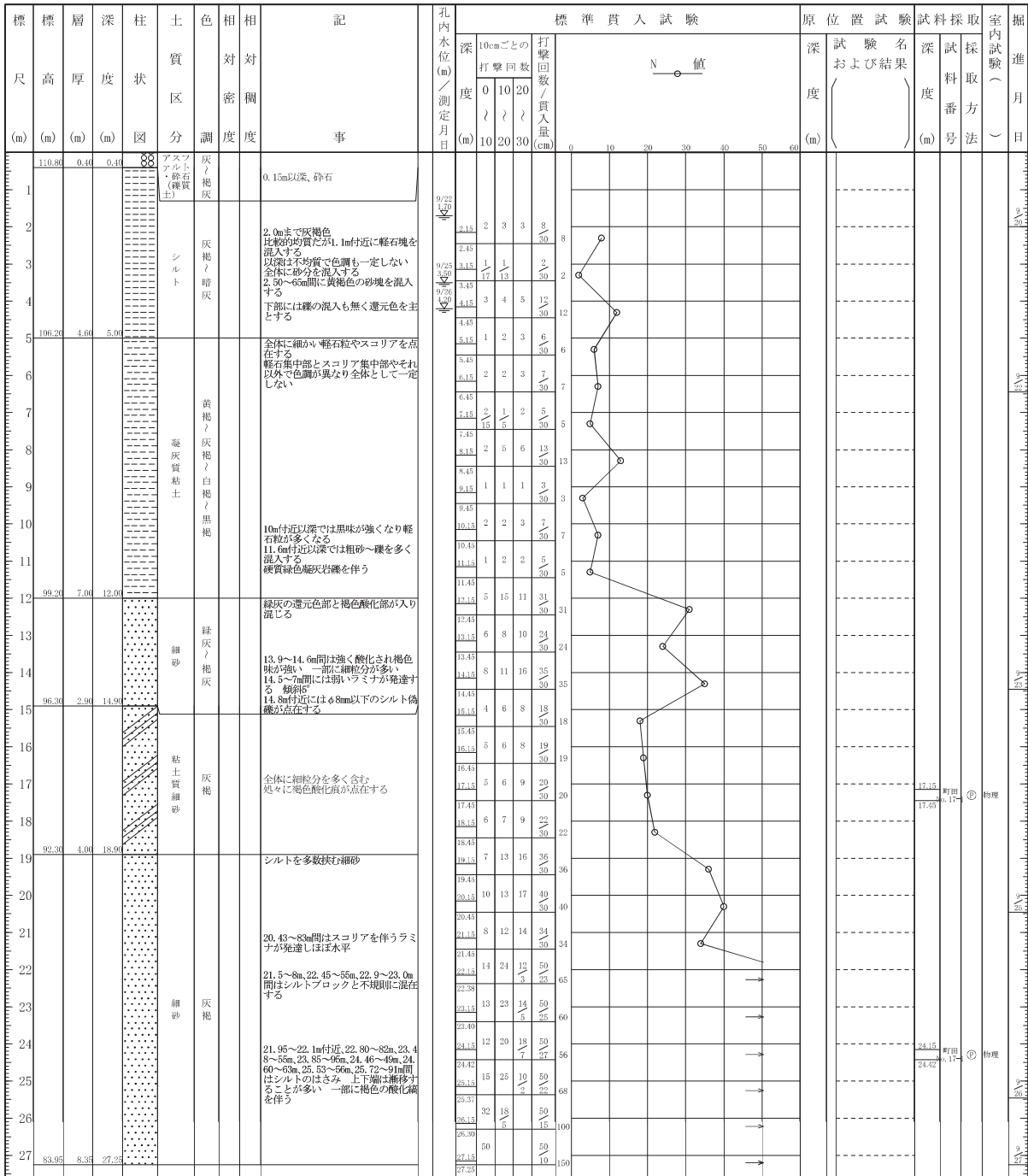
調査名

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯		
発注機関											東経		
調査業者名	電話 ()					主任技師					現代場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP +111.203m	角	180°上	90°	方	北 0°	東	地盤勾配	鉛直 90°	水平 0°	使用試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	27.25m	度			向	西 270°	南 180°				エンジン	ポンプ	



(JR-104)



(JR-105)

ボーリング柱状図

調査名

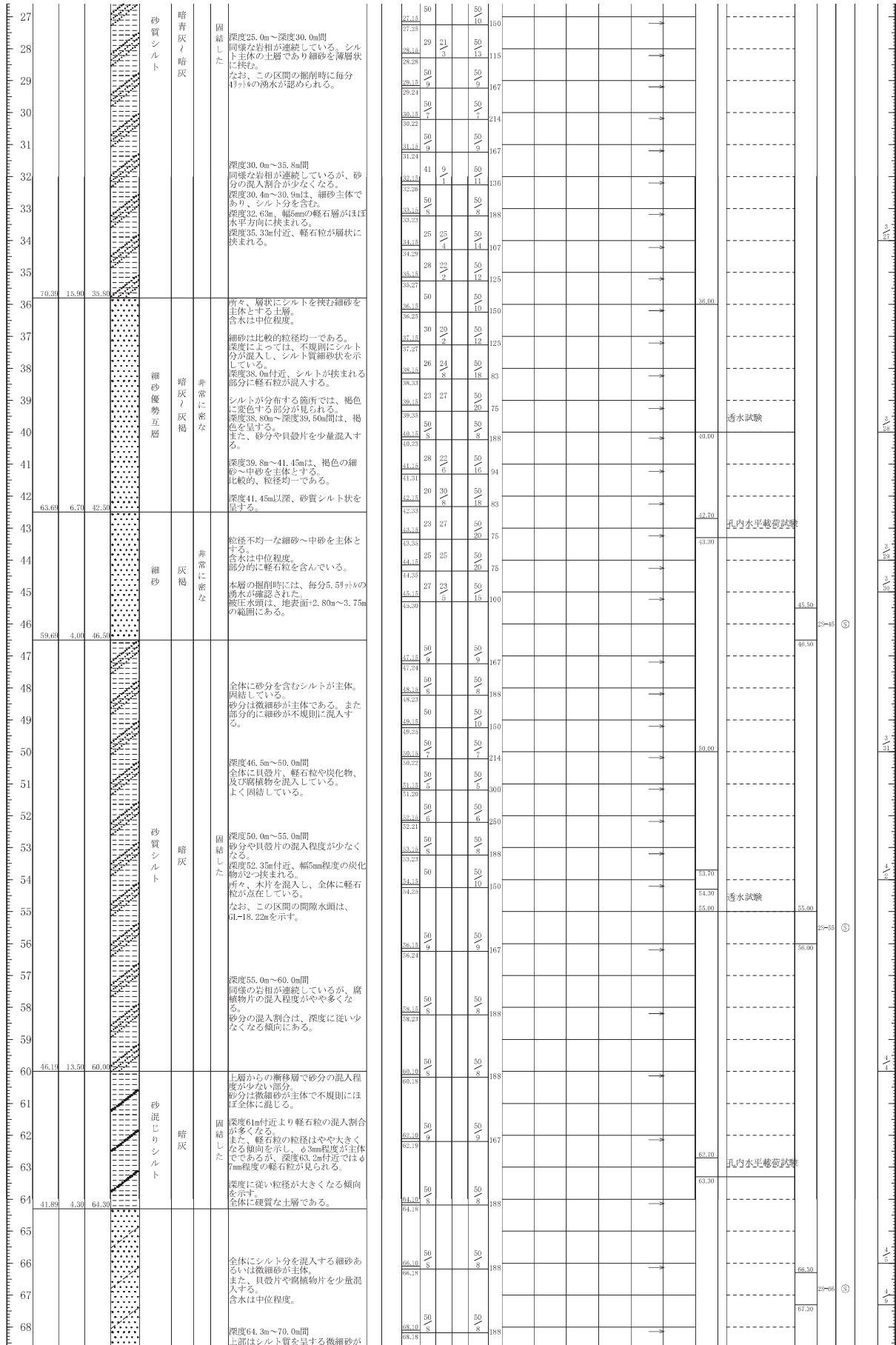
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

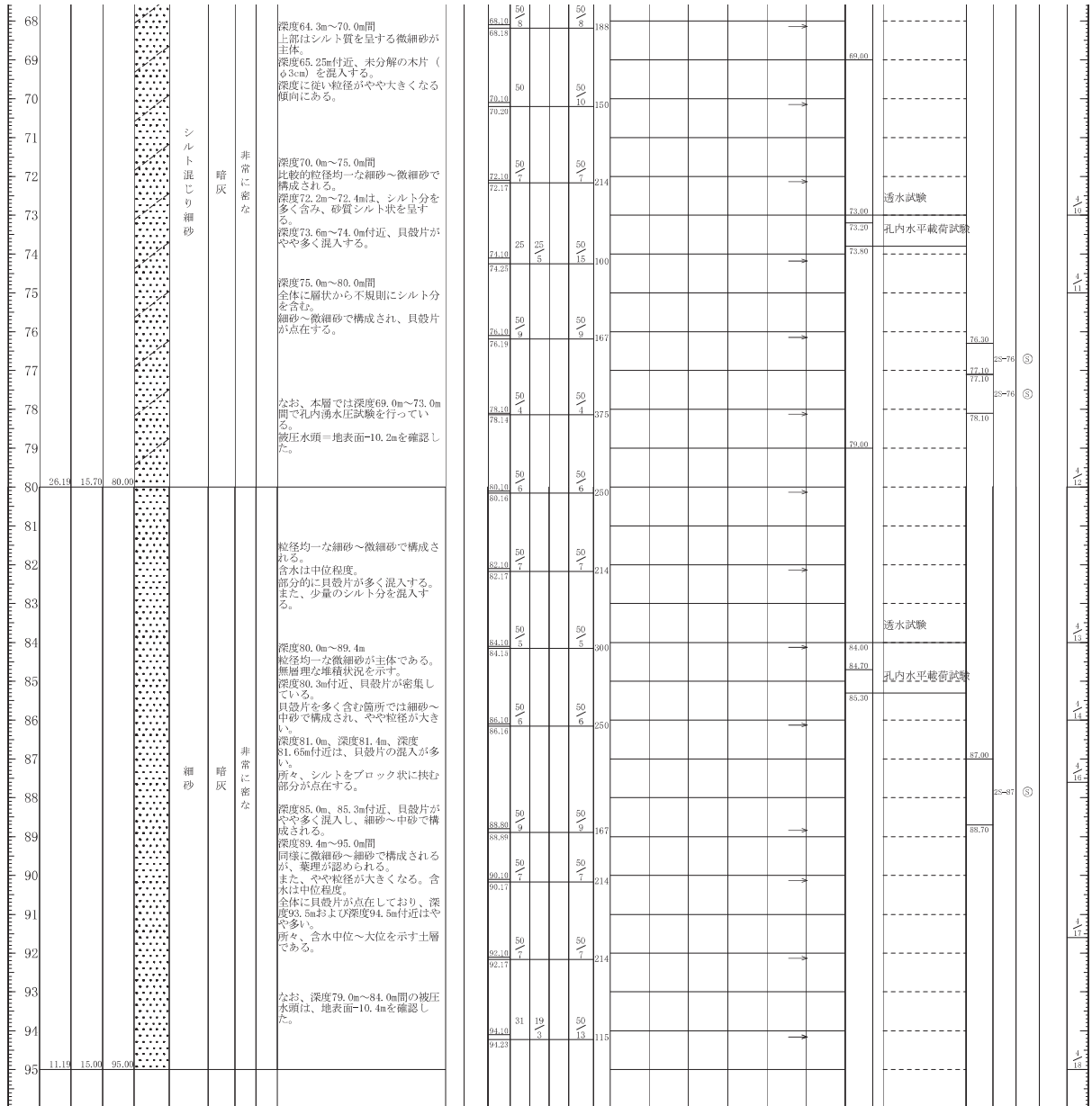
シートNo.

ボーリング名	調査位置				北緯
発注機関	調査期間				東経
調査業者名	電話 ()	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	106.188m	角	180°上 90°下	方	北0° 90°東 180°南
総掘進長	95.00m	度	鉛直	水平	0°
使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	ポンプ	エンジン	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相	対照密度	相対稠度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験 ()	掘進月日
												深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	度				
105.35	0.25	0.25			表土	暗褐色				植物根を多く混入する粘性土。		0	0	0					
102.44	3.50	3.70			有機質シルト	暗褐色				植物根や腐植物を多く混入するシルト。含水が多く粘性は中位程度。部分的に砂分を混入する箇所もある。全体に軟質な土層である。		1	1	1					
97.54	4.90	8.60			細砂	灰褐色				粒径不均一な細砂で構成される。含水は中位程度。全体に整理が見られる。茶褐色の細砂が水平方向に縞状に入る。また、少量のシルト分を混入する。		8	9	10					
93.69	3.90	12.50			シルト混じり細砂	灰褐色				シルト分を混入する細砂が主体。含水は中位程度。シルトはブロック状から不規則に入る。所々、砂分は固結状を呈している。また、部分的に褐色に変色している。		17	21	12					
93.14	0.50	13.00			砂質シルト	褐色				シルト分を多く含んだ部分。不均質。		24	25	8					
89.14	4.00	17.00			細砂優勢互層	灰褐色				シルトの混入割合が多くなる部分。細砂が主体であるが、シルトと互層状を呈する。含水は中位程度。深度16.5m付近、φ30mmの亜円礫が混入する。		18	20	12		15.00	透水試験		
86.25	2.90	19.90			細砂優勢互層	暗青灰色				上層と同様な岩相を示すが、色調が暗青灰色に変化した部分。含水は中位程度。所々、層状に幅5cm程度でシルト層が挟まれる。シルト自体は比較的均質である。		20	23	27					
22.13					砂質	暗青灰色				炭化物や細砂を塊層状にほぼ水平方向に挟むシルトが主体の土層。全体に腐植物を混入しており、固結している。砂分の混入程度は、深度により異なる。		24	28	9		22.20	孔内水平載荷試験		
20.39										深度19.9m～深度25.0m間シルトを主体としており、層状に粒径均一な細砂が挟まれる。挟まれる細砂の幅は、5cm～15cm程度。腐植物片を少量混入する。この区間を掘削後、翌朝の水位が地表面+3.7mを示す。		25	25	5					



(JR-106)



(JR-106)

(JR-107)

(JR-108)

ボーリング柱状図

調査名

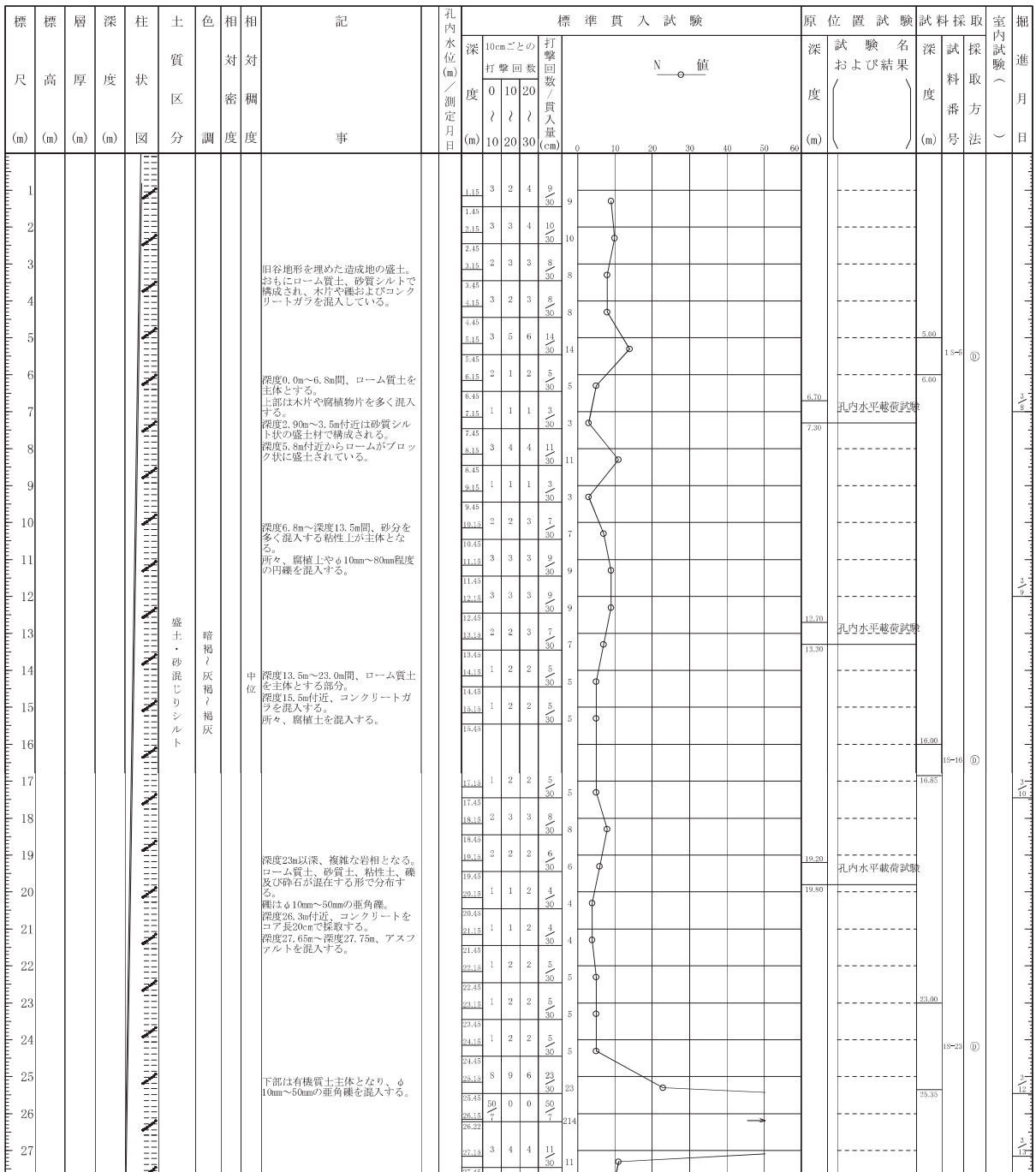
ボーリングNo.

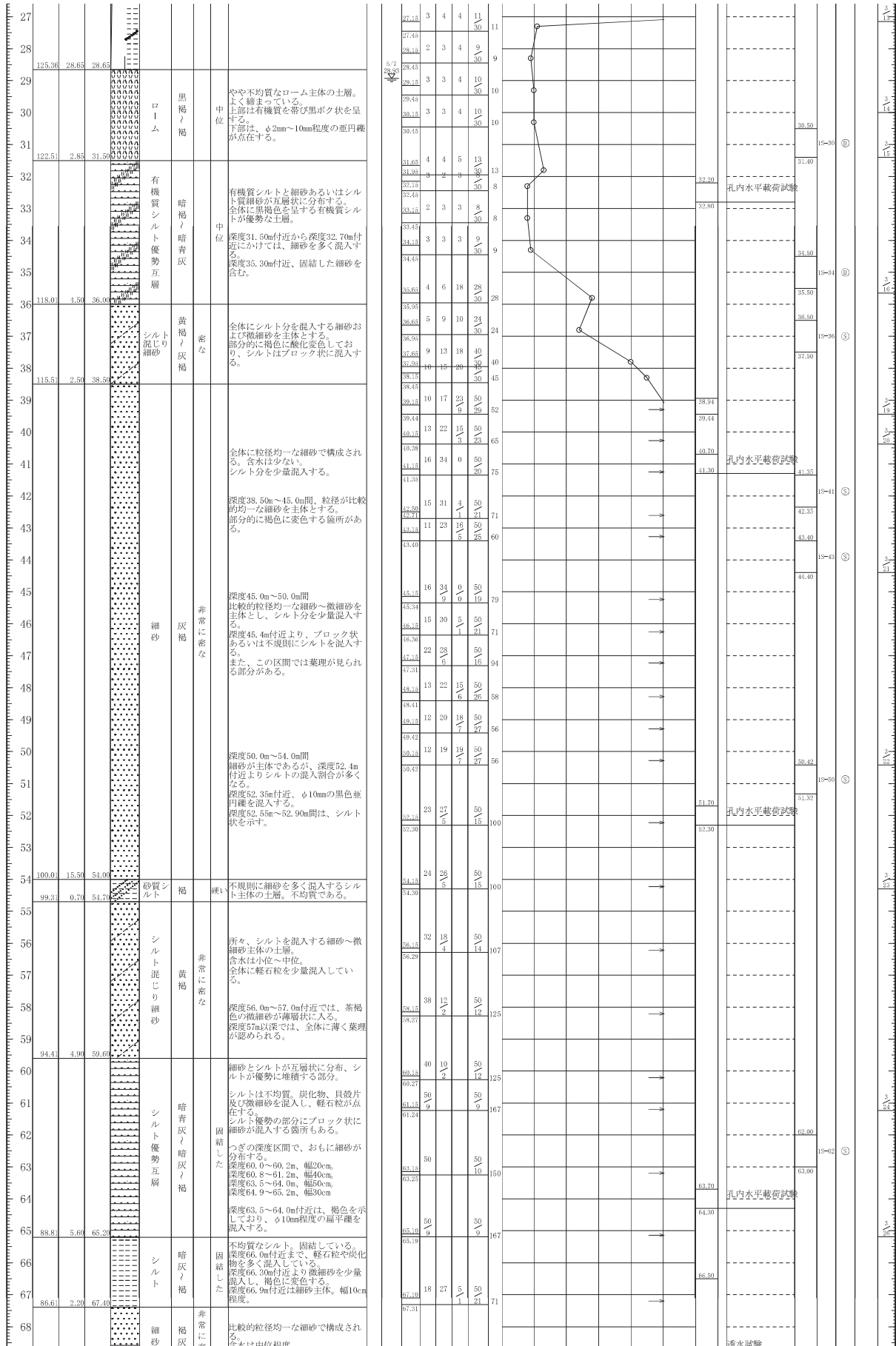
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

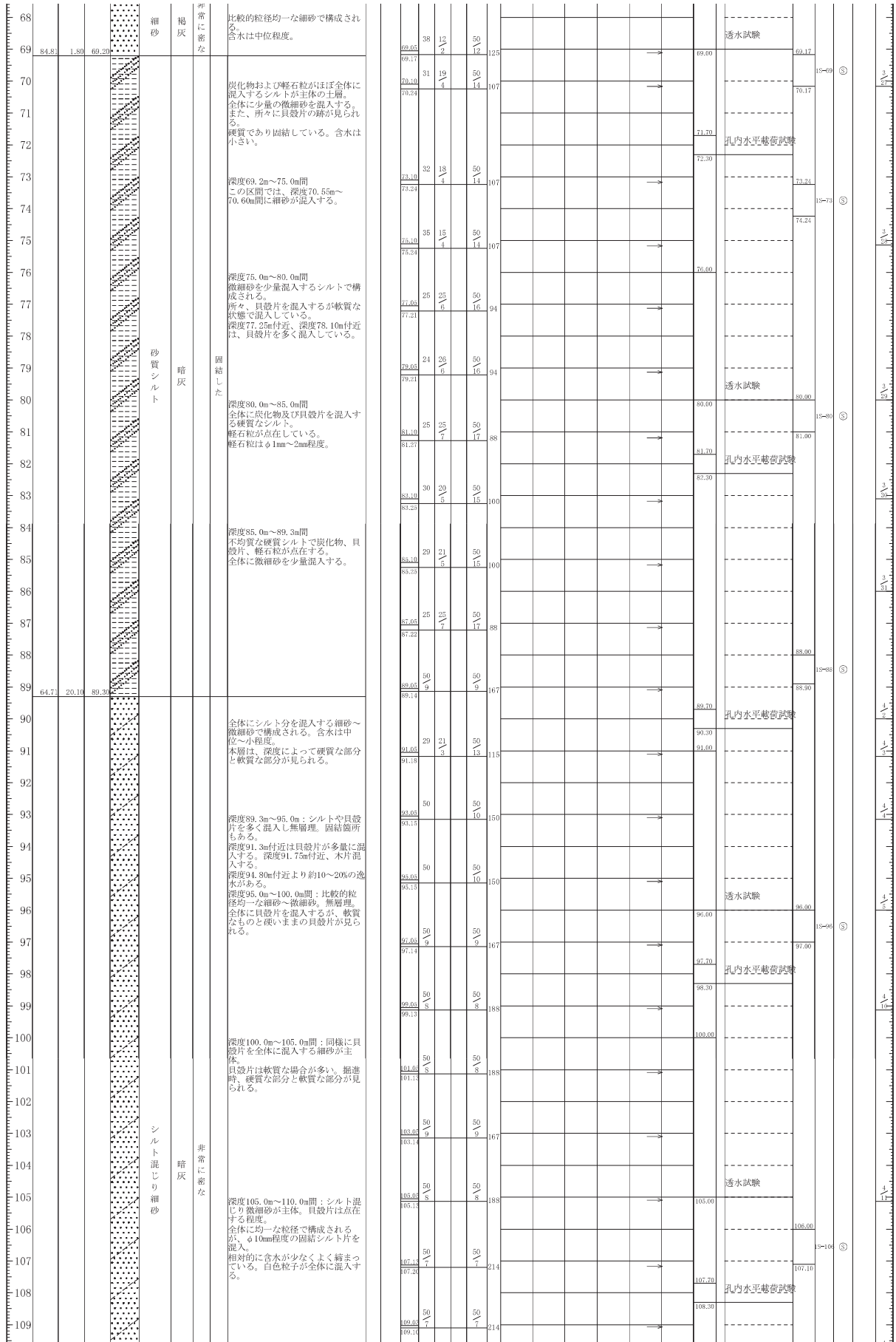
事業・工事名

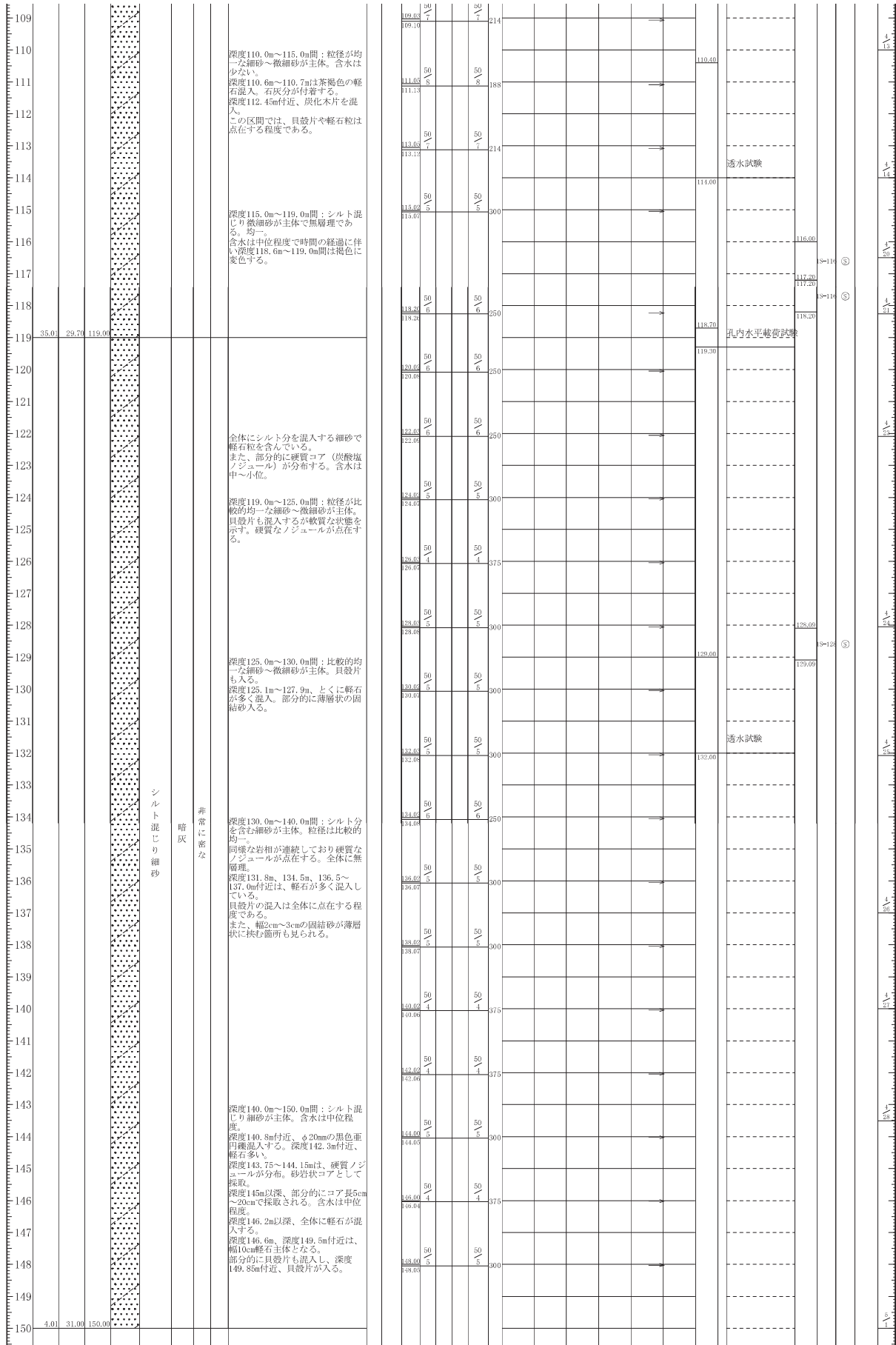
シートNo.

ボーリング名					調査位置					北緯				
発注機関					調査期間					東経				
調査業者名	電話 ()		主任技師		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者						
孔口標高	154.012m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具				
総掘進長	150.00m	度	0°	向	0°	鉛直 90°	水平 0°	エンジン		ポンプ				









(JR-109)

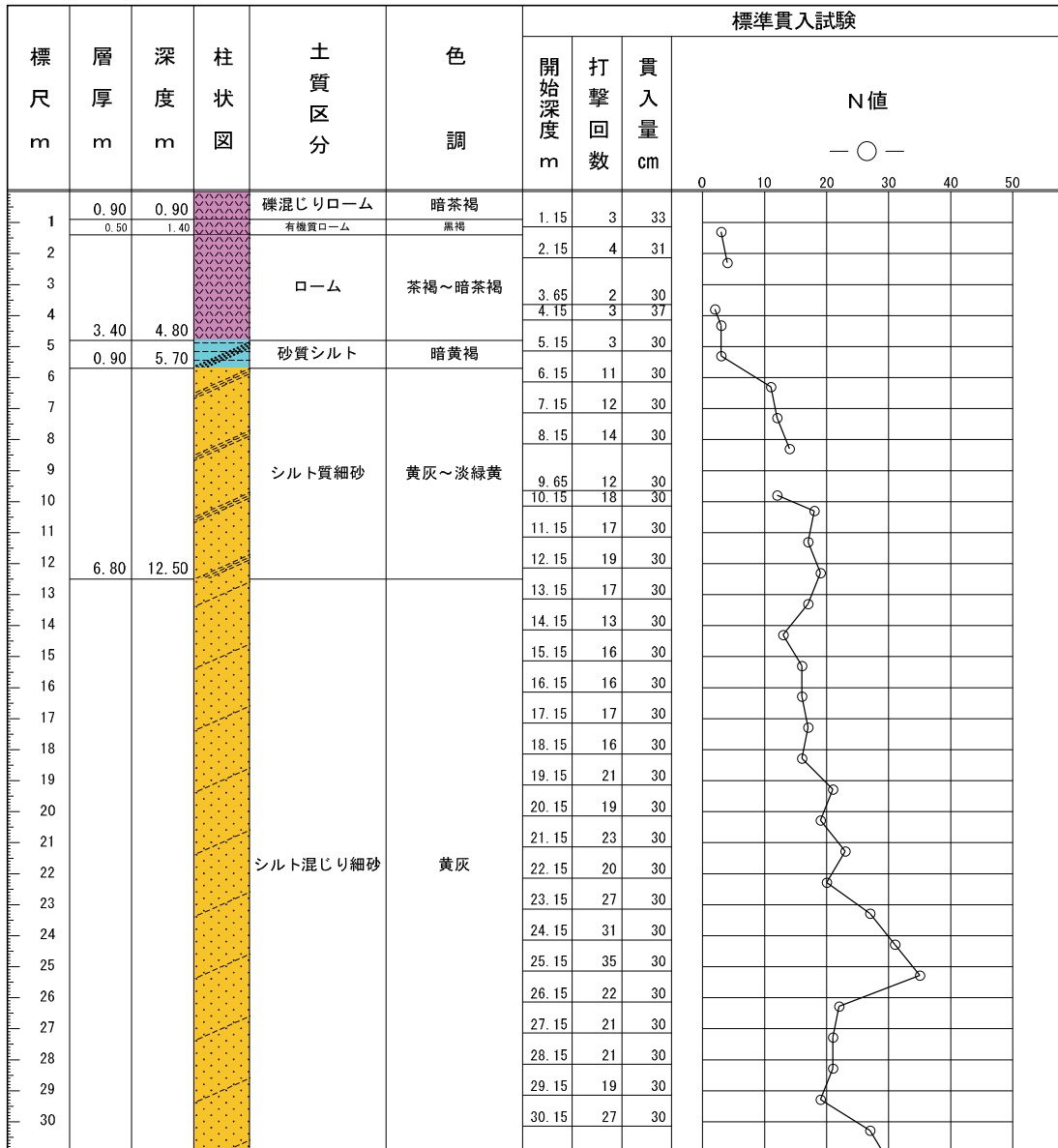
ボーリング番号

調査時期:

表示座標 ※1

孔口標高 ※2 : T.P. +145.73 m

孔内水位:



※1 表示座標は、調査地点のおおよその位置を示しています。

※2 孔口標高は、国土地理院発行の数値地図5mメッシュ(標高)より取得した値を表示しています。

(参考109-1)

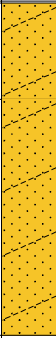
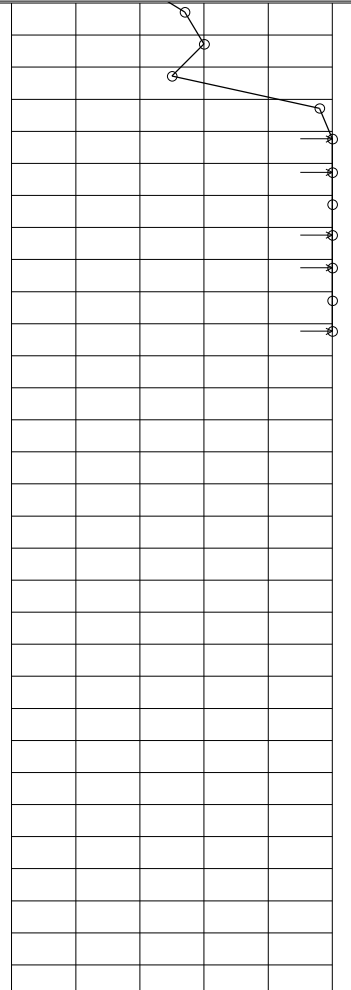
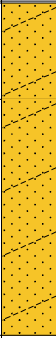
ボーリング番号

調査時期

表示座標 ※1

孔口標高 ※2

孔内水位

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状 図	土質 区分	色 調	標準貫入試験			
						開始 深度 m	打撃 回数	貫入 量 cm	N値 — ○ —
31	20.50	33.00		シルト混じり細砂	黄灰	31.15	30	30	
32						32.15	25	30	
33						33.15	48	30	
34	7.37	40.37		シルト混じり細砂	黄褐灰~黄灰	34.15	60	22	
35						35.15	51	30	
36						36.15	50	30	
37						37.15	59	21	
38						38.15	60	24	
39						39.15	50	30	
40	40.15	60	22						
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									

※1 表示座標は、調査地点のおおよその位置を示しています。
 ※2 孔口標高は、国土地理院発行の数値地図5mメッシュ（標高）より取得した値を表示しています。

ボーリング柱状図

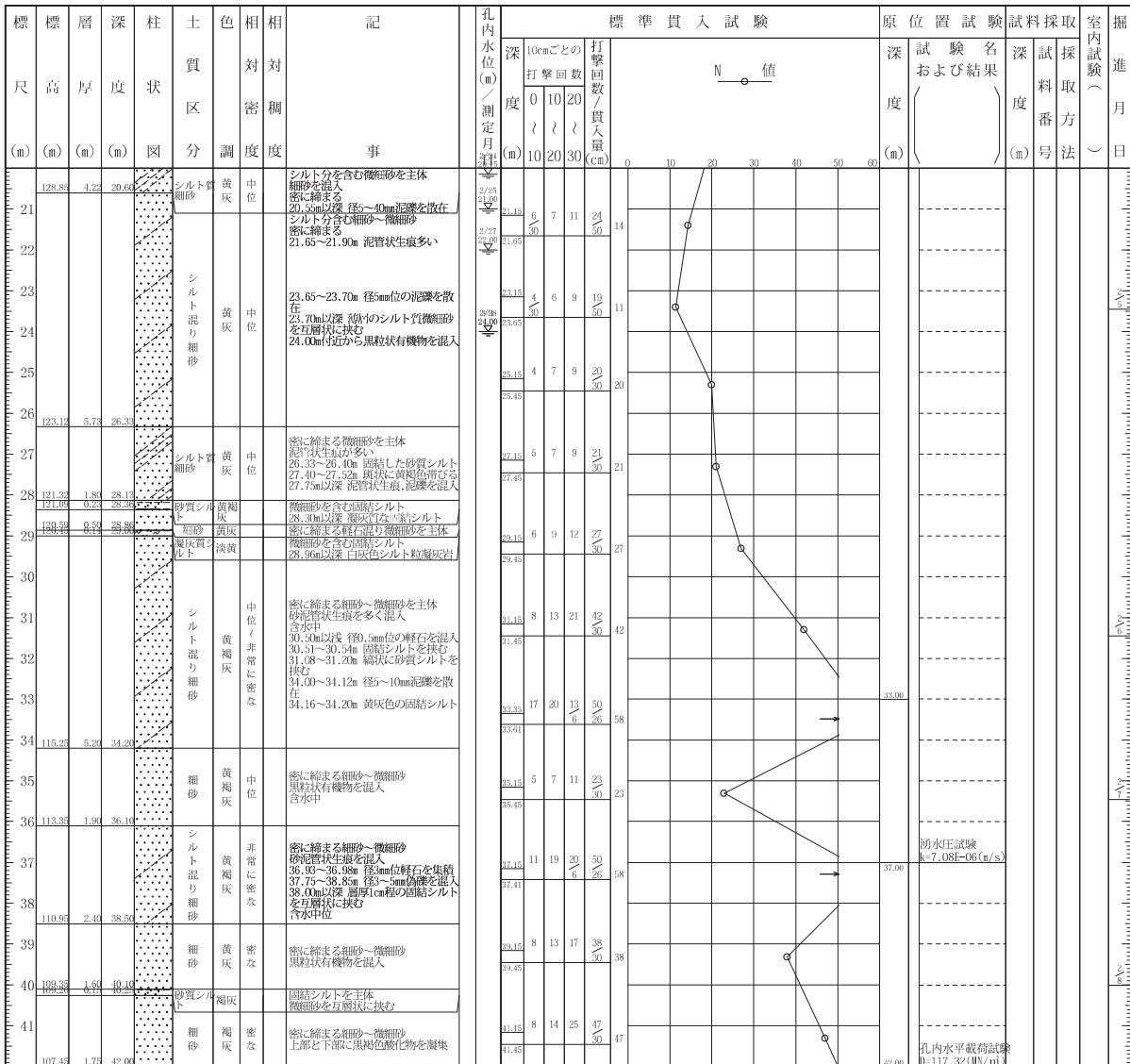
調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

Header table for borehole log with fields for name, location, date, and equipment.



ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯									
発注機関						調査期間						東経								
調査業者名	電話() 主任技師					現場代理人	コア鑑定者					ボーリング責任者								
孔口標高	TP	149.445m	角	180°	90°	方	北	0°	東	90°	地盤勾配	鉛直	水平	40°	使用機種	ハンマー落下用具				
総掘進長	125.00m	度	0°	0°	向	西	180°	南	180°	東	0°	0°	0°	エンジン	ポンプ					

標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相	対密度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進	
								深	10cmごとの	打撃回数	貫入量					
100.00	1.99	40.40	細砂	黄灰	密な		密に締まる細砂-微細砂	41.18	8	14	25	47				
107.45	1.75	42.00	細砂	黄灰	密な		固結シルトを主体に微細砂を互層状に挟む	41.40								
105.95	1.50	43.50	シルト質細砂	黄褐灰	固結した		全体に微細砂を含むシルト。粘性する厚さ4~10mm程度の砂状物には粒径径2~15mmの灰色泥炭質シルト42.02~42.05m、灰色泥炭質シルト43.10m付近、43.40m付近、白灰色シルト粒層を散在	43.10	9	20	21	50				
105.11	0.84	44.30	細砂	黄褐灰			密に締まる細砂-微細砂含水中位	43.42								
104.63	0.48	44.80	シルト質細砂	黄褐灰			全体に微細砂を含む固結シルト。黒粒状有機物を散在	45.15	11	15	22	48				
102.91	2.44	47.40	砂質シルト	暗青灰	固結した		全体に微細砂を含む固結シルト。不規則に炭化物を多く混入	47.10	19	27	4	50				
101.74	0.20	47.70	シルト質細砂	暗青灰			密に締まる微細砂	47.30								
48							全体に微細砂を含む固結シルト。不規則に泥質生痕や材片、炭化物を混入	49.10	23	27		50				
49							48.50~48.65m シルト質細砂	49.30								
50							49.30~50.53m 小豆泥質生痕を層状に集積									
51							50.80~52.45m 材片や炭化物を散在									
52							51.34~51.40m シルト質微細砂	51.10	24	26	9	50				
53							52.15~52.25m シルト質微細砂	51.34								
54							52.00~52.70m 微細砂を得く挟む	53.10	26	24	8	50				
55							54.42m以深 軽石や炭化物の混入が多い。径3~5mm軽石を散在	53.30								
56							55.00m以深 暗緑灰色に変わる	55.10	24	26	9	50				
57							56.47m以深 砂分多くなる	55.34								
58							56.00m付近 材片を混入	57.10	30	20	4	50				
59							薄層の微細砂を互層状に挟む固結シルト	57.20								
60							厚さ1~2cmの軽石混り微細砂を挟む									
61							50.60~50.70m シルト質微細砂									
							密に締まる微細砂を主体に厚さ1~1cm程度の固結した砂質シルトを挟む。軽石や炭化物を混入	60.10	32	18	3	50				
								60.20								

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	電話 ()	主任技師	現場代理人	コア鑑定者
ボーリング責任者	ハンマー落下用具		ポンプ	
孔口標高	TP +149.445m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配 鉛直 0° 水平 0°
総掘進長	125.00m	度	向	使用機種
エンジン	試錐機		ハンマー落下用具	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	採取番号	採取方法	室内試験 (月日)		
									深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (叩)	値							
61				砂質シルト	暗緑灰 / 暗灰			微細砂の層を挟む固結シルト 59.30m以下 厚さ1~2cmの微細砂を互層状に挟む 59.28~59.67m 炭化物を散在 60.38~60.42m 軽石ブロックを混入 60.30m 微細砂を挟む 60.30~60.21m 斜理理を完途、軽石炭化物を散在 61.27m以下 厚さ1~2cmの微細砂を互層状に挟む 62.0m付近 黄緑灰色を呈す これ以降暗緑灰となる 62.30~62.70m 炭化物を散在 63.46m以深 径2~3mm軽石を多くなる 63.95~64.00m 軽石を密集 64.70m 貝殻片を散在	60.28	3	13	115							
62									65.16	26	26	52	92	65.50					
63									65.32										
64																			
65																			
66	83.65	7.36	65.81					シルト分を含む塊砂~微細砂を主体極めてよく締まる 含水中位 65.00~66.0m 軽石径2~5mmを散在											
67				シルト混り細砂	暗青灰		非常に密な	71.74m付近まで石灰化した大型貝殻片を多く混入 69.30m以深 貝殻細片を層状に集積 71.74~71.76m 固結シルト 71.76m以深 砂泥質生成が多い											
68																			
69																			
70									69.90	50	50	300	69.50	湧水圧試験 h=1.02m (77.66m) h=1.21.62 (MN/m ²)					
71									70.15	5	5	300							
72									70.30										
73																			
74	75.25	8.43	74.20					73.41m以深 粉末状貝殻片を層状に混入											
75																			
76									76.15	50	50	300							
77									76.20										
78																			
79																			
80																			
81									80.15	50	50	300	79.50	孔内水中静水圧試験 h=123.27 (MN/m ²)					
									80.18										

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 _____

シートNo _____

ボーリング名	調査位置				北緯	
発注機関	調査期間			東経		
調査業者名	電話 (_____)	主任技師 (_____)	現場代理人 (_____)	コア鑑定者 (_____)	ボーリング責任者 (_____)	
孔口標高	TP +149.445m	方角	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	ハンマー落下用具
総掘進長	125.00m	度	0°	使用機種	エンジン	ポンプ

標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進月日	
									深さ (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (g/cm ²)	値							
81.00	65.78	9.47	83.00	シルト混り細砂	暗灰	非常に密な	密に締まるシルト分を含む微細砂~細砂 貝殻片を多く混入 76.30m付近まで貝殻片を多く混入 76.30~79.00m付近 シルト分含み砂 泥質生土が多い 79.00~83.28m 貝殻片を層状に混入 80.20~80.50m シルト分多く含む 80.50~80.70m 軽石径3~5mmを多く混入	80.18	50/3	50/3	300	81.00							
85.00	83.67		83.70m	密に締まる微細砂~細砂 ほぼ均質	暗灰	非常に密な	83.67~83.70m 軽石径3~5mmを多く混入 88.50m以深 シルト分を多少含む 90.25m付近、90.44m付近 貝殻細片を 集積	85.15	50/3	50/3	300	85.00	湧水圧試験 k=6.87e-06 (m/s)						
91.00	58.00	7.74	91.41	細砂	暗灰	非常に密な		90.50	50/3	50/3	300	91.00	孔内水中圧載荷試験 D=138.34 (MM ² /m)						
93.00	54.17	3.87	95.28	細砂	暗灰	非常に密な	密に締まる細砂~微細砂を主体 不規則に貝殻片、軽石を層状に混入 含む少許 92.00m以深 貝殻片をやや多く混入 93.17~93.25m 貝殻片を層状に混入 93.65m以深 軽石の混入が多い 94.55m付近 貝殻片、泥岩礫を層状に 混入	95.15	50/3	50/3	300	93.00							
100.00								100.15	50/4	50/4	375	98.00	湧水圧試験 k=1.12e-05 (m/s)						

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 _____

シートNo _____

ボーリング名	調査位置				北緯			
発注機関					東経			
調査業者名	電話 (_____)	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	TP +149.445m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試験錐機	ハンマー 落下用具	ポンプ
総掘進長	125.00m	度 0°	向 0°		エンジン			

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定日	標準貫入試験				原位置試験深度 (m)	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 (月日)	掘進月日
										深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (g)	N 値						
101				細砂	暗灰		非常に密な	密に絡まる細砂を主体 全体に粗粒軽石を層状に集積 102.91m以深 軽石の混入量が多くなる 軽石径 ~20mm 104.06~104.41m, 105.41~106.06m 軽石を集積 106.20m付近 径50mm泥岩礫を混入	100.13 100.13	50 秒	50 秒	37.5							
102																			
103																			
104																			
105																			
106	42.70	11.47	106.75																
107				細砂	暗灰		非常に密な	密に絡まる細砂~微細砂を主体 ほぼ均質 107.85m, 108.20m付近 泥礫を混入 109.80~109.90m 礫を混入	106.13 106.13	50 秒	50 秒	750							
108																			
109																			
110																			
111																			
112	36.55	6.15	112.98																
113																			
114				シルト混り細砂	暗青灰~暗灰		非常に密な	密に絡まる細砂を主体 一部凝固する 上部ほど粉末状貝殻片を層状に混入 不規則に面状気泡に変わる 114.38~115.00m 貝殻細片を集積 114.93m φ30mm円形礫を混入 115.00~115.91m 大型貝殻片を多く混入 115.7m付近 φ40~50mm位亜角礫を混入 116.00m付近シルト分多 116.39~116.60m 大型貝殻片や礫を混入 117.00~117.19m 貝殻片を集積	110.13 110.13	50 秒	50 秒	750							
115																			
116																			
117	32.28	4.28	117.13																
118																			
119																			
120																			
121																			

(JR-110)

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNo _____

事業・工事名 _____

シートNo _____

ボーリング名	調査位置							北緯	
発注機関					調査期間	東経			
調査業者名	電話()			主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	TP +149.445m	角	180° 上下	90°	方	北 0° 90° 東 270° 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 40°	
総掘進長	125.00m	度	0°	0°	向		使用機種	ハンマー落下用具	
							エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	標準貫入試験				原位置試験 深さ (m)	試験名 および結果	試料採取 番号	採取方法	室内試験 ()	掘進 月日	
																	深さ (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (g)	値							
111			細砂	暗灰	非常に密な																						
112																											
113	36.55	6.15	112.90																								
114																											
115																											
116																											
117	32.26	4.29	117.19																								
118																											
119																											
120																											
121																											
122																											
123																											
124																											
125	24.45	7.81	125.00																								
126																											
127																											
128																											
129																											
130																											

(JR-110)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	電話()	主任技師	現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	TP +126.4m	角	方	地盤勾配
総掘進長	93.00m	度	向	使用機種
				試験機
				エンジン
				ハンマー
				ポンプ

標尺	層高	厚	柱状図	土質区分	色相対調	相対密度	相対調度	記	孔内水位	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進
										深	10cmごとの	打撃回数	貫入量				
1	125.55	0.85	0.85	腐	微砂を含む風化火山灰質粘性土。径10〜40mmの碎石混入。含水小位。わずく、植物根含む。不均質。0.06mまでツル				7.22	1.15	1	1	2	4			
2	124.30	0.90	2.10	黄褐色	非常に硬い					1.45	1	1	1	1			
3	122.72	1.58	3.68	青灰	中位					2.15	1	1	1	1			
4	121.68	1.04	4.72	黒褐色	軟らかい					2.90	1	1	1	1			
5	120.81	0.87	5.59	黒	軟らかい					3.15	1	1	1	1			
6				黒褐色	軟らかい					3.45	1	1	1	1			
7				黒褐色	軟らかい					4.15	1	1	1	1			
8	118.00	2.81	8.40	黒褐色	軟らかい					4.53	1	1	1	1			
9				暗褐色	非常に硬い					5.15	1	1	1	1			
10				暗褐色	非常に硬い					5.50	1	1	1	1			
11				暗褐色	非常に硬い					7.15	1	1	1	1			
12				暗褐色	非常に硬い					7.45	1	1	1	1			
13				暗褐色	非常に硬い					8.15	1	1	1	1			
14				暗褐色	非常に硬い					8.45	1	1	1	1			
15				暗褐色	非常に硬い					9.15	1	1	1	1			
16				暗褐色	非常に硬い					9.30	1	1	1	1			
17	108.94	9.06	17.46	暗褐色	非常に硬い					11.15	1	1	1	1			
18	108.48	0.46	17.92	暗褐色	非常に硬い					11.41	1	1	1	1			
19	106.52	1.96	19.88	暗褐色	非常に硬い					13.15	1	1	1	1			
20	105.92	0.60	20.48	暗褐色	非常に硬い					13.45	1	1	1	1			
21				暗褐色	非常に硬い					14.15	1	1	1	1			
22				暗褐色	非常に硬い					14.40	1	1	1	1			
23				暗褐色	非常に硬い					15.42	1	1	1	1			
24				暗褐色	非常に硬い					16.15	1	1	1	1			
25				暗褐色	非常に硬い					16.38	1	1	1	1			

深度 (m)	層番号	土質記号	土質名	層厚 (m)	層底 (m)	層頂 (m)	備考	試験項目	試験結果	試験深度 (m)
62.00	7	中砂	密な	0.00	64.00	62.00	が散在。成層構造に乱れあり、やや不均質。			62.00
63.00							厚0.5~1.0m程度の微細砂~細砂および軽石濃集層の互層。軽石優勢。			
64.00							やや乱れた、はっきりしない成層構造をなし、軽石質土の挟層を呈す。平行および斜交葉理構造が所々にみられる。			
65.00							砂層中には微細な軽石粒子の混入が多く、軽石濃集層は粗粒~径30mmの軽石から構成。また粗にも層をなさないで塊状~斑状の軽石濃集層の層中に混在する。			
66.00							雲母片多く、含水多い。			
67.00							65.42~65.72m、厚30cmの軽石濃集層。			
68.00							67.90m以降、葉理構造、成層構造顕著。			
69.00							68.44~68.58m、生痕と思われる凹状構造あり。			
70.00							70.00~70.05m、固結外挟む、下位に漸移。			
71.00							濁状のよい、粒径均一な微細砂。不明瞭な葉理構造がみられ、多少の雲母片を含むが、混入物はほとんどみられない。			
72.00							含水大位。			
73.00							73.20m付近より、淡く酸化し、褐色化する。			
74.00										
75.00							厚3~20cmの微細砂と砂礫の互層。砂礫は径5~30mm、最大40mmの円~亜円礫主体。付着の硬質礫多い、付着がは微細砂、含水多い。			
76.00							濁状のよい、粒径均一な微細砂、不明瞭な平行葉理あり、微量の雲母片含む。含水多い、下位に漸移。			
77.00							径3~20mmの円~亜円礫を強程度含む。所々に砂礫夾層、付着は径1~2mmの腐植砂、軽石を含む微細砂~細砂。微量の雲母片含む、不明瞭な平行葉理あり、含水多い。			
78.00							77.15~77.18m、径10mmの円礫密集。77.40~77.62m、厚20cmの砂礫層、付着など柱状岩の円~亜円礫主体。			
79.00							78.40~78.43m、厚3cmの砂礫層。78.43m以降、固結外挟む、軽石粒多い。濁状良く、粒径のそろった微細砂主体。全体に平行葉理が認められる。所々に厚1cmの固結外挟む。径10~50mmの塊状~斑状固結外を混入。また所々に径1~10mmの軽石が密集する。まれに径2mm程度の腐植物片と径5mm以下の貝殻片が点在。微量の雲母片含む。所々に不均質、含水大位。			
80.00										
81.00										
82.00							80.55~80.73m、軽石粒密集。			
83.00							81.05~81.08m、厚3cmの固結外挟む。			
84.00							81.72~81.74m、軽石密集。			
85.00							82.77~82.80m、厚1cmの固結外挟む。			
86.00							83.00~84.00m、塊状~斑状固結外挟むの混入多い。			
87.00							83.10m付近より、貝殻片、腐植物片が目立つようになる。			
88.00							84.28~84.70m、細~中砂主体、平行葉理顕著。			
89.00							85.00~85.50m、厚0.2~1cmの軽石粒子を含む細砂を多数挟む。平行葉理顕著。			
90.00							85.50~87.03m、塊状~斑状固結外多く混在。やや不均質。			
91.00							86.50~87.03m、長さ20~40mmの二枚貝片多く混入。長さ5mmの木片点在。			
92.00							87.03m以降、混入物ほとんどみられない。固結度やや緩くなる。			

(JR-111)

ボーリング柱状図

調査名

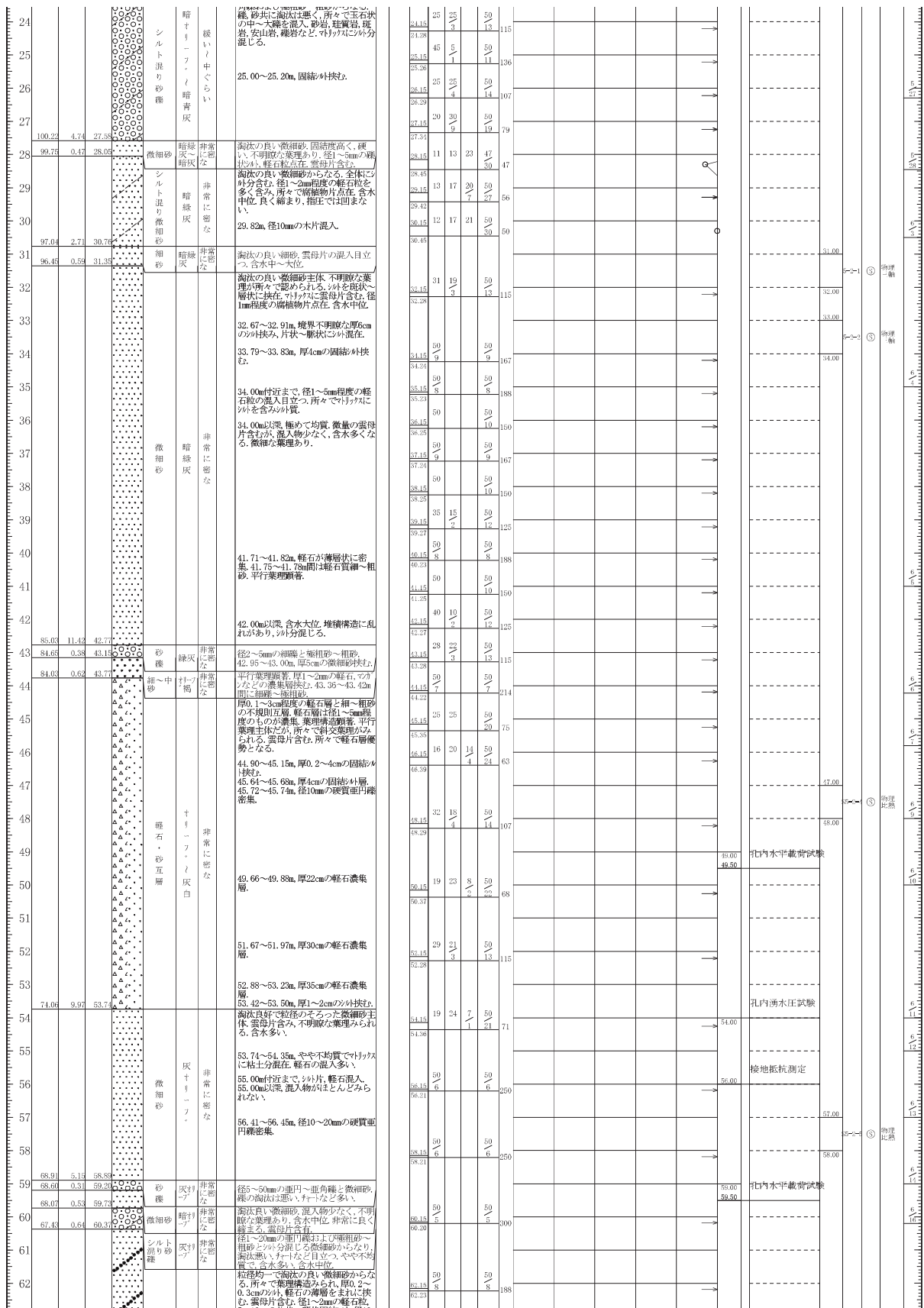
ボーリングNo																			
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

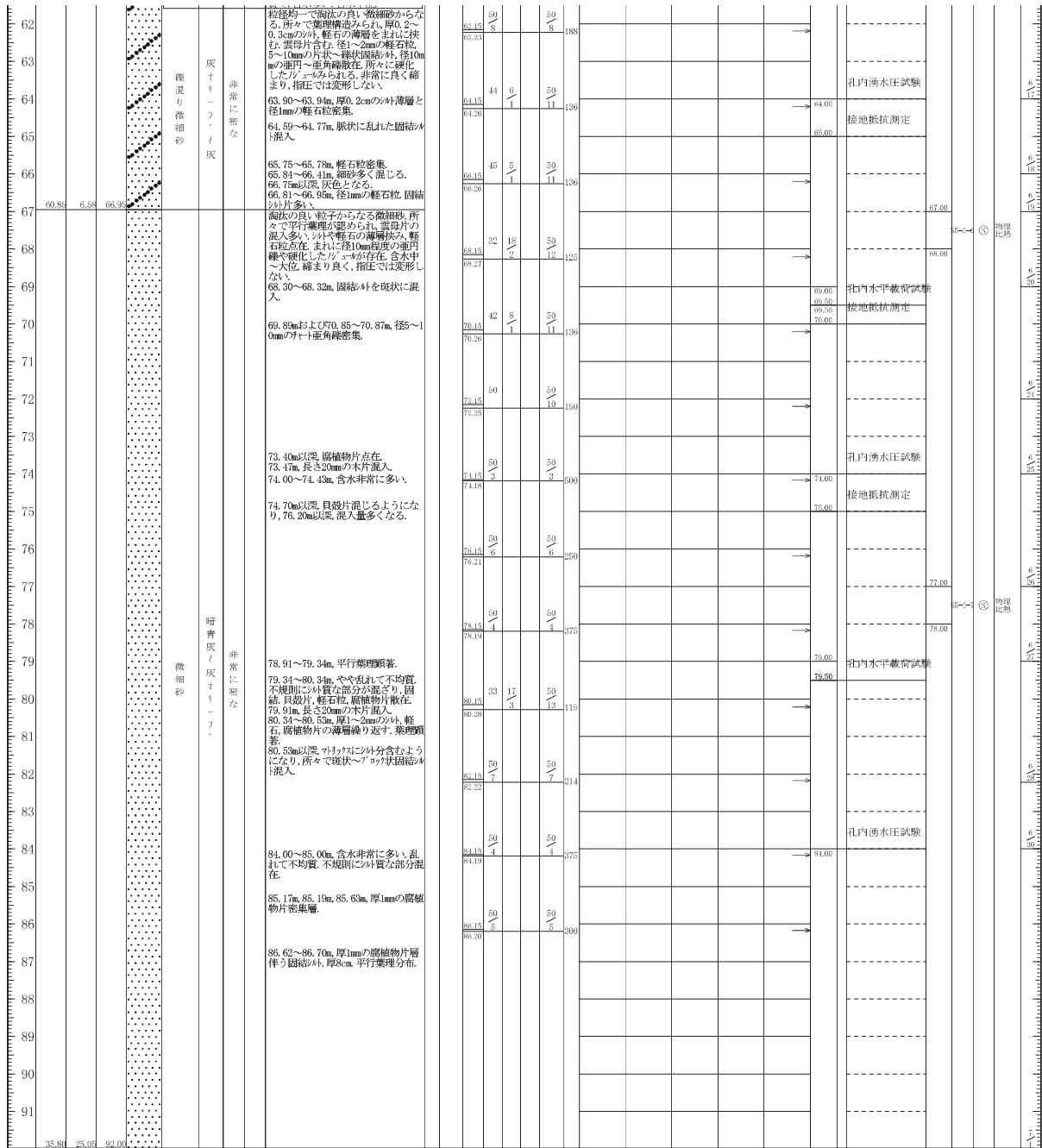
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯		
発注機関											東経		
調査業者名	電話	主任技師			現場代理人		コア鑑定者		ハンマー落下用具		ボーリング責任者		
孔口標高	TP +127.8m	角	180°上	0°	方	北0°	270°	90°	地盤勾配	鉛直	水平0°	使用機種	エンジン
総掘進長	92.00m	度	0°	0°	向	西	180°	東			試錐機		ハンマー







(JR-112)

ボーリング柱状図

調 査 名		ボーリングNo. 	
事業・工事名		シートNo. 	
ボーリング名	調査位置	北緯	
発注機関	調査期間	東経	
調査業者名	主任技師	見場 も理人	ボーリング 責任者
孔口標高 TP +121.228m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	コ ア 鑑 定 者
総掘進長 22.22m	度	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°	ハンマー 落下用具
		使用機種 試験機 エンジン	ポンプ

標尺 (m)	層高 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 番号	室内試験 ()	掘進 月 日	
								深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
1			暗茶〜暗黄茶〜黒茶 埋土				0.60m付近までガラ、レンガ、粘土、0.60〜1.80m、粘土混り細砂〜粘土、1.80〜2.50m、粘土でガラ混入、2.50〜3.30m、腐植粘土でガラ混入、3付近、プラスチック混じる。	11.28 1.15	2	2	1	5					
2			腐植土	黒茶			非常に腐植植物大量に混入する。含水中位。	1.45	1	1	1	3					
3	117.93	3.30						2.15	1	1	1	3					
4	116.53	1.40						2.50	12	8	4	24					
5			腐植土	黒茶			非常に腐植植物大量に混入する。含水中位。	3.15	0	1	1	3					
6	114.73	1.80						4.45	5	2	5	30					
7			シルト	灰と暗茶灰			非常に粘り強い。含水少〜中位。約30mより、色調暗茶灰に変化。中位所々、若干の砂を挟む。	5.15	1	30	1	30					
8			凝灰質粘土	灰と暗茶灰			中位。6.55〜6.70m φ10mm大の軽石を挟み、7m付近より部分的に固結し、浮石を混入する。9m付近より軽石を多く混入し、全然に腐植成分が多い。10m付近より色調暗茶灰色。固結粘土塊、腐植物を微量混入する。	5.45	2	1	2	5					
9			凝灰質粘土	灰と暗茶灰				6.45	2	2	1	5					
10	110.38	4.35						7.15	2	1	7	30					
11			砂混り凝灰質粘土	淡緑灰			中位の粘性小〜中。含水中位。	7.45	2	2	3	7					
12	109.18	1.20						8.15	2	2	3	7					
13	108.63	0.55					φ5〜50mmの亜円礫主体。含水中位。	8.47	2	1	2	5					
14	107.73	0.90					中位粘性強い。含水少位。浮石混入。部分的に固結する。	9.15	5	5	4	14					
15	106.43	1.30					粘り強い。粘性弱い。含水少位。浮石、固結粘土塊若干混入する。	9.45	4	4	5	13					
16	105.93	0.50					粘り強い。粘性弱い。含水少位。粒子不均一。含水中位。	10.15	4	4	5	13					
17	104.73	1.20					非常に粘り強い。粘性弱い。含水少位。に硬コア状を呈す。若干の浮石混入する。	10.45	4	4	5	13					
18			粘土混り砂礫	暗緑灰			非常に密な	11.15	2	3	3	8					
19			粘土混り砂礫	暗緑灰			非常に密な	11.60	11	12	12	35					
20			粘土混り砂礫	暗緑灰			非常に密な	12.15	13	17	20	50					
21	99.53	5.20					非常に密な	12.41	2	2	3	7					
22	99.01	0.52					非常に密な	13.47	3	4	4	11					
			微細砂	暗緑灰			非常に密な	14.15	4	4	4	11					
								14.45	4	4	4	11					
								15.15	4	4	6	14					
								15.45	5	6	6	17					
								16.45	16	22	12	50					
								17.15	50	50	5	25					
								18.15	50	50	10	150					
								18.45	50	50	10	150					
								19.15	4	4	4	375					
								19.19	50	50	6	250					
								20.15	50	50	6	250					
								20.21	50	50	6	250					
								21.00	50	50	7	214					
								22.15	50	50	7	214					
								22.22	50	50	7	214					

(参考112-1)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

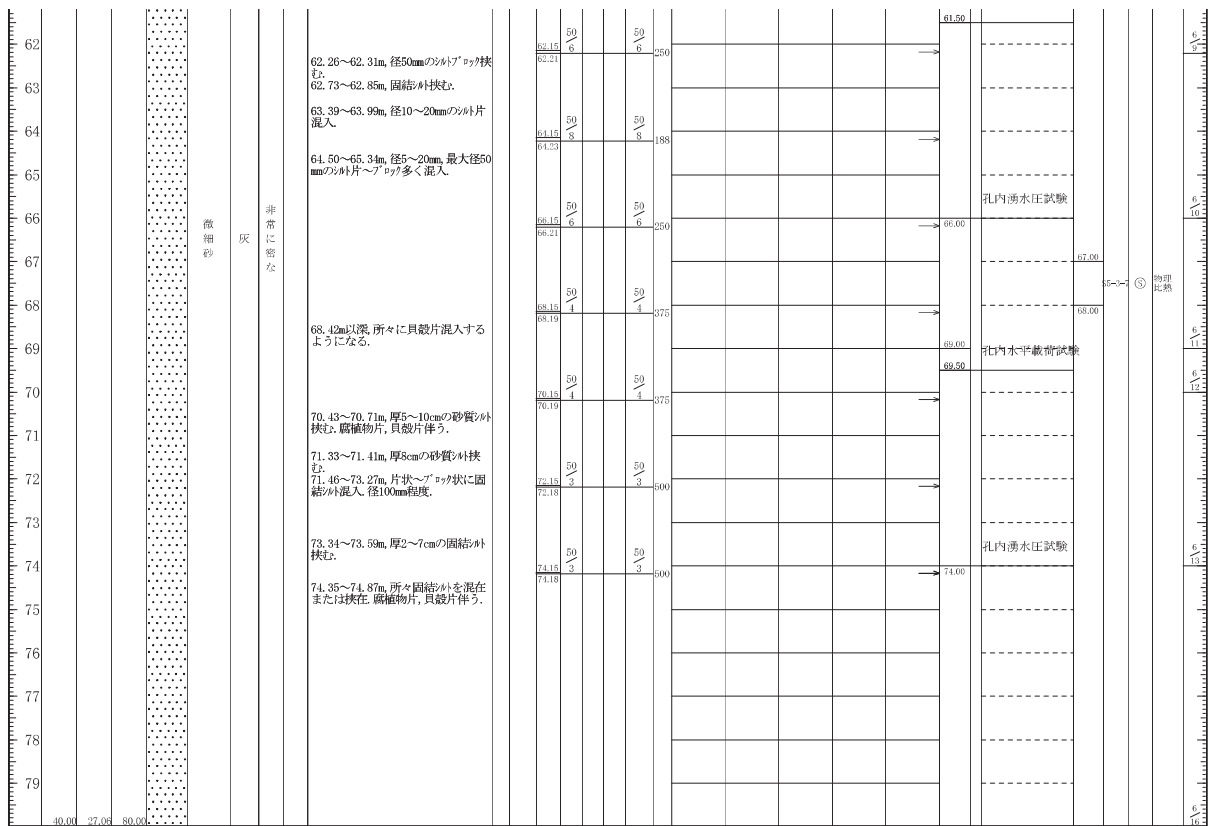
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	電話 ()	主任技師	現代場	ボーリング責任者
孔口標高	TP +120.0m	角	コ	ア
総掘進長	80.00m	度	定	者
使用機種	エンジン	試験機	ハンマー	落下用具
			ポンプ	

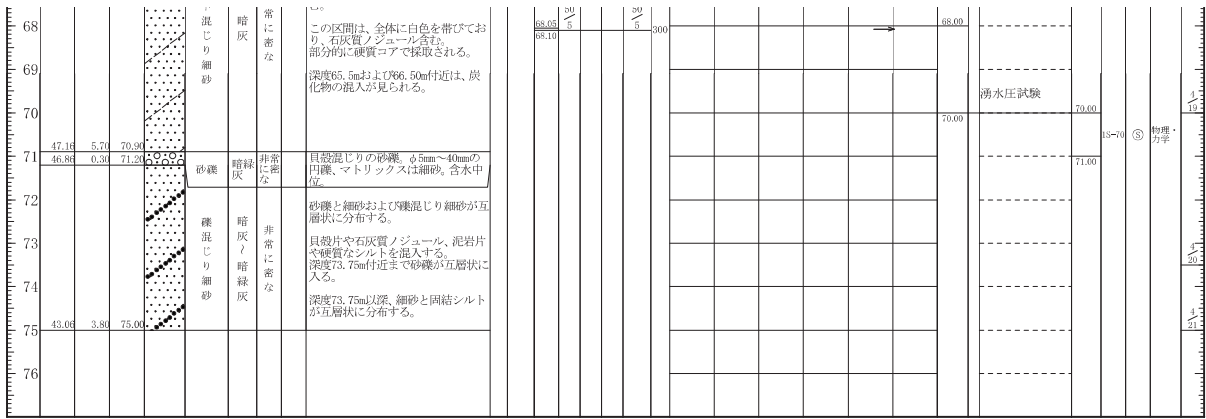
標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	標準貫入試験					原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日
												深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深	試験名				
1	118.95	1.05	1.05	シルト混り砂質シルト	黒	中位	軟弱	シルト分を含有微砂の悪い砂からなる。粗砂主体。径5~20mm程度の亜円礫を5%程度混じる。含水多、不均質。	5.13	1.47	2	5	32							
2	117.95	1.00	2.05	シルト	黒	中位	軟弱	シルト分を含有微砂の悪い砂からなる。粗砂主体。径5~20mm程度の亜円礫を5%程度混じる。含水多、不均質。	5.13	2.15	1	38	1	38						
3	116.45	1.50	3.55	粘土	黒	軟弱	軟弱	不均質な粘土。含水多、粘性強い。所々で塊状の質を有する。または薄層状に挟む。微細な腐植物片点在。下に相移。	5.13	3.15	9	14	1	33						
4	115.20	1.25	4.80	火山灰質粘土	黒	中位	軟弱	風化火山灰からなる。塊状。含水、粘性共に中位。良く締まり、指で強く押すと凹む程度の固結度。	5.13	3.48							4.60			
5	114.10	1.10	5.90	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	シルト分を含有微砂の悪い砂からなる。粗砂主体。径5~20mm程度の亜円礫を5%程度混じる。含水多、不均質。	5.13	5.45	1	5	2	5				1.80		
6	110.12	3.98	9.88	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	6.45	2	9	13	24						
7	108.91	1.21	11.05	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	7.15	16	21	13	50						
8	108.55	0.34	11.45	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	7.39	34	16	4	50						
9	107.80	0.75	12.20	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	8.29	32	15	5	50						
10	106.91	1.21	11.05	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	9.30	6	5	4	15						
11	105.91	1.21	11.05	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	10.45	6	7	9	22						
12	104.91	1.21	11.05	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	11.75	42	8	5	50						
13	103.91	1.21	11.05	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	12.47	50	4	5	50						
14	102.46	5.34	17.54	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	13.02	26	24	50	50						
15				シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	14.55	15	35	9	50						
16				シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	15.15	31	19	8	50						
17				シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	16.15	32	15	6	50						
18				シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	16.33	32	15	6	50						
19				シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	17.31	18.15	7	10	13	30					
20	99.66	2.89	20.40	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	18.15	7	10	13	30						
21	98.70	0.90	21.30	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	20.15	9	11	15	35						
22	97.60	1.10	22.40	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	22.44	14	19	17	50						
23	96.95	0.65	23.05	シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	23.15	9	12	17	38						
24				シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	33.48	18	32	50	50						
25				シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	34.35	23	27	1	50						
				シルト混り砂	灰	硬い	硬い	径5~30mm程度。最大径70mmの亜円~亜角礫と海法の悪い砂(細~粗砂)からなる。細砂の混入も多く、繰入率50%以上。礫は安山岩、砂岩、花崗岩類など多量。所々で互層を有する。また、マトリックスに粘土分混入する。	5.13	45.15	24	35	17	88						

(JR-113)



(JR-113)

(JR-114)



(JR-114)

ボーリング柱状図

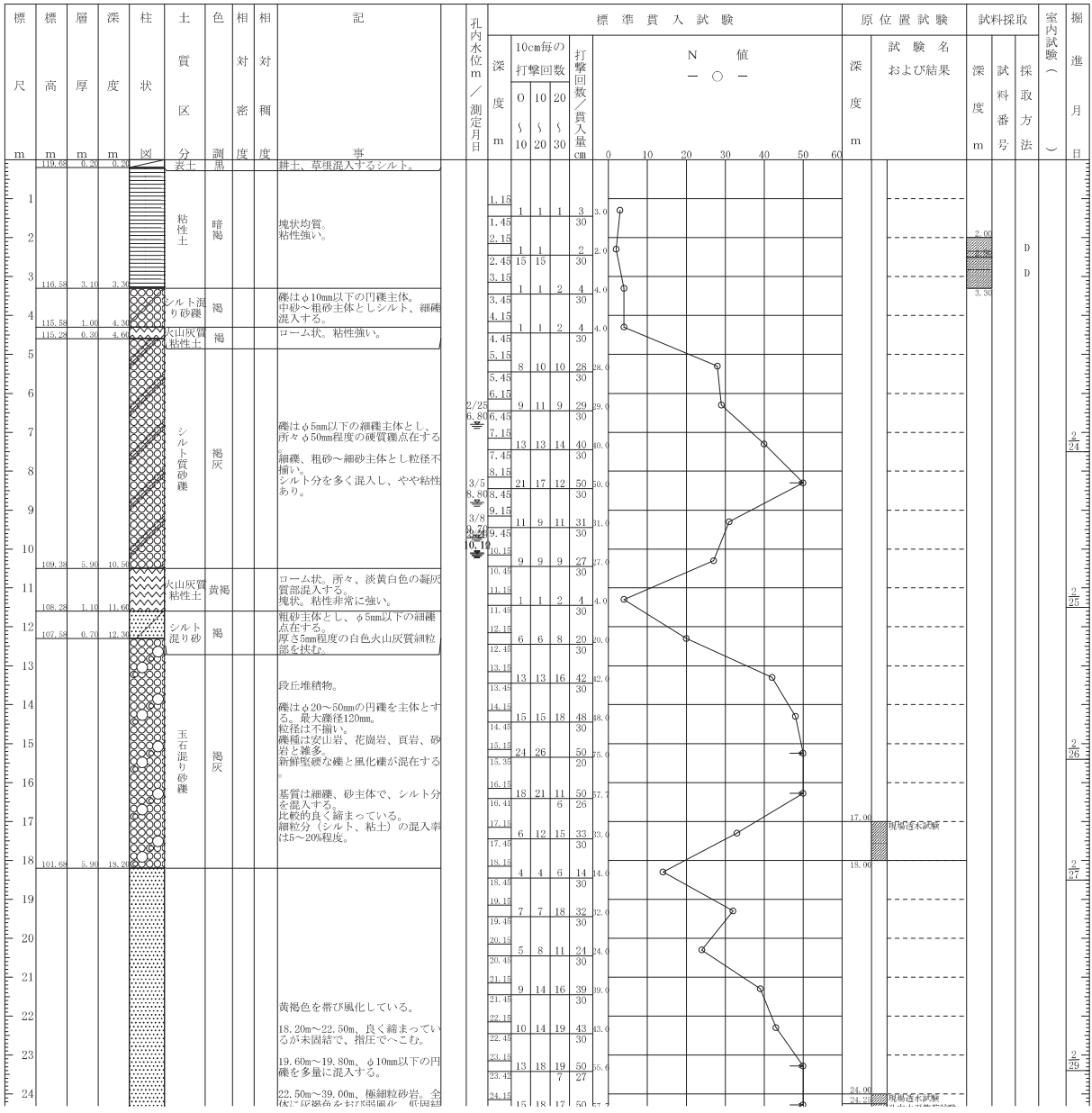
調査名 _____

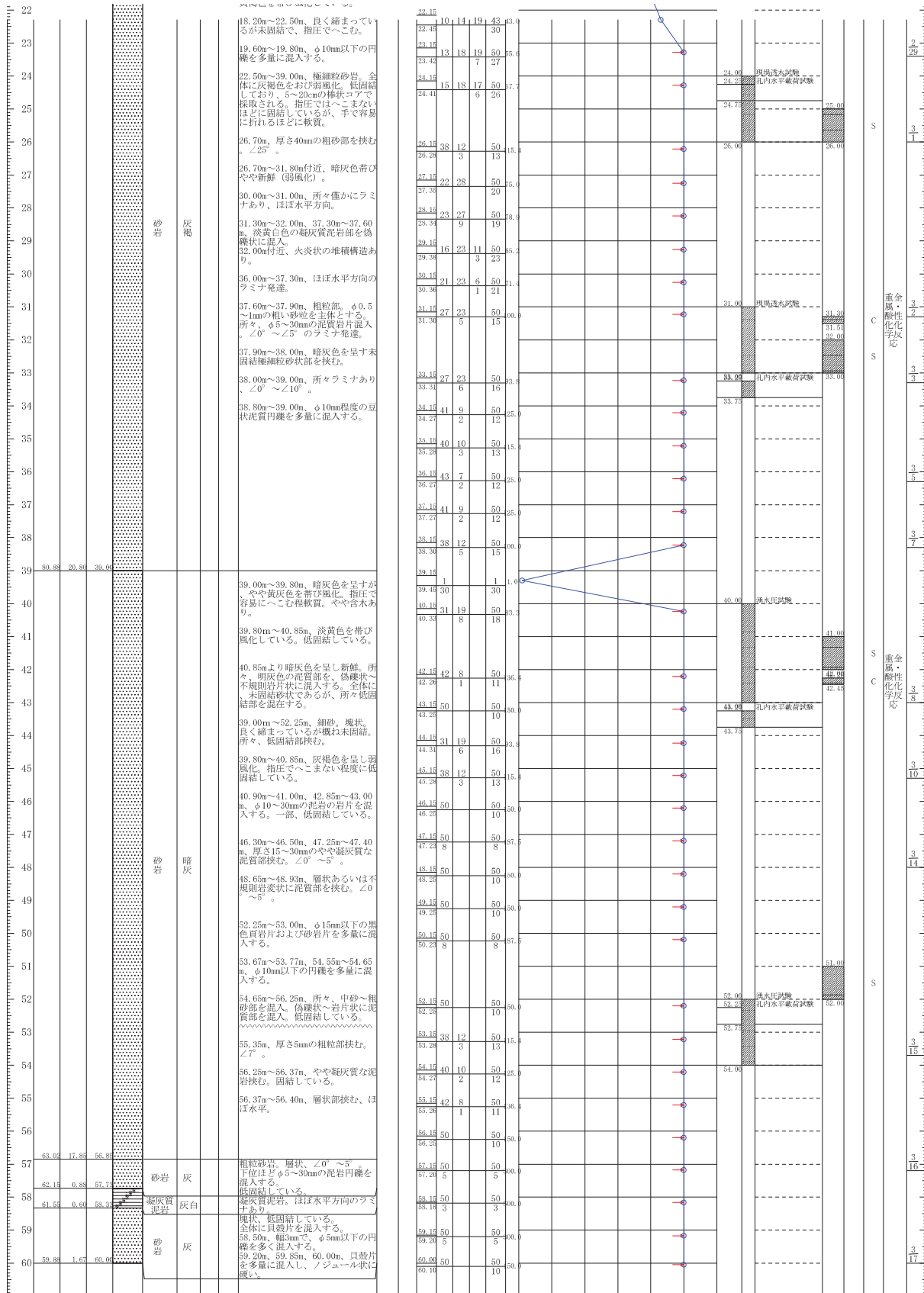
事業・工事名 _____

ボーリングNo. _____

シートNo.

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	電話 ()	主任技師	現場代理人	コア鑑定者
孔口標高	TP +119.875m	角	度	分
総掘進長	60.00m	度	分	秒
使用機種	エンジン	ハンマー	落下用具	ポンプ





ボーリング柱状図

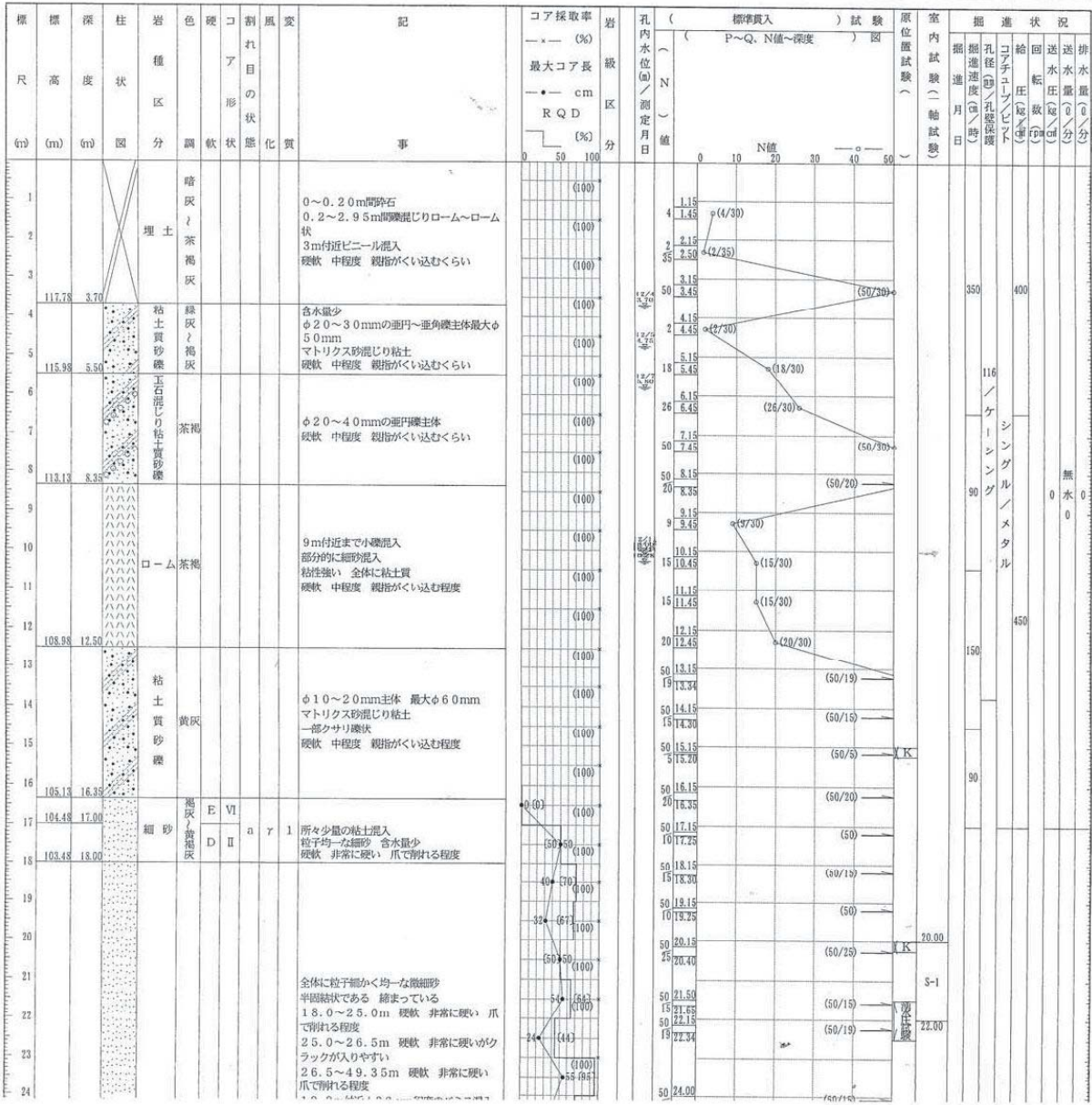
調査名

ボーリングNo. [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

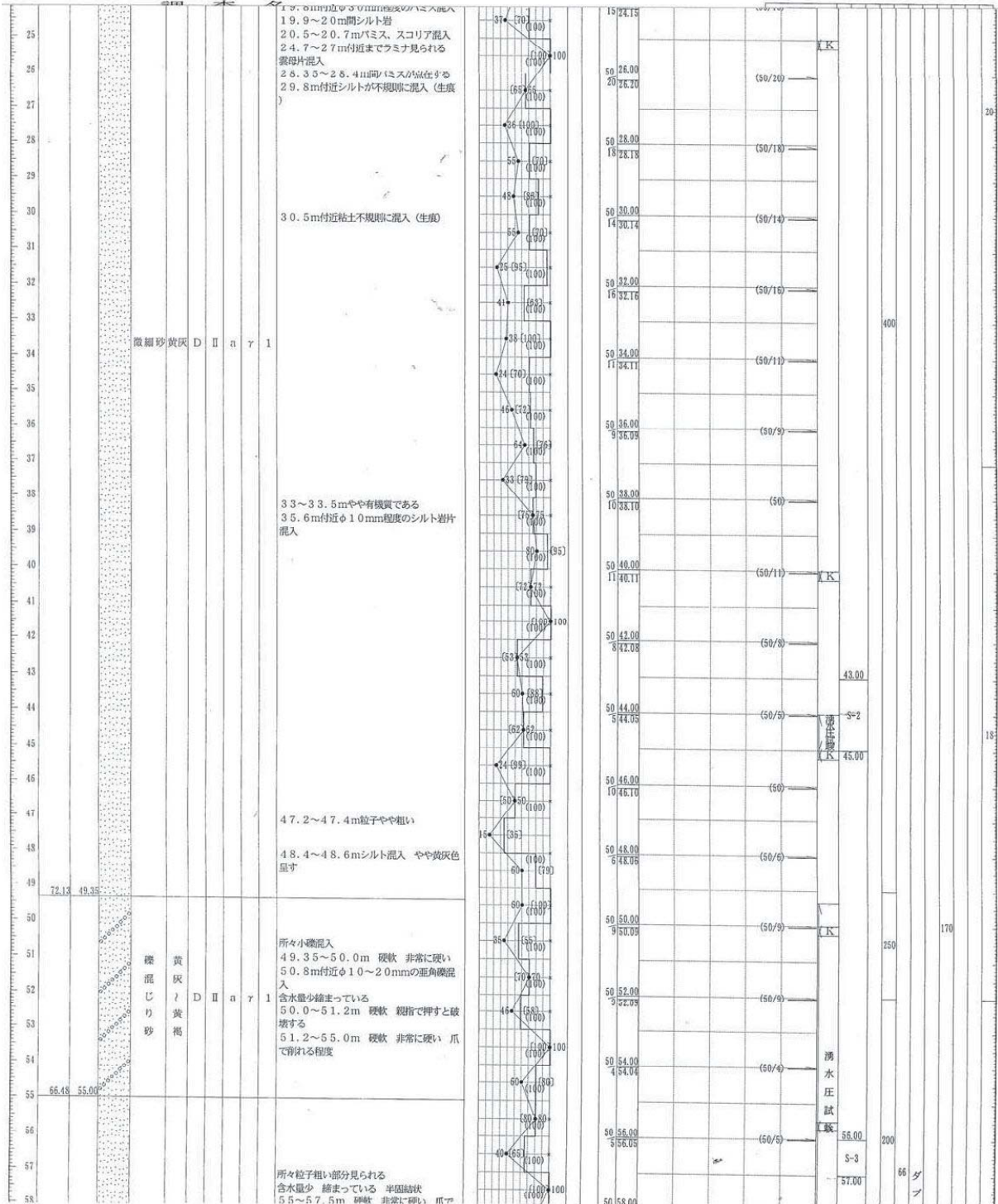
事業・工事名

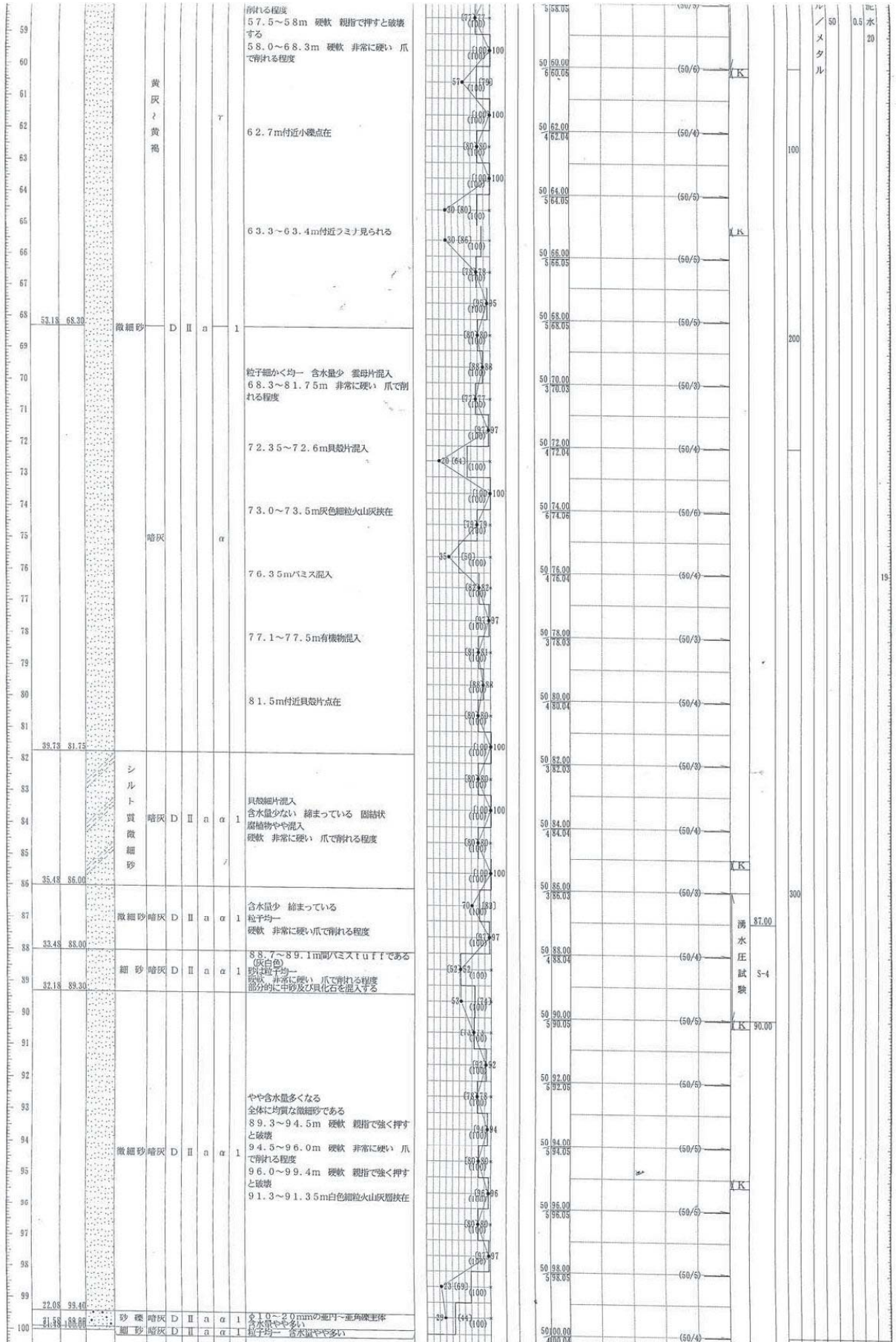
シートNo.

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	電話()	主任技師	現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	121.478m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 水平0° 鉛直 90°
総掘進長	100.00 m	度	使用機種	ポンプ



ボーリング柱状図





(JR-116)

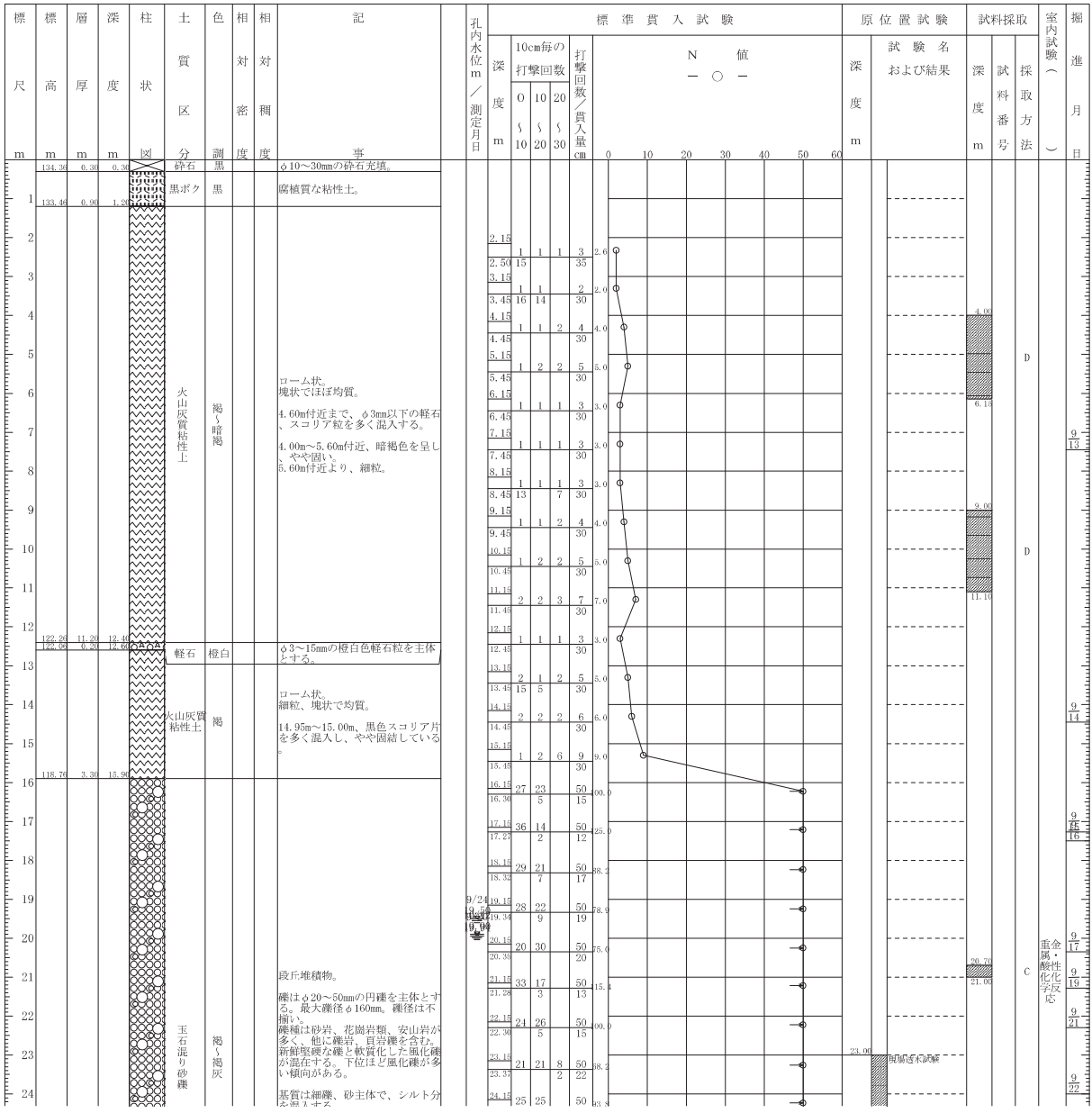
ボーリング柱状図

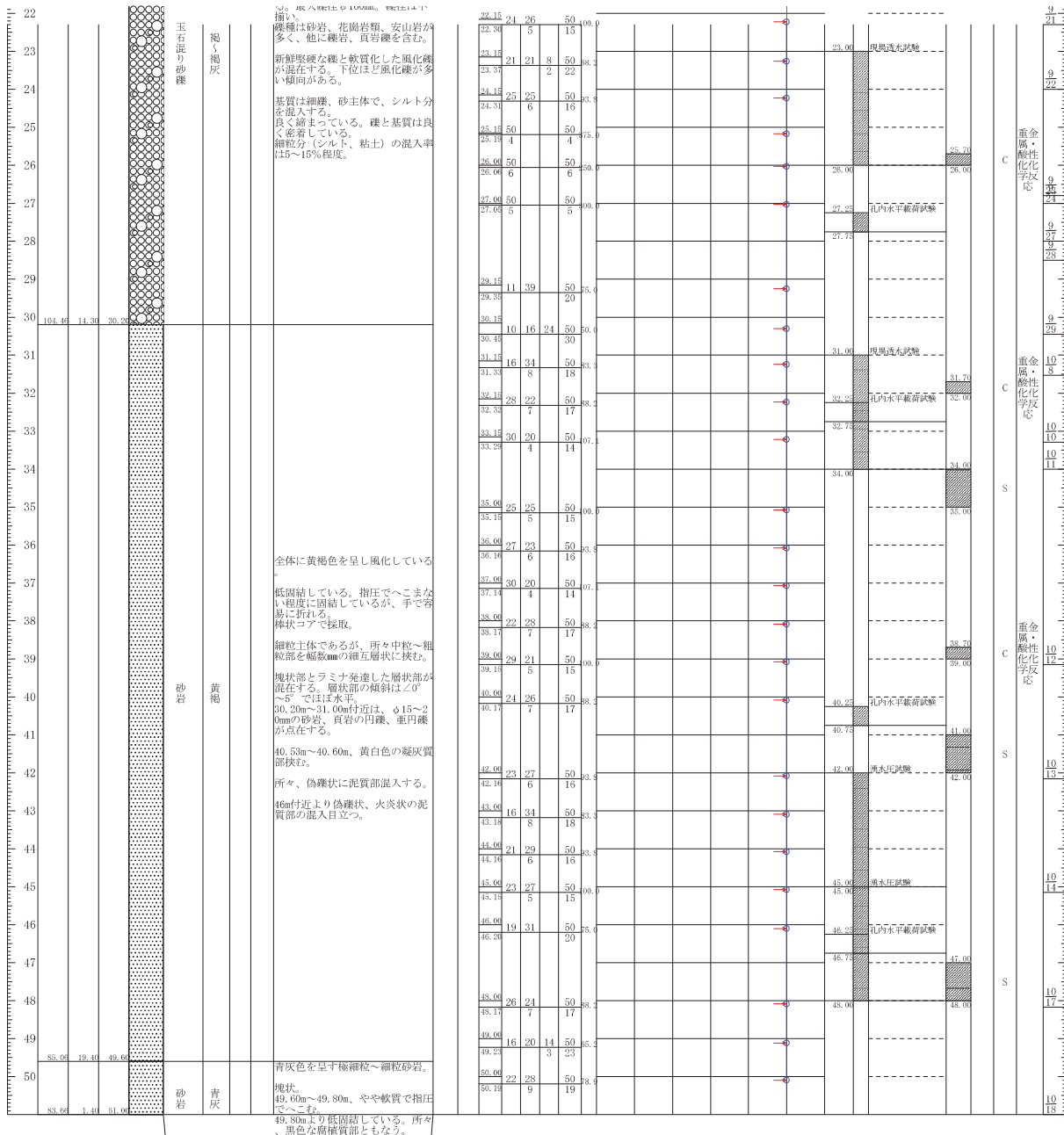
調査名 _____
事業・工事名 _____

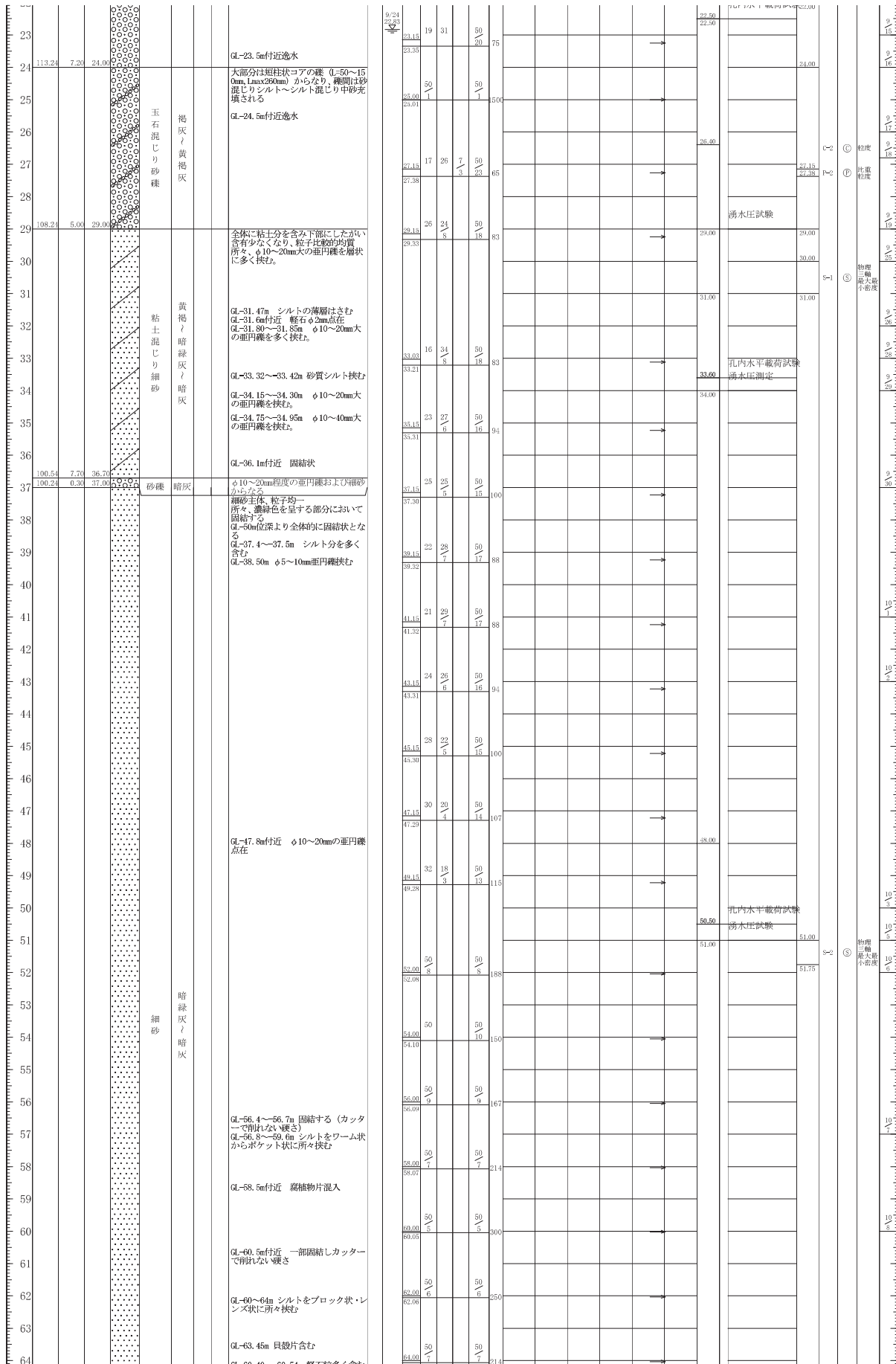
ボーリングNo. _____

シートNo. _____

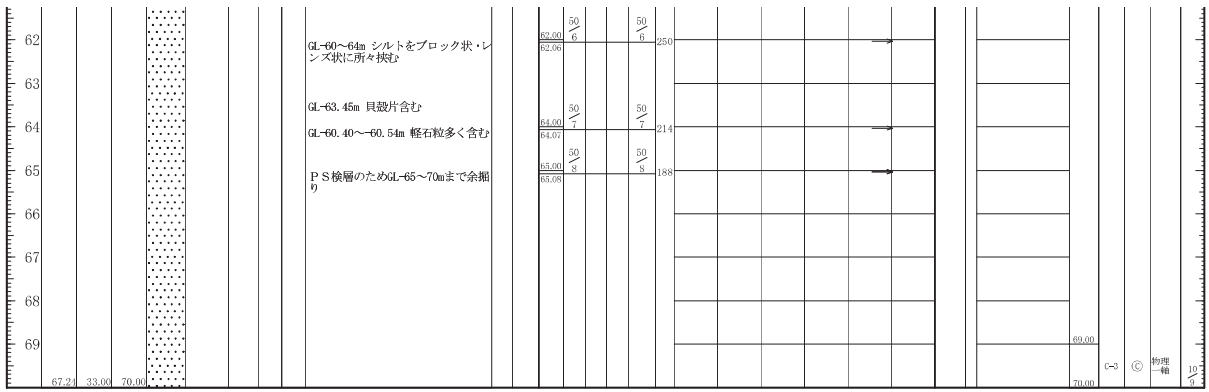
ボーリング名	調査位置			北緯		
発注機関	調査期間			東経		
調査業者名	電話 ()	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	TP +134.660m	角	方	地盤勾配	使用機種	ハンマー落下用具
総掘進長	51.00m	度	向	配	エンジン	ポンプ







(JR-118)



(JR-118)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo															
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

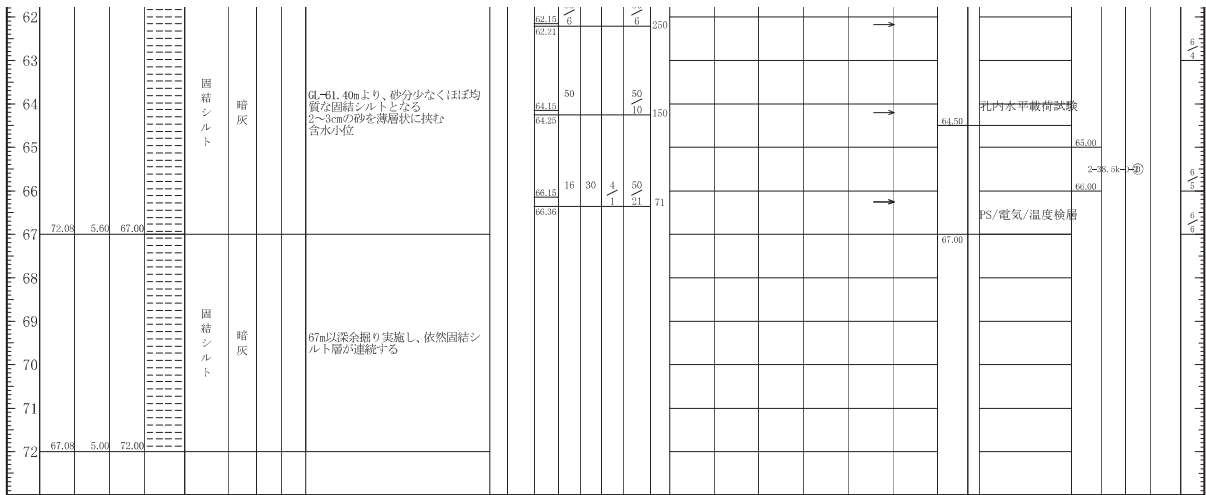
シートNo

ボーリング名											調査位置	北緯			
発注機関											調査期間	東経			
調査業者名	電話 ()	主任技師		現代場		コア		ア		ボーリング		責任者			
孔口標高	TP +140.26m	角	180° 上 0° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具		ポンプ			
総掘進長	65.00m														

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 試験名および結果	試験深度 (m)	採取番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値								
1			粗土	暗褐色			黒ボク質な粘性土を主とする。径2~40mm程度の礫をわずかに混入する。草根を混入する。0.30m付近にはコンクリート片、ガラス等を混入する。		2.15	2	2	6								
2	138.26	2.01					全体に粘性は弱く、比較的均質である。		2.47	11	2	6								
3							3.0m付近には粗砂状の軽石粒を混入する。		2.13	2	2	6								
4									3.46	12	2	6								
5									4.13	11	1	4								
6							8m付近までは赤褐色から黒色のスコリア粒(径5mm以下)を点在する。		4.48											
7							7m付近で黄褐色に漸移的に変化する。		6.13	11	2	5								
8									6.47	11	2	5								
9									7.47	11	2	5								
10							概らかいと中位の硬い		8.15	12	2	6								
11									8.45	12	2	6								
12							12.00m以降は特に硬質で固結状を呈する。		9.15	2	2	7								
13									9.48											
14							13.50~13.60m間は黄褐色の軽石粒が濃集しスコリア粒も集中する。		11.13	2	2	6								
15									11.45	12	11	7								
16							16.30mに径55mmの礫を混入する。		12.13	3	2	7								
17	122.88	15.44	17.44						12.45											
18							礫径2~60mm程度を主とし最大径は60mm。礫量はやや多い。基質は中~粗砂で細粒分の混入は少ない。		13.13	4	3	10								
19									13.45											
20									14.13	3	3	4								
21									14.45											
22	118.26	4.60	22.00						14.55											
23	116.66	1.80	23.60				礫径2~60mm程度を主としコア長120mmの玉石も混入する。礫量はやや多い。基質は中~粗砂よりなる。22.35~23.30m間は玉石が連続する。		16.13	2	2	6								
24	115.66	1.04	24.64				中~粗砂よりなり上部が粗粒な傾向がみられる。24.45mには径15mmの粘土化した泥岩礫を混入する。		16.45	3	3	9								
25									17.13	14	17	19								
26									18.13	16	17	17								
27									18.42	19	14	17								
									19.42	17	21	12								
									20.13	24	26	8								
									21.13	24	26	8								
									22.13	50	5	50								
									23.13	50	5	50								
									24.10	4	4	5								
									24.40	16	26	8								
									25.13	50	5	50								
									26.00	50	5	50								
									27.00	50	5	50								
									27.10	5	5	300								

深度 (m)	含水率 (%)	液性指数	塑性指数	土質	状態	説明	試験結果 (含水率)	試験結果 (液性指数)	試験結果 (塑性指数)	試験結果 (その他)
23	116.08	7.20	23.00	粘土	褐色	円、亜円礫を主体とし、全体に風化が進みクラック多く粘土化する 含水中～大位 マトリックスは細中砂を主体とし全体に粘土分を混る 平均粒径 10mm～70mm 最大径 100～150mmの礫を短柱状に挟む 全体的に礫は風化している GI=30.00m以深、礫は風化が進みややもろい マトリックスは粘性土を主体とする含水中位 70～100mmの礫を多く含む 最大径 100～130mmの礫を数個挟む 礫は亜円礫主体で、風化によるクラックが多く認められる所々で逸水する	23.15	25	25	50
24				粘土	褐色		24.15	24	4	50
25				粘土	褐色		24.23	28	22	50
26				粘土	褐色		25.15	18	11	50
27				粘土	褐色		26.15	18	11	50
28				粘土	褐色		27.15	18	11	50
29				粘土	褐色		28.15	18	27	50
30				粘土	褐色		29.15	25	25	50
31				粘土	褐色		30.15	27	23	50
32				粘土	褐色		31.08	27	27	50
33	107.68	8.40	31.40	砂	褐色	円、亜円礫を主体とし、全体に風化が進みクラック多く粘土化する 5mm～50mm程度の細中砂を主体とし全体に粘土分を混る 含水中位 GI=36.00m付近まで、色調暗灰色を呈す 以深、色調変化し暗灰色を呈す 粒子細かく均一 含水中位 全体にシルト分を含み、半固結状を呈す GI=38.00m付近、礫石点存在 GI=39.00m付近、貝殻片など点存在 部分的にシルト優勢となり固結状を成す	32.15	23	27	50
34				砂	褐色		33.15	15	14	47
35				砂	褐色		34.15	15	16	19
36				砂	褐色		35.44	17	16	17
37				砂	褐色		36.43	23	27	50
38				砂	褐色		37.15	28	22	50
39				砂	褐色		38.15	15	35	50
40				砂	褐色		39.33	33	17	50
41				砂	褐色		40.24	33	17	50
42				砂	褐色		42.15	50	9	50
43				砂	褐色	43.23	50	7	50	
44				砂	褐色	44.15	50	6	50	
45				砂	褐色	45.15	50	7	50	
46				砂	褐色	46.15	50	6	50	
47				砂	褐色	47.15	50	8	50	
48				砂	褐色	48.15	50	7	50	
49				砂	褐色	49.15	50	10	50	
50				砂	褐色	50.15	50	9	50	
51				砂	褐色	50.24	50	8	50	
52				砂	褐色	52.15	50	8	50	
53	87.08	4.50	52.00	砂	褐色	粒子細かく均一な砂を主体とする 含水小～中位 全体にシルト分混入し半固結状を呈す 固結シルトを2～3cm程度の薄層状及び互層状に挟む 貝殻片少量混入する 炭化物を混入する	53.00			
54				砂	褐色		54.00			
55				砂	褐色		55.15	50	8	50
56				砂	褐色		56.15	50	6	50
57				砂	褐色		58.15	50	10	50
58				砂	褐色		58.23	50	6	50
59				砂	褐色		60.15	50	6	50
60				砂	褐色		60.21	50	6	50
61				砂	褐色		62.15	50	6	50
62				砂	褐色		62.21	50	6	50
63				砂	褐色	64.15	50	10	50	
64				砂	褐色	64.23	50	10	50	

(JR-121)



(JR-121)

(JR-122)

ボーリング柱状図

調査名 _____
事業・工事名 _____

ボーリングNo. _____

シートNo. _____

ボーリング名	調査位置					北緯
発注機関	調査期間					東経
調査業者名	主任技術者		専門技術者		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	T.P. 140.68m	角 180° 上下 0°	90° 方向	北 270° 西 東 180° 南	地盤勾配 0° 鉛直 90°	使用機種 エンジン
総掘進長	45.19m			ハンマー 落下用具 ポンプ		

標高 (m)	層厚 (m)	柱状 (m)	土質 区分	色 調	相対 密度	相対 含水量	記 事	孔内 水位 (m)	標準貫入試験				原位置 試験 深 (m)	試験名 および結果	試料 採取 番号	室内 試験 方法	掘 進 月 日	
									深 度 (m)	10cm の 打撃 回数	打撃 回数 / 貫入 量 (cm)	N 値						
25.00							25.0m付近で砂礫分少なくなる。 25.0m付近で深、所々逸水あり。		25.00	9	19	30	33					
26.00									25.45	41	9	50						
27.00							27.0~28.0m間、逸水あり。 所々にφ150~200mmの玉石混入。		26.05	12	125							
28.00									26.17									
29.00									27.05	36	14	50						
30.00							30.0m付近で深、含水量中位。 所々にφ200mm前後の玉石混入。		27.18	13	115.4							
31.00									27.18	50	6	250						
32.00									28.05	6	250							
33.00							33.0m付近で深、玉石多く混入。 マトリックスの粘土分や多く混入。		28.11				28.50	現場湧水				
34.00									29.15	13	14	23						
35.00	105.33	17.35	35.35				玉石混り砂礫		29.41	6	26	57.7						
36.00	103.98	1.35	36.70				砂		30.00	50	5	300						
37.00							所々に固結シルトを挟む。 礫少量混入。 含水量少ない。		30.05									
38.00							粒径は概ね均一。 含水量少ない。 シルト分少量混入。 所々、固結状を呈す。		31.05	21	24	50						
39.00									31.19	4	14	107.1						
40.00									32.05	34	16	50						
41.00									32.18	3	13	115.4						
42.00									33.05	41	9	50						
43.00									33.16	1	11	136.4						
44.00									34.05									
45.00	95.49	8.49	45.19				砂		34.15									
46.00									35.05	38	12	50						
47.00									35.17									
48.00									36.15	17	29	50						
49.00									36.36	1	21	71.4						
50.00									37.15	17	21	12						
51.00									37.38	26	24	50						
									38.15	6	16	93.8						
									38.31									
									39.15	23	27	50						
									39.32	7	17	88.2						
									40.15	33	17	50						
									40.28									
									41.15	26	24	50						
									41.31									
									42.05	34	16	50						
									42.18	3	13	115.4						
									43.15	35	15	50						
									43.28	3	13	115.4						
									44.05	27	23	50						
									44.21	6	16	93.8						
									45.05	31	15	50						
									45.19	4	14	107.1						

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

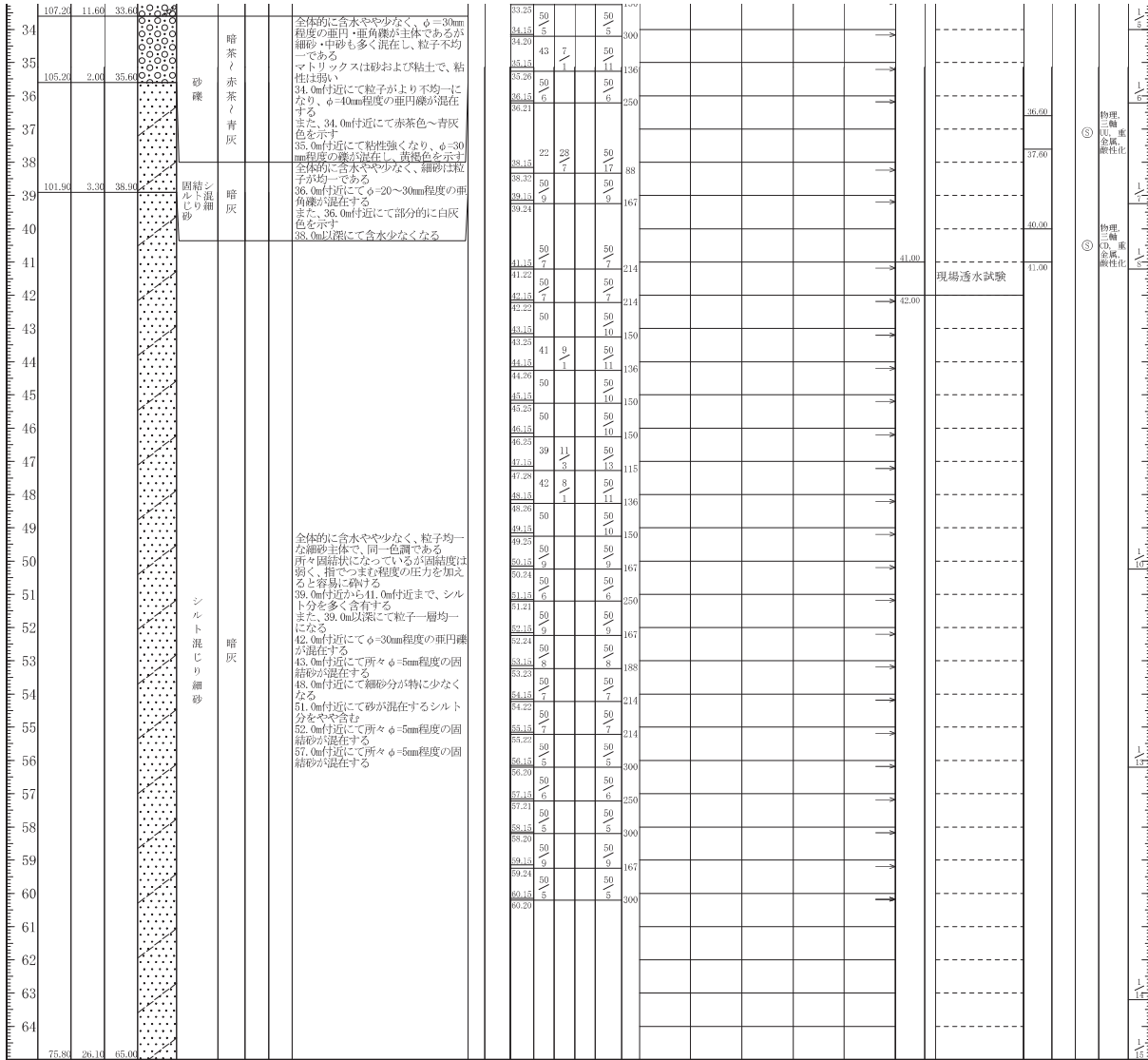
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯	
発注機関	調査期間				東経	
調査業者名	電話 ()	主任技師	現代場代理人	コア番号	ボーリング責任者	
孔口標高	T.P.= 140.8m	角 上 180° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 0° 水平 90°	ハンマー 落下用具	
総掘進長	65.00m	度		使用機種 エンジン	ポンプ	

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対密閉度	相対稠度	記号	標準貫入試験				N値	原位置試験 試験名 および結果	試料採取 深度 度 (m)	採取 方法	室内試験 項目	掘進 月日
										深	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	貫入量 (cm)						
1	139.88	1.00	1.00		盛土	暗褐色			2.0mまで試験 全体的に含水やや多く、黒ボク主体である。1.0m付近にてロームが混じる不均質で、全体均一暗褐色を示す	2.15	1	3	11	31					
2										2.46	1	2	5	30					
3										3.13	1	2	5	30					
4										3.45	1	2	5	30					
5										4.13	1	2	5	30					
6										4.45									
7					茶褐色 / 黄褐色 / 暗茶				6.13	1	1	3	11	32					
8									6.47	1	1	1	11	32					
9									7.15	1	1	1	11	32					
10									7.47	1	2	2	5	30					
11									8.15	1	2	2	5	30					
12									8.45	1	2	2	5	30					
13									9.15	1	2	2	5	30					
14									9.45	3	3	3	9	30					
15									10.15	3	5	7	15	30					
16	124.58	15.30	16.30		暗茶 / 暗茶 / 緑褐色				10.45	3	5	7	15	30					
17									11.15	2	2	2	6	30					
18									11.45	2	2	2	6	30					
19									12.15	2	2	2	6	30					
20									12.45										
21									13.15	2	2	2	6	30					
22	118.88	5.70	22.00		砂礫				13.45	2	2	2	6	30					
23									14.15	2	2	2	6	30					
24									14.45										
25									15.15	3	7	14	24	30					
26									15.45	5	7	14	24	30					
27									16.15	5	7	14	24	30					
28									16.45	5	7	14	24	30					
29									17.15	5	7	14	24	30					
30									17.45	5	7	14	24	30					
31									18.15	21	29	9	50	19					
32									18.45	41	9	9	50	11					
33									19.15	41	9	9	50	11					
34	107.20	11.60	33.60		暗				19.45	50	7	10	20	37					
									20.15	50	7	10	20	37					
									20.45	50	7	10	20	37					
									21.15	50	7	10	20	37					
									21.45	50	7	10	20	37					
									22.15	50	7	10	20	37					
									22.45	50	7	10	20	37					
									23.15	50	7	10	20	37					
									23.45	50	7	10	20	37					
									24.15	50	7	10	20	37					
									24.45	50	7	10	20	37					
									25.15	50	7	10	20	37					
									25.45	50	7	10	20	37					
									26.15	50	7	10	20	37					
									26.45	50	7	10	20	37					
									27.15	50	7	10	20	37					
									27.45	50	7	10	20	37					
									28.15	50	7	10	20	37					
									28.45	50	7	10	20	37					
									29.15	50	7	10	20	37					
									29.45	50	7	10	20	37					
									30.15	50	7	10	20	37					
									30.45	50	7	10	20	37					
									31.15	50	7	10	20	37					
									31.45	50	7	10	20	37					
									31.75	50	7	10	20	37					
									32.00	50	7	10	20	37					
									32.30	50	7	10	20	37					
									32.60	50	7	10	20	37					
									32.90	50	7	10	20	37					
									33.00	50	7	10	20	37					
									33.30	50	7	10	20	37					
									33.60	50	7	10	20	37					
									33.90	50	7	10	20	37					
									34.20	50	7	10	20	37					
									34.50	50	7	10	20	37					
									34.80	50	7	10	20	37					
									35.10	50	7	10	20	37					
									35.40	50	7	10	20	37					
									35.70	50	7	10	20	37					
									36.00	50	7	10	20	37					
									36.30	50	7	10	20	37					
									36.60	50	7	10	20	37					
									36.90	50	7	10	20	37					
									37.20	50	7	10	20	37					

(JR-123)



ボーリング柱状図

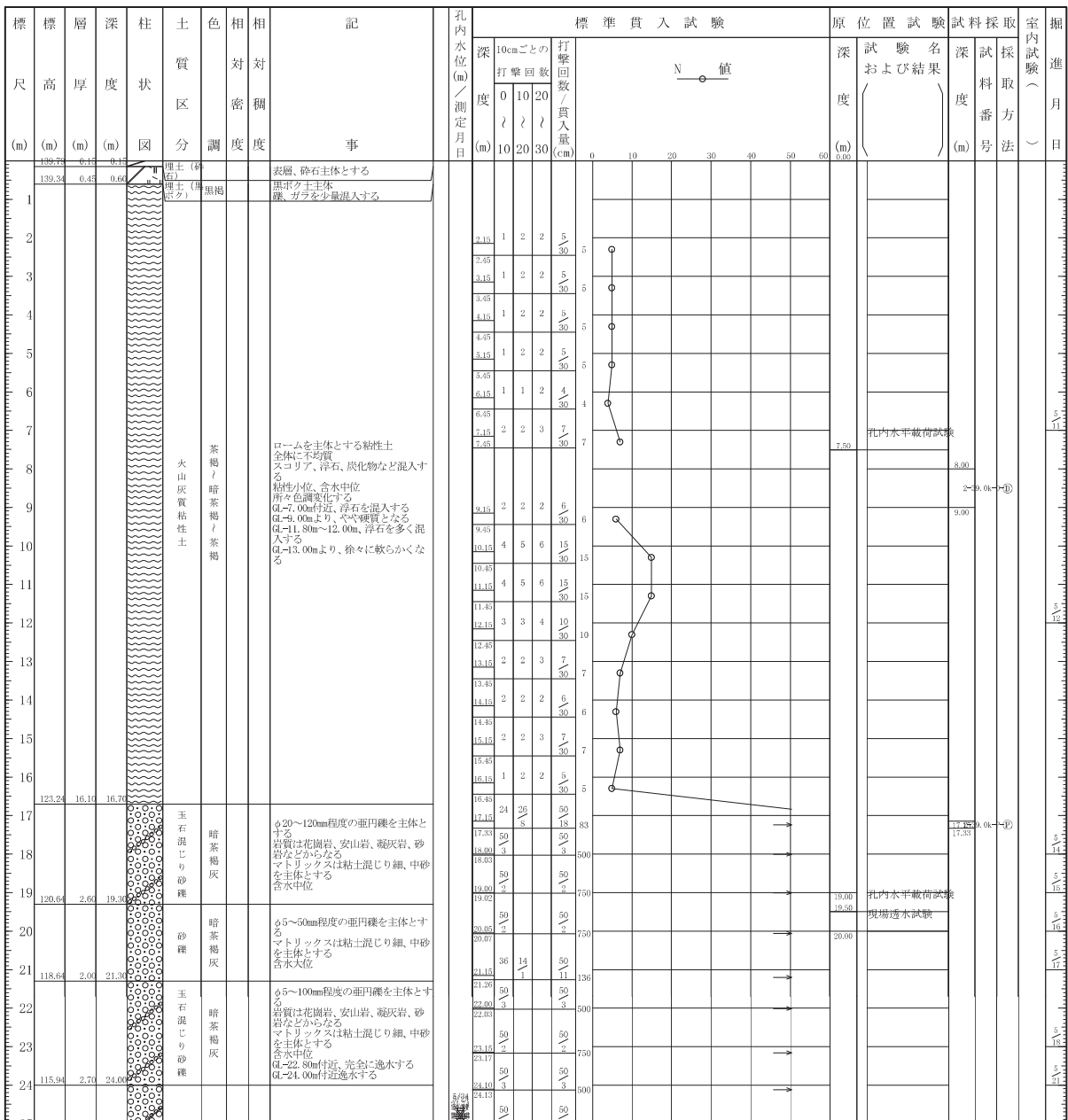
調査名

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

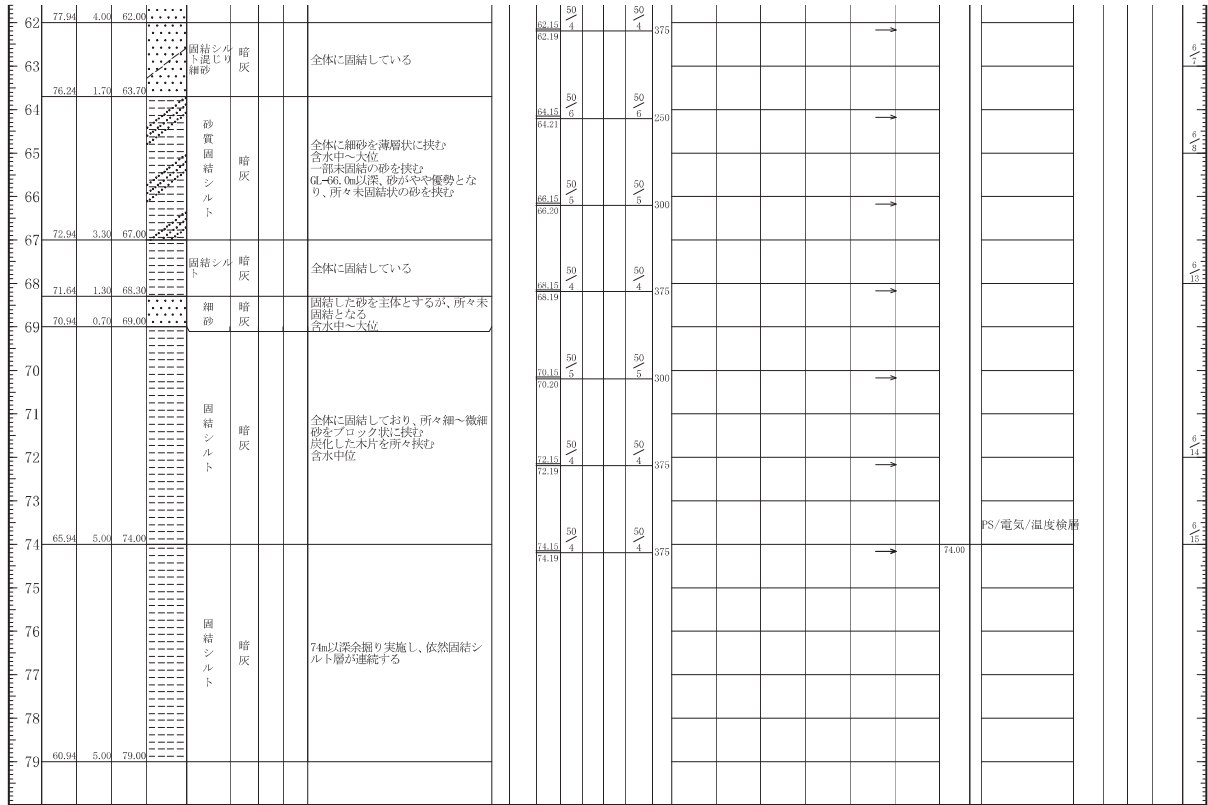
シートNo

ボーリング名	調査位置												北緯							
発注機関	調査期間												東経							
調査業者名	電話 ()						主任技師			現場代理人			コア鑑定者		ボーリング責任者					
孔口標高	T.P. +139.94m		角		180° 上 90° 下 0°		方		北 0° 東 90° 西 270° 南 180°		地盤勾配		水平 0° 鉛直 90°		使用機種		ハンマー落下用具		ポンプ	
総掘進長	79.00m		度		0°		向		北 0° 東 90° 西 270° 南 180°		地盤勾配		水平 0° 鉛直 90°		使用機種		ハンマー落下用具		ポンプ	



層番号	層高	層厚	層底	土質記号	土質名称	説明	試験結果	試験種別
23				り	砂	細砂を主体とする 含水中位		
24	115.94	2.70	24.00			GL-22.50m付近、完全に逸水する GL-23.1.00m付近逸水する		
25								
26								
27				玉	石	9.5~100mm程度の亜円礫を主体とする 全体に風化したクラックを多く挟み結 核している		孔内水平載荷試験
28				粘	土	マトリックスは細~中砂を主体と し、全粒に粘土分を多く含む 最大φ150mmの礫(花崗岩、安山岩、 凝灰岩)を挟む GL-25.00m以深、所々激しく逸水する GL-29.00m付近、完全に逸水する GL-30.00m以深、全体に風化し礫や やもろい φ50~100mm程度の亜円礫を主体と する GL-30.00m以深、部分的に逸水する 礫は風化によるクラックが多く認め られ全体に粘土化している GL-34.00m付近、クラック多く認め られる 所々逸水する	27.50	現場透水試験
29				粘	土		28.00	
30				粘	土		29.00	
31				粘	土		29.17	
32				粘	土			
33				粘	土			
34	105.94	10.00	34.00	砂	礫	粒径細かくなる		
35	105.64	0.30	34.30	粘	土			
36				粘	土	粒子細かく均一な砂を主体とする 含水小~中位 全体にシルト分を混入し半固結状を 呈す 固結シルトを2~3cm薄層状、ブロッ ク状に挟む		
37				粘	土			
38	102.04	3.60	37.90	粘	土			
39	100.84	1.20	39.10	粘	土	上部20cmのブロック状に固結シルト を挟む		
40				粘	土	粒子不均一な砂を主体とする 含水小~中位	39.00	孔内水平載荷試験
41	99.44	1.40	40.54	粘	土		39.50	現場透水試験
42				粘	土		40.00	
43				粘	土		41.00	
44				粘	土	粒子細かく均一な砂を主体とし、全 体にシルト分を混入し半固結状を呈 す 含水中位 固結シルトを2~3cm薄層状及びブロッ ク状に挟む		
45				粘	土			
46				粘	土			
47				粘	土			
48				粘	土			
49	90.94	8.50	49.00	粘	土		48.30	孔内水平載荷試験
50	89.54	1.40	50.40	粘	土	固結シルトを優勢とし、半固結状の 砂を薄層状及び互層状に挟む 含水小位	49.00	
51	88.54	1.00	51.40	粘	土	粒子細かく均一な砂を優勢とし、固 結シルトを薄層状及び互層状に挟む 含水中位 50.50m固結シルトを挟む	50.00	孔内水平載荷試験
52	87.84	0.70	52.10	粘	土	固結シルト主体で、所々砂をブロッ ク状に挟む	51.50	
53	86.94	0.90	53.00	粘	土	固結シルト主体で、所々砂をブロッ ク状に挟む	52.00	現場透水試験
54	85.94	1.00	54.00	粘	土	細かく均一な砂で半固結状を呈す	53.00	
55	85.54	0.40	54.40	粘	土	固結シルト主体で、所々砂をブロッ ク状に挟む	54.00	
56	83.34	0.90	56.60	粘	土	固結シルト主体で、所々砂をブロッ ク状に挟む	54.22	
57	82.54	0.80	57.40	粘	土	細かく均一な砂で半固結状を呈す	57.00	
58	82.14	0.40	57.80	粘	土	固結シルト主体で、所々砂をブロッ ク状に挟む	58.00	
59	81.94	0.20	58.00	粘	土	細かく均一な砂で半固結状を呈す	58.22	孔内水平載荷試験
60				粘	土	半固結状の細砂を主体とする 含水中位	59.50	
61				粘	土			
62	77.94	4.00	62.00	粘	土			
63	76.24	1.70	63.70	粘	土	全体に固結している		
64				粘	土			

(JR-124)



(JR-124)

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNo. _____

事業・工事名 _____

シートNo. _____

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技術者	専門技術者	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	142.10m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 90° 水平
総掘進長			使用機種 試験錐機	ハンマー 落下用具
			エンジン	ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対調度	記述	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取 深 (m)	採取方法	室内試験 月日	
									深 (m)	1020 (g)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 (m)	試験名および結果				
25.03									25.03	50	50							
26.10							26.0m付近粘土分多く混入。		26.10	50	4	375					10/15	
27.13							φ10~50mmの亜円~亜角礫主体。 φ100~200mmの玉石混入。 所々に風化礫混入。 マトリックスは粘土質砂主体。 含水量少ない。		27.13	50	50	9	667					
28.15									28.15	23	27	9	50	1978.9	28.00			
29.13							31.0m付近以深、マトリックスは固結状を呈す。		29.13	50	6	250		29.00	現場透水		10/15	
30.15									30.15	50	5	300		30.00	F-1	◎	10/17	
31.13							32.0m付近以深、φ150mm以上の玉石多く混入。		31.13	50	7	214.7						
32.00									32.00	50	3	500						
33.00							36.0m付近以深、含水量やや多い。 所々に細礫若干混入。		33.00	50	6	250						
34.15									34.15	34	16	4	50	14107.1				
35.15							39.0m付近に固結シルトの薄層を挟む。		35.15	24	26	6	50	1693.8				
36.33									36.33	21	29	8	50	1833.3				
38.13							41.05m付近に腐植物少量混入。		38.13	50	6	250		38.00	現場透水	S-3	◎	10/30
39.15									39.15	50	7	214.7		39.00				
40.10							42.0m付近以深、所々固結状を呈す。		40.10	50	6	250						
41.06									41.06	50	9	166.7						
42.00							46.75m付近以深、細粒分多く混入。		42.00	50	50	150						
43.12									43.12	40	10	2	50	12125				
44.00							48.00~49.90m間細粒分多く混入。		44.00	50	8	187.5						
45.06									45.06	50	6	250						
46.00								46.00	50	50	150							
47.00								47.00	42	8	1	50	1136.1					
48.00								48.00	50	7	214.7							
49.06								49.06	50	9	166.7							
50.00								50.00	50	8	187.5							
51.00								51.00	50	8	187.5							

(JR-125)

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNo. _____

事業・工事名 _____

シートNo. _____

ボーリング名					調査位置					北緯								
発注機関					調査期間					東経								
調査業者名					主 任 技 術 者					専 門 技 術 者								
孔 口 標 高	T.P.	142.06m	角	180°	90°	方 向	北 0°	90°	東	地 盤 勾 配	0°	水 平	使 用 機 種	試 錐 機				
総 掘 進 長	45.00m	度	上 下	0°	0°	方 向	西 270°	東 90°	南 180°	0°	鉛 直	90°	エ ン ジ ン	ハンマー 落下用具 ポンプ				

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 (m) / 測 定 月 日	標準貫入試験						原 位 置 試 験	試 料 採 取	室 内 試 験	掘 進 月 日					
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	N 値		貫 入 量 (cm)	深 度 (m)					試 験 名 および 結果	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法	
1	141.66	0.40	0.40	///	埋土	黒褐			黒平粘土、ロームの混合土。 比較的均質、含水量少ない。 上部に草根混入。		0	10	20	30											
2	139.96	1.70	2.10	///	黒ボク	黒褐			中位比較的均質、含水量少ない。 4.20m付近まで褐～暗褐色を呈 軟弱。	10/28 8.40	2.15	1	2	5	5									10/16	
3				///					4.20m付近以深は主に褐色を呈 し、やや硬質となる。		2.45	1	1	1	3	3									
4				///					中位3.0m付近に粗砂状の浮石混入。		3.15	1	1	1	3	3									
5				///					6.0m付近、浮石、腐植物少量混 入。		3.45	2	2	3	7	7									
6				///					硬い		4.15	2	2	3	7	7									
7				///					中位		4.45	2	2	2	5	5									
8				///					硬い		5.15	2	2	2	5	5									
9				///					中位		5.45	1	1	2	4	4									
10				///					中位		6.15	1	1	2	4	4									
11				///					中位		6.45	2	2	2	6	6									
12				///					硬い		7.15	2	2	2	6	6									
13				///					中位		7.45	2	2	3	7	7									
14				///					硬い		8.15	2	2	3	7	7									
15				///					中位		8.45	2	2	3	7	7									
16	126.06	13.90	16.00	///	ローム	褐			φ10~40mmの垂円礫主体、 全体に粘土分混入。 含水量中位。	10/28 10.6	9.15	2	2	3	7	7									
17	125.06	1.00	17.00	///	粘土質砂礫	褐灰			φ5~50mmの円～垂円礫主体、 所々にφ100~200mmの玉石混入。 全体に粘土分少量混入。 含水量中位~少ない。		9.45	2	2	3	8	8									
18				///					硬い		10.15	2	2	3	8	8									
19				///					中位		10.45	2	2	3	8	8									
20				///					硬い		11.15	2	2	3	9	9									
21				///					中位		11.45	3	3	5	11	11									
22				///					硬い		12.15	3	3	5	11	11									
23				///					中位		12.45	2	2	3	8	8									
24				///					硬い		13.15	2	2	3	8	8									
25				///					中位		13.45	3	3	4	10	10									
26				///					硬い		14.15	3	3	4	10	10									
27				///					中位		14.45	2	2	3	8	8									
28				///					硬い		15.15	2	2	3	8	8									
29				///					中位		15.45	14	8	4	26	26									
30				///					硬い		16.15	14	8	4	26	26									
31				///					中位		16.45	50	6	6	250	250									
32				///					硬い		17.00	34	16	3	50	50									
33				///					中位		17.06	13	11	5	115	115									
34				///					硬い		18.03	31	19	5	50	50									
35				///					中位		18.18	38	12	4	50	50									
36				///					硬い		19.03	14	26	10	50	50									
37				///					中位		19.20	24	26	4	50	50									
38				///					硬い		20.03	22	28	4	107	107									
39				///					中位		20.19	22	28	4	107	107									
40				///					硬い		21.03	50	4	4	375	375									
41				///					中位		21.27	19	31	9	78.9	78.9									
42				///					硬い		22.03	25	24	4	107	107									
43				///					中位		22.19	22	28	4	107	107									
44				///					硬い		23.03	50	4	4	375	375									
45				///					中位		23.19	19	31	9	78.9	78.9									
46				///					硬い		24.03	25	24	4	107	107									
47				///					中位		24.09	41	9	4	148.4	148.4									
48				///					硬い		25.03	50	4	4	375	375									
49				///					中位		25.24	25	24	4	107	107									
50				///					硬い		26.03	41	9	4	148.4	148.4									

(JR-126)

ボーリング柱状図

調査名 _____
 事業・工事名 _____

ボーリングNo. _____

シートNo. _____

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	主任技術者	専門技術者	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	T.P. 142.06m	角	180°上 90°下	方向
総掘進長	45.00m	度	0°	0°
北緯	270°西	東	90°東	180°南
地盤勾配	0°鉛直	水平	0°	
使用機種	試錐機	エンジン	ハンマー	落下用具
			ポンプ	

標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対含水量	記号	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室内試験	掘進
								深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 (m)	試験名および結果	深 (m)	採取番号		
25.24								11.17	9	19	78.9						10/29
26.05								26.05	41	9	11	136.4					
26.90								26.90	11	16	5						
27.05								27.05	5	5	300						
27.10								27.10	5	5	300						
28.00								28.00	4	4	375						
28.04								28.04	5	5	300						
29.00								29.00	3	3	500	29.00	現場透水				10/30
29.03								29.03	7	7	188.2						
30.05								30.05	14	36	7	17	88.2				
30.22								30.22	34	16	2	12	125				
31.05								31.05	24	26	7	17	88.2				
31.17								31.17	41	9	11	136.4					
32.05								32.05	24	26	7	17	88.2				
32.22								32.22	41	9	11	136.4					
33.05								33.05	41	9	11	136.4					
33.16								33.16	50	9	166.7						
34.05								34.05	15	35	8	18	83.3				
34.14								34.14	14	36	20	75					
35.05								35.05	32	18	3	13	113.4				
35.23								35.23	39	11	11	136.4					
36.15								36.15	30	20	2	12	125				
36.35								36.35	32	18	2	12	125				
37.05								37.05	39	11	11	136.4					
37.13								37.13	32	18	3	13	113.4				
38.05								38.05	39	11	11	136.4					
38.18								38.18	30	20	2	12	125				
39.05								39.05	32	18	2	12	125				
39.16								39.16	50	8	187.5						
40.05								40.05	39	11	11	136.4					
40.17								40.17	32	18	2	12	125				
41.05								41.05	50	8	187.5	41.00	現場透水				
41.17								41.17	39	11	11	136.4					
42.05								42.05	32	18	2	12	125				
42.13								42.13	39	11	11	136.4					
43.05								43.05	31	19	2	12	125				
43.16								43.16	34	16	1	11	136.4				
44.05								44.05	34	16	1	11	136.4				
44.17								44.17	34	16	1	11	136.4				
45.05								45.05	34	16	1	11	136.4				
45.16								45.16									

ボーリング柱状図

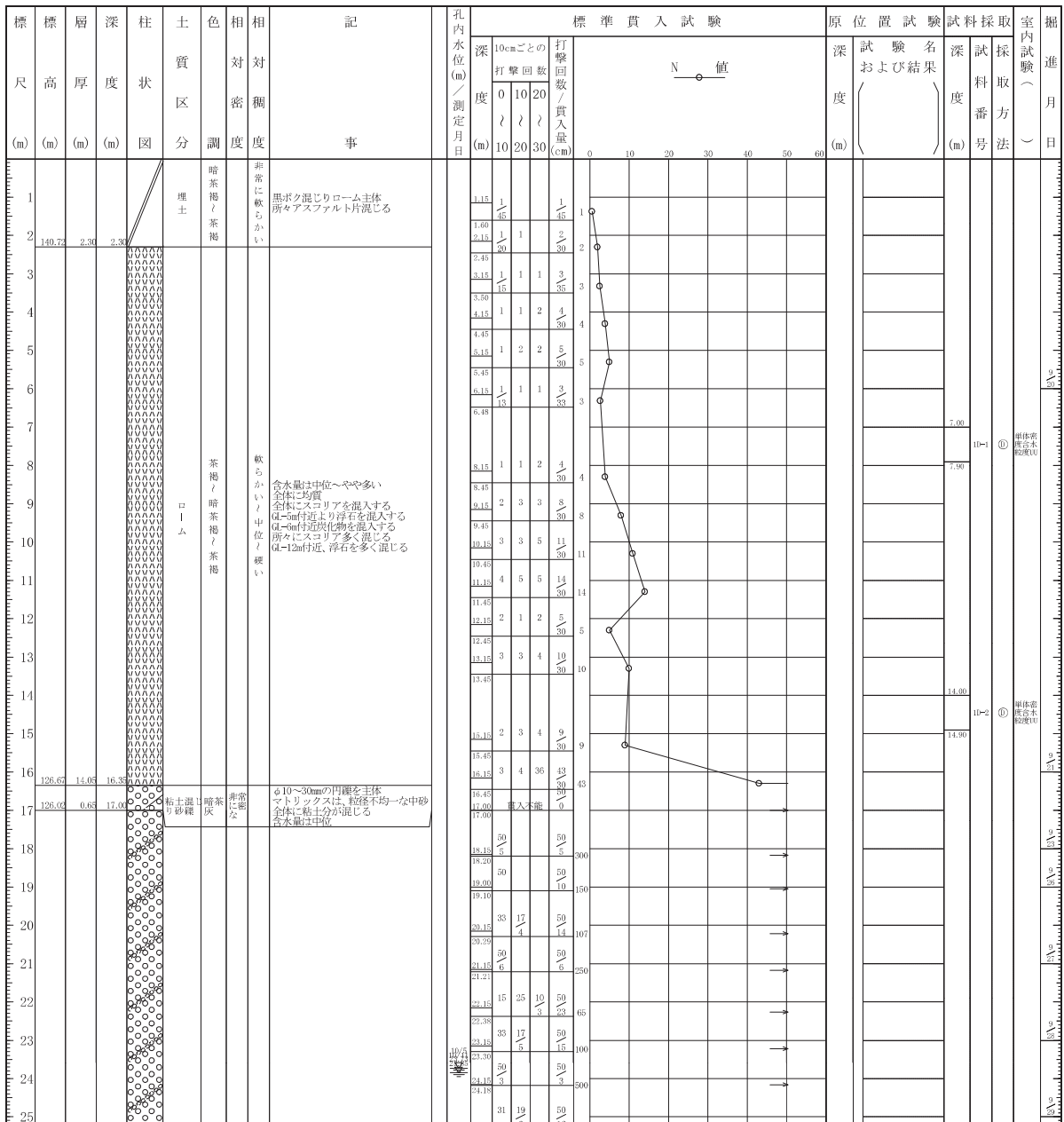
調査名

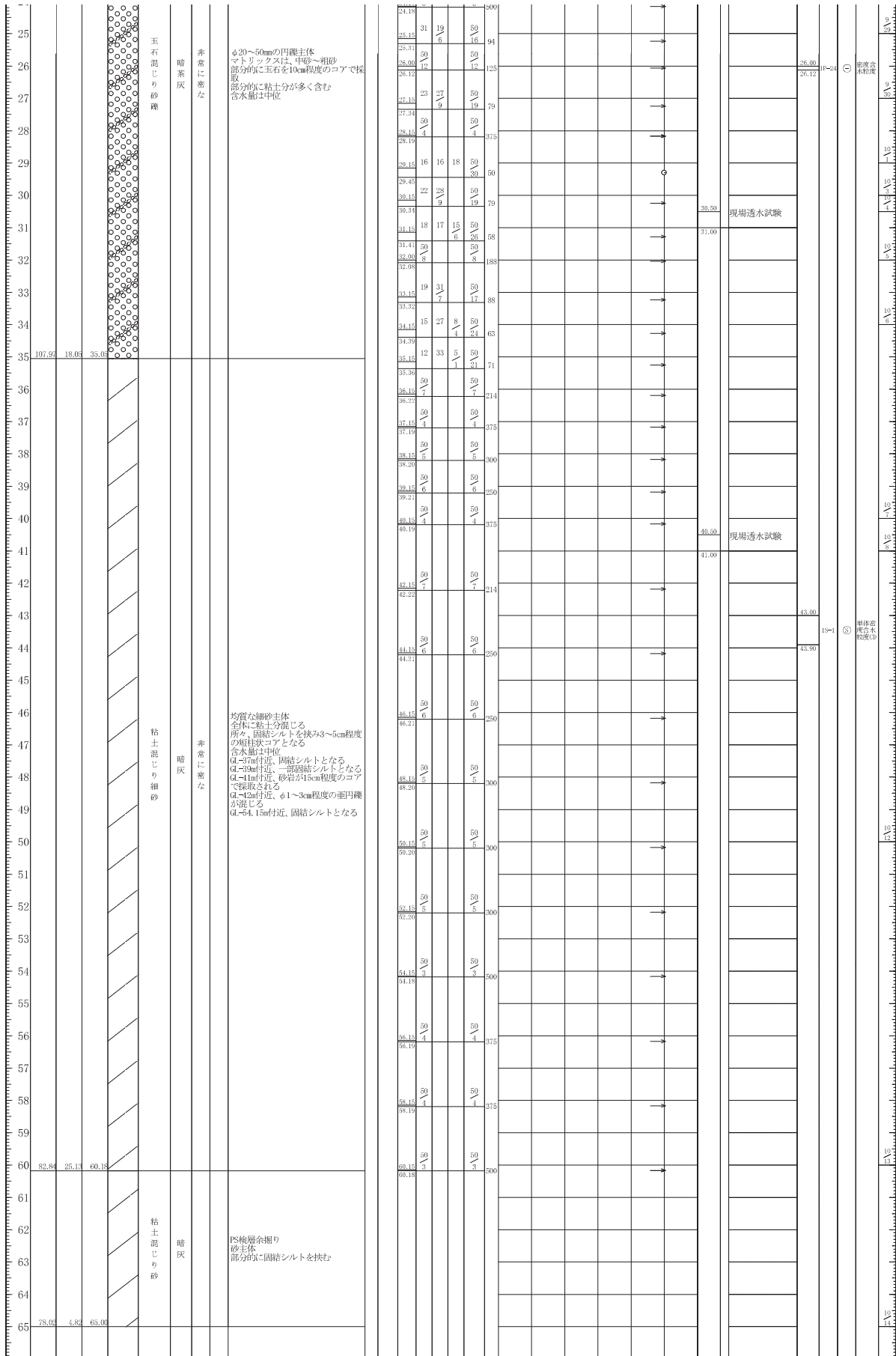
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	電話 ()	主任技師	現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	T. P. +143.02m	角	180° 上 90° 下 0°	方
総掘進長	65.00m	度	0°	向
		北	0°	東
		西	180°	南
		地盤勾配	鉛直 90°	水平 0°
		使用機種	試験機	エンジン
			コ	ア
			鑑	定
			者	
			ハンマー	落下用具
			ポン	プ





ボーリング柱状図

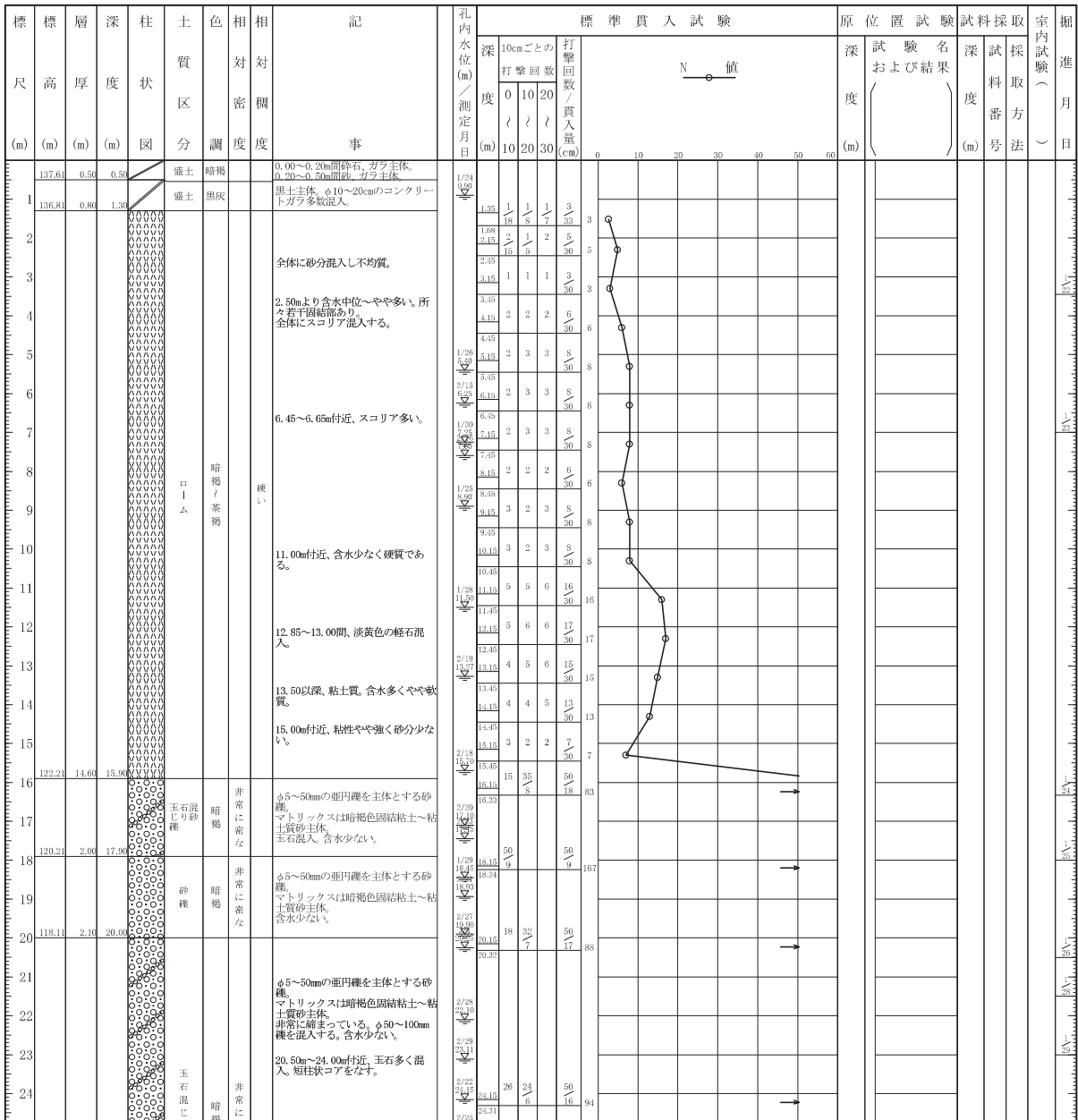
調査名

事業・工事名

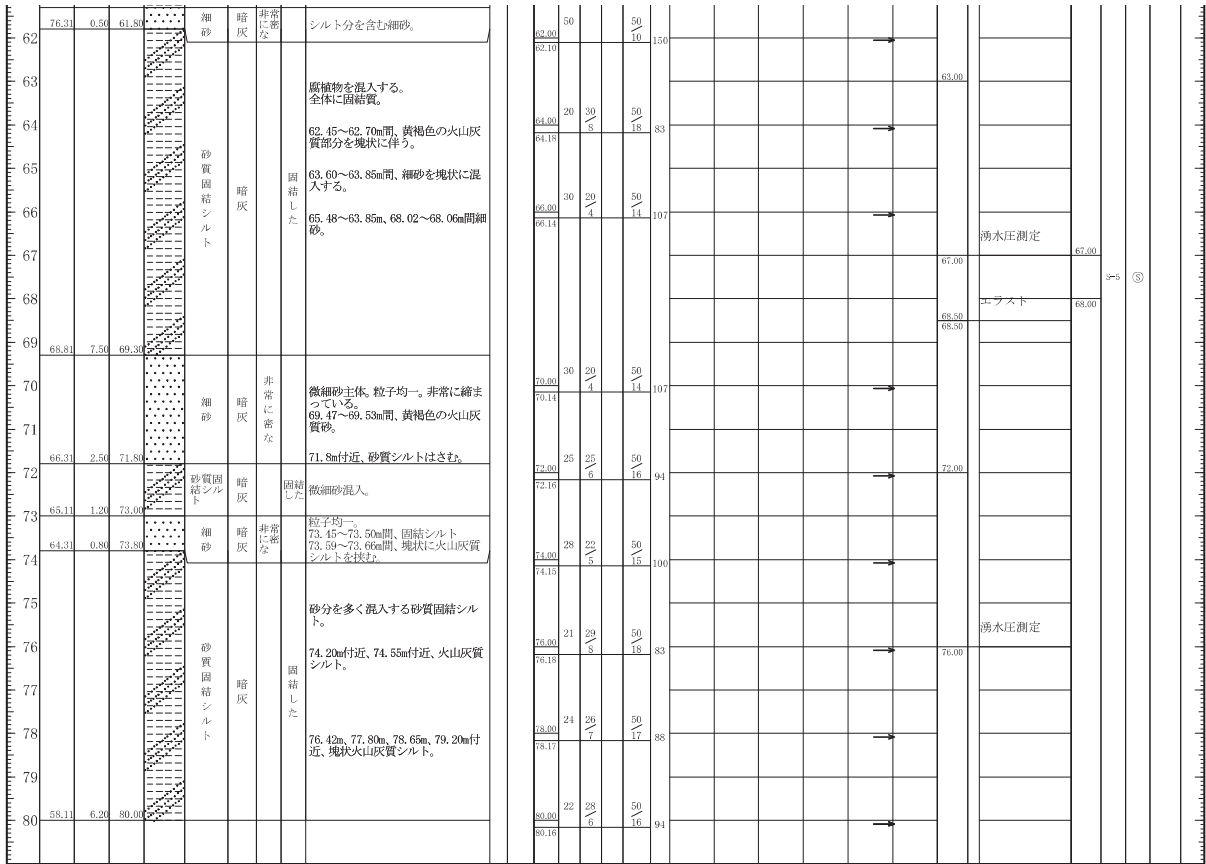
ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	電話 ()	主任技師	現代場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	TP 138.11m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 0° 水平 0°
総掘進長	80.00m	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具
		エンジン		ポンプ



(JR-128)



(JR-128)

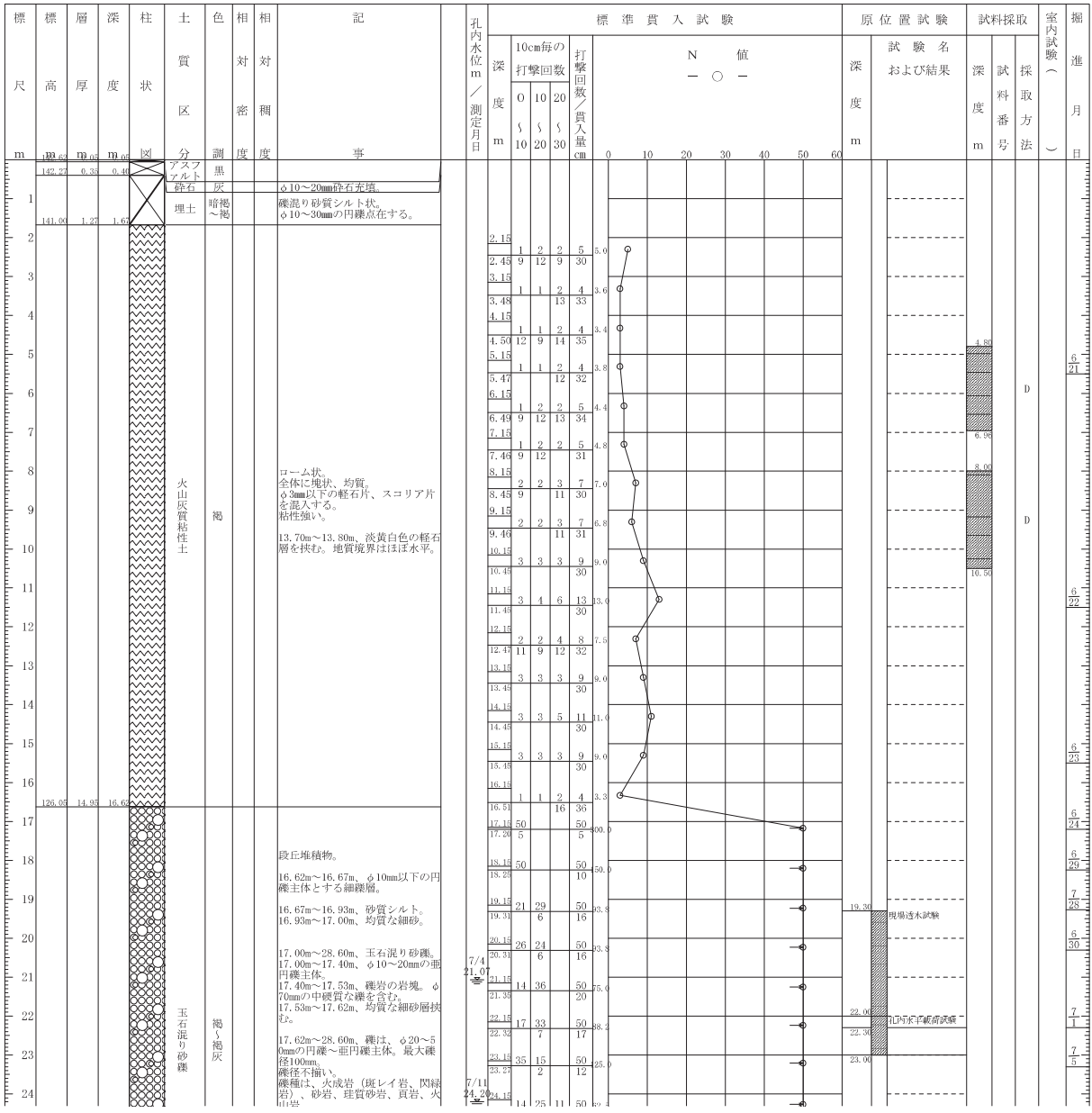
ボーリング柱状図

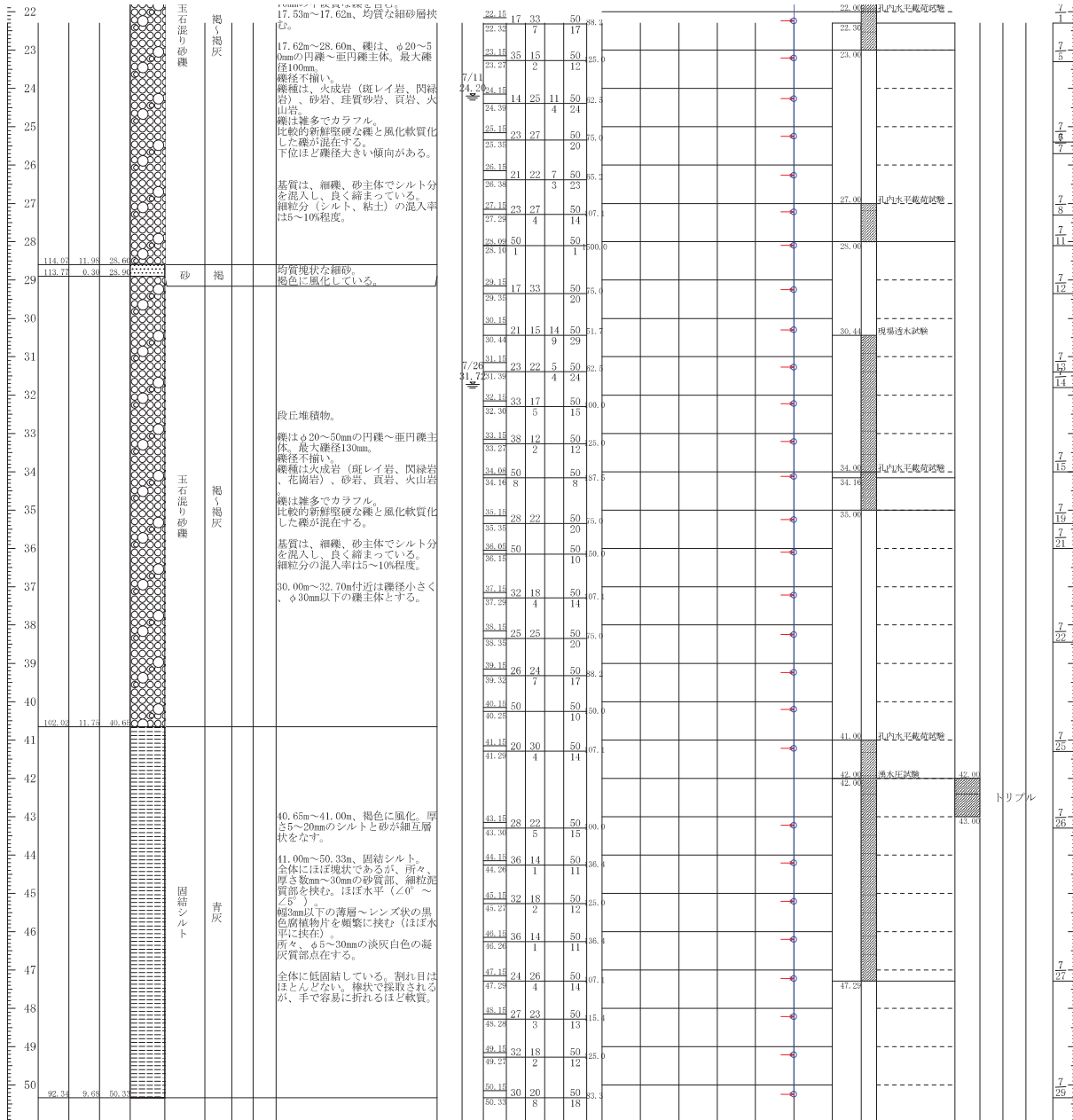
調査名 _____
事業・工事名 _____

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo. _____

ボーリング名	調査位置				北緯		
発注機関					東経		
調査業者名	電話 ()		主任技師		調査期間	現場代理人	
コア	鑑定者				ハンマー落下用具		
孔口標高	TP +142.669m	角	180°上	方	北 0°	東 90°	西 270°
総掘進長	50.33m	度	下 0°	向	北 0°	東 90°	西 270°
使用機種	試錐機		エンジン		ポンプ		





ボーリング柱状図

調査名 _____

事業・工事名 _____

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo _____

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	電話 ()	主任技師	現代場	ボーリング責任者
孔口標高	TP 145.053m	角 180° 上 90° 下 0°	方 270° 北 0° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	54.00m		使用機種 エンジン	ハンマー落下用具 ポンプ
			コアア	鑑定者

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対対調度	相対稠度	相対調度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 試験名および結果	試料採取 採取番号	室内試験 ()	掘進 月日
											深 度 (m)	10cm 打撃回数	10 20 30	貫入量 (cm)	N 値				
	144.20	0.85	0.85		埋上(凍上)砂 黒ボク				0.70mまで砂石 以て、黒ボク主体で砂を少量混入 含水のやや少なく、不均質										
	143.85	0.34	1.20																
2																			
3									細～中粒のやや粗粒の降下火山灰層 であり、5mm以下のスコリア粒を点 在する										
4																			
5									5.7m付近から黄褐色を主とする										
6																			
7									7.5m付近にφ2mm以下の白色軽石粒 が集中する										
8									8m付近以深ではφ2mm以下の軽石粒 とφ4mm以下のレンガ色のスコリア 粒が点在する。後者はにじんている										
9																			
10																			
11									11.5m付近では細粒となりやや粘土 化が進んでいる										
12																			
13									12.8m以深ではφ5mm以下の軽石粒が 多くなる										
14									13.0m付近には軽石の薄層をささむ										
15																			
16	139.15	14.70	15.90																
17									礫径φ5～50mm程度を主としコア長1 20m程度の玉石を点在する 礫量は非常に多く礫が直に接す る礫支持の部分が多い										
18									礫は粗中～粗角礫が主体である 基質は中～粗粒砂で細粒分の混入は 少ない										
19									19m付近で湧水がみられた 礫種は硬砂岩、頁岩、凝灰岩、礫岩等 よりなる										
20																			
21																			
22									21.75m付近にコア長200mmの玉石あ り										
23																			
24									23.85～24.70m間は礫径φ2～15mm程 度を主とし基質は細粒分を含む細砂 よりなる										
25	119.70	9.45	25.35																

ボーリング柱状図

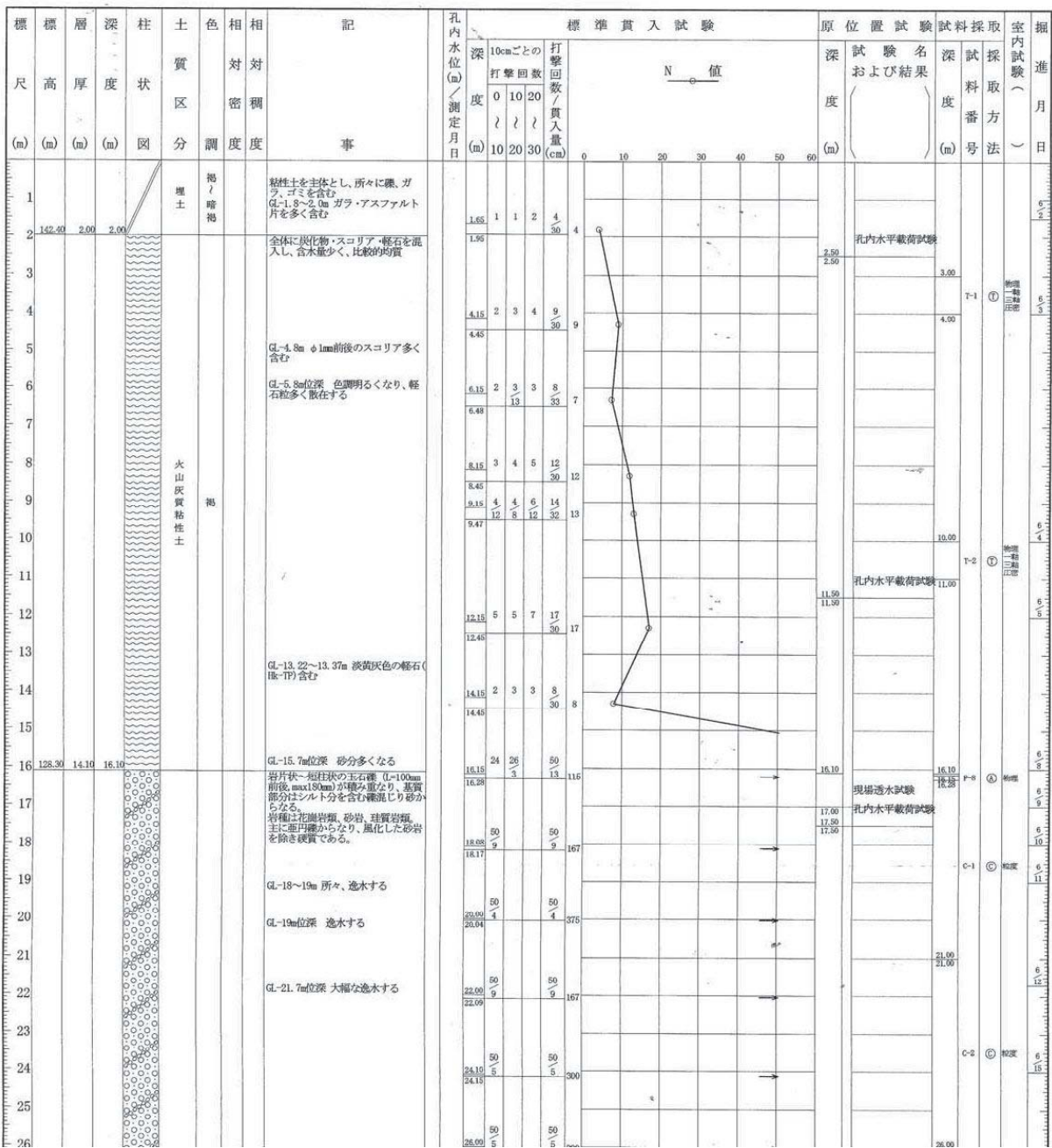
調査名

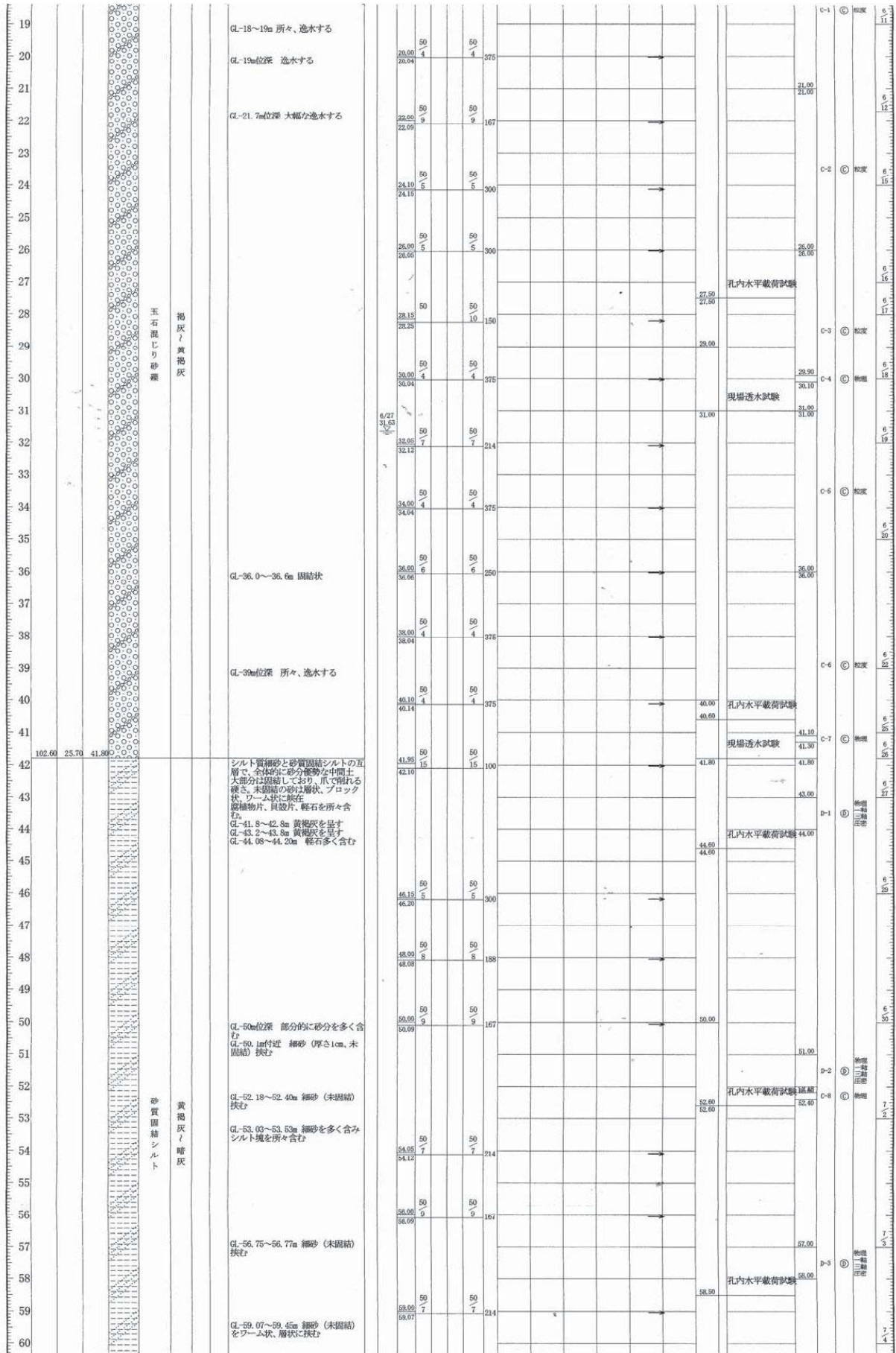
事業・工事名

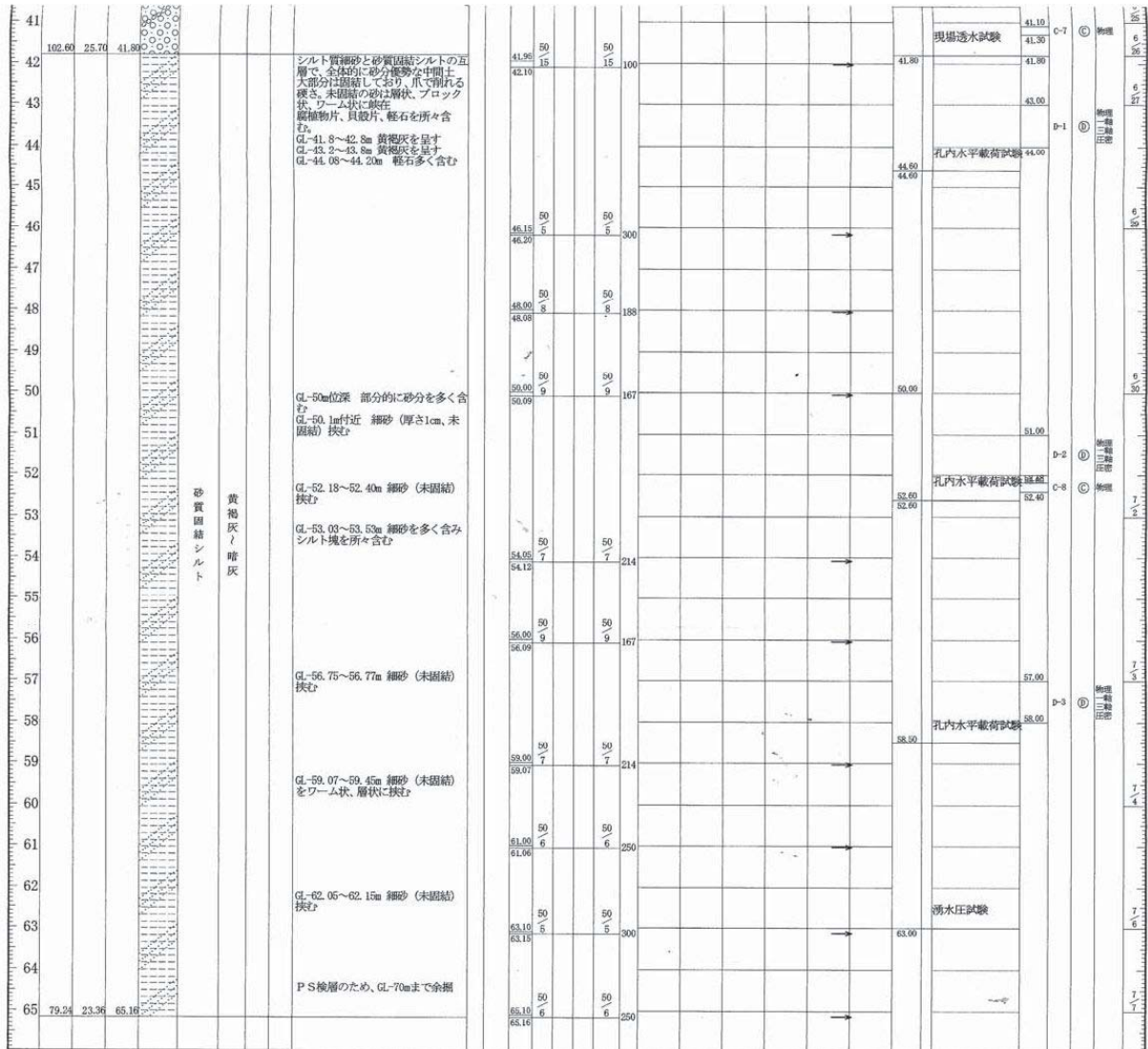
ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関			東経	
調査業者名	電話()	主任技師	調査期間	現場代理人
孔口標高	T.P. +144.40m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	65.16m		使用機種	ハンマー落下用具
			エンジン	ポンプ







(JR-131)

(JR-132)

ボーリング柱状図

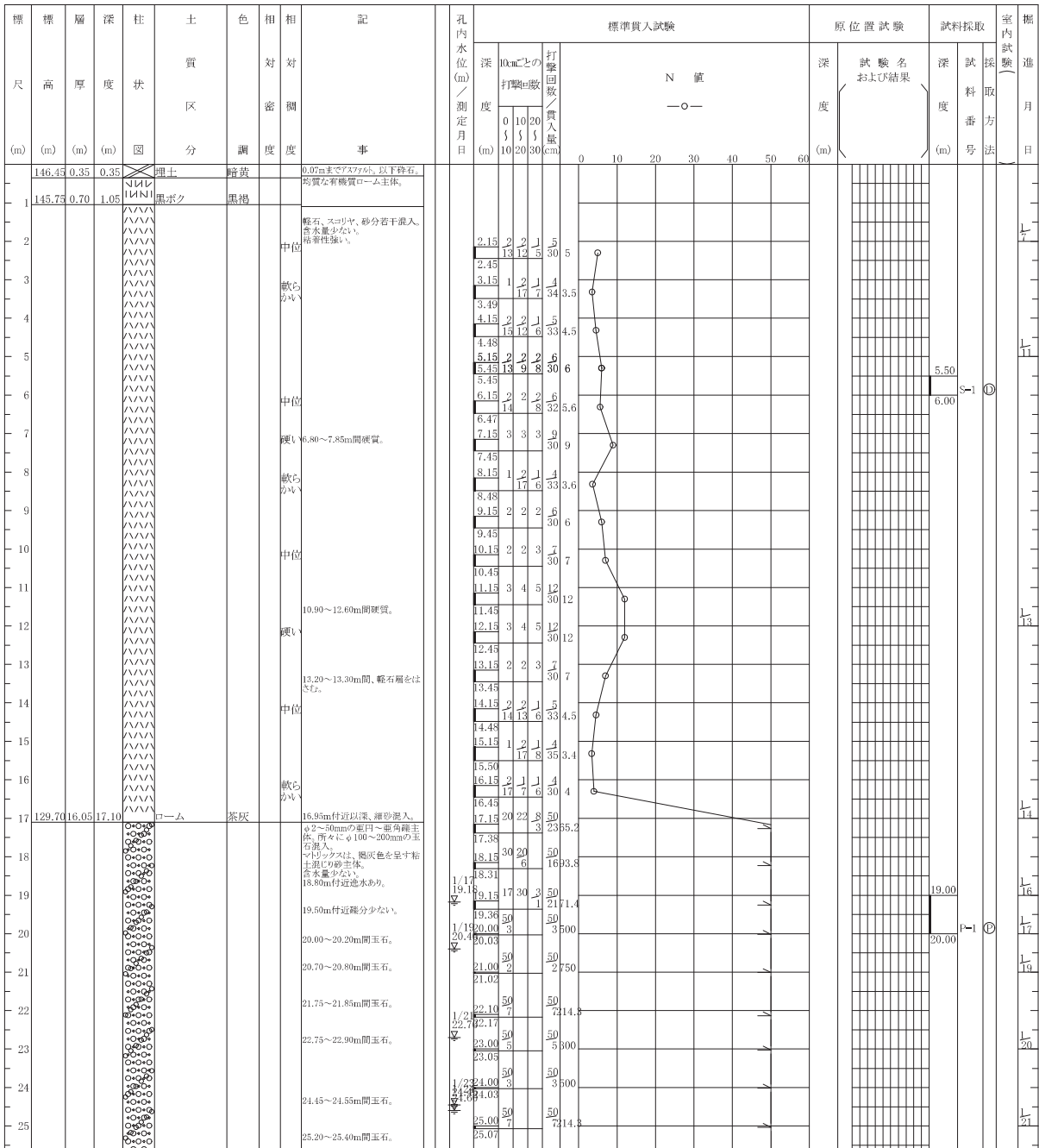
調査名 _____

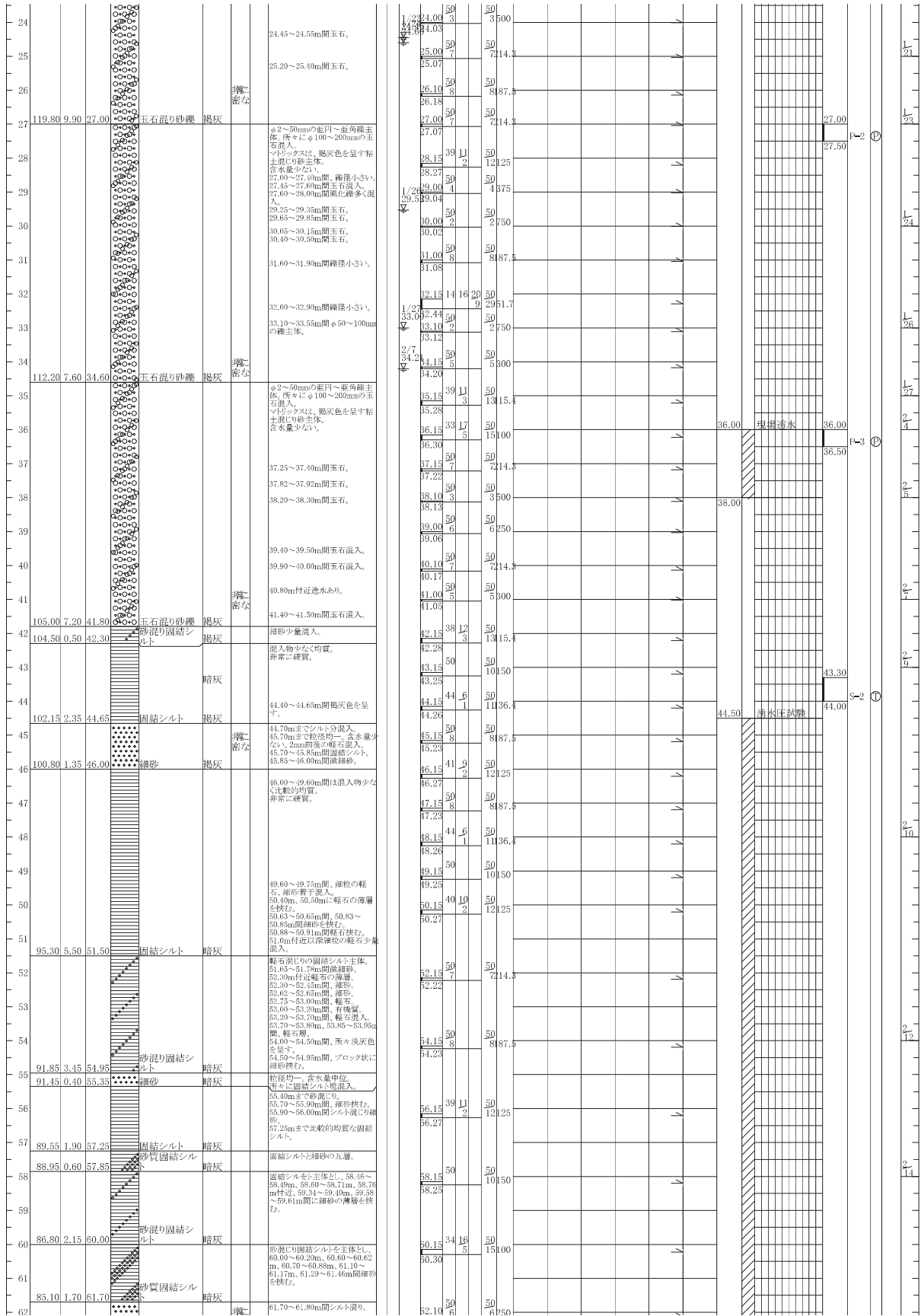
事業・工事名 _____

ボーリングNo. _____

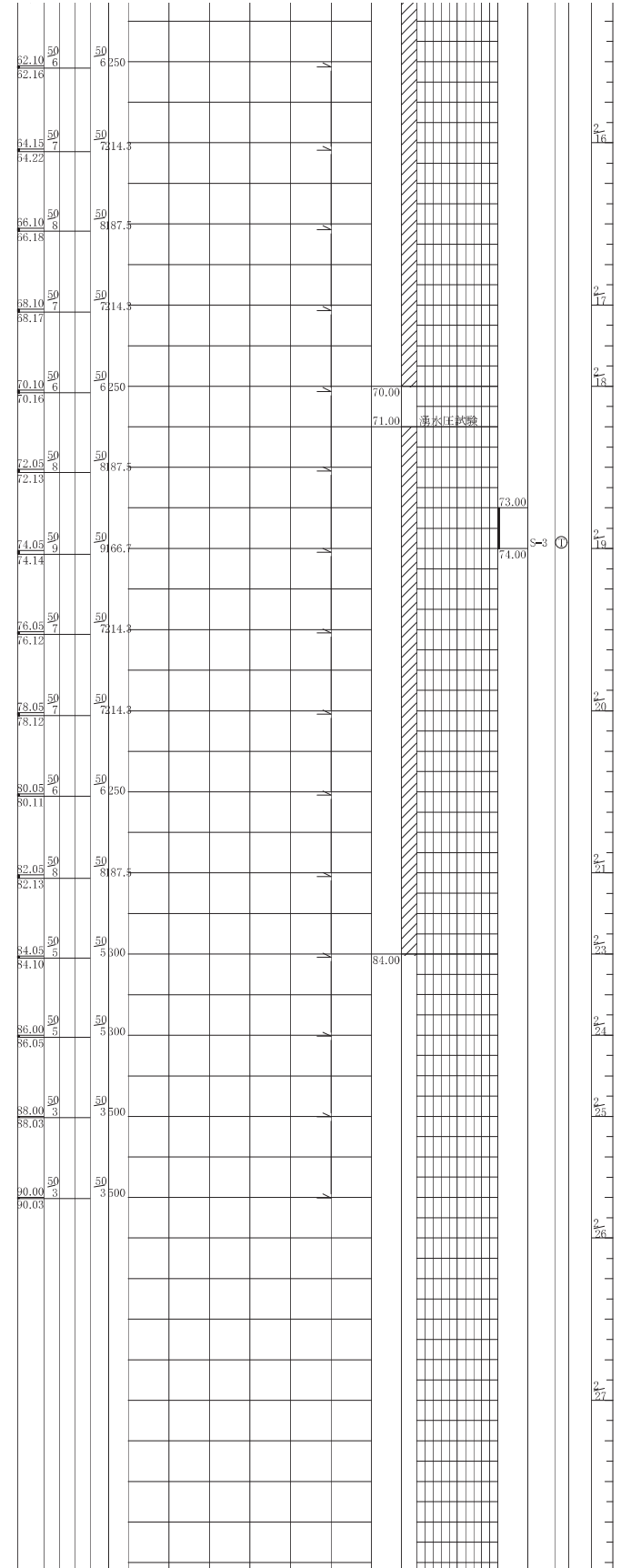
シートNo. _____

ボーリング名	調査位置				北緯
発注機関	調査期間				東経
調査業者名	主任技術者		現場作業責任者	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	T.P. 146.80m	角	180° 上 90° 下 0°	方向	270° 北 0° 90° 東 180° 南
総掘進長	95.00m	度	0°	方位	西
使用機種	試験機	ハンマー 落下用具	ポンプ		
エンジン					





61	85.10	1.70	61.70	砂質固結シルト	暗灰	中	60.70~60.88m, 61.10~61.17m, 61.39~61.48m間細砂を挟む。
62	84.20	0.90	62.60	細砂	暗灰	中	61.70~61.80m間シルト混り。
63	80.80	3.40	66.00	砂混り固結シルト	暗灰	中	砂混り固結シルト主体。62.70~62.80m間シルト混り。63.15~63.60m間は均質な固結シルト。63.85~63.90m間細砂挟む。64.62~64.90m間細砂挟む。
64	80.45	0.35	66.35	シルト質細砂	暗灰	中	65.05~65.55m間は均質な固結シルト。65.80~65.95m間は均質な固結シルト。
65	79.50	0.95	67.30	固結シルト	暗灰	中	不規則にシルト混入。均質な固結シルト。
66	77.20	2.30	69.60	細砂	暗灰	中	粒径均一。含水量中位。68.20~68.35m間固結シルトを挟む。
67	75.00	2.20	71.80	砂混り固結シルト	暗灰	中	69.50m付近シルト少量混入。不規則に細砂少量混入。
68	74.05	0.55	82.55	細砂	暗灰	中	70.72~70.76m間細砂挟む。71.20~71.25m間細砂挟む。71.30m付近細砂混入。71.75~71.80m間砂質シルト。
69	74.14	0.09	82.14	細砂	暗灰	中	粒径均一。含水量中位。炭化物若干混入。72.30m, 72.40m付近暗緑色を呈す。72.95m付近固結シルト混り。
70	76.03	0.03	82.03	細砂	暗灰	中	74.33~74.60m間固結シルト。
71	76.12	0.07	82.12	細砂	暗灰	中	75.60m付近黒灰色を呈す。
72	78.05	0.05	82.05	細砂	暗灰	中	79.00~79.10m間はシルト混り。79.20~79.40m間は砂混り固結シルト。
73	80.05	0.05	82.05	細砂	暗灰	中	80.45~80.50m間はシルト混り。
74	81.65	0.15	81.80	細砂	暗灰	中	81.65~81.70m間固結シルト挟む。
75	82.05	0.05	82.10	細砂	暗灰	中	粒径均一。含水量中位。φ2~5mmの細砂混入。
76	83.53	0.53	84.06	細砂	暗灰	中	粒径均一。含水量中位。
77	83.95	0.95	84.90	細砂	暗灰	中	83.53~83.57m間固結シルト挟む。83.95m付近固結シルト混入。83.95~84.30mシルト質。鉄線片少量混入。
78	86.00	0.00	86.00	砂礫	暗灰	中	粒径不均一。含水量中位。不規則にφ2~5mmの粗礫主体。φ10~30mmの前後の礫点在。含水量多い。
79	86.05	0.05	86.05	砂礫	暗灰	中	
80	88.00	0.00	88.00	砂礫	暗灰	中	
81	88.03	0.03	88.03	砂礫	暗灰	中	
82	90.00	0.00	90.00	砂礫	暗灰	中	φ10~30mmの垂円~垂角礫主体。マトリクスは粗砂主体。含水量多い。
83	90.03	0.03	90.03	砂礫	暗灰	中	
84	91.80	0.80	95.00	砂礫	暗灰	中	



(JR-133)

ボーリング柱状図

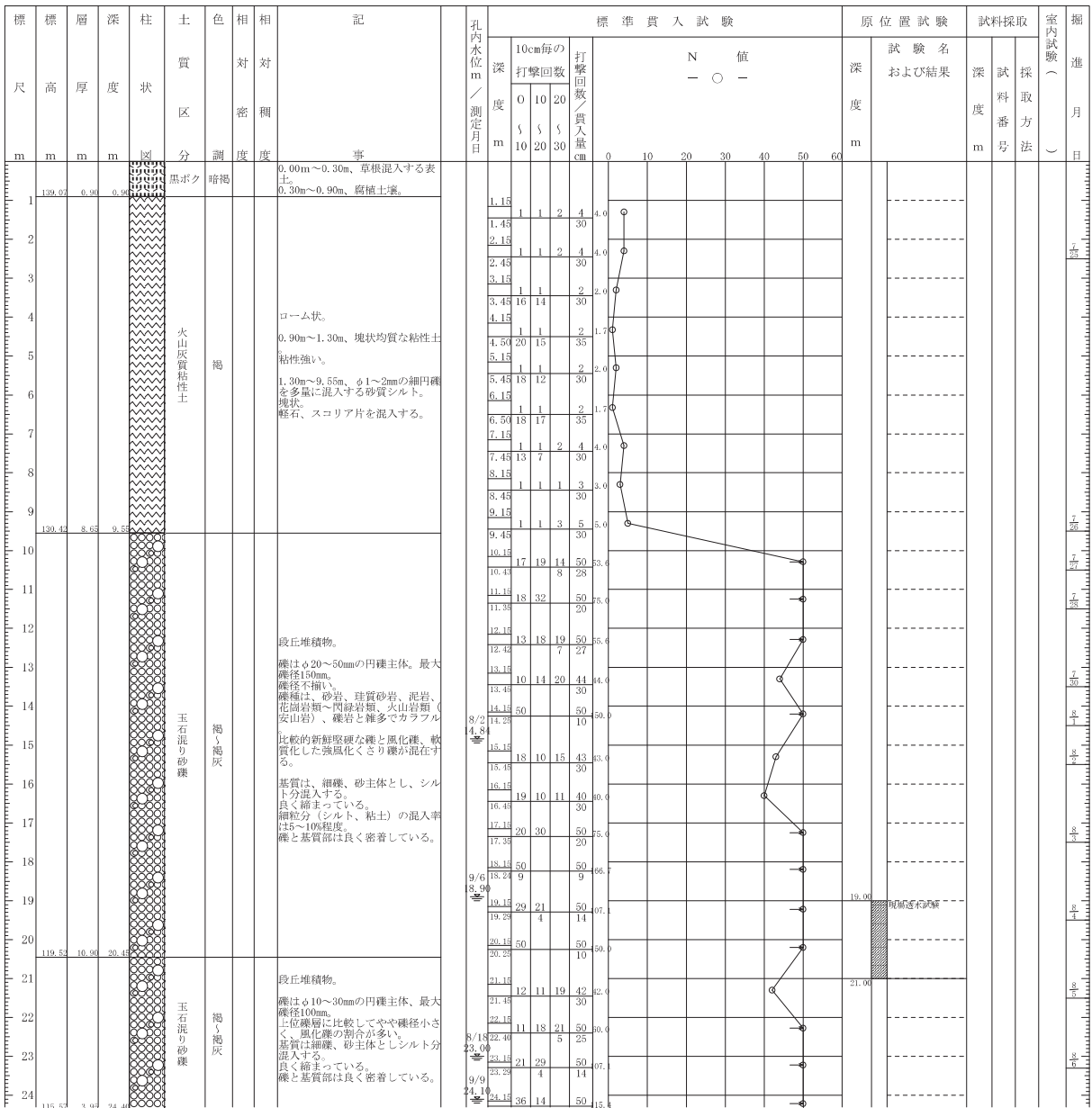
調査名 _____

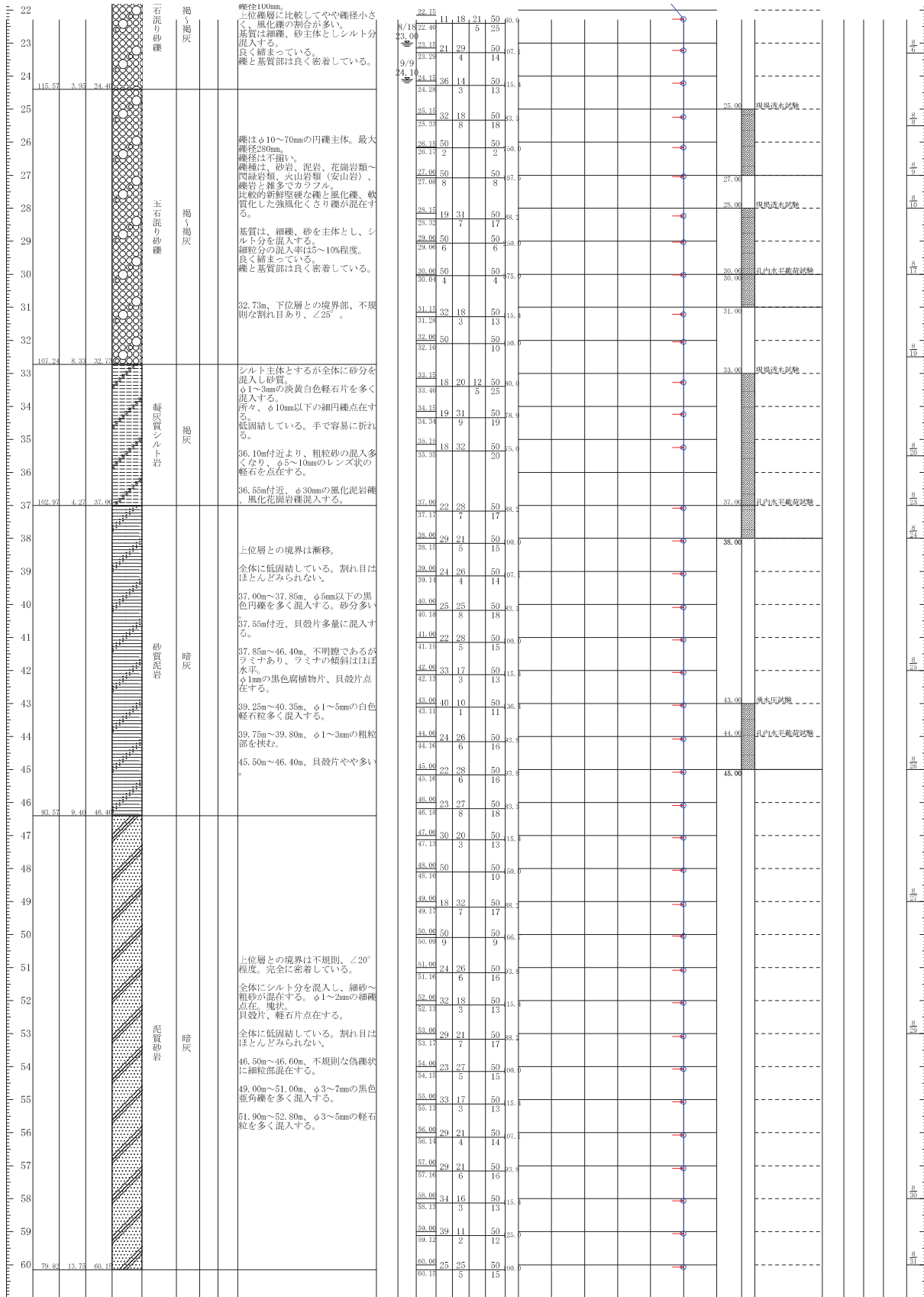
事業・工事名 _____

ボーリングNo. _____

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	電話 ()	主任技師	現場代理人	ボーリング責任者
コア鑑定者	コア	ハンマー	落下用具	
孔口標高	TP +139.974m	角	度	使用機種
総掘進長	60.15m	度	方	エンジン
		度	向	ポンプ





ボーリング柱状図

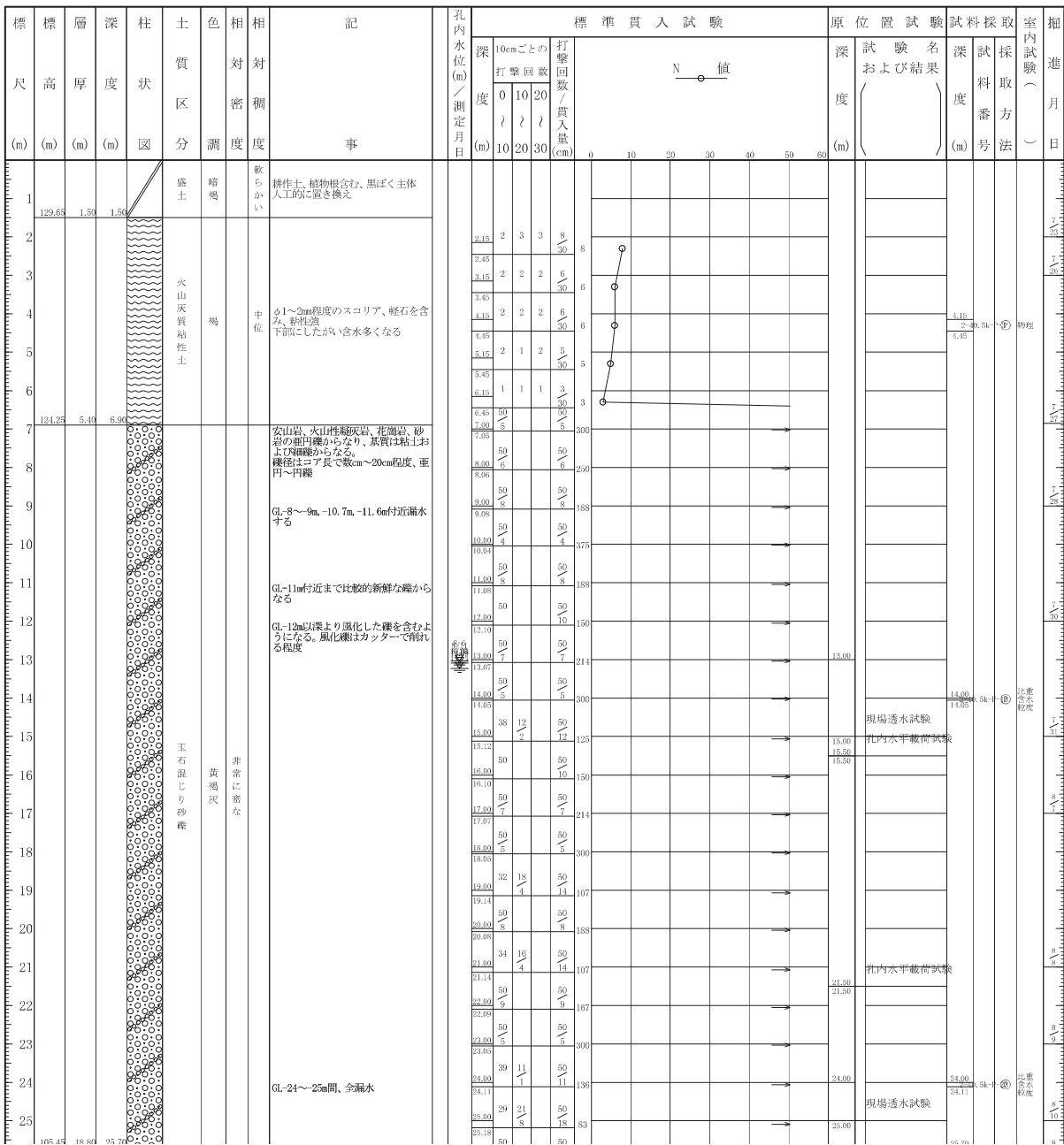
調査名

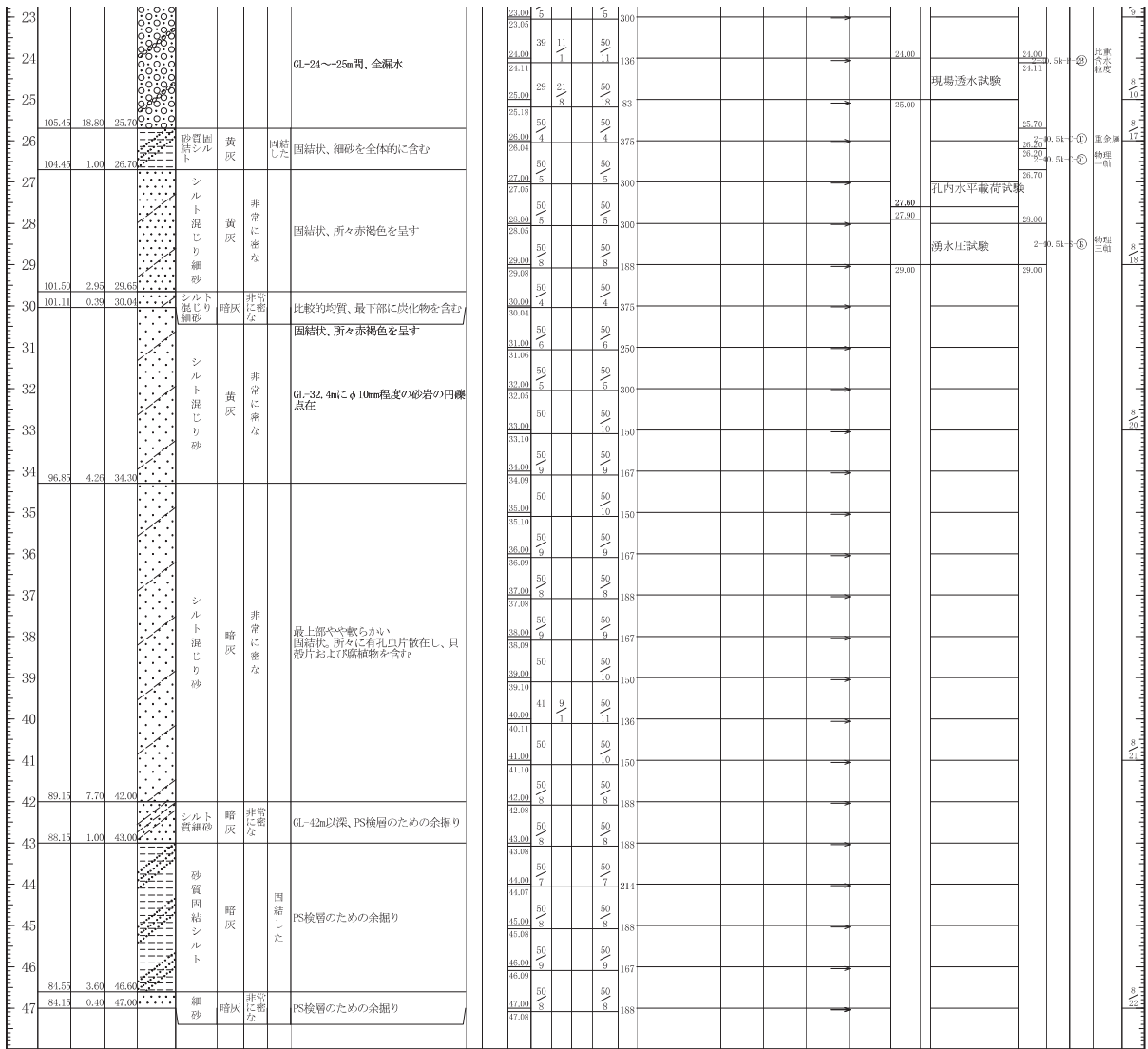
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	電話	主任技師	現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	角	方	地盤勾配	ハンマー落下用具
総掘進長	度	向	使用機種	ポンプ





ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

ボーリング名	調査位置				北緯
発注機関	調査期間		東経		
調査業者名	電話()	主任技師	現場入	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	129.723m	角	180°	方	北 0°
総掘進長	60.00m	度	上下0°	向	西 270° 東 90° 南 180°
				地盤公配	水平0°
				使用機種	ハンマー落下用具
				試験機	ポンプ
				エンジン	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記事	標準貫入試験			原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日	
								深 (m)	10cmごとの打撃回数	N 値					
128.82	0.80	0.80		表土	黒褐		重機混入 粘性少ない。含水少ない。 軽石粒 スコリヤ若干混入。	1.15	1	2	4				
				ローム	茶褐		φ2~5mmの罫が若干点在する。 含水 粘性ともに中位。	1.45	2	2	6				
							軽石粒及び浮石若干混入。 含水 粘性ともにやや小位。	2.15	2	2	6				
							5.8mより粘土質をやや多く含む 含水 粘性ともに中位。	2.45	2	2	6				
								3.15	2	2	6				
								3.45	2	2	6				
								4.15	2	2	7				
								4.45	2	3	8				
								4.75	2	3	8				
								5.15	2	3	8				
								5.45	2	3	8				
								6.15	1	2	8				
								6.45	1	2	8				
								7.00	1	2	8				
								7.00	1	2	8				
								7.00	1	2	8				
								8.15	25	18	9				
								8.40	50	0	0				
								9.00	4	0	0				
								9.04	50	0	0				
								10.00	50	0	0				
								10.05	50	0	0				
								11.00	1	1	0				
								12.00	1	1	0				
								13.00	50	0	0				
								13.10	50	0	0				
								14.00	35	15	5				
								14.15	50	0	0				
								15.00	50	0	0				
								15.08	50	0	0				
								16.00	21	29	5				
								16.15	50	0	0				
								17.00	50	0	0				
								17.10	50	0	0				
								18.00	31	19	4				
								18.14	50	0	0				
								19.00	50	0	0				
								19.07	50	0	0				
								20.00	20	20	10				
								20.21	50	0	0				
								21.00	50	0	0				
								21.08	50	0	0				
								22.00	50	0	0				
								22.05	50	0	0				
								23.00	50	0	0				
								23.05	50	0	0				

Depth (m)	Soil Type	Description	Moisture (%)	Wet Density (g/cm³)	Void Ratio	Other Data
16	粘土質砂礫	U~50% 粘性少ない 凝灰質含水や多くなる				
17	茶褐土					
18	茶褐土					
19	茶褐土					
20	茶褐土					
21	茶褐土		108.63	6.63	21.08	
22	暗灰	粒径φ10~80mm主体 最大粒径φ200mm マトリックス粘土質砂 調質悪い 含水量多い				
23	暗灰		106.32	2.31	23.40	
24	茶褐土	凝灰質中粒径5~50mm主体 混入率80~70% 軽石、浮石多量に混入 粒径φ10~80mm主体 最大粒径φ150mm 混入率60~70% 軽石、浮石多量に混入				
25	茶褐土		104.68	1.64	25.04	
26	固結シルト	20m付近稍硬含む 全体に比較的硬い 一部固結状となる 一部5~10cmの短柱ないし岩片で採取 所々粘土化した部分が残る 上部より下部軟質である				
27	固結シルト					
28	固結シルト					
29	固結シルト					
30	固結シルト		99.92	4.78	29.83	
31	黄緑砂	粒子均一で5~10cmの片状コアとなる 全体に酸化が激しい 粒子極めて細粒で均一 所々シルト分が混在する 非常に密である 所々岩片状になる				
32	黄緑砂					
33	黄緑砂					
34	黄緑砂					
35	黄緑砂		94.80	5.00	34.80	
36	暗灰	粒子極めて細粒で均一 34.8~35.1m付近径φ5~10mmの礫若干混入 35.1~35.6m付近径φ10~30mmの礫多量に混入 最大粒径φ40mm 所々貝殻薄片を混入 35.6m以降砂質非常に密である				
37	暗灰		92.57	2.35	37.15	
38	暗灰	粒子極めて細粒で均一 2~10mmの礫若干混入する 一部固結状で採取				
39	暗灰		90.60	1.87	39.12	
40	暗灰					
41	暗灰		88.64	1.98	41.03	
42	暗灰	粒子極めて細粒で均一 一部固結状となる 径φ5~10mmの礫所々に混在する				
43	暗灰		86.57	2.07	43.15	
44	暗灰	45.30mまで細砂分多く粒子均一である 所々5~10mmの礫混在する 45.30m以降径φ5~20mmの礫多量に混在 最大粒径φ30mm マトリックス細砂 径φ5~20mmの礫若干混入 調湿率20% マトリックス細砂 粒子均一で密である 粒子極めて細粒で均質である				
45	暗灰					
46	暗灰					
47	暗灰					
48	暗灰					
49	暗灰					
50	暗灰					
51	暗灰	所々に径φ2~10mmの礫若干混在する 所々シルト質粘土質貝殻薄片混入する				
52	暗灰		77.58	8.32	52.13	
53	砂	粒子均一で密である 所々貝殻薄片混入する				
54	砂		70.22	1.37	53.02	
55	砂					
56	暗灰	粒子均一で所々粘土質残る 55mより径φ5~20%混在する 一部50mmの円形コアとなる 57mより砂の軟質 粒子均一で所々径φ10~50mmの礫点混在する				
57	暗灰					

(JR-136)

ボーリング柱状図

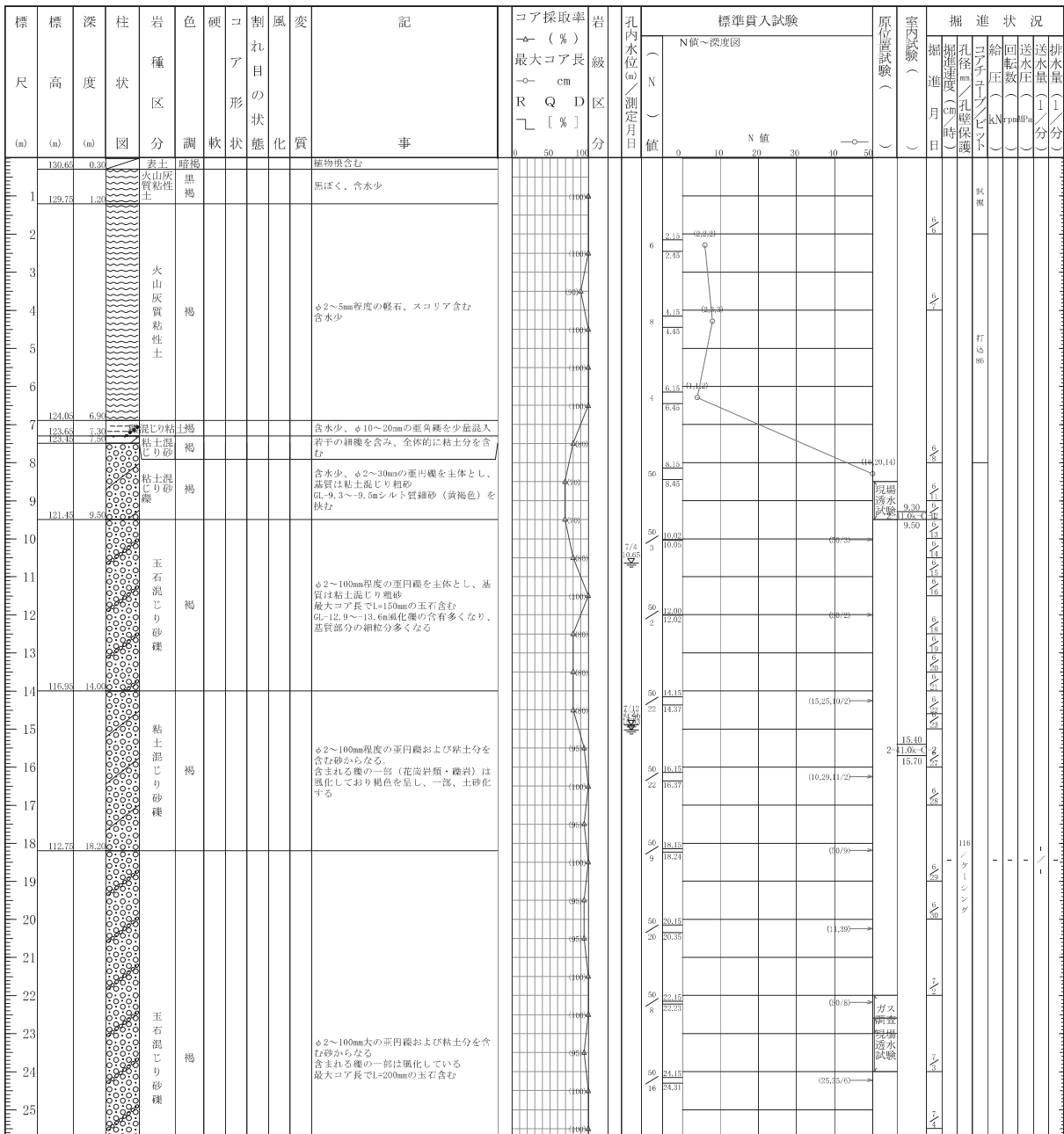
調査名

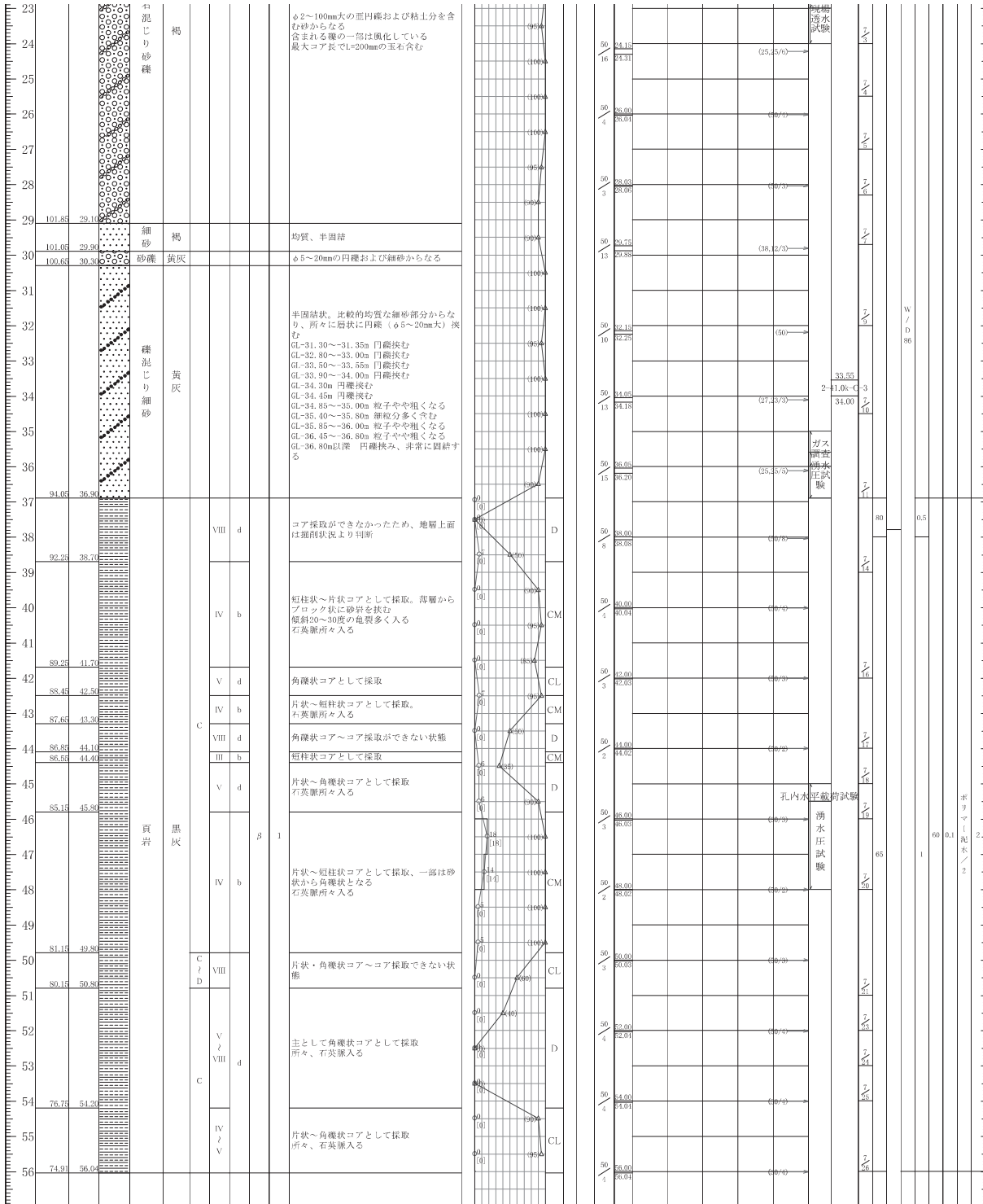
事業・工事名

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	電話()	主任技師	現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	TP +130.95m	方位	コア鑑定者	
総掘進長	56.04m	地盤勾配	試錐機	エンジン
		使用機種		ポンプ





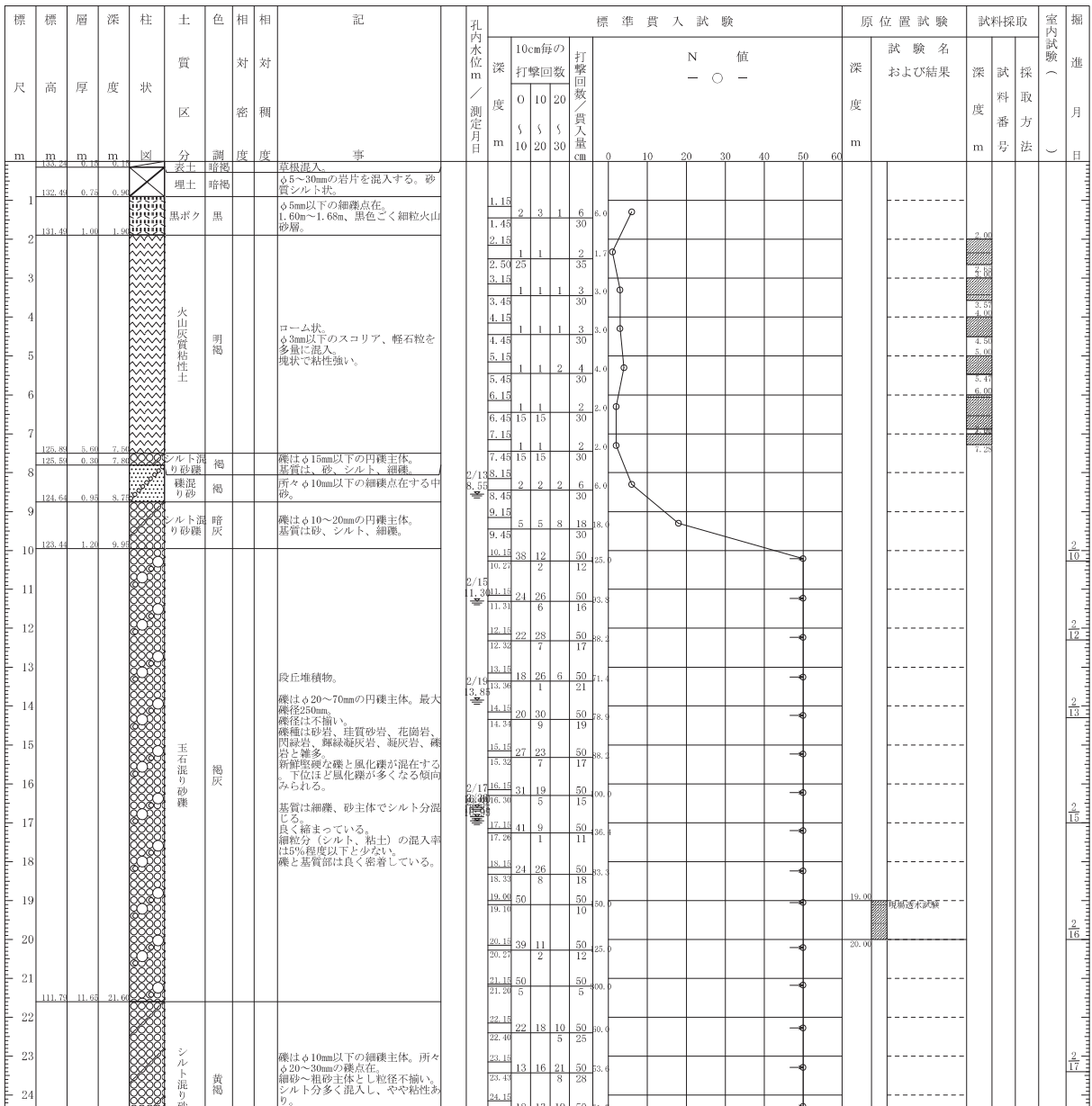
ボーリング柱状図

調査名 _____
事業・工事名 _____

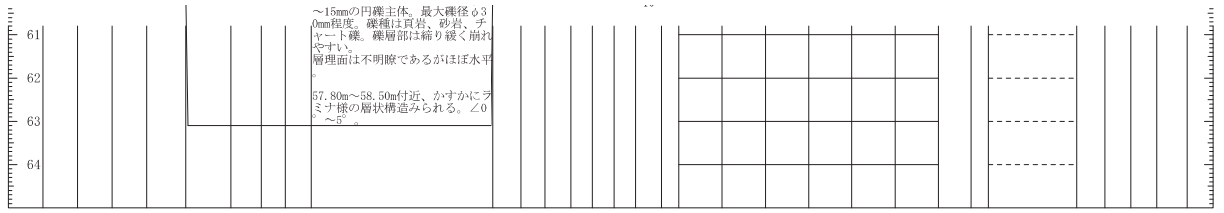
ボーリングNo. _____

シートNo. _____

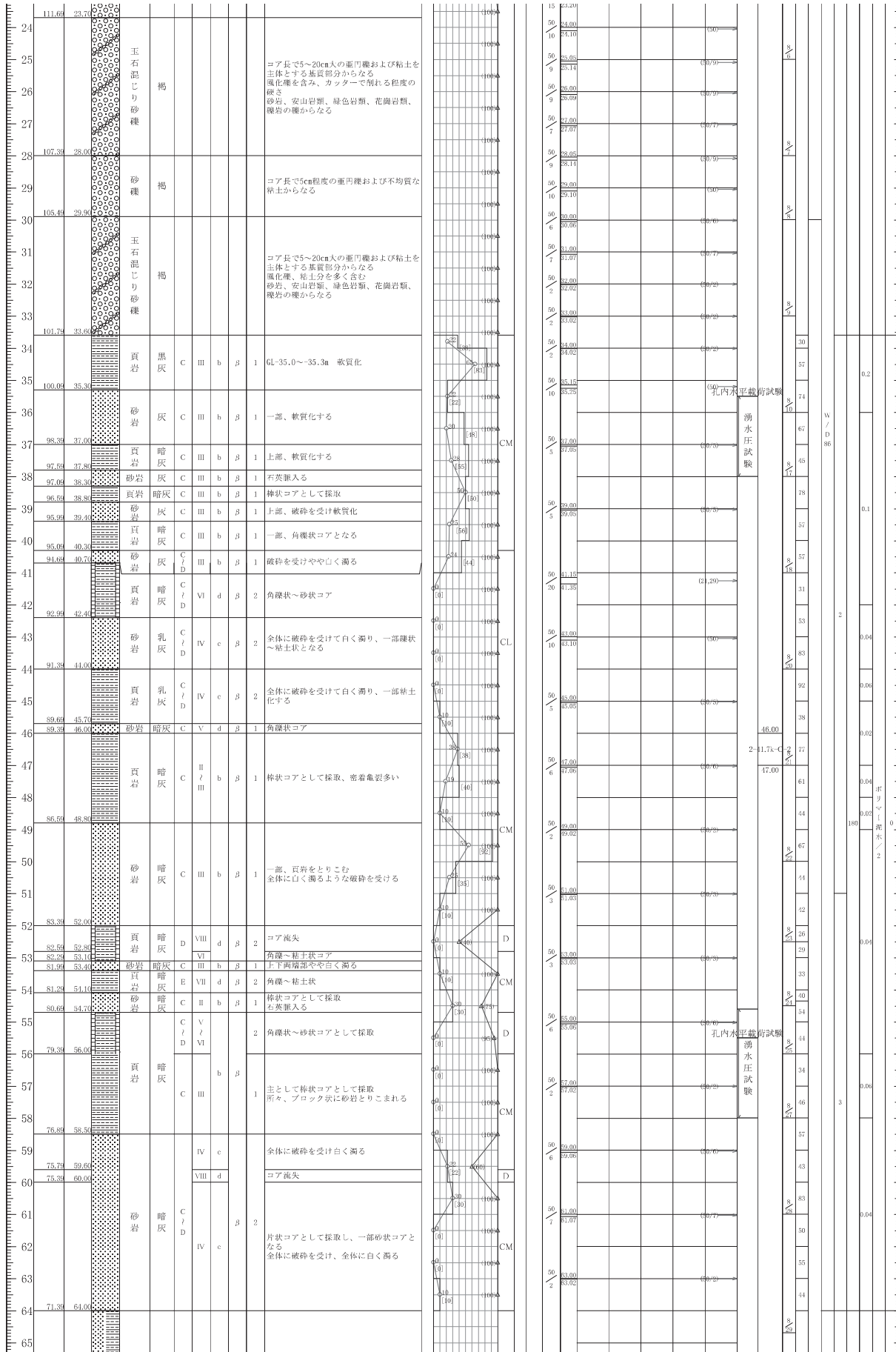
ボーリング名	調査位置			北緯		
発注機関	調査期間			東経		
調査業者名	電話 ()	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	TP +133.391m	角	方	使用機種	ハンマー落下用具	
総掘進長	60.00m	度	向	エンジン	ポンプ	



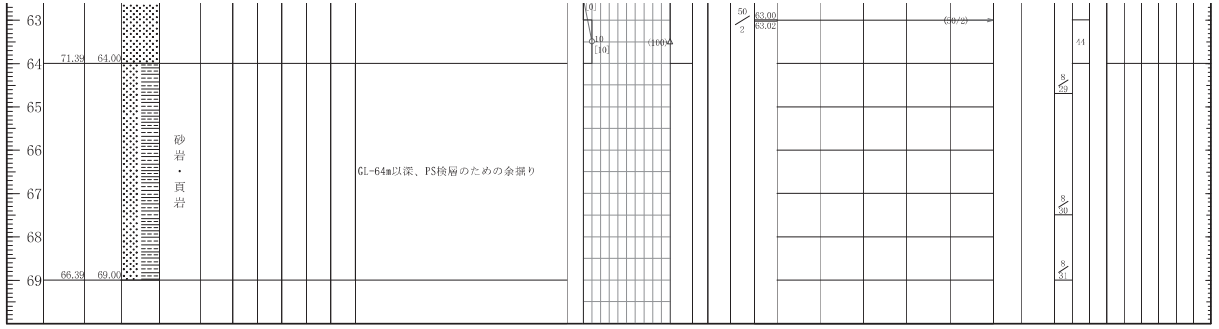
(JR-138)



(JR-138)



(JR-139)



(JR-139)

ボーリング柱状図

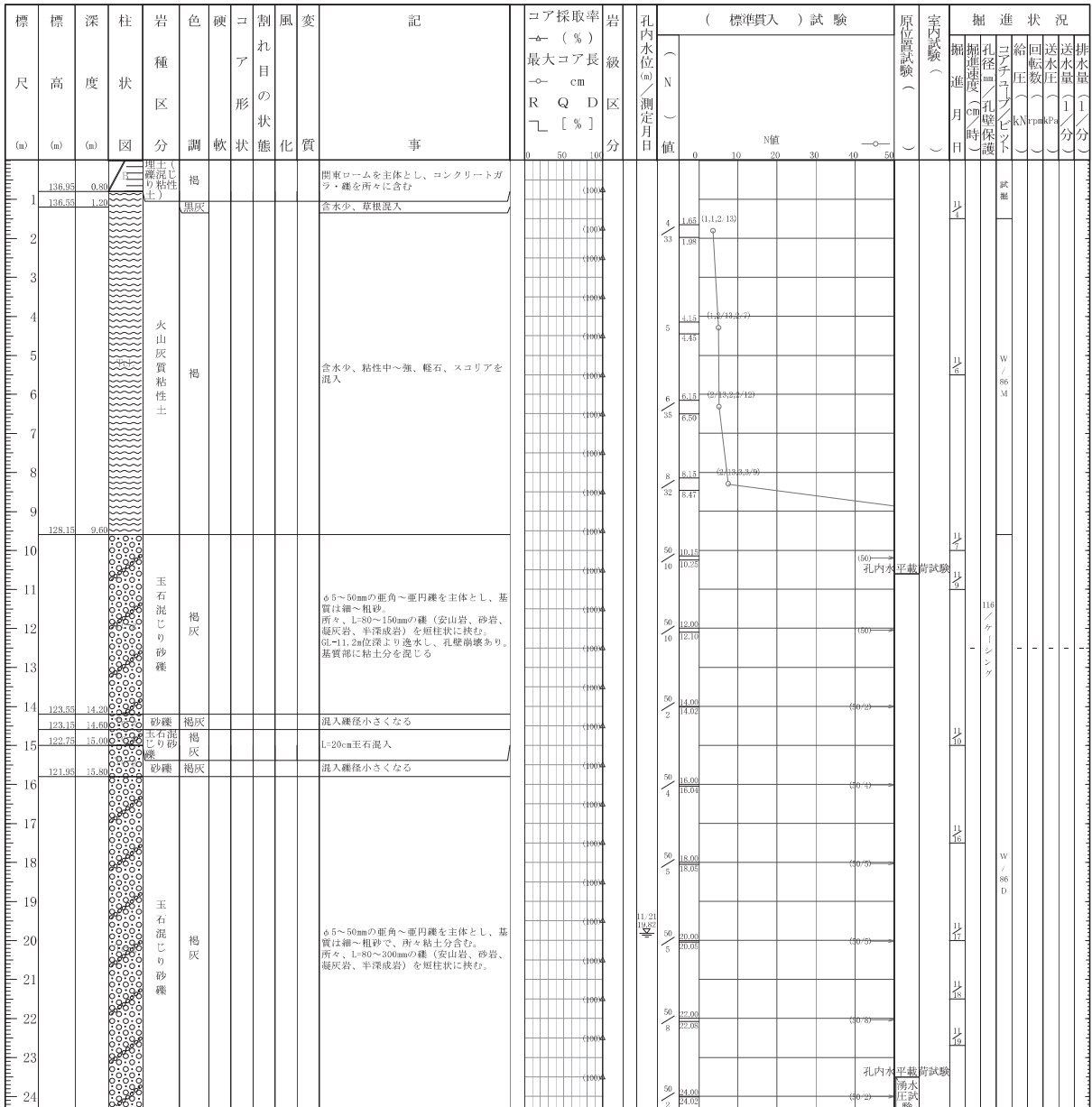
調査名

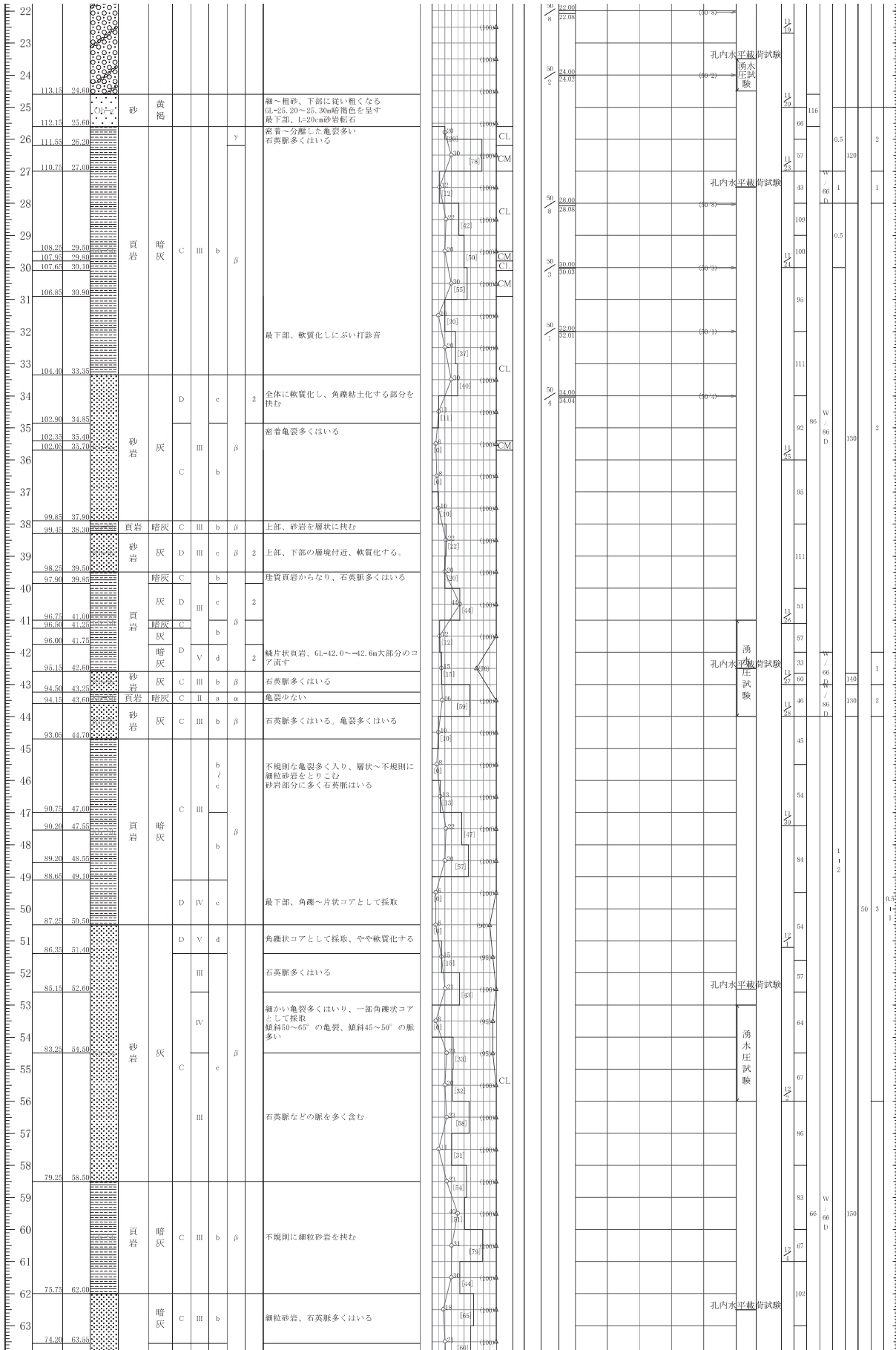
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

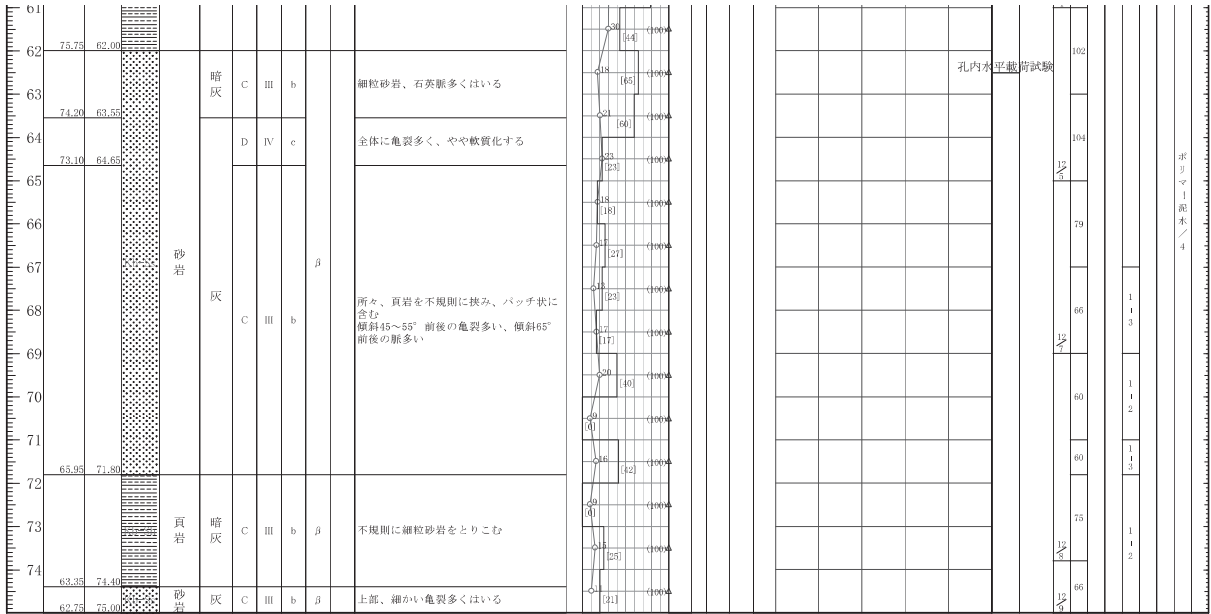
シートNo

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	電話()	主任技師	現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	T.P. +137.75m	方角 北 0° 上 90° 下 0°	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用機種
総掘進長	75.00m	方向 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	試錐機	エンジン
			コア鑑定者	ポンプ





(JR-140)



(JR-140)

ボーリング柱状図

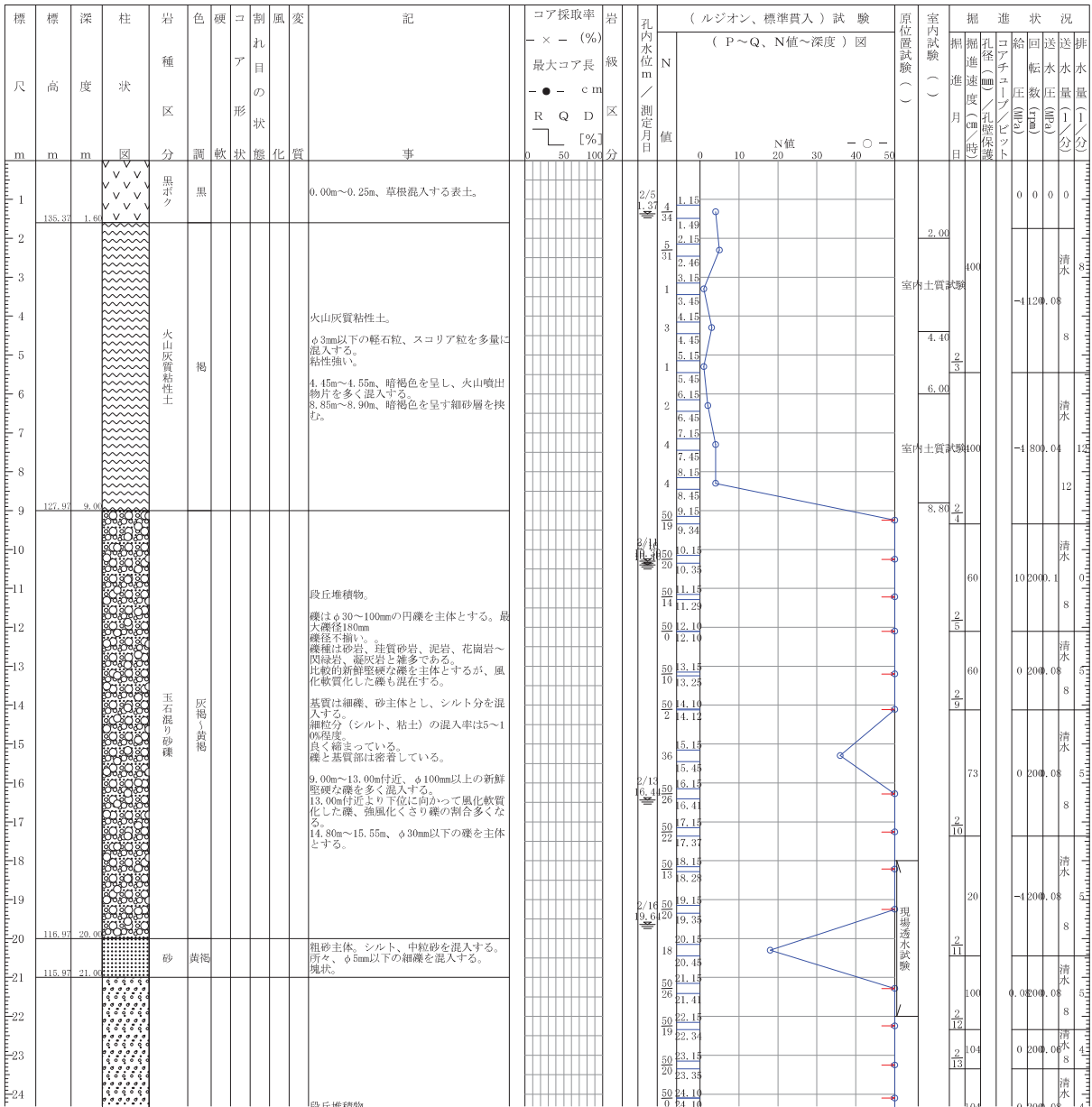
調査名 _____

ボーリングNo. _____

事業・工事名 _____

シートNo. _____

ボーリング名	調査位置				北緯			
発注機関	調査期間				東経			
調査業者名	電話 (_____-_____-_____-_____-_____-_____-)	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	TP +136.97m	角	180° 土 90° 下 0°	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	75.00m	度						エンジン
								ポンプ



(JR-141)